

## 会 議 録

会議の名称		令和3年度第1回つくば市生涯学習審議会		
開催日時		令和3年(2021年)10月21日(木) 開会10:00 閉会11:30		
開催場所		つくば市役所2階職員研修室(1)(2)※オンライン同時配信		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	会場: 武田 直樹委員、木村 清隆委員、江原 功委員、岡田 克司委員、金川 清治委員、田中 秀夫委員、付 波委員、星埜祥子委員、松村 美枝子委員 オンライン: 後藤 真紀委員、齋藤 靖夫委員、萩原 武久委員、福田 正雄委員		
	その他	森田 充教育長		
	事務局	吉沼 正美教育局長、貝塚 厚次長、大久保 文子生涯学習推進課長、色川 純子課長補佐、細田 政信係長、風巻 玲子主査、渡邊 亮太主査(社会教育主事)、尾野 千明主事、大久保 竣介主事、中山 克巳社会教育指導員、石塚 絵梨奈社会教育指導員		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	0名
非公開の場合はその理由				
議題		(1)第2次つくば市生涯学習推進基本計画の評価について (2)第3次つくば市生涯学習推進基本計画について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 自己紹介 4 議事 (1)第2次つくば市生涯学習推進基本計画の評価について (2)第3次つくば市生涯学習推進基本計画について 5 閉会			

## 1 開会

○事務局：令和3年度第1回つくば市生涯学習審議会を開会いたします。

## 2 挨拶

## 3 自己紹介

## 4 議事

○議長：第2次つくば市生涯学習推進基本計画の評価について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局：第2次生涯学習推進基本計画の令和2年度の実績評価について資料2の説明をします。事務事業評価が特に低かった事業について、担当課から聞き取りをした内容を説明します。8月に委員様から御質問をいただいている回答も含みます。「施策1 個人の自立に向けた学習機会の提供（1）④高齢福祉課の高齢者のいきがい対策」で、高齢者向けの社会活動支援事業が新型コロナウイルス感染症の影響により大会や講演会などは行えませんでした。活動功労者顕彰事業は、人を集めての表彰はしないで、功労者へ表彰状をお届けに行きました。いばらきねりんスポーツ大会も中止となりました。ともに実績評価がDとなっています。次に、「施策2 生涯学習環境の整備（3）学習成果を活かす支援と指導者の養成」は、企画経営課のOB人材活動支援事業ですが、新型コロナウイルス感染症で、対面での実施自体が停止状態でありD評価となりました。「施策4 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供（1）健康・スポーツ・レクリエーション活動の推進」についてですが、スポーツ振興課のスポーツ教室の充実については、新型コロナウイルス感染症で、スポーツ教室が大きく減少したことから、評価がDとなりました。例年比の成果が低下したものの、開催に向けて多くの対策を行い、小規模の教室等を開催するなど、コロナ禍で可能な限りの効果を上げ

たと分析しています。また、「(4) 絆づくり・地域づくりにつながる学習機会の提供」については、組織開発推進室が新型コロナウイルス感染症の影響で、グループをメインとした集合型研修であったことから、実施ができず、評価はEとなっています。ここで、当課から評価についての補足をいたします。コロナ禍で、事業が中止、延期又は方法を変えて実施するなど、あらゆる手段を検討しています。そのような有事の評価について、統一的な見解を事前に示していなかったため、組織開発推進室の評価はEではなく、低/中/Dへの訂正をしたいと思います。続きまして、危機管理課の交通安全・防犯・防災活動への支援（出前講座等）講座ですが、防災意識の啓発が、新型コロナウイルス感染症の影響から大きく減少したことにより、評価はDとなっています。最後に「施策5 生涯学習推進体制の強化(2) 多様な主体とのネットワーク行政の推進」です。スポーツ振興課が体育協会、スポーツ推進員の育成として2事業でD評価となっています。評価の理由は、月例点検や財政支援対策会議の実施はできたものの、新型コロナウイルス感染症の影響で、各種事業を中止せざるを得なかったということです。この評価には、委員様からも御意見をいただいています。スポーツ協会側の立場から、何も成果が残せず、悔しい思いをされております。このような時こそ、ネットワーク行政の推進が重要であり、そのキーワードが、他者との連携・つながりであるという御意見をいただきました。次に「施策5 (3) つくばの特性を生かした生涯学習の推進」です。科学フェスティバルは、生涯学習推進課の事業ですが、新型コロナウイルス感染症の影響により、例年、つくばカピオで行っていた科学事業イベントは中止となりました。しかしながら、イベントに代わる科学動画を配信して、つくば市の特性を生かした科学教育を継続しま

した。続きまして、フォレストアドベンチャー、筑波山ビジターセンター、筑波山梅まつりについては、観光推進課が新型コロナウイルス感染症の感染対策を徹底して、フォレストアドベンチャー、筑波山梅まつりを行えた期間もあったものの、来場者は大きく減少しました。また、筑波山ネイチャーガイドツアーは、中止となりました。最後に、ジオパーク室の筑波山地域ジオパーク推進事業では、新型コロナウイルス感染症の影響により、学術シンポジウムを一部オンラインにして開催しました。会議やジオツアーなど、多くのイベントが実施できなかつたことが理由で、D評価となりました。オンラインを利用することで、ジオパーク拠点の整備を進めるための基本構想・計画は策定できました。以上、D評価について説明いたしました。評価を全体的に見て、統一した見解を生涯学習推進課から事前に示すことができなかつたため、評価にばらつきが出てしまいました。D評価を受けて、何度かヒアリングを行って、担当課の評価を尊重して採用しました。これで、令和2年度の実績は、説明を一旦終わります。

○議長：ありがとうございました。それでは、委員の皆様から、御質問・御意見等がございましたら、お願いいたします。委員、どうぞ。

○委員：前回の2月26日の会議の中で出ました御意見、私も4点お聞きしたと思うのですが、担当課との協議、あるいは、進捗状況について報告していただきたいというようなお願いをいたしましたので、その状況をお聞かせ願いたいと思います。

○議長：これは、第2次生涯学習推進基本計画の評価に関する協議ですか。この評価のことではなくて、また違うところの説明を求めたいということでしょうか。

○委員：そうです。

- 議長：その議事に関連するものが、私の手元にありません。
- 事務局：2月26日の議事録が手元にあります。すみませんが、4点、質問を確認したいのですが、お願いいたします。
- 委員：会議録の7ページです。取組み、改善や問題点というところで、問題点を把握して、市民ニーズを満足させるよう担当課と協力して進めるようお願いしたいことが1点。それから、学習の成果を活かすと同時に地域の課題に挑戦するという言葉が、少しきついような気がしますので、この辺りの文言を少し考えていただきたいと思います。それから、3点目。地域交流センターの図書については、古い本がかなり多いので、担当課と協議して、これらの改善をお願いしたいと思います。それから、障がい者の予約について。これについても、駐車場等では、優先しているところがありますので、予約等についても、担当課との協議をお願いしたいと思います。以上、4点でございます。
- 議長：そうですね。評価から始めたいと思ったものの、今のところで御説明ができるようでしたら、お願いいたします。
- 事務局：昨年度の御意見4点ということで、1点目は各課等と協議をして作っているのかということによろしいでしょうか。委員様の言う、最後の第2次生涯学習推進基本計画の5年度目なので、その4年度までの計画を踏まえ、5年度も各課には、ヒアリングをして、調整をしたと認識しております。よろしいでしょうか。2点目の言い回しがきついというのは、具体的にお願いたします。
- 委員：地域の課題に挑戦するというような言い回しですので、これを柔らかい文言にしていただけませんかというようなことをお聞きいたしました。
- 事務局：質問を確認いたしました。3点目の図書館の話でしょうか。そちらもすみませんが、紙で回答するという形で、それによろしいでしょ

うか。

○委員：8月の段階で「御意見・御要望に関する回答票」を作られておりますので、できれば、こういった形で表していただければ、ありがたいと思います。

○事務局：承知いたしました。

○議長：ありがとうございます。教育局長、お願いします。

○教育局長：御質問をいただきまして、ありがとうございます。ここで回答できない部分については、先程、担当からお話があったとおり、紙で回答したいと思います。改めての回答になりますが、分かる範囲で、少し回答に漏れがありましたので、私から少し追記をさせていただきたいと思います。1点目の各課との協議ですが、これらにつきましては、第2次生涯学習推進基本計画を踏まえまして、最終年度ということで、先程、担当からもありましたが、これに基づいて各課と協議をしている結果が資料2であります。先程、説明から少し漏れておりましたが、資料3にもう少し細かく、内容等についても載っておりますので、こちらも併せて御覧いただければと思います。3点目の地域交流センターの図書室の本のお話ですが、確かに、先般の議会等でも、御質問をいただいているような状況もありましたが、こちらにつきましても、中央図書館で少し確認をしながら、あるいは地域交流センターから、状況を報告いただいております。本をどういう風にリニューアルできるかというようなところについても協議がスタートしております。例を挙げますと、ある地域交流センターで、本が少し古かったというようなことがございました。担当は市民部になりますが、廃校になった学校にある本がまだ使える、十分に新しい本があって、地域交流センターも、是非、その本を活用したいというような御

要望もございましたので、そういったものについては、図書館の本を活用する。まず、先に使えるものということで、活用させていただいて、地域交流センターに置かせていただいたというようなことはさせていただいております。今後につきましては、地域交流センターと図書館との間で、よく協議をしながら、リニューアルと言いますか、図書館の本について古いものを変えていく、そういったことに取り組んでいるところでございます。補足して御報告をさせていただきました。

○委員：教育局長、ありがとうございました。こういった質疑に対して、担当課と協議した云々については、8月の段階で回答票がございます。こういった形で、同じように回答いただいて、次回の審議会で報告していただくとうれしいと思います。よろしく願いいたします。

○議長：ありがとうございます。令和2年度の事業評価に関しては、いかがでしょうか。

○委員：D評価の元になっていることは、コロナ禍でできなかったという形で、D評価になっていると。それで、Dの評価というのは、費用対効果あるいは成果に対する効果とか、いろいろなことが書いてありますが、そのDという表現を見た時に「非常に変だな」と。できないことに対して、D評価ということで、コロナ禍のような特別な場合には、Dという部分は必ずしも合っていないというふうに全体を見まして感じます。そうすると、Dという評価をどう頑張ればいいのかということになりますと、コロナは来なければいい訳で、逆にコロナを克服できるという形で、このマイナス面のような形が非常に強調されてしまっていて、全員、頑張っていると思います。それをDという形で評価することに対して、この評価項目は、少し変えることが必要だろうと思います。特に、新型コロナウイルス感染症のことに、その

他の場合にはないでしょうけれども、いくら頑張ってもコロナ禍でできないのですから。そういうような形で、このD評価という問題は、少し考えてもらって。評価の仕方ですが、一般の人が見た時に「何だDか」と。「じゃあ、やめちゃえ」と。そういう形になってしまいますので、その評価について考えていただきたいと思います。

○議長：副議長、どうぞ。

○副議長：委員に失礼かもしれませんが、私も同感でございます。場合によっては、コロナだからやらない、やらない理由になってしまうような、もしくは何かネガティブのような形で、職員もしくは各種団体の方はすごく準備をして、2か月、3か月先が、もしかしたらできるかもしれないという思いで準備をして来られた。しかし、残念ながら取りやめた。そういった部分も職員の方々もしくは団体の方々は、本当にいろいろな工夫をされて、「これができる」、「あれができる」という、そういった取組みのプロセス、過程を評価できるような形で、判断基準をDということではなく、工夫していただきたいと思います。私は、本当に目の当たりにしているところを見まして、「残念である」と本当に痛く、共感するところでございます。特に、資料3の15ページの施策の「施策4 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供（1）健康・スポーツ・レクリエーション活動の推進」のスポーツ推進振興課の評価がDになっておりますけれども、スポーツ教室の成果課題では、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に臨機応変に対応することで、計画の半数以下ではあるが、教室を開催できたことは大きな成果であると考えている。」という形になっています。大変厳しい中でありながらも、半数であるけれども、工夫をして、教室を開催して、スポーツの教室で大きな成果があると書いてありながら、Dという評価というのも少

し残念かなと思いますので、評価の仕方、本当に現場では大変な思いをされています。是非、委員の方々の御意見をいただきながら、基準の物差しを変えていただく、もしくは、この評価も末代まで残る可能性がありますので、改定を含めて修正をいただければと思います。

○議長：このD評価については、事前のコメントでも、コロナ禍であり、行政能力を越えた有事、災害な訳です。これを他と同じようにS A B C D E の評価をしていいのかということだと思いますので、その辺のコメントをお願いいたします。

○事務局：ありがとうございます。その辺の有事については、考えにありました。審議会で御意見をいただいたことを生涯学習推進本部会議に諮って、D評価が少しでも違う評価になるように、御提案させていただきたいと思っております。課の案としては、「C評価でどうか」と担当課には、問いかけをしたところですがやはり実施できていないのでD評価との回答でした。

○議長：副議長、どうぞ。

○副議長：C評価って言うのですか。著しい評価というのも私的には少し疑問を持ちます。できなかった理由、やろうとしたら、先程、申し上げましたように、本当に準備をして、こういった形でやろうとしたが、実現できなかった。それは、来年の基礎になる訳ですから、そういった中身の評価した上で、時にはAでもいいと思います。内容によっては、是非、そういった分析をして、その時に括弧書きをして、「実はこういう形です」と。文章や文言の数に限りがあるかもしれませんが、何か工夫をしていただいて、少しページを増やしてでも、こういった事情でできなかった。しかしながら、こうだった。来年に続くので、これは、BとかAとかという形で、一律Bということ

は、特に職員の方々のやりがい、達成度合いということもネガティブになってもいけないのかなと思います。本当に大切にしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

○委員：S A B C D Eの項目というのは、空欄にすることはできないのかなということと、もし、空欄にできないのであれば、例えば、それぞれのところで、これは、S A B C D Eの評価は無理というところは、※1とか※2と書いて、そこで、別の欄のところに、もうちょっと詳しい理由を書くとか。数字で評価をすることに、ものすごく引かかる部分があつて。それを開催する、実施するまでの経緯というものの評価が、全くなされていないということが一番問題で、成果主義という、その一番いけない部分がこういうものに出てきてしまっているのではないかと思います。その辺もちょっと考えていただけるとありがたいです。

○議長：委員、どうぞ。

○委員：私も似たような意見ですが、今までの評価だとS A B C D Eになっているのですが、コロナ禍で中止になり、できなかったということは、よく分かっています。次の年度は、実施する時の人材不足とか経験不足につながるので、その準備をすると思います。いろいろなところを評価する方がよろしいかと思います。

○議長：ありがとうございます。Zoomで参加されている方も、手挙げ機能がありますので、御意見をいただければと思います。委員、どうぞ。

○委員：評価できないのだから、S A B C D EのほかにFとかつけて、そこに、「今回はこういう形で評価できない」と。むしろ評価できなというふうにした方がいいと思います。私、これを見ている、次の年度にどう頑張りたいか、頑張りたいの次は、上に行きたいというような、そういうふうな形を読んだ人が、実際にやっている人達が感じとれるような、そ

ういう形にしないといけないと思います。評価がSからEまで分かっているのは、いいのだけれども、その上を目指すという状況で、今日言われて見ている、全体から見ると、Bが多いけれども、そうかなと。むしろ、それを抑えているのではないかという感じがします。Bがほとんどで、80%、90%がBというのは、日々、競争して一生懸命頑張ろうという意識みたいなものが、この中に表現されてないと思います。10ぐらいに分けてもいいけれども、あまり細かに分け過ぎて、見ていたら「何だ、みんなBじゃないか」と。これは、よそから見た時に評価という意味では、「えっ」と思うような評価に思います。現実には、点数をつけていただいているけれども、「80%、90%ぐらいがBです」という形です。これをよく見ていたら、相当、いろいろな中に書いてあるにも関わらず、Bで決まっているというような評価の仕方。この評価の仕方も難しいけれども、私としては、非常に細かくできている割には、その出てきた結果が、それをうまく表現されていない。そういう風に見えてしょうがない。そういう意味で、先程、評価できない場合には、良くなれよという部分を作って、Fは今回、それで評価できなかったというふうに素直に言われた方が、よろしいのではないのでしょうか。

○議長：委員、どうぞ。

○委員：大変イレギュラーな時期に、正常な時期の評価をするということは、大変なことだと思います。ですから、分けて考えていただいて、おそらく、今回のコロナ禍のような状況の中で、私の関わっているスポーツだけではなくて、他の部分についても、ほとんどのイベントはできなかった。できなかったことを現状の評価でやると、多分Dという評価になってしまう。ですから、今回については、評価の方法も考えなければいけないと思います。古い評価のSABCDEでやることによって、Dという評価をしなければいけないというのは、今、委員の皆

さんが御意見・御発言をなさっているように、無理があるのだらうと思います。ですから、そこを分けて評価をすることと同時に、今度やらなければいけないことは、私も協会の会長をしていますけれども、イベントができなかった時に、スポーツは何をすることが市民の皆さんにとっても、あるいは自治体にとってもいいのかということを検証しなければいけません。そういう意味では、評価をすることと今後いろいろなことをするというのを分けること。まずは、今回の評価については、評価の方法を分けて、改めて評価の方法を考えるということをご提案したいと思います。

○議長：委員、どうぞ。

○委員：この資料を初めて見させていただいて、評価されることは、とても大事だと思うのですが、評価をした後に、その反省点を今後どのように活かすのかということが載ってきていないので、その辺りも職員の方、頑張ってやっつけていらっしゃるので、今後、どのように展開していったらいいのかということも載っているととても分かりやすいですし、つながっていくのかなと思います。

○議長：ありがとうございます。まずは、評価方法。例えば、私の大学では、学生が全く出席しないと成績表にFがつきます。評価できないということですね。失格ということになりますが、今回は、失格という表現ではないと思いますけれども、やはり、別次元で考えて評価できないというところがあった方が、きちんと経年変化も含めて捉え切れるのではないかと思います。その辺はいかがですか。委員からも御意見がありました評価後ということも含めてですが。

○事務局：考え直す時期だと思いますので、その御意見を参考に評価の仕方も第3次生涯学習推進基本計画で考えさせていただきたいと思います。

○議長：是非、違う枠組みで考えていただいた方が、今後にも生きてくると思

います。事務局、お願いいたします。

○事務局：コロナ禍で、委員様が言うてくださったように、行政サービスを提供するために、計画を立てて、できるところは取り組んでいるということの評価いただいていることを皆様にお伝えしたいことと、また、今後のコロナ禍の中で、あくまでもSからEの指数ではなく、事業の達成度合いをはかる、その過程も大事だということ、ただの成果の数だけではないということも伝えつつ、今後の総合評価につなげていきたいというところで、課で共有していきたいと思えます。ありがとうございます。

○議長：委員、どうぞ。

○委員：過程を大事にして評価するということは、お話をいただいたので、分かりました。できれば、これから評価をする時にBが多いので、コロナ禍であっても、評価の高いところがありますので、そういう事例について、皆さんと共有すると良いと思いました。

○議長：これからの5年計画となります第3次生涯学習推進基本計画は、次の審議になります。それでは、第2次生涯学習推進基本計画の5年間の全体評価ということで、事務局から御説明をお願いいたします。

○事務局：第2次生涯学習推進基本計画の5年間の全体評価について説明します。資料1-2は、担当課ごとの第2次生涯学習推進基本計画5年分の事務事業総合評価です。令和元年度までの評価は、多くの事業で総合評価がBとなり、生涯学習の取組みを全庁的に着実に実施できました。また、総合評価がA以上の事業については、年度の上がり下がりはあるものの、令和元年度には、5事業が該当し、高い成果を上げる事業もありました。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面で多くの人々が参集する事業が実施できませんでした。そのような中、リモートの実施、SNSの作品発表、

YouTube の公開や周知方法の工夫など、前向きな取組みが見られました。しかしながら、組織開発推進室の低/低/E の評価を訂正させていただいた上で、コメント欄のまとめとして、評価の妥当性について、コロナ禍においては、災害級の有事ということで、1年間の評価として、D評価は別枠ということを追記して、この5年間の事務事業の評価をまとめました。次に、資料1-1は、成果指標の目標値として挙げた項目で、市民意識調査から、若干、目標値には到達できていない状況もありました。この背景としては、第2次生涯学習推進基本計画において、重点事業と設定した項目を中心に各部署で取り組んだものの、様々な内容で各部署が取組みを進めていたため、全体としての取組みを充実させることができたのですが、市民ニーズを十分に満たすことはできていなかったと考えられます。市民の多くが、生涯学習に関心がある一方で、学習活動に取り組んでいる市民は、限られているという状況が明らかになっていると思います。生涯学習の環境整備は、根気よく継続して取り組んでいくことが大切であると思いますので、第3次生涯学習推進基本計画にもつなげていきたいと思います。こちらは、5年間のまとめとして、生涯学習推進対策本部の会議にも提出したいと思っております。

○議長：ありがとうございます。そうすると、5年間の第2次生涯学習推進基本計画の評価というのは、資料1-1の5項目が軸になるということでしょうか。

○事務局：そうなります。

○議長：皆様から御質問はございますか。委員、どうぞ。

○委員：資料を見せていただいて、ちょっと言葉が抜けているのかなと思います。最初に、言葉のチェックですが、資料1-1の下の文章の中で、真ん中辺りに「全体として取組みを充実させることはできたものの」と

書いてある「充実させる」の「せ」が抜けているのかな。どうでしょうか。それから、まとめとして見た時に、2行目の一番最後から「様々な内容で各部署が取組を進めていたため」とありますが、これは悪いことではないと。様々な方法でやってきて、問題はないのではないかと思います。逆に言うと、その後の文章に「全体として取り組みを充実させることができたものの、市民ニーズを十分満たすことができていなかった」という言い方だとちょっと文章がおかしいのではなからうかと思います。「このような形でやったために、市民ニーズを十分に満たすことができなかった」というような文章の流れでないと。ここに書いてあるように、「様々な内容で各部署が取組を進めていたため」と書いてあると、それは結構ではないかと。けれども、この文章と最後の「市民ニーズを十分に満たすことができていなかった」の文章がぶつかるので、うまく流れができていないのではないかと。そのところは、文章を直した方がよろしいのではないかと思います。それからもう1つ。目標の数字だけれども、目標の前のところは、計画時の現況、目標、実績と書いてあります。特に（5）のところで、目標は40%であるというふうに考えてあるけれども、どうも一般的に見ると、最低50%とか60%とかいう目標にしなければ、目標は低いのではないかと思われてしまうのではなからうかと思います。この文章は、分かる人には分かるのでしようけれども、目標は40%ですというのは、ちょっと低いのではないかと思います。それは、昨年、その前の年が32.9%だから、これよりも高い値を目標値に捧げたという、そういう見方をすれば、見えないこともないけれども、難しいことだろうけども、目標40%というのは、「32.9%だから次の年は40%にしましょう」というような形の流れで書かれているとすると、目標というものがあやふやになって、読む人が「たかだか40%か」というような見方にな

ってしまうので、この辺も、少し注意された方がいいのかなと思います。私が初めて見ても「目標はこんなに低いの」と、そういう形になってしまうので、そこら辺も何か工夫する必要はあるのではなかろうかと思います。

○議長：ありがとうございます。おっしゃるとおり、「ものの」という言葉が2回書かれているところと、目標設定について、事務局からコメントをお願いいたします。

○事務局：御意見ありがとうございます。「(5)生涯学習推進体制の強化」のところとあわせて、その文言の下部のところですが、確かに、文章がつながりません。失礼いたしました。御指摘ありがとうございます。「各部署が取組を進めていたため、全体として取り組みを充実させることはできたものの」というところで、全体としては、目標の数値には、取組ができなかったというところで、含まれた分で訂正させていただきます。それと、実績を鑑みて、令和元年度の目標値が低いということですが、こちらは事前に、計画を立てた時に、目標値を40%と設置しているところなので、そちらもお含みいただければと思います。

○委員：「さる」と文章を間違えていたのは分かりますか。それから、「様々な内容で各部署が取組を進めていたため」というのは、必ずしも悪いことではないので、後で文章を直していただければと思います。

○議長：いかがですか。委員、どうぞ。

○委員：目標の数字ですが、私も勉強不足で、どういう風に決められたのかは、よく分からないのですけれども、この数値目標を見た時に、計画時の現況と実績から見ると、32.9%から40%に数字を上げるのは、すごいことだと思います。私は、子育てをしていますので、例えば、子どもの成績が90点だったら、「次の目標は92点だね」というふうに言える

と思いますが、子どもの成績が30点の時は、「次の目標は90点だね」なんて言ったら、やる気をなくしちゃうと思います。例えば、この計算だけ、ここ3か月間頑張ってやれば、次は40%に行けるかなというふうに私は思います。確かに、40%は一般的に考えると低い数字だと思います。でも、今までの実績から考慮すると、結構、高い目標だと思います。逆に言うと、何を改善したら、この数字を達成できるのかと疑問に思います。

○議長：いかがですか。

○事務局：御意見としていただきます。第3次生涯学習推進基本計画を立てた時にも、第3次生涯学習推進基本計画の冊子にも、既に、令和元年度の目標のところでは40%ということで、位置付けておりますので、御承知いただければと思います。

○議長：この目標というのは、どういう場で決められるのでしょうか。この40%にしようとか、50万人にしようとかというのは。

○事務局：第2次生涯学習推進基本計画から第3次生涯学習推進基本計画の時に、今いらっしゃる委員様もいらしているとは思いますが、アンケート、パブリックコメントの御意見も取り入れて、委員様の御意見も取り入れての目標値かと思います。

○議長：この審議会でも諮っている数字ということですね。委員、どうぞ。

○委員：先程も申し上げたのですけれども、評価をまとめるということは、とても大事だと思うのですが、目標を立てて、先程の評価をしたところで、やはり、この目標を達成するために、どうしたらいいかということが話し合われて見えてこない、評価をする意味がないと思います。ですから、その辺もここに載ってくるといいのですが、こういう方針で第3次生涯学習推進基本計画に向かっていくというのが、この資料からは見られないので、その辺りまで皆さんで考えられたらと思いま

す。

○議長：おっしゃるとおりです。実績が出ているものをどういう風に克服する  
というか、どういう風にプラスに変えていくかという、その辺りは、  
どのように反映されていくのでしょうか。

○事務局：同じことになってしまうのですが、生涯学習に関する市民意識調査、  
平成28年度、令和元年度と市民意識調査も行っておりまして、その  
中の問いにある中に5つの柱が反映されているというところで、数  
値の目標設定をします。

○議長：委員の御質問は、実績が載っているものの、どういう風にすれば、目標  
達成に向かって進んでいけるのかというような、そういったコメント  
なり、それがここだということが、この資料からは垣間見ることがで  
きないので、それをどういう風に表現していくかというところですが、  
それを踏まえた上で、第3次生涯学習推進基本計画があると思うので  
すが、いかがですか。

○事務局：第3次生涯学習推進計画の中では、重点目標として、ピックアップ  
してありますので、それを踏まえて、委員様の御意見をいただき、  
改善をしていければと考えております。

○議長：第3次生涯学習推進基本計画の中でレビューされているということでは  
すか。第2次生涯学習推進基本計画に関しては。

○事務局：昨年度の計画を担当していましたので、計画の数値を証明させてい  
ただきたいと思います。今回、特に疑問に上げられたところで、市  
民意識調査の施策の評価の値について、もう少し高い方がいいので  
はないかという御意見がございました。まず、市民意識調査ですが、  
つくば市の国際化の取組みなど、全体で40項目程あります取組みの  
一つに「生涯学習についてどう思いますか」という質問があります。  
参考までに、多くの設問で大体50%ぐらいは、「分からない」と回

答をしている方がいらっしゃる状況です。「不満」、「やや不満」とする回答が、大体1割から2割というようになっておりますので、多くの方は、生涯学習について聞かれても答えられないという方が多いという状況です。そういった部分で、まずは、確実にその生涯学習の取組みを知っていただき、それをさらに良いと思ってもらうという形で数値目標を考えて、40%にさせていただきたいというふうに考えておりました。また、計画全体としては、平成28年度と変わらないのではないかとと思われるかもしれませんが、第2次生涯学習推進基本計画の反省としまして、先程、お話がありました部分を補足させていただきますと、こちらは、各課で目標を持っていますので、こういうことをやりましょうということで進めていきましたが、やはり各課にもそれぞれ目標があるという状況もありましたので、全体として、つくば市の生涯学習をどう盛り上げていこうという視点が十分になかったことが我々の反省点です。生涯学習推進課として、その音頭が取りきれていなかったところがありまして、文言を入れさせていただいたという経緯があります。計画の実施、目標値の設定についての考え方ですが、「まずはしっかりと取組み、足場を固めていこう」と5年間十分に組み立てなかったところを反省して、「できる限り生涯学習を盛り上げていこう」、「当初の目標は、確実に達成していこう」というところで、このような目標値を設定させていただいております。あくまで目標値でありますので、それを上回る成果は、当然、我々としても出していかねばならないという認識でいるところです。そういった形で、評価の値などを設定させていただきました。数値目標の設定の中で、実際、第2次生涯学習推進基本計画と変わらない目標になっていますが、そういった趣旨で作成させていただいているということで、

お話をさせていただいたという経緯がございます。以上、補足をさせていただきます。

○議長：よろしいですか。どうぞ。

○委員：何故、私が評価後の今後の改善点について、表記があればいいなと思うかと言いますと、私は協議会の代表として来ておりますので、職員の方が、この目標を達成するために、「ああしたい。こうしたい。」ということが、ここに見えていれば、協議会として協力できることがあるかもしれないというところも見えてくると思います。やはり、横のネットワークが、広がっていくのではないかなど。今まで実現できなかったことが、できるようになるのかもしれないというところも期待をしていますので、そこのところを御一考願えればと思います。

○事務局：御意見にもありました評価に対する反省というところで、次にどうしていくかという話がありましたが、第3次生涯学習推進基本計画では、数値による目標ということで、このような事業で何かやるということを委員の皆様にもお示ししているかと思うのですが、その裏側では、計画にも書かせていただいているとおり、「評価の観点」で、それぞれの事業については、こういうことをこの5年度間で進めていきたいというところで、事業概要や各課に対しては、このような形でどうでしょうという形で調整させていただいています。そういった部分で、この5年度間で目指してあるギャップ、例えば、今日もオンラインで審議会を開催させていただいておりますし、第3次生涯学習推進基本計画でも、「オンライン講座に取り組んでいきます」と宣言させていただいておりますが、まだまだ技術的に追いつかない部分があり、実際は参加者も会場に来たいとか、オンラインでやりたいけれど、オンラインのやり方がそもそも分からないなど、既にいろいろな課題がこの半年、この計画を受けても

出てきている状況ではありますので、例えば、オンラインの講座に取り組むような環境を作ることも必要ではないかと思います。また、「評価の観点」では、大きな目標を立てながら、取り組みを進めている第3次生涯学習推進基本計画の各事業になっています。そういった部分で、市役所がすべてを行うことは、生涯学習推進基本計画の中では、不可能だとは考えております。先程、協議会の御協力も是非との話がありましたので、我々もお力をお借りできるのであれば、御相談させていただきたいと思っておりますし、我々自身、至らない部分が正直あると思っておりますので、そういった部分で、お声掛けをいただければ、我々としても、お互いに取り組みたりしますので、協力や連携を深めていく機会を間口は狭めずに広げて設けていきたいというふうに考えております。ただ、それが市民の皆様や審議会委員の皆様には見えづらいことは、確かにあります。これから具体的に第3次生涯学習推進基本計画の中身に入りますが、このように管理した方がいいのではないかと御意見をいただきながら、修正を加えていければと思っております。第3次生涯学習推進基本計画は、状況に応じて、うまく柔軟に対応できるような形で策定させていただきましたので、是非、委員の皆様の御意見を踏まえながら進めさせていただければと考えております。

○議長：ありがとうございます。委員、どうぞ。

○委員：話が後に戻って申し訳ないのですが、先程の目標値は何%とありますが、例えば、プラスで出したらどうですかということをおもいました。40%ではなくて、32.9%から10%プラスするとか、全部統一するかどうかかなと思いました。

○議長：いかがですか。この何%という数値とは別に、プラス何%、何ポイント上げましょうというのは。そういう考え方もあるのではないかとこの

とですけども。委員、どうぞ。

○委員：先程、事務局の説明ですと、32.9%という数字は、アンケートの答えの中で、半分ぐらいの方の「分かりません」という答えを除去して、さらに1割か2割不満があるということを除いて、残った数字が32%というふうに考えると、上の4つの評価がすごく分かりやすくなりました。人数とかは統計しやすいのですが、質問の仕方によって変わってくるのではないかと聞きながら思いました。

○事務局：市民意識調査に関しては、例年、同じ形態でしておりますので、アンケートの文言が大きく変わるということはないと考えています。例えば、先程、申しあげました国際化や交通安全、そういった事業も実は同じように、全体で40から50項目くらいあったと思います。その中の1項目に入っており、丸をつけづらいというところは、調査票の形式ではあるのですが、一方では、我々の課が設置されている理由というところでは、生涯学習を盛り上げていかなければならないというのは、目標あるいは使命だと思います。幾項目もあり、お答えづらいというのが正直あるのですけれども、市民意識調査以外にも生涯学習の調査は5年に一度実施しておりますので、そういった部分でより詳しく、その状況を把握できるような形で役割を分けまして、その裏側にある事情や背景は、意識調査で明らかにできたらというふうに考えております。

○議長：様々なコメントいただきまして、ありがとうございます。第2次生涯学習推進基本計画単体ということではなくて、第3次生涯学習推進基本計画をどういう風に評価していくかというところもありますので、まとめてやった方が効果的というふうに思いました。第3次生涯学習推進基本計画の御説明をお願いできますか。

○事務局：それでは、資料5を御覧ください。第3次生涯学習推進基本計画で

は、重点事業を精査したことから、それぞれの達成状況について、進捗状況調査票を作成しました。こちらで進行管理を行うこととなります。方向性については、34 事業を評価しております。次に、事業ごとに評価の観点を決めまして、翌年度の初めに、事業の取組みを各担当課と生涯学習推進課で評価をいたします。評価の観点とは、第3次つくば市生涯学習推進基本計画の基本理念を実現する上で、各事業で特に達成に図る内容を掲げました。数値による目標だけでなく、数値以外の観点を設定することで、生涯学習の取組みをより多面的に把握できると考えました。続いて、進捗状況の点検評価ですが、基本的に有効性・効率性で、総合評価としますが、新型コロナウイルス感染症等で事業の中止が続く場合など、社会状況を見ながら、その都度、柔軟な対応を検討していきたいと思っています。こちらは、基本理念であります「つながる 広がる つくばの生涯学習」の実現に向けた調査票の内容を設定しました。なお、10月27日において、生涯学習推進本部会議を庁内で開催いたしますので、第3次生涯学習推進基本計画について実施状況を報告してよろしいかお伺いします。

○議長：第3次生涯学習推進基本計画には、それぞれ個別の事業があり、それに対する評価の観点ということで、事業計画と数値目標が書いてあるということですね。これは、先程、委員の御発言にもつながると思いますが、これまでの評価の結果を考えた上で、このような評価の観点が浮かび上がってきているということで、よろしいですか。

○事務局：まちづくりの基本的な指針の2点、未来構想等、つくばを力に未来を作るという基本理念を掲げられたもののほか、人と人がつながり、よりよい社会を作り出す力である社会力育成が盛り込まれたものを重点において、取入れたというところでございます。また、そ

の生涯学習の成果を事務局からも説明があったように、成果を生かすために地域や協議会様の協力、社会の課題に少しでも挑戦して、つくば市の地域をさらにより良いものにする事で、この目標を設定したということでございます。

○議長：ここでは、評価の仕方、進捗管理の仕方を委員の皆様にお諮りするという事によろしい訳ですね。質問やコメント等がございましたら、お願いします。委員、どうぞ。

○委員：図書館の利便性の向上事業で、閉館時間を午後5時から午後7時にというところがあるのですけれども、私は東京出身ですが、確か図書館は夜9時くらいまで開いていたかと思います。今までこちらの図書館を利用することはあまりなかったもので、午後5時までということに逆にびっくりしております。それでも夜7時まで延長されることは、とても良いことだと思っております。ですが、部活を終えた高校生とかは、夜7時で閉まってしまうと、図書館の利用は難しいのかなと思ったりします。私も高校生くらいまでは図書館を利用できていたので、将来的に夜9時くらいまでを目標にさせていただきたいなと思っております。これは意見というよりも願望です。

○議長：いかがですか、どうぞ。

○事務局：御意見、願望を頂戴いたしました。付け加えて、図書館の計画の中に盛り込まれていますとおり、市内に48か所のステーションを設けているということで、火曜日から土曜日に児童図書館車を2台使って巡回したり、また、貸出・返却等のサービスも行い、2週間に1度の頻度で今年度は循環をしますということで、かなり市民サービスに向けては、取り組んでいると思っております。補足でございますが、よろしく願いいたします。

○議長：令和3年度事業計画ということは、もう既に実行に移っているものも

多くあるということですよ。他の御意見、ございましたら、お願いいたします。委員、どうぞ。

○委員：この計画自体に関しては、以前の会議の内容も反映されているところもたくさんありますし、本当に諮って良いと思います。先程、図書館の話が出まして、その続きですが、今、学校、教育現場で、教育の格差という言葉が出てきています。家庭環境によって、子どもの学力が変わってくるという話も出てきます。そういった意味で、図書館は非常に重要な存在になってきます。私の子どもたちも学校に図書館の移動車が来る日は、朝からワクワクして、楽しみにしていて、カードを用意して、学校に行ったりしています。図書に関しましては、今の本とかは、廃版するのが早いですよね、中古で購入していても見つからないことがたくさんあるので、そういった意味でも、図書館は非常に貴重な存在で、古い本だから処分するのではなくて、それは、図書司書さんが誰よりも詳しいと思います。永久保存版だって、あってよいということですね。逆に、家にはない本は中古の本を探してもない本であれば、図書館を利用するというのも一つの方法だと思います。もう一つは、共働きがほとんどになってきた時代で、例えば、料理本とか、昔の専業主婦が多い時代の手間暇かけた料理本をたくさん見かけると、古いなというふうに感じます。そういった意味で、ライフスタイルに合った新しい本を購入しつつ、古きよい本を補完しつつというのがよいと思いますので、この場をお借りして要望を言わせていただきます。

○事務局：委員様からの御意見も頂戴しつつ、先程の中央図書館の計画の中でも新年度新たに地域交流センター4か所にブックポストを設けておりますので、図書の選定方法等も御意見を頂戴して、中央図書館の職員に伝えたいと思っております。

○議長：委員、どうぞ。

○委員：令和3年度分は半分以上過ぎてしまったので、次の年度に少し考慮していただければと思いますが、やはり、最初に目につく図書館のことですけれども、中央図書館しかないというところが、つくば市のネックで、他のところで、交流センターとか、小さな図書室がありますけれども、そこは本当に図書室であって図書館ではないということが一つ。それから、生涯学習ということで考えていくと、生涯学習は、小さな子どもから高齢者までなんですね。それで、本の返却に関しては、各地域交流センターにブックポストがあって、返すことはできるのですけれども、借りるということになると、この市内48か所に本の車が行くと言っても、ほとんどが小学校とか、そういうところにしか行かない。そうすると、例えば、私が住んでいるのは、地区の南の端になりますけれども、そこから本を借りたいと思っても、自分で出向いていくことができなくなった場合、借りたい本があっても借りられないということになります。このコロナの時に、図書館にあまり行けないので、ネットで予約をして、「予約がOKになりましたよ」って言えば、私の場合だと、交流センターに取りに行きますけれども、それを、足腰が弱くなった高齢者が気軽に本を借りられるように、有料でもいいですから、本を届けるというか、本を届けるシステム、そして、返すのは、それこそちゃんと2週間、もうこの日に取りに行きますみたいなのも構いませんけれど、これからは、その外に出られない人に対しても、こういう図書という文化的なサービスをどう届けていくかというところをこれから考えていただければと思います。

○事務局：図書館のサービスについて、今、図書貸出サービスと言いまして、宅配便を使いまして、市からお送りすることができるようになっていきます。開館時間の延長も今、それこそ夜9時とか、長い時間を開けるとなると、やはり外部委託みたいな形で行っている自治体が多い

のですが、つくば市では市の職員が積極的に関わるという形で運営しております。

○議長：ありがとうございます。少し時間が過ぎてしまっていますので、どうしてもという方は是非。委員、どうぞ。

○委員：これは、お願いですけれども、例えば、資料3の15ページにスポーツ教室事業があります。おそらく、これも正常な状態で、こういうことができたなら、今回のコロナ禍のように、目標が書かれて、事業計画が掲げられて、コロナ禍のようなイレギュラーな状態が生じた時に、評価はまた、今年の表現で言えば、D評価になってしまう。そこで、お願いしたいことは、おそらく、スポーツ振興課だけではなくて、他の部署も全部自分たちが何をやるかといったら、イベントをするということを中心に考えていらっしゃる。今回のように、イベントができなかった時にどうしようかって。そこまでなかなか考えが至っていない。これは、他の部署も全部一緒だと思います。その時に、多分、生涯学習推進課の皆さんが、一緒になって、実現できない時に何をしましょうかというようなことを一緒になって考えるとか、意見を交換し合うとか、そういうことができたなら、おそらく、このイレギュラーな時期に対応することが可能になるのではないかと思います。すべてのジャンルに、生涯学習推進課が関わらなければいけないことは、大変なことだと思うのだけれども、是非、その関わりを持ちながらやっていただくことをお願いしたいと思います。

○議長：よろしいですか。

○事務局：御意見ありがとうございます。まさに委員様もおっしゃってくださるように、生涯学習を推進・振興するためには、とても大切なことだと思いますので、委員様の御意見をいただきつつ、総合的な御意見、また、生涯学習を推進するために必要な御意見等を頂戴しつつ、

よりよいものを進めて各事業を周知しつつ、総合的なものに仕上げ  
ていければと思っております。

○議長：コロナ禍にあつて、柔軟に御対応いただけるということですね。他に、  
御意見がありましたら、どうぞ。

○委員：全体でよろしいでしょうか。資料3の20ページですが、平成28年度  
から令和2年度までの計画・実績・成果課題ということで、掲載され  
ていると思います。まず、つくば市体育協会へ補助金交付、体育施設  
使用料の減免。平成28年度から令和2年度まで実施されているという  
ことで、一つはこの体育施設使用の減免というのは、どなたがどのよ  
うに使用した場合に減免されるのか、分かる範囲でお答えをお願いし  
たいと思います。それから、もう一つ。令和2年度から体育協会がス  
ポーツ協会になったということで、会計処理の透明化や事業規模の拡  
大というような謳い方をしているかと思えますけれども、これは法人  
化して、透明性を期待して実施されていたかと思えます。改めてこの  
令和2年度において、法人化をして、会計の透明化と謳い込む必要が  
あるのかどうかを確認したいと思います。

○議長：今の点は、いかがですか。1つ目の減免のところと、スポーツ協会に名  
称を変更して、透明化をしたということですけども。

○事務局：減免の内容は、例えば、使用する場合に、どのような場合に、減免に  
なっているのかの詳細については、ある程度、例えば、高齢者団体  
とか、免除団体の定めがありますので、そういった規則に定めてあ  
る該当者が免除されるということです。

○議長：もう一つは、スポーツ協会の法人化への透明性の確保ということなの  
ですけども。委員、どうぞ。

○委員：直接の当事者ですので、お答えします。体育協会からスポーツ協会に  
名称を変更しました。これは組織替えを含めて、すべてを変えていこ

うということがあって、体育協会からスポーツ協会という名称を変更いたしました。体育協会のままでもよかったですけれども、基本的には、組織を変えることによって、中身も変えたい、そして、そこで働く皆さんの待遇改善等も含めて検証・検討していきたいということがあって、法人化に踏み切りました。結構、大変な作業でした。今回、退職を迎える方がいて、そこを含めて、法人化になったことが、大きな問題をはらんでいて、いろいろなことを今やりとりしているのですが、基本的には、組織を変えることによって、新たな取組みをやっていこうというふうに考えました。残念ながら、今回、コロナのために、組織を改変して、名称も変えたにも関わらず、すべての計画をしているイベントが全くできなくなりました。そこで、本当に今、辛い思いをしているのですけれども、コロナ禍のようなイレギュラーな時期にも強いスポーツとか、そういったものをやっとな検証しようという段階に入っています。そういうことを含めて、特段、何をするためにではなくて、さらに市民の皆さんにスポーツを通して、幸せになってもらうために、何を提供できるかということ向上させるために、法人化にあえて踏み切りました。法人化になった理由は、以上でございます。

○議長：時間も随分過ぎてしまっていますが、これはというものが、もしございましたら。委員、どうぞ。

○委員：どうしても聞きたいことがあります。資料2の令和2年事務事業評価一覧に、児童館の運営、児童クラブとあります。その中で、建物がどんどん建てられて、すぐに整備されていたのですが、その職員たちの研修とかについては、次回でも結構ですので、教えていただけるとありがたいです。

○事務局：後ほど、御回答させていただければと思います。

○議長：委員、後ほどということで、よろしいでしょうか。

- 委員：御意見・御質問シートにも書きましたので、よろしくお願いします。
- 議長：他には、いかがでしょうか。それでは、本日の議事進行は終了させていただきます。事務局に進行をお返ししますので、よろしくお願いします。
- 事務局：会長、ありがとうございました。それでは、その他で、何か皆さんからございますでしょうか。
- 委員：今回、委員の方が代わられたということでしたら、新しい委員の方を含めた名簿などを審議会の際に提出いただければ、ありがたいと思います。よろしくお願いします。
- 事務局：今回、用意しておりますので、お帰りの際にお渡しできればと思います。
- 事務局：委員様から御意見をいただいた、前回の御意見・御質問シートの回答ということで、資料2を御覧になっていただければと思います。そちらにこども育成課より回答をいただいております。読み上げさせていただきます。「40人の児童クラブ員に対して3人の放課後指導員を配置して、見守り・遊びの指導をしています。その他、児童館の運営においても、児童館に対しては放課後指導員を追加配置して、見守りや遊びの指導をしています。その他、障害を持つ特別な配慮を必要とする児童に対しても、児童館の要請に応じて、加配の職員の配置を重点的に行っています。」ということです。
- 委員：ありがとうございました。私が申し上げたかったのは、加配配置の人数を増やす事も大事ですが、指導員の方が今困っていることは、発達障害等の子ども達にどう対応していけばよいか難しいということです。児童館の施設の充実も大事なのですが、指導員全員の指導力向上のための研修を進めていくことが必要だということです。そのことをお伝えしたかったのです。発達障害等の子ども達にとって、多くの指

導員に自分の困り感が理解され、適切な指導が受けられることで、児童館が安心な居場所になるのだと思います。また、児童クラブや児童館での子ども達への指導が、学校での指導にも大きな影響を与える事も重要です。

○事務局：承知いたしました。お伝えいたします。

○事務局：他にございませんでしょうか。それでは、次回の審議会の開催予定ですが、年度末頃になる見込みです。議題としましては、第3次つくば市生涯学習推進基本計画の進捗管理等が議題になるかと思えます。それでは、閉会にさせていただきます。本日は、長い時間ありがとうございました。

## 5 閉会

## 第 2 次生涯学習推進基本計画 成果指標と目標の設定について

● 第 2 次計画では、施策の柱ごとの成果指標と目標は以下のとおり設定してあります。

目指す姿	成果指標	計画時の現況 (平成 28 年度)	目標 (令和元年度)	実績 1 (令和元年度)
<b>(1) 個人の自立に向けた学習機会の提供</b>				
個人の自立に向けた学習機会の提供により、生涯学習へ関心をもつ市民を増やす	生涯学習に取り組んでみたい人の割合	78.3%	80%	78.1%
<b>(2) 生涯学習環境の整備</b>				
情報提供や相談など生涯学習環境整備により、生涯学習に取り組む市民を増やす	実際に学習活動に取り組んだ人の割合	52.6%	60%	57.9%
<b>(3) 生涯学習関連施設の充実</b>				
生涯学習施設の充実や利便性の向上により、施設を利用して生涯学習に取り組む市民を増やす	地域交流センターの利用者数	483,885 人	500,000 人	506,845 人
<b>(4) 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供</b>				
人との絆や地域との結びつきを深める学習機会の提供により、その成果を社会に還元する市民を増やす	自分の学習成果で社会に貢献したい人の割合	54.7%	60%	49.6%
<b>(5) 生涯学習推進体制の強化</b>				
全市的な生涯学習推進体制の強化により、生涯学習の取組への市民評価を高める	市の施策のうち、生涯学習に満足/どちらかといえば満足な人の割合	32.9%	40%	32.8%

実績 1：(1)(2)(4)は生涯学習に関する市民意識調査※。(3)は市民部文化芸術課提供資料。(5)はつくば市民意識調査(令和元年(2019年)事業)を参照。

※市民意識調査 1回目：H24(第1次計画 H18～H27) 2回目：H31(R元年度)(第2次計画 H28～R2) 3回目：R6(第3次計画 R3～R7)

生涯学習は、個々人の自己実現を図る学習活動であるとともに、地域社会の様々な課題に対応し解決していく役割も求められていることから、生涯学習の推進に当たっては、生涯学習・社会教育関係部局だけでなく、総合行政として市の全部局で取り組んできました。

また、市民一人一人が健康で楽しく生きがいを持って暮らせるよう、生涯学習関連事業を体系的かつ効率よく推進するため、生涯学習推進基本計画を策定し、市民の生涯学習活動を進め、それぞれは目標に向け、実行できたと評価されます。しかし、成果指標の実績では、市民意識と事業成果が一致していない状況がみられます。今後、それぞれの事業が市民ニーズと一致しているのかを探るとともに各事業が生涯学習の一つとして実施されているとのことの周知を図る必要があると考えています。

第3次計画は、個別の事業は内容を個々に見直し、教育大綱における2つの方向性に対応する内容、かつ、生涯学習に関する市民意識調査の結果を踏まえた市民ニーズの高い分野を優先に取り組むこととします。

## 第 2 次生涯学習推進基本計画 事務事業進捗評価まとめ

● 事務事業評価は、担当課で事業ごとに有効性と効率性を評価して算出しました。

年度	評価 事業 数	有効性/効率性 総合評価									その他 ※ 新型コロナ ウイルス感 染症感染拡 大の影響に より
		高 / 高 S 成果・費用対 効果を維持 して継続実 施	高 / 中 A 成果を維持 して継続実 施	中 / 高 A 費用対効果 を維持して 継続実施	中 / 中 B 成果・費用対 効果の向上 に努めつつ 継続実施	高 / 低 C 成果を維持 し費用対効 果を向上さ せる必要有 り	低 / 高 C 費用対効果を 維持し成果を 向上させる必 要有り	中 / 低 D 費用対効果を 向上させる 必要有り	低 / 中 D 成果を向上 させる必要 有り	低 / 低 E 事業の抜本 的な見直し の必要有り	
28	77	2	0	1	74	0	0	0	0	0	
29	73	0	1	0	71	0	0	0	1	0	
30	73	0	2	0	71	0	0	0	0	0	
R1	73	0	0	5	68	0	0	0	0	0	
R2	73	0	1	0	59	0	2	0	—	0	11

第2次計画では、個別事業について各担当課による評価を毎年行い、その評価の妥当性を生涯学習推進本部及び生涯学習審議会において、審議しています。個別事業は、市で行う事務事業の計画・実施・評価・改善のマネジメントサイクルを運用し、継続的改善に取り組み、効率的かつ効果的で質の高い行政サービスの提供に資するために実施している事務事業評価をもとに評価を行っています。評価は、事業の達成度合いをはかる有効性と、得られた成果に対して費用対効果が高かったかをはかる効率性の2つの観点から行い、その評価の組み合わせにより、総合評価を行っています。平成29年度分以降は事業内容を見直し・統合を進め、全体で73事業に絞り込み評価を実施しています。その結果、令和元年度までの評価は、多くの事業は総合評価Bとなり、生涯学習の取組を全庁的に着実に実施できました。また、総合評価がA以上の事業についても、年を追うごとにその比率は増加し、令和元年度には5事業が該当し、高い成果を上げる事業もありました。令和2年度の総合評価については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、対面や多くの人が参集する事業が実施できませんでした。そのような中、リモートでの実施、SNSでの作品発表、動画共有サイトでの公開、また、周知方法の工夫など行うことで実施できたものもあります。

令和2年度のその他※については、新型コロナウイルス感染症が感染拡大していた状況の中であり、事業の中身、過程を大事に評価してほしい、評価することが困難であるとの意見を生涯学習審議会にいただいたことから、計画を工夫しながら方法を考え試行錯誤しても、実施することができなかった事業については、「—」で表記しました。

施策の柱 施策の方向性 ◎:重点事業	① 方向性ごとの達成状況と課題 評価者:生涯学習推進課 評価:A計画以上に進んでいる、B計画どおり、C遅れている	施策 評価	頁	内容	担当課	事務事業名	② R02年度事務 事業評価				(参考) 事業番号				
							有効性	効率性	公平性	透明性					
<b>1 個人の自立に向けた学習機会の提供</b>															
(1) ライフステージに応じた学習機会の提供	①家庭教育支援の充実	B	1	家庭教育学級への指導・助言、講演会等の開催	生涯学習推進課	家庭教育学級支援事業	中	中	B	1					
				地域子ども・子育て支援事業の推進	こども政策課	子育て支援拠点事業	中	中	B	2					
	②青少年の健全育成	B	2	青少年の健全育成活動の推進	生涯学習推進課	青少年健全育成事業	中	中	B	3					
				放課後子供教室	こども育成課	放課後子供教室推進事業	中	中	B	4					
				児童館運営、児童クラブ	こども育成課	児童館運営事業	中	中	B	5					
				自ら学び、自ら考える力を育てる教育の推進等	学び推進課(教育指導課)	学習指導助言事業	中	中	B	6					
	③成人のキャリアアップ	B	5	男女参画に関するセミナー	男女共同参画室	男女(ひとひと)セミナー事業	中	中	B	8					
				つくば市ふるさとハローワーク	産業振興課	雇用促進対策事業	中	中	B	9					
	④高齢者のいきがい対策	B	6	高齢者向けの社会活動の支援	高齢福祉課	高齢者生きがい活動支援事業	低	-	-	10					
						高齢者労働能力活動事業費補助	中	中	B	11					
						健康福祉課(いきいき健康スポーツ大会)	低	-	-	12					
						シルバークラブ育成事業	中	中	B	13					
						介護支援ボランティア	地域包括支援課	介護支援ボランティア事業	中	中	B	14			
	(2) 現代的課題解決のための学習機会の提供	B	7	竹園高校クロスリキラム	持続可能都市戦略室	まち・ひと・しごと創生事業	中	中	B	16					
				更生保護事業	市民活動課	更生保護事業	中	中	B	17					
B		8	チャレンジアートフェスティバル、スポーツ教室等	チャレンジアートフェスティバル	障害者地域支援室	チャレンジアートフェスティバル事業	中	中	B	18					
				おひさまサンサンフェスティバル	障害者地域支援室	おひさまサンサンフェスティバル事業	中	中	B	19					
				体験乗馬療法事業	障害者地域支援室	体験乗馬療法事業	中	中	B	20					
				障害児スポーツ教室事業	障害者地域支援室	障害児スポーツ教室事業	中	中	B	21					
				出前講座「みんなの安心介護保険事業」	介護保険課	介護保険事務	中	中	B	22					
				出前講座「認知症サポーター養成講座」	地域包括支援課	認知症サポーター養成事業	中	中	B	23					
				(3) 社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習機会の提供(就業支援学習を含む)	B	8	出前講座「みんなのあんしん介護保険講座」を通して、介護保険制度の理解を深めていただく機会を提供できた。	介護保険課	介護保険事務	中	中	B	22		
							また、認知症サポーター養成講座では、数多くの認知症サポーターを養成することができた。特に小中学生といった若い世代への啓発ができたことは有意義であった。また認知症サポーター養成講座を受講し、見守り以外の活動を希望されるサポーターに対し、ステップアップ講座を受講してもらうことにより、認知症カフェのボランティアとして活動していただいたり、啓発活動等へ参加いただいた。	地域包括支援課	認知症サポーター養成事業	中	中	B	23		
<b>2 生涯学習環境の整備</b>															
(1) 相談体制の整備	B	9	研修の充実等による社会教育指導員の相談能力の向上	生涯学習推進課	家庭教育学級支援事業	中	中	B	1						
			(2) 学習意欲を高めるための啓発活動	B	10	広報・ホームページの活用	広報戦略課	広報・ホームページの活用	中	中	B	24			
						ホームページの運用・管理	広報戦略課	ホームページの運用・管理	中	中	B	25			
						ACCS・ラヂオつくば広報活用事業	広報戦略課	ACCS・ラヂオつくば広報活用事業	中	中	B	26			
			(3) 学習成果を活かす支援と指導者の養成	B	11	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	企画経営課	つくば市OB人材活動支援事業	低	-	-	27			
						生涯学習推進課	生涯学習指導者情報提供事業	中	中	B	28				
						学習成果発表会(市民文化祭)の充実	文化芸術課	つくば市民文化祭開催事業	中	中	B	29			
			<b>3 生涯学習関連施設の充実</b>												
			(1) 市民同士が交流できる施設の充実	B	12	地域交流センターでの学級・講座の充実	文化芸術課	地域交流センター主催事業	中	中	B	15			
						(2) 図書館機能の充実	B	13	図書館事業とボランティアとの連携・協力の推進	中央図書館	図書館ボランティア事業	中	中	B	30
図書館事業に関する広報「ヨモツカ」の充実	中央図書館	図書館の広報充実事業							中	中	B	31			
既存施設における機能充実	中央図書館	調査・研究の支援事務							中	中	B	32			
	中央図書館	図書館及び視聴覚センターの維持管理事業							中	中	B	33			
地域交流センター図書室との連携	文化芸術課	オンライン地域交流センター図書室運営事業							中	中	B	34			
(3) 芸術・文化にふれあう施設の充実	B	14							既存施設における機能充実(ノバホール・カピオ)	文化芸術課	ノバホール管理運営事業	中	中	B	35
										文化芸術課	つくばカピオ管理運営事業	中	中	B	36
									文化施設における公共施設予約システムの導入の推進	文化芸術課	市民ホール管理事業	中	中	B	37

施策の柱 施策の方向性 ◎:重点事業	① 方向性ごとの達成状況と課題 評価者:生涯学習推進課 評価:A計画以上に進んでいる、B計画どおり、C遅れている	施策 評価	頁	内容	担当課	事務事業名	② R02年度事務 事業評価				(参考) 事業番号
							有効性	効率性	公平性	透明性	
<b>4 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供</b>											
(1) 健康・スポーツ・レクリエーション活動の推進	ふれあいプラザの活用においては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を休館した期間があったためフィットネスプールの利用者は減となった。 スポーツ教室では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に臨機応変に対応することで、計画の半数以下ではあるが教室を開催できたことは大きな成果であると考えている。 学校施設開放においては、新型コロナウイルス感染症対策への対応をしつつ、小学校34校開放、中学校11校開放、義務教育学校2校開放、延べ490団体が活動できた。	B	15	スポーツ教室等の充実	スポーツ振興課	スポーツ教室開催事業	低	-	-	38	
				ふれあいプラザの活用	文化芸術課	ふれあいプラザ指定管理事業	中	中	B	39	
				学校施設開放の推進(体育館・グラウンドなど)	教育施設課	小学校施設開放事業	中	中	B	40	
(2) 文化芸術活動の推進	新型コロナウイルス感染症の影響により多くの公演が中止となったが、代替企画としてインターネットでの配信を実施した。今後もオンラインコンテンツの充実を図っていく必要がある。	B	16	文化芸術活動の振興と鑑賞機会の充実、情報提供の充実	文化芸術課	芸術文化公演事業	中	中	B	41	
(3) 文化財の保存と活用	小田城跡歴史ひろば案内所や谷田部郷土資料館、桜歴史民俗資料館で展示資料の追加・改善を実施した。 文化財展示施設・各種文化財の体系化においては、展示施設を更新することで、市民の見学環境の改善につながった。 また、各講座を開催・対応し、市民に郷土の歴史や市内の文化財に興味・関心を持ってもらう場を提供できた。	B	17	各種文化財の保護、調査研究	文化財課	小田城跡確認調査事業	中	中	B	42	
				文化財展示施設・各種文化財の体系化		文化財展示展示施設管理事業	中	中	B	43	
				各種文化財・郷土史に関する講座の開設、専任人材の配置による広報や情報提供の充実		文化財展示講座等事業	中	中	B	44	
(4) 絆づくり・地域づくりにつながる学習機会の提供	地区リーダー勉強会は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い中止になり成果が得られなかった。 地域コーディネーター講習会においては、実施でき、結果、具体的な事例等の紹介があり、講演の内容について、満足という結果を得た。 地域まちづくりでは、専門家の派遣により、勉強会の議論を深めることができた。 防災活動では、防災、減災の意識の向上が図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座の前年度より減少した。 交通安全活動では、各年齢層に即した教室を開催し、交通安全意識の向上が図れた。また、新型コロナウイルスの影響によりキャンペーンは中止としたが、青バトやチラシを利用して、交通安全に関する広報活動を行い、市民の意識向上を図ることができた。 人権教育推進協議会では、年2回開催し、各人権団体が主催する、人権研修会や講演会への参加及び人権啓発ポスターの募集を通じて、人権問題の正しい理解を深め、人権教育の推進・啓発を図れた。	B	18	市職員研修(市民参画に関する研修や学習会への参加)	人事課	職員研修事業	低	-	-	45	
				地区リーダー勉強会	市民活動課	自治会関係に要する経費	中	中	B	46	
				市民活動団体の支援		市民活動センター管理運営事業	中	中	B	47	
				地域コーディネーター講習会、地域デビュー講座	文化芸術課	地域交流センター主催事業	中	中	B	15	
				まちづくり専門家の派遣	都市計画課	地域まちづくり支援事業	中	中	B	48	
				防犯・防災活動への支援(出前講座等)	危機管理課	防災意識啓発事業	低	-	-	49	
				交通安全への支援(出前講座等)	防犯交通安全課	交通安全啓発事業	中	中	B	50	
				人権教育	教育総務課	人権教育推進事業	中	中	B	51	
<b>5 生涯学習推進体制の強化</b>											
(1) 全庁的な連携・協力体制	第2次計画を終え、これまでの取組を検証し、生涯学習推進に向けての新たな「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」の策定をした。	B	19	生涯学習まちづくり推進体制の充実	生涯学習推進課	生涯学習審議会開催事業	中	中	B	52	
				(2) 多様な主体とのネットワーク行政の推進	B	20	社会教育委員会議の開催	生涯学習推進課	社会教育振興事業	中	中
市民の会、子ども会連合会の育成	青少年を育てるつくば市民の会補助	中	中	B			54				
市民との協働講座(人間学講座)	つくば子ども会育成連合会補助	中	中	B			55				
図書館協議会の開催	つくば人間学講座	中	中	B			56				
図書館協議会の開催	中央図書館	つくば市図書館協議会運営事業	中	中			B	57			
体育協会、スポーツ推進委員の育成	スポーツ振興課	つくば市体育協会運営補助	低	-			-	58			
文化協会、文化振興財団の育成	文化芸術課	スポーツ推進委員協議会事業	低	-			-	59			
文化協会、文化振興財団の育成	文化芸術課	文化団体等育成支援事業	中	中			B	60			
アイラブつくばまちづくり補助金	市民活動課	(公財)つくば文化振興財団支援事業	中	中			B	61			
子育て団体等の支援	こども政策課	アイラブつくばまちづくり補助金事務事業	中	中			B	62			
(3) つくばの特性を生かした生涯学習の推進	交流サロンの活用については、多くの催事や展示を行い、科学分野だけでなく、国際交流や健康に関する分野など、様々な内容で市の魅力を発信することができた。なお、新型コロナウイルスの影響により、R元年度以前と比較するとイベントの自粛や利用者が大幅に減少している。 つくば科学フェスティバル事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、科学動画配信に変えて実施することができた。 科学教育マスター事業においては、誰もが科学の街を身近に感じられる科学の街つくばを実現するために新規マスターの開拓が必要であり、体験型科学教育促進事業でも、持続的な学びを推進するための枠組みや支援、そして、小中学生や学校関係者に対する事業の周知が必要である。また、サイエンスカフェの実施に向けては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により会場に人を集めないで実施する工夫が必要で、幅広い研究機関がイベントを主催するような働きかけを図る。 農業体験では、新型コロナウイルス感染症拡大により、イベントが中止となった。 フォレストアドベンチャー、筑波山梅まつりにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により減少となった。 筑波山地域ジオパークにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響により会議やジオツアーなどの多くのイベントが実施できなかったが、学術シンポジウムなど一部イベントは、オンラインで開催することができ、ジオパーク拠点の整備を進めるための基本構想・計画を策定した。 筑波山自然環境教育に係る事業では、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施回数及び募集人数を縮小し、親子で参加する形式で実施することにより、幅広い年齢層の参加者に、豊かな自然を保全する意義を理解していただきながら環境に関する意識の高揚を図ることができた。また、エコクッキング事業においても、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実習形式に加えて講義形式を取り入れ、「カードゲーム」を利用するなど子供たちの関心を高めることができた。 つくばサイエンスラボ事業は、令和2年度より事業名を「青少年体験学習事業」と変更して夏休み期間中に小中学生向けの体験学習事業を実施した。今後も、つくばの特色や資源を活かした青少年体験ができるよう事業展開を図る。 外国人との交流事業や外国人向け講座においても、オンライン(YouTubeライブ配信)での開催にしたことで、遠方に住む人など直接会場には足を運べない人も参加できるようになった。また、アーカイブとしても残せるようになり、より多くの人が視聴可能となった。対面での開催が再開された後もオンライン配信は継続していきたい。また、各学校や幼稚園でのチラシ配布等により周知強化を図ったことで、参加者数は大幅に増加した。	B	21	交流サロンの活用	広報戦略課	シティープロモーション事業	中	中	B	64	
				科学フェスティバル	生涯学習推進課(教育指導課)	つくば科学フェスティバル事業	低	-	-	65	
				イノベーションキャンパスinつくば、イノベーションワールドフェスタ、科学甲子園ジュニア全国大会、つくば科学教育マスター認定	科学技術振興課	次代を担う人材育成と科学技術の理解の醸成事業	中	中	B	66	
				農業体験	農業政策課	都市農村交流事業	中	中	B	67	
				フォレストアドベンチャー、筑波山ビジターセンター、筑波山梅まつり	観光推進課	観光施設維持管理事業	低	-	-	68	
				筑波山地域ジオパーク	ジオパーク室	筑波山地域ジオパーク推進事業	低	-	-	69	
				桜川稚魚放流及び魚捕り体験事業、筑波山自然環境教育事業、エコクッキング事業	環境政策課	筑波山自然環境教育事業	中	中	B	70	
				サイエンスラボ	生涯学習推進課	つくばサイエンスラボ事業	中	中	B	71	
外国人との交流事業、外国人向け講座	国際交流室	多文化共生推進	低	高	C	72					
		国際交流員・留学生交流員事業	低	高	C	73					

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	子育て世代に対して、親としての成長を応援し、子育てへの自信や対処能力を持たせることができるような学習機会や講座を充実するとともに、つくば子ども・							
方向性	(1)	ライフステージに応じた学習機会の提供/家庭教育支援の充実	子育て支援プランと連動した地域全体での子育て支援を推進します。							
関連課	生涯学習推進課	家庭教育学級への指導・助言、講演会等の開催				1頁				
	こども政策課	地域子ども・子育て支援事業の推進								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■家庭教育学級 社会教育指導員が指導・助言を行う※家庭教育学級は参加者自らが企画・運営するもの</p> <p>■家庭教育講演会 学級の枠を超えた学習機会として年3回開催</p> <p>■家庭教育セミナー 幼稚園・小中学校から希望があった際に開催</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 親子（乳幼児及びその保護者）の交流の場の提供、子育てに関する相談・情報提供、拠点同士の情報交換会</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>■家庭教育講演会</p> <p>■家庭教育セミナー</p> <p>■地域子育て支援拠点事業</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>■家庭教育講演会</p> <p>■家庭教育セミナー</p> <p>■地域子育て支援拠点事業</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>■家庭教育講演会</p> <p>■家庭教育セミナー</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 9箇所</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>■社会教育講演会</p> <p>■家庭教育セミナー</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 9箇所</p>	
実績	<p>■家庭教育学級 78学級（学級生12,006名、延べ23,571名参加）16人の社会教育指導員が運営に際し助言・指導を行った</p> <p>■家庭教育講演会 3回開催405名 7/10（172名）、9/25（79名）、10/30（154名）</p> <p>■家庭教育セミナー 4,041名参加（幼稚園10回225名、小学校37回2,215名、中学校11回1,601名）</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 8箇所（前年度7）129,513名利用。出張広場は子育て総合支援センター、交流センター、民間保育園等8箇所で開催。各拠点からの聞き取りや、利用者の推移から地域のニーズ把握に努めた</p>		<p>■家庭教育学級 77学級（学級生12,256名、延べ20,243名参加）16人の社会教育指導員が運営に際し助言・指導を行った</p> <p>■家庭教育講演会 3回開催670名 7/12（512名）、10/1（44名）、11/21（114名）</p> <p>■家庭教育セミナー 4,176名（幼稚園10回255名、小学校30回2,303名、中学校13回1,618名）</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 8箇所、140,214名利用。出張広場は子育て総合支援センター、交流センター、民間保育園等5箇所で実施。各拠点からの聞き取りや、利用者の推移から地域のニーズ把握に努めた</p>		<p>■家庭教育学級 70学級（学級生数12,158名、延べ17,997名参加）16人の社会教育指導員が運営に際し助言・指導を行った。</p> <p>■家庭教育講演会 3回開催670名 6/28（375名）、9/30（54名）、12/1（350名）</p> <p>■家庭教育セミナー 4,279名（幼稚園15回354名、小学校27回1,640名、中学校11回1,585名、義務教育学校4回700名）</p> <p>■地域子育て支援拠点事業</p> <p>新たな拠点が1箇所増え、支援拠点は9箇所となった。また、子育て出張広場についても研究学園地区に1箇所新規開設し、計6箇所で実施した。支援拠点及び出張広場で151,976人の利用があった。</p>		<p>■家庭教育学級（80学級、学級生数12,392人）を開設 参加者数13,588人 13人の社会教育指導員が運営に際し助言・指導を行った。</p> <p>■社会教育講演会の開催（全2回、参加者数293人） 10/6（62名）、2/8（231名）</p> <p>■家庭教育セミナーの実施 参加（幼稚園16回324名、小学校29回1,642名、中学校12回1,640名、義務教育学校3回942名）</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 9箇所で実施。出張広場は、子育て総合支援センター、民間保育園等7箇所が交流センター等を利用して開催し、支援拠点及び出張広場で127,014人の利用があった。</p>		<p>■家庭教育学級（84学級、学級生数3,449人）を開設 11人の社会教育指導員が運営に際し助言・指導を行った。</p> <p>■社会教育講演会の開催（全2回、参加者数704人）9/27（169名）、3/1（535名）</p> <p>■家庭教育セミナーの実施 参加（小学校18回989名）</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 9箇所で実施。年度の後半は拠点の一施設が休止し8箇所で実施。出張広場は一箇所の施設が休止になったが、筑波地区に広場が新設され、交流センターや市民ホールを利用して6箇所で実施。新型コロナウイルス感染症対策で利用制限があったが、全体で60,242人の利用があった。</p>	
成果課題	<p>■家庭教育学級 参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できた。また、学級運営に関わった市民の成長の場につながった。社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた</p> <p>■家庭教育セミナー 入園・入学前検診または入園・入学説明会時に家庭教育の重要さの意識啓発を講演会形式で行った</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 親子交流の場の提供や子育て相談・情報提供を行うことで、子育てへの不安感や負担感の緩和に繋げることができた。また、定期的に連絡会議を開催し、情報交換等を行いながら各拠点が連携を深めることで、サービスの質の向上が図れた</p>		<p>■家庭教育学級 参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できた。また、学級運営に関わった市民の成長の場につながった。社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた</p> <p>■地域子育て支援拠点事業 親子の交流の場の提供や子育て相談、情報提供を行うことで、子育てへの不安感や負担感の緩和に繋げることができた。また、定期的に連絡会議を開催し、情報交換等を行いながら各拠点が連携を深めることで、サービスの質の向上が図れた</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>（成果）参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会・学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認できた。また、学級運営に関わった市民の成長の場につながった。社会教育指導員の助言・指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。（課題）働いている保護者への参加機会の不足がある。</p> <p>■地域子育て支援拠点事業</p> <p>子育て親子の交流の場の提供や子育て相談、情報提供を行うことで、子育てへの不安感や負担感の緩和に繋げることができた。また、定期的に拠点会議を開催し、情報交換等を行いながら連携を深めることで、サービスの質の向上が図られた</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>（成果）参加者が自ら学級運営に参加し、活動を通じて仲間づくりや家庭での課題等を話し合ったり、講師を招いての講演会、学習会を通じて家庭での教育が原点であることを再確認でき、学級運営に関わった保護者の成長の場につながった。社会教育指導員の助言、指導により、家庭教育学級の円滑な運営が行われた。</p> <p>■地域子育て支援拠点</p> <p>子育て親子の交流促進、相談・援助の実施、子育て関連情報の提供、講習等の実施をし、子育てへの不安感や孤立感の緩和に繋げることができた。</p> <p>また、拠点担当者による定期的な連絡会を開催し、連携を深めながら事業に取り組むことができた。</p>		<p>■家庭教育学級</p> <p>（成果）コロナ禍により、対面による講座を開催することができず、学級運営も危ぶまれたが、オンデマンドで動画を視聴する方法に改め、コロナ禍での新たな教育機会の参加方法を模索することができた。</p> <p>■地域子育て支援拠点</p> <p>子育て世代に対し、親子同士の交流促進、情報提供、講習会、必要に応じて相談・援助を実施した。新型コロナウイルス感染症対策で施設の利用ができない時期も電話やオンラインで対応し、子育ての不安や孤立感の緩和に繋げることができた。</p>	
改善見直し	—		—		<p>■家庭教育学級</p> <p>保育所の保護者に対して、保育所での家庭教育講座の開催の検討や、入所説明会等において、家庭教育学級についてお知らせすることにより、参加機会を増やす。</p>		<p>■家庭教育学級 入学説明会等において家庭教育学級についてお知らせをすることにより参加機会を増やす。社会教育振興事業において、保育所や民間企業を対象に、働く保護者への家庭での教育力を高める講座を実施する。</p>		<p>■家庭教育学級 コロナ禍においても参加者数の低下を招かないよう、安全に開催できる方法を模索していく。社会教育振興事業において、保育所や民間企業を対象に、働く保護者への家庭での教育力を高める講座を実施する。</p>	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	これからのつくば市を支えていく青少年に対し、居場所づくりや自主的な活動への支援体制を充実するとともに、つくば市教育振興基本計画（つくば市教育振興プラン）等と連動して、自然体験、ボランティア活動体験、国際交流体験等の様々な体験活動を推進します。							
方向性	(1)	ライフステージに応じた学習機会の提供/青少年の健全育成								
関連課	生涯学習推進課	青少年の健全育成活動の推進				2頁				
	こども育成課	放課後子供教室、児童館運営、児童クラブ								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年育成団体「青少年相談員」との連携 あいさつ声かけ運動/学校訪問/地区巡回パトロール等</li> <li>■青少年の居場所づくり 中高生が主体的に学習や文化・スポーツ活動等ができる場を提供する。7つの地域交流センター（筑波・大穂・豊里・松代・竹園・荻崎・吾妻）で週1回無料で開設</li> <li>■放課後子供教室 一体型を中心とした放課後子供教室及び放課後児童クラブの実施整備（放課後子ども総合プラン）</li> <li>■児童館 児童対象に実施</li> </ul> スポーツクラブ等の各種クラブ活動/児童館における各種行事活動/児童館対抗ドッジボール大会（児童館相互の交流を図る）		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員</li> <li>■青少年の居場所</li> <li>■放課後子供教室</li> <li>■児童館</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 H29年度実施事業のほか、環境健全化啓発活動</li> <li>■青少年の居場所 生涯学習推進課と地域交流センターとが連携し、自主的な活動ができる場となるよう工夫する</li> <li>■放課後子供教室</li> <li>■児童館</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ・声かけ運動、図書等自動販売機の立入調査、学校訪問、地区巡回パトロール、「青少年の健全育成に協力する店」登録活動</li> <li>■青少年の居場所 地域交流センター7館で週1回居場所を開設</li> <li>■この指とーまれ！事業 キックオフ説明会 中高生自身が企画して実施</li> <li>■放課後子供教室 市内小学校及び義務教育学校、児童館、交流ひろばを活用し地域住民の参画を得て、放課後子供教室を開催し、児童の放課後の居場所づくりとして実施する。</li> <li>■児童館・児童クラブの運営 放課後の児童に対し、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため、各種クラブ活動や行事活動などを行う。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ・声かけ運動、図書等自動販売機の立入調査、学校訪問、地区巡回パトロール、「青少年の健全育成に協力する店」登録活動</li> <li>■青少年の居場所 地域交流センター7館で週1回居場所を開設</li> <li>■この指とーまれ！事業 青少年の居場所事業と連携した活動</li> <li>■放課後子供教室 市内小学校及び義務教育学校、児童館、交流ひろばを活用し地域住民の参画を得て、放課後子供教室を開催し、児童の放課後の居場所づくりとして実施する。</li> <li>■児童館・児童クラブの運営 放課後の児童に対し、遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るため、各種クラブ活動や行事活動などを行う。</li> </ul>	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ声かけ運動120回/運動会のテント設営バザーで模擬店活動/イオンモールつくばで夜間巡回パトロール等</li> <li>■青少年の居場所 4,364名利用。吾妻交流センター：中高生の未来をデザインする夏キャンプ1泊2日@ふれあいの里（竹園高校生10名、市内中学生10名） 竹園交流センター：ふれあいコンサート</li> <li>■放課後子供教室 169回実施（5～3月）対象校：市内全小学校と県立つくば特別支援学校</li> <li>■児童館 児童クラブ利用者を除く小学生170,147名（前年比11,463名増）</li> <li>中高生の児童館利用者数2,720名（前年比298名減）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ声かけ運動120回/学校訪問36校/地区巡回パトロール</li> <li>■青少年の居場所 4,098名利用。市民文化祭では校生ボランティアが参加/地域ふれあいコンサート204名/竹園高校生との交流会44名</li> <li>■放課後子供教室 180回実施（6～2月）2か所の児童館で初めて放課後子供教室を開催。H30年度に新設される「秀峰筑波児童クラブ」施設2階に放課後児童の居場所づくりとして「放課後交流ひろば」を整備。H30年度より、7校の小学校が統廃合される旧筑波地区の児童はスクールバス利用の登下校になることから、放課後、学区外生徒との交流の場がないため、秀峰筑波児童クラブ施設2階を整備し、児童の交流の場を提供するとともに、放課後子供教室を定期的に実施することが可能になる</li> <li>■児童館</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ声かけ運動120回/学校訪問34校/地区巡回パトロール</li> <li>■青少年の居場所 3,132人利用。地域ふれあいコンサート118人/竹園高校生との交流会12人参加</li> <li>■この指とーまれ！事業 市内在住・在学する中高生に企画募集をし、「イラスト・折り紙・茶道・ゴミ拾い・筋トレ体験交流会等を実施。企画者数16人、ボランティア参加者数10人</li> <li>■放課後子供教室 217回実施（4月～3月）市内小学校29校、義務教育学校4校、茨城県立つくば特別支援学校1校、児童館5か所、秀峰交流ひろば1か所で放課後子供教室を実施。参加児童数は、11,310人。「秀峰交流ひろば」を整備し、放課後子供教室を定期的に開催し、189日間で2,121人の児童の利用があった。</li> <li>■児童館・児童クラブ運営 児童館来館者数363,753人（一般来館小学生155,571人、児童クラブ208,182人）児童数増加が著しいTX線沿いの2つの児童クラブのクラブ室増設し、今後の受入人数を拡充することができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ・声かけ運動 120回実施（各小中学校、高校）、学校訪問実施、地区巡回パトロール まつりつくば巡回実施、「青少年の健全育成に協力する店」登録活動 72店舗</li> <li>■青少年の居場所 地域交流センター7館居場所実施（月1回、社会教育指導員を派遣）</li> <li>■この指とーまれ！ ドリームフェスタ実施（R1.10.27）企画者数41人、やろうよ！スポーツ（R1.11.10）企画者数2人、体験披露（R1.11.17）企画者数4人</li> <li>■放課後子供教室 436回実施（4月～3月）市内小学校29校、義務教育学校4校、茨城県立つくば特別支援学校1校、児童館1か所、秀峰交流ひろば、学園の森交流ひろば、みどりの交流ひろば3か所で放課後子供教室を実施。参加児童数は、16,967人。</li> <li>■児童館・児童クラブ運営 児童館来館者数353,513人（一般来館小学生151,427人、児童クラブ202,086人）面積要件を超過して児童を受け入れている児童クラブ室のうち、竹園西、谷田部、栄児童館の併設児童クラブ室の増築を行い、今後の受入人数を拡充することができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ・声かけ運動 609回実施（各小中学校、高校）（令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大により各支部の活動を自粛していたため、各々個人の活動数を実績にした。）学校訪問実施、地区巡回パトロール、「青少年の健全育成に協力する店」登録活動 50店舗</li> <li>■青少年の居場所 地域交流センター7館居場所実施（月1回、社会教育指導員を派遣）</li> <li>■この指とーまれ！ ドリームフェスタ実施（R2.11.7）企画者数16人■放課後子供教室 359回実施（6月～3月）市内小学校29校、義務教育学校4校、茨城県立つくば特別支援学校1校、児童館1か所、交流ひろば3か所を対象として放課後子供教室を実施。参加児童数は10,769人。</li> <li>■児童館・児童クラブ運営 児童館来館者数279,253人（一般来館小学生94,655人、児童クラブ184,598人）児童クラブ員の受入れ枠を拡大するため、吉沼児童館、上郷児童館、荻崎第一小学校、柳橋小学校の敷地内において児童クラブ施設の増築を行った。</li> </ul>	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 各支部の活動により、地区巡回パトロールを積極的に実施でき、青少年健全育成活動に貢献できた。</li> <li>■青少年の居場所 居場所としての利用だけではなく、青少年がボランティア活動をする場にもなった</li> <li>■放課後子供教室 各児童館において児童を対象とした行事及びクラブ活動を実施した</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ・声かけ運動の実施で、あいさつをする児童生徒が増えている</li> <li>■青少年の居場所 主体的に活動できる場を提供できた</li> <li>■放課後子供教室 放課後児童の居場所をつくることができた。また、新設する「秀峰筑波児童クラブ」施設2階を放課後児童の居場所づくりとして施設整備をし、放課後子供教室の開催が定期的に行うことが可能となる</li> <li>■児童館 各児童館において児童を対象とした行事及びクラブ活動を実施した</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年相談員 あいさつ・声かけ運動の実施で、あいさつをする児童生徒が増えている</li> <li>■青少年の居場所 主体的に活動できる場を提供できた</li> <li>■この指とーまれ！事業 青少年の健全育成団体と連携が図れ、青少年を中心とした多世代間交流が実施できた。</li> <li>■放課後子供教室 放課後児童の居場所をつくることができた。また、新設する「秀峰筑波児童クラブ」施設2階を放課後児童の居場所づくりとして施設整備をし、放課後子供教室の開催が定期的に行うことが可能となった。</li> <li>■児童館・児童クラブ運営 各児童館において児童を対象とした行事及びクラブ活動を実施した。児童館対抗ドッジボール大会に300人の児童が参加した。</li> <li>みどりの学園児童クラブ・学園の森児童クラブにおいて、児童の大幅な増加が見込まれるため、新たな専用施設を増設し、</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年健全育成活動 今後もつくば市教育振興基本計画等と連動して、活動を推進する。</li> <li>■放課後子供教室 平成30年度に開設した秀峰交流ひろばに加え、学園の森児童クラブ施設内において「学園の森交流ひろば」、みどりの学園児童クラブ施設内において「みどりの交流ひろば」を新たに立ち上げ、市内3か所で放課後子供教室の定期的な開催を実施し、年間実施回数を大幅に増加させることができた。</li> <li>■児童館・児童クラブ運営 各児童館において児童を対象とした行事及びクラブ活動を実施した。児童館対抗ドッジボール大会に308人の児童が参加した。児童館併設児童クラブのうち、竹園西、谷田部、栄児童館簿児童クラブ室の増築を行い、児童の受入れ準備ができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■放課後子供教室 新型コロナウイルス感染拡大防止のため小学校が臨時休校となったことで開催実施が6月からとなったことで、放課後子供教室の定期開催を行っている交流ひろば3か所での実施回数が増えた。また、学校開催についても、当初実施予定であったが中止となった学校もあり、回数が減となった。</li> <li>■児童館・児童クラブ運営 新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、各児童館において児童を対象とした行事及びクラブ活動を実施した。例年実施している児童館対抗ドッジボール大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。児童クラブ員の受入れ枠を拡大するため、吉沼児童館、上郷児童館、荻崎第一小学校、柳橋小学校の敷地内において児童クラブ施設の増築を行い、児童の受入れ準備ができた。</li> <li>■青少年健全育成活動 今後もつくば市教育振興基本計画等と連動して、活動を推進する。</li> </ul>	
改善見直し	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>■青少年の居場所 利用者が少ない場所もあるので、開催する場所や内容の検討が必要。PR方法も見直す必要がある</li> <li>■放課後子供教室 充実を図るためには、放課後の居場所の拡大、放課後子供教室のボランティア・サポーター等のスタッフ確保については拡充が必要</li> </ul>		—		<ul style="list-style-type: none"> <li>■放課後子供教室 実施内容によっては、体育館のような広い活動場所の確保が必要となり、各学校との調整はしているが、実施が難しい場合もある。</li> </ul>		—	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	これからのつくば市を支えていく青少年に対し、居場所づくりや自主的な活動への支援体制を充実するとともに、つくば市教育振興基本計画（つくば市教育振興プラン）等と連動して、自然体験、ボランティア活動体験、国際交流体験等の様々な体験活動を推進します。							
方向性	(1)	ライフステージに応じた学習機会の提供/青少年の健全育成								
関連課	教育指導課（学び推進課）	自ら学び、自ら考える力を育てる教育の推進等					3頁			
年度	28年度		29年度		30年度		元年度	2年度		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 各校の学力向上に向けた取り組みに対して的確な指導・助言を行う</li> <li>■つくばスタイル科 各学校自校化を図りながら1～9年生において、各学校ともにコア単元として位置づけをし、年間12～15時間実施。学んだことについて、各学校の児童生徒がプレゼンを行う</li> <li>■体カアップ推進プラン 4月作成、8月に体カテストの結果を踏まえた進捗状況について確認する。年度内の取り組み目標を検討し、実践化を図りながら体力の向上に努める</li> <li>■環境 I E C 運動 節電やエコについて各学園で目標を設定・実施、年度末に検証と報告。地域と連携して取り組む。</li> </ul> Improvement(改善)、Environment(環境保護)、community(地域社会)		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン</li> <li>■つくばスタイル科</li> <li>■体カアップ推進プラン</li> <li>■環境 I E C 運動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン</li> <li>■つくばスタイル科</li> <li>■体カアップ推進プラン</li> <li>■環境 I E C 運動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン</li> <li>■つくばスタイル科</li> <li>■体カアップ推進プラン</li> <li>■環境 I E C 運動</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン</li> <li>■つくばスタイル科</li> <li>■体カアップ推進プラン</li> </ul>	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 全51校への訪問し、プラン作成～実施～実績報告に至るまでの指導と助言</li> <li>■つくばスタイル科 各学校でキャリア単元として実施。児童生徒のプレゼンコンテストには9,028人参加、2976作品の応募があり、市長賞・教育長賞を授与。入賞作品は「2020年の学びを変える先進的ICT教育・小中一貫教育研究大会（全国大会）」で発表</li> <li>■体カアップ推進プラン 51校で作成実施。体育サポーター派遣事業は2校で実施</li> <li>■環境 I E C 運動 学園ごとに目標設定し実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 全51校への訪問し、プラン作成～実施～実績報告に至るまでの指導と助言</li> <li>■つくばスタイル科 各学校でキャリア単元として実施。児童生徒のプレゼンコンテストには11,343人参加、3351作品の応募があり、金賞・銀賞等を授与。入賞作品は「2020年の学びを変える先進的ICT教育大会（全国大会）」で発表</li> <li>■体カアップ推進プラン 51校で作成実施。体育サポーター派遣事業は2校で実施</li> <li>■環境 I E C 運動 学園ごとに目標設定し実施。検証</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 全45校への訪問し、プラン作成～実施～実績報告に至るまでの指導と助言</li> <li>■つくばスタイル科 各学校でキャリア単元として実施。児童生徒のプレゼンコンテストには9,098人参加、2,783作品の応募があり、市長賞・教育長賞を授与。入賞作品は「第16回つくば市プレゼンテーションコンテスト」で発表</li> <li>■体カアップ推進プラン 45校で作成実施。体育サポーター派遣事業</li> <li>■環境IEC運動 学園ごとに目標設定し実施、検証</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 全45校へ訪問し、プラン作成～実施～実績報告に至るまでの指導と助言</li> <li>■つくばスタイル科 各学校でキャリア単元として実施。児童生徒のプレゼンコンテストには8,072人参加、2,301作品の応募があり、市長賞・教育長賞を授与。入賞作品は「第17回つくば市プレゼンテーションコンテスト」で発表</li> <li>■体カアップ推進プラン 45校で作成実施。体育サポーター派遣事業は4校で実施。</li> <li>■環境IEC運動 学園ごとに目標設定し実施、検証</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 全45校へ訪問し、プラン作成～実施～実績報告に至るまでの指導と助言</li> <li>■つくばスタイル科 各学校でキャリア単元として実施。児童生徒のプレゼンコンテストには256人参加、52作品の応募があり、市長賞・教育長賞の授与。入賞作品は「第18回つくば市プレゼンテーションコンテスト」で発表</li> <li>■体カアップ推進プラン 45校で作成実施。</li> </ul>	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 具体的な取り組みを展開するよう指導したことで、効果的な取り組みが行われた</li> <li>■つくばスタイル科 身近な人や地域の人々との関わりを通して、自分らしさや自分の良さに気付くことができ、社会の一員としての役割や仕事の価値等について学ぶことができた</li> <li>■体カアップ推進プラン 各校の課題に応じた運動を実施できた。体育サポーターは、体育授業の中で、模範演技を見せたり、運動のポイントを適切にアドバイスし、児童生徒の技能の向上につながった</li> <li>■環境 I E C 運動 今後検証をし報告をする</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 具体的な取り組みを展開するよう指導したことで、効果的な取り組みが行われた</li> <li>■つくばスタイル科 身近な人や地域の人々との関わりを通して、自分らしさや自分の良さに気付くことができ、社会の一員としての役割や仕事の価値等について学ぶことができた</li> <li>■体カアップ推進プラン 各校の課題に応じた運動を実施できた。体育サポーターは、体育授業の中で、模範演技を見せたり、運動のポイントを適切にアドバイスし、児童生徒の技能の向上につながった</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 具体的な取り組みを展開するよう指導したことで効果的な取り組みが行われた。</li> <li>■つくばスタイル科 身近な人や地域の人々との関わりを通して、自分らしさや自分の良さに気付くことができ、社会の一員としての役割や仕事の価値等について、学ぶことができた。</li> <li>■体カアップ推進プラン 各校の課題に応じた運動を実施できた。体育サポーターは、体育授業の中で模範演技を見せたり、運動のポイントを適切にアドバイスし、児童生徒の技術の向上につながった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 具体的な取組を展開するよう指導したことで効果的な取組が行われた。</li> <li>■つくばスタイル科 身近な人や地域の人々との関わりを通して、自分らしさや自分の良さに気付くことができ、社会の一員としての役割や仕事の価値等について、学ぶことができた。</li> <li>■体カアップ推進プラン 各校の課題に応じた運動を実施できた。体育サポーターは、体育授業の中で模範演技を見せたり、運動のポイントを適切にアドバイスし、児童生徒の技術の向上につながった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■学力向上アクションプラン・学校改善プラン 具体的な取組を展開するよう指導したことで効果的な取組が行われた。</li> <li>■つくばスタイル科 身近な人や地域の人々との関わりを通して、自分らしさや自分の良さに気付くことができ、社会の一員としての役割や仕事の価値等について、学ぶことができた。</li> <li>■体カアップ推進プラン 各校の課題に応じた運動を実施できた。</li> </ul>	
改善見直し	—		■体カアップ推進プラン プランの中に運動の日常化を図るための手立てを盛り込む		—		—		—	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	これからのつくば市を支えていく青少年に対し、居場所づくりや自主的な活動への支援体制を充実するとともに、つくば市教育振興基本計画（つくば市教育振興プラン）等と連動して、自然体験、ボランティア活動体験、国際交流体験等の様々な体験活動を推進します。							
方向性	(1)	ライフステージに応じた学習機会の提供/青少年の健全育成								
関連課	特別支援教育推進室	自立と社会参加をめざす特別支援教育の推進				4頁				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	各学校・学級において、特別な支援や配慮を要する幼児や障害のある児童・生徒が、個々の教育的ニーズに応じた適切な指導及び支援が受けられるよう、就学相談・学校訪問の実施、教育支援委員会の運営、支援担当職員の配置・雇用管理、教職員への研修会実施等の事業を通じ、特別支援教育の推進を図る。 4月 気になる幼児の調査 4月末～市内公立・私立幼稚園・保育所の幼児の観察 4月～学校訪問・就学相談 年間3回特別支援教育の理解促進のための研修会実施 7月～1月教育支援委員会実施		■特別な支援や配慮を要する幼児及び障害のある学齢児童・学齢生徒について学校等関係機関に調査を実施し、支援を要する者を把握するとともに、特別支援教育指導員及び指導主事による就学相談・学校訪問を実施する。 ■特別な教育的支援を必要とする未就学児及び小・中学校に在籍する児童生徒については、教育支援委員会（年間10回程度開催）での審議を行う。 ■各幼稚園・学校における特別支援教育支援員及び障害児介助員の必要数を精査し、適正な人員配置を行う。 ■特別支援学級担任教諭及び特別支援教育支援員に対して各3回程度の研修会を実施する。		■特別な支援や配慮を要する幼児及び障害のある学齢児童・学齢生徒について学校等関係機関に調査を実施し、支援を要する者を把握するとともに、特別支援教育指導員及び指導主事による就学相談・学校訪問を実施する。 ■特別な教育的支援を必要とする未就学児及び小・中学校に在籍する児童生徒については、教育支援委員会（年間10回程度開催）での審議を行う。 ■各幼稚園・学校における特別支援教育支援員及び障害児介助員の必要数を精査し、適正な人員配置を行う。 ■特別支援学級担任教諭及び特別支援教育支援員に対して各3回程度の研修会を実施する。		■つくば市教育支援委員会を年間10回程度（7月から12月を予定）開催し、特別な支援や配慮を必要とする幼児及び児童・生徒に関する就学先や教育措置の内容等について、各分野の専門家による審議及び判定を行う。 ■令和2年度に小学校・義務教育学校前期課程へ就学予定の幼児に対して、随時実態調査及び個別の就学相談を実施する。また、年度を通じて各学校及び関係機関を随時訪問し、就学後の児童・生徒に対する指導や支援が適切に行われるよう、実態把握を行うとともに教職員等への指導助言を行う。 ■年度を通じて、各学校・幼稚園への訪問や各校・園からの聞き取り等により特別な支援や配慮を必要とする幼児及び児童・生徒の実態把握を随時実施し、必要に応じて特別支援教育支援員・障害児介助員の応募と配置を行う。 ■①管理職・生徒指導主事等、②特別支援学級担任、③特別支援教育支援員、④特別支援教育コーディネーターの各対象職種に対してそれぞれ研修会等を実施する。		■教育支援委員会を年間10回開催し、特別な配慮や支援を必要とする幼児・児童・生徒の就学先や教育措置の内容について、各分野の専門家による審議及び判定を行う。 ■令和3年度に小学校・義務教育学校前期課程に就学予定の幼児に対し、随時実態調査及び個別の相談を実施する。また、各学校等を随時訪問し、就学後の児童・生徒に対する指導や支援が適切に行われるよう、経過観察を行うとともに必要に応じ教職員に指導助言を行う。 ■年間を通じて、各学校・幼稚園を訪問し聞き取り等を行い、特別な配慮や支援の必要な幼児・児童・生徒が適切な支援を受け安全な集団生活が送れるよう、特別支援教育支援員を適正配置する。 ■管理職、特別支援学級担任・特別支援教育コーディネーター、通常の学級担任を対象にした研修を計画的に実施するとともに、学習障害に適切に対応し指導できる教員の専門性を担保できる研修内容を加える。	
実績	■特別支援教育の理解促進のための研修3回 ■教育支援委員会 開催回数9回 ■教育支援委員会 審議件数293件 ■就学相談員による就学相談 実施人数232人		■教育支援委員会 8回開催/286件審議 ■就学相談・学校訪問 相談回数312回/調査・観察訪問回数405回/電話相談1,877回 ■特別支援教育支援員の配置数 年度末106名（年度当初から14名増員） ■障害児介助員の配置数 年度末39名 ■研修会（特別支援学級担任、特別支援教育支援員）各3回実施		■教育支援委員会 年間9回開催（審議件数計299件） ■就学相談・学校訪問 就学・教育相談486回、幼稚園・学校等への調査・観察訪問530回、電話相談1,948回 ■特別支援教育支援員の配置数 市内39校に計123名 ■障害児介助員の配置数 市内全16園に計41名 ■研修会実施回数 特別支援教育コーディネーター及び特別支援学級担任対象：年間3回、特別支援教育支援員対象：年間3回以上、特別支援教育コーディネーター連絡協議会：年間5回		■教育支援委員会 年間10回開催（審議件数272件） ■就学相談・学校訪問 相談回数431回、調査・観察訪問回数496回、電話相談2,828回 ■特別支援教育支援員の配置数 年度末134人 ■障害児介助員の配置数 年度末43人 ■教職員対象研修会の実施 校長・教頭・教務主任・生徒指導主事・特別支援学級担任及びコーディネーター、通常の学級担任対象にそれぞれ1回/特別支援教育コーディネーター対象連絡協議会年4回/特別支援教育支援員対象3回以上		■教育支援委員会 年間9回開催（審議件数258件） ■就学相談・学校等訪問 相談回数505回、調査・観察訪問回数556回、電話相談3,140回 ■特別支援教育支援員の配置数（学校） 年度末136人 ■特別支援教育支援員の配置数（幼稚園） 年度末41人 ■教職員（会計年度任用職員含む）対象研修会の実施 校長・教頭・教務主任・特別支援学級担任対象：学園単位で年9回、特別支援教育コーディネーター対象：年2回、特別支援教育支援員対象：年1回	
成果課題	■教育支援委員会においては、事前の情報収集に努め、円滑に審議ができた。 ■就学相談については、保護者との十分な話し合いを実施し、個々に応じた適正な就学相談をすることができた。		■個々に応じた相談や学校等訪問を通し得た情報を教育支援委員会に提供することができ、適切な審議につなげることができた。教育支援委員会の運営に際しては、15名の委員の意見を総合し、適切な判定につなげることができた。■特別支援教育支援員及び障害児介助員の適正配置により、小中・義務教育学校においては学級等を担任する教員の負担が軽減され、児童生徒の安全確保及び学級の運営の改善が図られ、さらに、集団への参加や学習への取り組みが増し、円滑な教育活動を推進することができた。また、幼稚園においても特別な支援や配慮を要する幼児に適切な支援を実施できた。■教職員の発達障害に関する理解促進を図るとともに、特別支援学級等の指導に必要な指導方法について実践的な研修を行い、指導力の向上を図ることができた。		■当初計画どおりに教育支援委員会を開催し、対象児の適切な就学につなげることができた。 ■就学層を担当する嘱託員を3名増員するとともに、業務内容の拡大を行ったことで、児童等の実態把握や学校等への指導助言の充実を図ることができた。就学・教育相談や学校等への訪問を通じて得た情報を教育支援委員会に提供し、対象児の適切な就学につなげることができた。 ■各学校・幼稚園からの要望を基に、特別支援教育支援員・障害児介助員の必要数を精査し、各校・園の需要に応えることができた。このことにより、幼児、児童・生徒個々のニーズに応じた適切な指導・支援を行うことができた。 ■各受講対象者の経験年数やニーズを踏まえ、また、各研修の中に実践的な演習を組み入れるなど、受講後すぐに指導に活かせる内容で実施した。その結果、実際の授業や指導場面においても研修内容が活かされ、授業の質の向上が図られた。		■教育支援委員会 計画的に審議件数を平準化した10回の委員会開催ができ、その審議結果は対象児の適切な就学につながった。 ■就学相談 就学相談担当者が、学校見学や体験入学に同行すると共に、幼稚園・保育園等の集団参加状況を把握して相談に応じ、就学先への移行支援を行うことで、本人・保護者の不安を軽減して適切な就学に繋げることができた。 ■特別教育支援員・障害児介助員 各学校・幼稚園からの要望を基に、特別支援教育支援員・障害児介助員の必要数を精査して配置したことにより、幼児、児童、生徒個々のニーズに応じ適切な支援ができ、安全で安心な学校（園）生活が確保できた。 ■研修 特別支援教育を推進するために不可欠な「全教職員で取り組む姿勢」を全校に醸成するため、研修対象者を広げたことにより、各学校の校内支援体制の整備につながった。		■教育支援委員会 コロナウイルス感染防止対策による学校の休校措置等を考慮して年間9回の教育支援委員会を開催した。審議対象幼児・児童生徒について適切な就学及び措置変更に繋げることができた。 ■就学・教育相談 就学・教育相談を通じ特別な支援や配慮を必要とする者の実態把握や学校等への指導及び助言の充実を図ることができた。今年度は相談や訪問に関わる職員に臨床心理士が加わり、幼稚園への巡回相談回数を増やすことができた他アセスメントに必要な諸検査の実施も増えた。 ■特別支援教育支援員（学校・幼稚園） 各学校・幼稚園からの要望に基づき状況把握を行い、特別支援教育支援員の必要数を精査して配置したことで、児童生徒・園児一人一人のニーズに応じた適切な指導・支援を行うことができた。 ■研修 管理職対象の研修は学園ごとの少人数開催とし講師が向かい実施したことで管理職の意識が大きく変わり、学校主体の校内研修実施に繋がった。その結果、教員全体の意識にも変化が見られ、児童生徒の実態把握に特別支援教育の視点が適切に加わるようになった。	
改善見直し	H28年度までは教育指導課が担当で実施したが、H29年度からは新設される特別教育支援推進室で実施した。		委員改選により活発な議論が行われた結果、会議時間や再審議の回数が昨年度より増加したため、審議する案件や提出する情報を精査する必要がある。在学児童生徒に関する相談に対応する人員がならず、常時室長と指導主事が対応に追われていたため、次年度は相談員を増員し、在学児童生徒に対する相談に対応するよう事業内容を検討する必要がある。		■円滑な審議・判定が行えるよう教育支援委員会の実施回数及び時期を検討していく。 ■技術的な指導助言を行うための専門職の配置要望や業務内容の見直し等を随時検討していく。 ■管理職や通常の学級担任に対する研修会の実施を検討していく。		■就学相談や学校等への指導助言が適切且つ迅速に進められるよう、専門職（臨床心理士等）配置要望を検討する。 ■学習障害に対応できる教員の専門性を高める研修内容を新たに検討する。		■研修 コロナウイルス感染防止対策により1回になった特別支援教育支援員研修を2回に増やすとともに、延期された「学習障害に関する専門教員の育成」を目指す研修を実施する。その成果として学習障害の理解と対応により学校全体の意識改革と指導力向上が更に期待できる。 ■教育相談 特別な配慮や支援を必要とする幼児児童生徒の増加と共に特別支援教育に関する理解が深まることで、専門的な立場からの指導助言を求める幼稚園・学校からの依頼件数が増加している。これらに十分応えられるよう業務分担の調整及び地域支援センターとの連携が必要である。	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	現代社会に対応した職業に関する学習内容の充実を図るとともに、学習成果が実際の就職や転職といったキャリアアップに結びつくようなプログラムの開発や学びやすい講座の設定、サポート体制づくりを検討します。							
方向性	(1)	ライフステージに応じた学習機会の提供/成人のキャリアアップ								
関連課	男女共同参画室	男女参画に関するセミナー				5頁				
	産業振興課	つくば市ふるさとハローワーク								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>年15回のうち2～3回を、結婚・出産・子育て等により職を離れた女性が、再就職を目指すうえで必要な知識を得るためのセミナーとして実施する</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>つくば市ふるさとハローワークの運営</p> <p>ハローワーク土浦との連携事業：就業関連情報の提供や職業相談等を実施し、月50人（年間600人）の女性に対する就業を支援する</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>柔軟な働き方や、女性の職業生活における活躍の推進のためのセミナーを実施</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>職業生活と家庭生活との両立を図るために必要な働き方の意識改革や、再就職・職場復に役立つセミナーを実施する</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>男性の家事育児参加や男性の育児休業取得を促進するためのセミナーを実施する。</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市ふるさとハローワークの管理運営</li> <li>求職者、企業等への情報発信、啓発事業の実施</li> <li>市内認定こども園・保育所見学ツアーの実施</li> <li>元氣いばらき就職面接会への協力</li> </ul>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>ワークライフバランスの推進や、自己肯定感の向上に繋がるセミナーを実施する。</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市ふるさとハローワークの管理運営</li> <li>求職者、企業等への情報発信、啓発事業の実施</li> <li>市内認定こども園・保育所見学ツアーの実施</li> <li>元氣いばらき就職面接会への協力</li> </ul>	
実績	<p>■男女参画に関するセミナー3回</p> <p>①復職応援セミナー6名参加</p> <p>②自宅で働く新スタイルで女性の働き方を変える！34名参加</p> <p>③これからの男女の働き方と離職中にやってみたいこと15名参加</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>就職した1,019人のうち女性は671人。671人のうち常時雇用273人、パート398人。ハローワーク土浦と連携し市内保育所の見学会を3回実施、23名参加</p>		<p>■男女参画に関するセミナー2回</p> <p>①自宅で働く新スタイルで女性の働き方を変える！32名参加/定員30名</p> <p>②女性の活躍で社会が変わる！女性が働くということ7名参加/定員30名</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>女性676人就職（常時雇用261人、パート415人）</p> <p>ハローワーク土浦との連携事業：保育職求職者に対して、市内保育所の見学会を2回実施（15名参加）</p> <p>就職面接会を1回実施（11事業所、求職者7名参加）</p>		<p>■男女参画に関するセミナー5回</p> <p>①“介護離職” その前に－介護をしながら仕事を続けるための知恵と戦略－9名参加/定員30名</p> <p>②パパ&amp;キッズで楽しく 夏野菜でクッキング18名参加/定員20名</p> <p>③育児後も自分らしく働き続けるために20名参加/定員30名</p> <p>④男の料理教室11名参加/定員30名</p> <p>⑤男性の育児休業応援セミナー 先輩パパとの座談会5名参加/定員30名</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市ふるさとハローワークの運営実績</li> <li>相談件数8,053件、紹介人数3,370人、就職者数878人</li> <li>市内認定こども園、保育所等見学ツアー実績</li> <li>6月開催：8名参加、4名採用</li> <li>9月開催：8名参加、1名採用</li> </ul>		<p>■男女参画に関するセミナー3回</p> <p>①パパ&amp;キッズ おじいちゃん&amp;孫でお子様ランチをつくろう！ 34名参加/定員15組</p> <p>②ハッピーキャリアを積むには～これからの働き方生き方～ 36名参加/定員40名</p> <p>③若い世代の男性向け料理教室 大切な人と食べたい簡単メニュー 5名参加/定員30名</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市ふるさとハローワークの運営実績</li> <li>相談件数6,344件、紹介人数3,603人、就職者数719人</li> <li>市内認定こども園・保育所見学ツアーの実績</li> <li>6月開催：9名参加、1名採用</li> <li>10月開催：8名参加、採用無し</li> <li>元氣いばらき就職面接会の実績</li> <li>参加企業25社、面接者24名</li> </ul>		<p>■男女共同参画に関するセミナー：4回</p> <p>①自己肯定感をUPして、より充実した人間関係や毎日を！24名参加</p> <p>②色で第一印象をアップしましょう！ 14名参加</p> <p>③仕事を高速化する「時間割の作り方」 21名参加</p> <p>④らくちんなのに、ていねいな暮らし～収納の工夫と時短家事～ 27名参加</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市ふるさとハローワークの運営実績</li> <li>相談件数6,153件、紹介人数2,984人、就職者数525人</li> <li>市内認定こども園・保育所見学ツアー 新型コロナウイルス感染症の影響で開催を見送り</li> <li>「保育支援制度・公立保育施設説明会」及び「公立・私立保育施設就職相談会」の実施</li> <li>参加施設6、参加者6人</li> <li>元氣いばらき就職面接会の実績</li> <li>参加企業17社、面接者48名</li> </ul>	
成果課題	<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>アンケート結果から、9割近くの講座受講者が「とてもよかった」「よかった」と感じたことがわかった。受講したことにより、再就職・職場復帰について前向きな気持ちや不安の緩和という意識改革を図ることができた</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>就職相談や職業紹介、就業関連情報の提供を行うことにより、再就職や職場復帰の支援が図られた</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>アンケートでは「とてもよかった」「よかった」の回答をえられた。新しい働き方や、女性活躍推進に関して、意識醸成を図ることができた</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>アンケートでは「とてもよかった」「よかった」の回答をえられた。ワークライフバランスの推進や、男性の家事育児参加に関して、情報提供・意識啓発を図ることができた。</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>つくば市ふるさとハローワークを運営し、就職相談、職業紹介及び就業情報提供を行うことにより、再就職や職場復帰支援をすることができた。</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>アンケートでは「とてもよかった」「よかった」の回答を得られた。男女共同参画に関する意識の向上、必要な知識や技能を学ぶことができた。</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>つくば市ハローワークにおいては、職業相談及び職業紹介を実施し、市内認定こども園・保育所見学ツアーや元氣いばらき就職面接会へ協力することで求職者の就労を支援することができた。</p>		<p>■男女共同参画に関するセミナー</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、当初、予定していたセミナー企画で実施できないものがあつた。今後は、オンライン形式による開催の検討・導入も必要である。</p> <p>■つくば市ふるさとハローワーク</p> <p>つくば市ハローワークにおいては、職業相談及び職業紹介を実施し、「保育支援制度・公立保育施設説明会」及び「公立・私立保育施設就職相談会」や元氣いばらき就職面接会へ協力することで求職者の就労を支援することができた。</p>	
改善見直し	-		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>アンケート結果から、内容についての満足度は高いと推測できるため、継続して実施する</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>アンケート結果では、満足度の高いセミナーを実施することができたが、内容によって参加者数に差が出てしまったので、参加者数少なかったセミナーについては内容を検討する。</p>		<p>■男女参画に関するセミナー</p> <p>人気の高いセミナーは、定員数や実施回数の増加を検討し、市民のニーズに合わせた事業展開を図る。</p>		<p>■男女共同参画に関するセミナー</p> <p>仕事と家庭の両立支援をはじめ、再就職支援やキャリアアップ講座など、学習機会の充実を図るとともに、受講しやすい方策について検討する。</p>	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	高齢者がいつまでも元気でいきいきと地域社会と関わり暮らしていけるよう、生涯学習の振興による高齢者の生きがい対策を推進します。							
方向性	(1)	ライフステージに応じた学習機会の提供/高齢者のいきがい								
関連課	高齢福祉課	ねんりんスポーツ大会	高齢福祉課	シルバー人材センターの支援と活用		6頁				
	高齢福祉課	シルバークラブ大会、シルバークラブ活動への補助	地域包括支援課	介護支援ボランティア						
	高齢福祉課	おひさまサンサン生き生きまつり	文化芸術課	長寿大学						
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■各種イベント・シルバークラブ活動への支援 各種研修会や教養講座等の開催、ねんりんスポーツ大会、シルバークラブ大会、おひさまさん生き生きまつり、補助金交付</p> <p>■シルバー人材センターの支援と活用 補助金交付</p> <p>■介護支援ボランティア ボランティア登録の増加のため、ボランティア受け入れ機関の拡大を図る。登録はしているが活動できていない方への調査を行い、受け入れ機関との連携により実活動者を増やす（ボランティアは活動の実績に応じてポイントを換金し交付金を受け取ることができる）</p> <p>■長寿大学 筑波・大穂・吉沼・豊里の4交流センターで実施</p>		<p>■各種イベント・シルバークラブ活動への支援 各種研修会や教養講座等の開催、ねんりんスポーツ大会、シルバークラブ大会、おひさまさん生き生きまつり、補助金交付</p> <p>■シルバー人材センターの支援と活用</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>■長寿大学</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 ねんりんスポーツ大会、シルバークラブ大会、おひさまサンサン生き生きまつり、補助金交付</p> <p>■シルバー人材センターの活用と支援</p> <p>■介護支援ボランティア 受入施設の情報を随時登録者に発信することでマッチングを促し、交付金の上限を引き上げて、登録者の活動意欲を上げられないか検討する</p> <p>■長寿大学</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 ねんりんスポーツ大会、シルバークラブ大会、おひさまサンサン生き生きまつり、補助金交付</p> <p>■シルバー人材センターの活用と支援</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>・広報やホームページ、チラシ、ポスター等の活用や会議、イベント等でのチラシ配布を行い、制度の周知を進めていく。</p> <p>・年に1回は登録者のボランティア継続の意思確認をし、登録者の整理を行っていく。</p> <p>■長寿大学 筑波・大穂・吉沼・豊里の4交流センターで実施</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 ねんりんスポーツ大会、シルバークラブ大会、おひさまサンサン生き生きまつり、補助金交付</p> <p>■シルバー人材センターの活用と支援</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>・広報やホームページ、チラシ、ポスター等の活用や会議、イベント等でのチラシ配布を行い、制度の周知を進めていく。</p> <p>・ボランティアを実施しやすい環境を作るため、各地区に登録施設を増やせるよう周知していく。</p> <p>・ボランティア内容に買物等に伴う移動支援を新たに追加し、いつまでも住み慣れた地域で自立して生活を送ることができるように支援する。</p> <p>■長寿大学 新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止</p>	
実績	<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 各種研修や講座を実施、ねんりんスポーツ大会560名、シルバークラブ大会（活動功労者表彰・講演会550名）、おひさまサンサン生き生きまつり（障害者と高齢者によるレクリエーションイベント1,950名）、補助金交付（単位シルバークラブ131団体、市シルバークラブ連合会1団体）</p> <p>■シルバー人材センター 契約件数5,009件</p> <p>■介護支援ボランティア 登録者172名（平均年齢73.4歳）、延活動人数1,847名、延活動時間3,166時間</p> <p>受入施設48施設、受入施設意見交換会実施</p> <p>交付金交付申請者数58名、交付額187千円</p> <p>■長寿大学 コーラス・芸術鑑賞・出前講座等を実施</p> <p>筑波「寿大学」全6回延285名、大穂「筑宝大学」全10回延204名、吉沼「いきいき学級」全6回延296名、豊里「長寿大学」全6回延825名</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 各種研修会や講座等の開催、ねんりんスポーツ大会567名、シルバークラブ大会（活動功労者表彰・講演会655名）、おひさまサンサン生き生きまつり開催（障害者と高齢者によるレクリエーションイベント1,800名）、補助金交付（単位シルバークラブ137団体、市シルバークラブ連合会1団体）</p> <p>■シルバー人材センター 契約件数4,962件 新規入会者97名 退会者68名</p> <p>市からは、施設の夜間当番/草刈り/清掃等を依頼している</p> <p>■介護支援ボランティア 登録者数123名（平均年齢70.3歳）</p> <p>延べ活動人数1,607人名、延べ活動時間2,664時間</p> <p>受入施設数53施設、受入施設意見交換会実施</p> <p>交付金交付申請者数47名、交付額165千円</p> <p>■長寿大学 コーラス、芸術鑑賞、出前講座等を実施</p> <p>筑波「寿大学」全6回延305名、大穂「筑宝大学」全10回延204名、吉沼「いきいき学級」全4回延219名、豊里「長寿大学」全6回延712名</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 ねんりんスポーツ大会592名、シルバークラブ大会（活動功労者表彰・講演会720名）、おひさまサンサン生き生きまつり開催（障害者と高齢者によるレクリエーションイベント1,605名）、補助金交付（単位シルバークラブ134団体、市シルバークラブ連合会1団体）</p> <p>■シルバー人材センター 契約件数4,609件 新規入会者58名 退会者49名</p> <p>市からは、施設の夜間当番/草刈り/清掃等を依頼している</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>・ボランティア活動実績が活発な施設へ視察を行った。</p> <p>・介護支援ボランティア実活動者数：77人</p> <p>・介護支援ボランティア登録者数：146人</p> <p>・介護支援ボランティア受入機関数：54か所</p> <p>・介護支援ボランティア延べ時間：2,945時間</p> <p>・交付金申請額204,000円</p> <p>■長寿大学 コーラス・芸術鑑賞・出前講座等を実施</p> <p>筑波「寿大学」全5回延205名、大穂「筑宝大学」全10回延219名、吉沼「いきいき学級」全5回延236名、豊里「長寿大学」全6回延808名</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 ねんりんスポーツ大会593名、シルバークラブ大会（活動功労者表彰・講演会600名）、おひさまサンサン生き生きまつり開催（障害者と高齢者によるレクリエーションイベント1,225名）、補助金交付（単位シルバークラブ137団体、市シルバークラブ連合会1団体）</p> <p>■シルバー人材センター 契約件数4,390件 新規入会者125名 退会者89名</p> <p>市からは、施設の夜間当番/草刈り/清掃等を依頼している</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>・介護支援ボランティア実活動者数：67人</p> <p>・介護支援ボランティア登録者数：163人</p> <p>・介護支援ボランティア受入機関数：55か所</p> <p>・介護支援ボランティア延べ時間：1,757時間</p> <p>・交付金申請額233,000円</p> <p>■長寿大学 コーラス・芸術鑑賞・出前講座等を実施</p> <p>筑波「寿大学」全5回延249名、大穂「筑宝大学」全8回延152名、吉沼「いきいき学級」全5回延201名、豊里「長寿大学」全5回延633名</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 シルバークラブ大会はイベントとして開催はせず活動功労者顕彰事業として実施（被顕彰者56名、2クラブ）、ねんりんスポーツ大会及びおひさまサンサン生き生きまつりは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止、補助金交付（単位シルバークラブ136団体、市シルバークラブ連合会1団体）</p> <p>■シルバー人材センター 契約件数3,755件 新規入会者69名 退会者104名</p> <p>市からは、施設の夜間当番/草刈り/清掃等を依頼している</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>コロナ禍で受け入れができない状況ではあったため、受入施設の実態調査を行った。</p> <p>【登録者数】79名 【施設登録者数】55施設 【活動者数】2名</p> <p>■長寿大学</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	
成果課題	<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加の促進に寄与した</p> <p>■シルバー人材センター 円滑な運営を支援し、社会参加の促進や高齢者の生きがいの充実等につながった</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>登録者、受入施設ともに増やすことができた。しかし、登録者が増えても活動に至らない方が半数以上いる。ボランティア層を広げていくために高齢者施設以外も受入施設にする。登録に行くのが大変という声があるため、改善する必要がある</p> <p>■長寿大学 高齢者の生きがい対策として学習と交流の機会を提供し、参加者から好評を得た</p>		<p>■介護支援ボランティア</p> <p>登録者の活動への意識調査として筑波で活動の確認ができていない方に電話連絡を実施した、その結果登録者人数は減ったが登録者と活動人数の差を縮めることができた。しかし、活動実績の無い登録者が多いため、さらなる改善が必要</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加の促進に寄与した。シルバークラブは会員が減少傾向であるため、会員数の増加への取り組みやシルバークラブ活動の活性化が課題である。</p> <p>■シルバー人材センター 補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>・施設の視察でボランティアに参加するまでの経緯や意識について聞き取り調査を行い、どのようなニーズがあるのかを把握できた。</p> <p>・制度の周知により、市民ボランティアへの理解が進み、社会参加による生きがいづくりを進めていくことができた。</p> <p>■長寿大学 高齢者の学習と交流の機会を提供し、参加者から好評を得ることができた。</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加の促進に寄与した。シルバークラブは会員が減少傾向であるため、会員数の増加への取り組みやシルバークラブ活動の活性化が課題である。</p> <p>■シルバー人材センター 補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。</p> <p>■介護支援ボランティア 介護支援ボランティア登録会・交流会を開催し、登録者と受入施設の交流の機会を設けることで、今後の活動に生かすことができた。加えて、新規登録者は27名の増加があった。</p> <p>■長寿大学 高齢者の学習と交流の機会を提供し、参加者から好評を得ることができた。</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、イベント開催中止や事業規模縮小となったが、内容変更等対策を講じ、高齢者の健康づくりや生きがいづくり、社会参加の促進に寄与した。シルバークラブは会員が減少傾向であるため、会員数の増加への取り組みやシルバークラブ活動の活性化が課題である。</p> <p>■シルバー人材センター 補助金を交付することにより、シルバー人材センターの円滑な運営を支援し、高齢者の生きがいの充実、社会参加の促進等に寄与できた。</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>コロナ感染拡大により介護支援ボランティアの交流会ができなかったため、自宅で取り組める課題を登録者に郵送。</p> <p>■長寿大学</p> <p>令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	
改善見直し	<p>■介護支援ボランティア</p> <p>登録者を増やすだけでなく、活動人数を増やしていく必要がある。</p>		<p>■介護支援ボランティア</p> <p>受入施設の仕事の幅を広げ、活動を促す必要がある。</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 令和元年度に向け、会員数増加を促進できるよう、単位シルバークラブの補助金額を増額するよう見直しを行った。</p> <p>■介護支援ボランティア 制度の申請方法や内容について、引き続き啓発活動を実施していく。</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 ねんりんスポーツ大会において、全国大会出場者に対しての支援策を検討していく。</p> <p>■介護支援ボランティア 制度の申請方法やどのような活動をしているのか等の内容について、引き続き啓発活動を実施していく。</p>		<p>■各種イベントやシルバークラブ活動への支援 新型コロナウイルス感染症の収束がみえない中、重症化リスクの高い高齢者が集まる活動をどのように実施していくのか、開催方法や支援方法を検討していく。また、シルバークラブの会員減少について、若手会員の加入促進や魅力ある活動メニューを広げる取組みに努めることで、シルバークラブ連合会全体の活性化を支援する。</p> <p>■介護支援ボランティア</p> <p>コロナ禍においてボランティア活動ができなかった場合は、交流会にて自身の健康増進や介護予防につながる企画を行う。</p> <p>■長寿大学</p> <p>令和3年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としているが、感染状況、ワクチン接種状況を見極めながら、令和4年度以降について検討を行っている。</p>	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	急速な少子高齢化と経済のグローバル化が進む現代社会においては、社会保障制度の見直し、経済格差、雇用環境の悪化等様々な問題が市民生活に影響を与えています。こうした課題を解決するため、個人が生き抜くために必要な知恵や術としての生涯学習機会を提供していきます。							
方向性	(2)	現代的課題解決のための学習機会の提供								
関連課	企画経営課	竹園高校クロスカリキュラム	(生涯学習推進課)	青少年相談員						
	市民活動課	更生保護事業								
						7頁				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>『竹園高校生が考える「将来の自分」×「将来のつくば」～つくば市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略とともに～』を開催</p> <p>■社会を明るくする運動つくば市大会</p> <p>保護司、人権擁護委員、青少年相談員等を対象に、罪を犯した人たちの更生や青少年の健全育成等をテーマにした講演会を開催する</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>『竹園高校生が考える「将来の自分」×「将来のつくば」～つくば市人口ビジョン、まち・ひと・しごと創生総合戦略とともに～』を開催</p> <p>■講演会・研修</p> <p>つくば地区保護司会総会、つくば市更生保護連合会総会</p> <p>つくば市更生保護女性会総会</p> <p>第67回社会を明るくする運動つくば市大会</p> <p>茨城県更生保護大会</p> <p>県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会</p> <p>茨城県更生保護女性のつどい</p> <p>更生保護女性連盟県南ブロック研修会</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>未定（依頼により実施）</p> <p>■講演会・研修</p> <p>社会を明るくする運動つくば市大会において、大会関係者の他に、一般市民にも参加を呼びかける</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>昨年度と同様に学校側の要請に応じて開催することを検討する。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>・つくば地区保護司会総会</p> <p>・つくば市更生保護連合会総会</p> <p>・つくば市更生保護女性会総会</p> <p>・第69回社会を明るくする運動つくば市大会</p> <p>・茨城県更生保護大会</p> <p>・県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会</p> <p>・茨城県更生保護女性のつどい</p> <p>・更生保護女性連盟県南ブロック研修会</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>昨年度と同様に学校側の要請に応じて開催することを検討する。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>・つくば地区保護司会総会</p> <p>・つくば市更生保護連合会総会</p> <p>・つくば市更生保護女性会総会</p> <p>・第70回社会を明るくする運動つくば市大会</p> <p>・茨城県更生保護大会</p> <p>・県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会</p> <p>・茨城県更生保護女性のつどい</p> <p>・更生保護女性連盟県南ブロック研修会</p>	
実績	<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>高校生につくば市の特性や強みを伝えることができた</p> <p>■社会を明るくする運動つくば市大会（第66回）</p> <p>約80名参加（保護司、人権擁護委員、青少年相談員等）</p> <p>講演会テーマ「少年非行の現状について」</p> <p>講師「少年サポートセンターつくば 根守 由美子氏」</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>高校生につくば市の特性や強み、今後、懸念される問題点などを伝えることができた</p> <p>■講演会・研修</p> <p>4/20つくば地区保護司会総会、つくば市更生保護連合会総会、第67回社会を明るくする運動つくば市大会推進委員会</p> <p>4/25つくば市更生保護女性会総会</p> <p>5/18第67回社会を明るくする運動茨城県推進委員会</p> <p>7/9第67回社会を明るくする運動つくば市大会（約60名参加）講演者：水戸保護観察所長押切久遠氏</p> <p>10/31県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会</p> <p>11/9茨城県更生保護大会（水戸市）</p> <p>2/28更生保護女性連盟県南ブロック研修会</p> <p>3/6茨城県更生保護女性のつどい（守谷市）</p> <p>平成30年度の社会を明るくする運動つくば市大会について、一般市民が参加できるように開催概要の検討を行った</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>平成30年度は、テーマをまち・ひと・しごとからSDGsへ改めて実施した。つくば市におけるSDGsの取組の講演のあと、「10年後に当たり前になってほしいこと」及び「そのために自分ができること」について考えるワークショップを開催した。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>4/20つくば地区保護司会総会、つくば市更生保護連合会総会</p> <p>4/24つくば市更生保護女性会総会</p> <p>7/16第68回社会を明るくする運動つくば市大会開催</p> <p>10/17更生保護女性連盟県南ブロック研修会</p> <p>11/15茨城県更生保護大会（水戸市）</p> <p>2/27県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会</p> <p>3/6茨城県更生保護女性のつどい（水戸市）</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>令和元年度も、テーマをまち・ひと・しごとからSDGsへ改めて実施した。つくば市におけるSDGsの取組の講演のあと、「持続可能なまち・つくば」に向けたSDGsを考えるワークショップを開催した。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>4/19つくば地区保護司会総会、市更生保護連合会総会</p> <p>4/23つくば市更生保護女性会総会</p> <p>7/1～31 社会を明るくする運動ポスター掲示</p> <p>8/4 第69回社会を明るくする運動つくば市大会</p> <p>10/18 茨城県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会</p> <p>11/14 茨城県更生保護大会</p> <p>2/19 更生保護女性連盟県南ブロック研修会</p> <p>3/4 茨城県更生保護女性のつどい ※中止</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>テーマをまち・ひと・しごとからSDGsへ改めて実施した。つくば市におけるSDGsの取組の講演のあと、「持続可能なまち・つくば」に向けたSDGsを考えるワークショップを開催した。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>つくば地区保護司会総会（書面議決）</p> <p>つくば市更生保護連合会総会（書面議決）</p> <p>つくば市更生保護女性会総会（書面議決）</p> <p>7/1～31 社会を明るくする運動ポスター掲示</p> <p>第69回社会を明るくする運動つくば市大会（中止）</p> <p>茨城県南ブロック更生保護関係者等連絡協議会（中止）</p> <p>茨城県更生保護大会（中止）</p> <p>更生保護女性連盟県南ブロック研修会（中止）</p> <p>茨城県更生保護女性のつどい（中止）</p>	
成果課題	<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>授業で学んだ知識を活用して地域の問題解決に取り組んでいただいたことで、将来の自分自身のライフプランや社会との関係性について考える好機とすることができた</p> <p>■社会を明るくする運動つくば市大会</p> <p>保護司が資質向上のため少年非行の現状について学習することができたとともに、人権擁護委員や青少年相談員等を交えた学習機会としたことで、罪を犯した人たちの更生などに、それぞれの立場で力を合わせて、連携して取り組むきっかけとなった</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>グループワークにより課題解決に向けた提案を行っていただいたことで、将来のまちづくり等について興味・関心を高めることができた</p> <p>■講演会・研修</p> <p>保護司、更生保護女性会会員の資質向上及び地域でのネットワーク構築が図れた。各団体(保護司会、更生保護女性会、人権女御委員、青少年相談委員(ほか)との連携及び啓発活動の強化がはかれた</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>次世代を担う高校生が、10年後に当たり前になってほしいことの実現のために自分ができることについて考えるきっかけをつくったことで、SDGsの理念の浸透やまちづくりへの関心を高めることができた。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>【成果】各団体（保護司会、更生保護女性会、人権擁護委員、青少年相談員(ほか)）との連携及び啓発活動の強化が図れた。社会を明るくする運動つくば市大会では団体だけではなく、一般市民へ募集を行い、運動の周知に努めた。</p> <p>【課題】社会を明るくする運動をとおして犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため、市民に周知し「社会を明るくする運動つくば市大会」の参加者を増やす。</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>次世代を担う高校生が、持続可能都市の実現のために自分ができることについて考えるきっかけをつくったことで、SDGsの理念の浸透やまちづくりへの関心を高めることができた。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>【成果】保護司会・更生保護女性会が中心となり、罪を犯してしまった人の立ち直りの援助や、犯罪予防のための様々な活動の支援ができた。また、「第69回社会を明るくする運動つくば市大会」では、関係団体のみではなく、一般市民の参加促進を図り、運動の周知に努めた。</p> <p>【課題】社会を明るくする運動を通して、犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため、市民に広く周知する必要がある。</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>次世代を担う高校生が、持続可能都市の実現のために自分ができることについて考えるきっかけをつくったことで、SDGsの理念の浸透やまちづくりへの関心を高めることができた。学校がオンライン対応可能だったためコロナ禍でも実施できた。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>【成果】保護司会・更生保護女性会が中心となり、罪を犯してしまった人の立ち直りの援助や、犯罪予防のための様々な活動の支援ができた。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、各種大会及び研修会は中止になった。</p> <p>【課題】犯罪や非行のない明るい社会づくりを目指すため、市民に広く周知する必要がある。</p>	
改善見直し	—		<p>■講演会・研修</p> <p>社会を明るくするつくば市大会において、保護司会や更生保護女性会、人権擁護委員など大会関係者のみで行うのではなく、一般市民にも参加できるイベントとする必要がある</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>引き続き、学校側と実施方法について対話を重ね、若い世代に対して効果的な意識付けを行っていく。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>社会を明るくする運動の参加者を増やすために広報を積極的に行う必要がある。</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>引き続き、学校側と実施方法について対話を重ね、若い世代に対して効果的な意識付けを行っていく。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>ホームページやフェイスブック等を活用し積極的な広報活動を行い、社会を明るくする運動つくば市大会への参加者を増やしていく。</p>		<p>■竹園高校クロスカリキュラム</p> <p>引き続き、学校側と実施方法について対話を重ね、若い世代に対して効果的な意識付けを行っていく。</p> <p>■講演会・研修</p> <p>引き続き、ホームページやフェイスブック等を活用し積極的な広報活動を行っていく。</p>	

施策の柱	1	個人の自立に向けた学習機会の提供	外出が困難な高齢者やその介護者、障害者やその支援者の方などへの必要な配慮や支援を行うとともに、適切な学習機会の提供を行います。							
方向性	(3)	社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への学習機会の提供（就業支援学習を含む）								
関連課	障害福祉課	チャレンジアートフェスティバル、スポーツ教室等	(生涯学習推進課)	出前講座事務						
	介護保険課	出前講座「みんなの安心介護保険事業」								
	地域包括支援課	出前講座「認知症サポーター養成講座」								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■チャレンジアートフェスティバル 舞台発表3/4 作品展示3/7～3/11</p> <p>■のびのびスポーツ教室 障害児のスポーツ活動を通して、体力の増強、交流、余暇活動の充実を図る。対象：市内の障害児（小学生）</p> <p>■体験乗馬療法 障害児と健常児の交流の中で、アニマルセラピーの効果により、障害児の精神的安定と共に啓発を図る。対象：障害児と健常児の小学生</p> <p>■出前講座 依頼の都度開催 【みんなのあんしん介護保険講座】 【認知症サポーター養成講座】1,200名以上のサポーターを養成する</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 舞台発表3/3 作品展示3/6～3/11 一般市民来場者を増加させ、障害福祉に対する市民の意識啓発及び理解の促進を図る。事業終了後に、市庁舎等での作品展示を行う</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 10/28 スポーツやレクリエーション活動、障害者が創意工夫を凝らして製作した作品の展示・販売等を行い、一般市民及びボランティア協力団体との交流を図る</p> <p>■のびのびスポーツ教室</p> <p>■体験乗馬療法</p> <p>■出前講座 依頼の都度開催 【みんなのあんしん介護保険講座】 【認知症サポーター養成講座】1,200名以上のサポーターを養成する</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 舞台発表3/2 作品展示3/5～3/10</p> <p>開催前に、茨城県庁及びつくば市役所庁舎内にて29年度制作の作品展示を行い、一般市民に向けた広報啓発を行う</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 10/27</p> <p>■のびのびスポーツ教室</p> <p>■体験乗馬療法</p> <p>■出前講座 依頼の都度開催する 【みんなのあんしん介護保険講座】 【認知症サポーター養成講座】1,200名以上のサポーターを養成する</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 舞台発表2/29 作品展示3/3～3/8</p> <p>開催前に、茨城県庁及びつくば市役所庁舎内にて30年度制作の作品展示を行い、一般市民に向けた広報啓発を行う</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 10/26</p> <p>■のびのびスポーツ教室</p> <p>■体験乗馬療法</p> <p>■出前講座 依頼の都度開催する「みんなのあんしん介護保険講座」</p> <p>■認知症サポーター養成講座 認知症サポーター養成講座を実施し、年間を通して1,200名以上の認知症サポーターを養成する。</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 舞台発表3/6、作品展示3/9～3/14</p> <p>開催前に、茨城県庁及びつくば市役所庁舎内にて令和元年度制作の作品展示を行い、一般市民に向けた広報啓発を行う。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 10/24</p> <p>■障害児運動教室</p> <p>■体験乗馬療法</p> <p>■出前講座 依頼の都度開催する 「みんなのあんしん介護保険講座」</p> <p>■認知症サポーター養成講座 2,000名以上のサポーターを養成する。</p>	
実績	<p>■チャレンジアートフェスティバル 計画通り実施。作品展示は3/12まで実施。県立つくば美術館での展示の後、市役所でも展示を実施</p> <p>■のびのびスポーツ教室19名</p> <p>■体験乗馬療法194名</p> <p>■介護保険講座 3回32名参加</p> <p>■認知症サポーター養成講座 59回2,231名参加。銀行や郵便局等の職域団体や小中学校関係からの依頼が多かった</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 計画のほかブレ企画も実施(2/25)</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 計画通り実施。例年の活動に加え、いきいき茨城ゆめ大会開催競技の体験会のブースを用意し、障害者スポーツの推進も実施</p> <p>■のびのびスポーツ教室20名</p> <p>■体験乗馬療法409名</p> <p>■出前講座 【みんなのあんしん介護保険講座】6回開催、184名参加 【認知症サポーター養成講座】43回開催し、1,426名のサポーターを養成した。銀行やカスミ社員等の職域団体や小中高等学校関係からの依頼が多かった。つくば市職員に対しても職員研修として講座を実施した</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 計画通り実施。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 計画通り実施。本年度は開催場所を研究学園駅前公園に変更。</p> <p>■のびのびスポーツ教室24名</p> <p>■体験乗馬療法403名</p> <p>■出前講座「みんなのあんしん介護保険講座」5回開催 約200名参加</p> <p>■認知症サポーター養成講座 認知症サポーター養成講座を77回開催し、3,079名のサポーターを養成した。職域団体や小中学校からの依頼が多かった。</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、作品展示のみ実施。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 悪天候が予想されたため、屋内の桜総合体育館で実施。</p> <p>■のびのびスポーツ教室 参加者25名</p> <p>■体験乗馬療法 参加者418名</p> <p>■出前講座「みんなのあんしん介護保険講座」4回開催 約200名参加</p> <p>■認知症サポーター養成講座 認知症サポーター養成講座を54回開催し、3,082名のサポーターを養成した。スーパー等の職域団体や小中学校での実施人数が多かった。</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、作品展示のみ実施。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 新型コロナウイルスの感染拡大防止により開催中止。</p> <p>■障害児運動教室 参加者24名（10回中4回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止）</p> <p>■体験乗馬療法 まつりつくば開催中止に伴い、体験乗馬療法も開催中止。</p> <p>■出前講座 「みんなのあんしん介護保険講座」開催なし</p> <p>■認知症サポーター養成講座 新型コロナウイルスの感染拡大により、小中学生の親や若い世代に対して認知症サポーター養成講座を開催することができなかった。</p>	
成果課題	<p>■チャレンジアートフェスティバル 広報活動は、新たに市内小中学校、つくバス内でのチラシ配布。試験的にFacebookでの事業周知(リーチ数約450)を行った</p> <p>■出前講座 【介護保険講座】市民（主に高齢者の方）に対して、介護保険制度について知っていただく機会を提供できた</p> <p>【認知症サポーター養成講座】地域での見守り以上の活動意欲のある認知症サポーターに、ステップアップ講座を受講してもらい認知症カフェのボランティアや認知症の啓発活動等に参加してもらうことができた</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 昨年度よりも多くの情報発信をし延べ参加者数が増加したと思われるが関係者以外の参加が少ない</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり いきいき茨城ゆめ大会競技の体験会を行ったことで一般参加の促進が図れた。27年度よりつくばカピオ（屋内会場）で開催しているが、屋外会場での実施を望む方もいる</p> <p>■のびのびスポーツ教室 障害児の体力増強・交流・余暇活動等の充実を図ることができた。また、事業前後の時間で、参加保護者や児童達が交流する様子が見られた。開催ごとに数人の欠席があることから、定員を若干名増やすことも検討する</p> <p>■体験乗馬療法 体験乗馬及びポニーへの餌やりをとおして、効果的なアルマセラピーを実施し、障害児の精神的安全を図ることができた。臭いへの苦情がある</p> <p>■出前講座 【みんなのあんしん介護保険講座】28年度の参加者は高齢者が多かったが、29年度は高齢者のほか、これから両親の介護を控える比較的若い層の参加があり、介護保険制度を知る機会を提供できた</p> <p>【認知症サポーター養成講座】認知症徘徊模擬訓練をきっかけに地域で数多くの認知症サポーターを養成し、地域での認知症の方の見守り活動の充実を図れた。認知症ステップアップ講座を受講したサポーターのボランティアや啓発活動への参加も活発に行われた</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 広報の幅を広げ、作品展示・舞台発表の来館者ともに昨年度を上回ったが、関係者以外の一般来館者数が少ないと思われる。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 研究学園駅前公園を会場とし、屋外で開催した。会場変更により、チャレンジブース等での一般参加が減少した。</p> <p>■のびのびスポーツ教室 障害児の体力増強・交流・余暇活動等の充実を図ることができた。また、事業前後の時間で、参加保護者や児童達が交流する様子が見られた。開催ごとに数人の欠席があることから、定員を若干名増やすことも検討する</p> <p>■体験乗馬療法 体験乗馬及びポニーへの餌やりをとおして、効果的なアルマセラピーを実施し、障害児の精神的安全を図ることができた。臭いへの苦情がある</p> <p>■出前講座「みんなのあんしん介護保険講座」 介護保険制度の理解を深めていただく機会を提供できた。</p> <p>■認知症サポーター養成講座 認知症の方とその家族を支える地域づくりを推進していくため、数多くの認知症サポーターを養成することが出来た。特に小中学生といった若い世代への啓発ができたことは有意義であった。また認知症サポーター養成講座を受講し、見守り以外の活動を希望されるサポーターに対し、ステップアップ講座を受講してもらうことにより認知症カフェのボランティアとして活動していただいたり、啓発活動等へ参加いただいた。</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 開催が冬の時期のため、他の感染症や流行病のリスクが高い。今後開催時期の検討が必要である。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 雨天時の開催について、会場の広さから参加できる人数に限りがあるため競技参加者やプログラム等競技内容について検討が必要である。</p> <p>■のびのびスポーツ教室 障害児の体力増強・交流・余暇活動等の充実を図ることができた。また年度途中での参加を希望する方からの問い合わせが多く寄せられる。</p> <p>■体験乗馬療法 体験乗馬及びポニーへの餌やりを通して、効果的なアニマルセラピーを実施できた。一般児童参加は盛況だが、障害者（児）の参加者数が伸びていない。</p> <p>■出前講座「みんなのあんしん介護保険講座」 介護保険制度の理解を深めていただく機会を提供できた。</p> <p>■認知症サポーター養成講座 幅広い世代で認知症サポーター養成講座を実施することで、認知症に対する理解の促進に努めることができた。また地域での見守り以外の活動を希望する認知症サポーターに対しての研修を行い、認知症カフェでのボランティアや啓発活動へ参加していただいた。</p>		<p>■おひさまサンサン生き生きまつり 実行委員会と協議しながら、障害者と高齢者が共にイベントに参加する意義を見出せるような内容になるよう検討していく必要がある。</p> <p>■認知症サポーター養成講座 新型コロナウイルスの感染状況によっては、今後も集合型での開催が困難なことが予想される。令和3年度よりオレンジリングから認知症サポーターカードに変更になるので、市民や企業に周知していく必要がある。</p> <p>■チャレンジアートフェスティバル 開催が冬の時期のため、他の感染症や流行病のリスクが高い。今後開催時期の検討が必要である。</p> <p>■障害児運動教室 制度や参加方法について広報つくばやホームページで引き続き周知を行う。</p>	
改善見直し	—		<p>■チャレンジアートフェスティバル より効果的な事業とするため、広く一般市民へ情報発信できるよう、広報活動を充実させる</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 屋外会場で実施する要望があったことから、メリット・デメリットを十分協議して、屋外開催の方針で定めていく</p> <p>■のびのびスポーツ教室 毎年度、毎年度を超えての申し込みがあるため、教室参加の経験がない新規の申込者を優先できるように調整する。</p> <p>■体験乗馬療法 場所の配置を検討する</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 市民の障害に対する理解を深めるため、関係者でない方にも多く来館してもらえよう、広報活動を充実させていく。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 障害者や高齢者との交流を図るため、チラシの配布等広報を強化し、一般参加を増やす必要がある。</p> <p>■のびのびスポーツ教室 毎年度、定員を超えての申し込みがあるため、教室参加の経験がない新規の申込者を優先できるように調整する。</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 開催時期について、実行委員会で準備に要する期間や感染症のリスクを鑑みながら検討を行う。</p> <p>■おひさまサンサン生き生きまつり 今年度、雨天開催した反省をふまえて、実行委員会プログラム等競技内容の検討を行う。</p> <p>■のびのびスポーツ教室 制度や参加方法について広報つくばやホームページで引き続き周知を行う。</p> <p>■体験乗馬療法 事業を周知する範囲を拡大する等広報活動を充実する。</p>		<p>■チャレンジアートフェスティバル 開催時期について、実行委員会で準備に要する期間や感染症のリスクを鑑みながら検討を行う。</p> <p>■認知症サポーター養成講座 新型コロナの感染状況によりオンライン開催も視野に入れた。機材やオンラインツールの使用方法について事前に把握する。</p> <p>認知症サポーター養成講座の依頼があった場合は、感染対策を行い実施し、オンライン開催についても周知していく。</p> <p>■障害児運動教室 制度や参加方法について広報つくばやホームページで引き続き周知を行う。</p>	

施策の柱	2	生涯学習環境の整備	学習や活動に興味を持ってもらえるよう、また活動へとつないでいけるよう、様々な媒体による情報提供を充実するとともに、きめ細やかな相談体制を整備しま							
方向性	(1)	相談体制の整備	す。							
関連課	生涯学習推進課	社会教育指導員の相談能力の向上				9頁				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>国及び県の生涯学習・社会教育行政の動向を受け、研修を実施する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育指導員自らによる研修企画を立案し、年2回以上開催する</li> <li>■茨城県と県南教育事務所主催「生涯学習・社会教育担当者研修会」に派遣社会教育主事と担当職員が参加する</li> <li>■社会教育指導員の配置 家庭教育の充実のため、文化芸術課に2名、各地域交流センターに14名を配置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育指導員自らによる研修企画を立案し、年2回以上開催する</li> <li>■茨城県と県南教育事務所主催「生涯学習・社会教育担当者研修会」に派遣社会教育主事と担当職員が参加する</li> <li>■社会教育指導員の配置 家庭教育の充実のため、文化芸術課に2名、各地域交流センターに14名を配置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育指導員自らによる研修企画を立案し、年2回以上開催する</li> <li>■茨城県と県南教育事務所主催「生涯学習・社会教育担当者研修会」に派遣社会教育主事と担当職員が参加する</li> <li>■社会教育指導員の配置 家庭教育を充実させるため、生涯学習推進課に3名、各地域交流センターに13名を配置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育指導員自らによる研修企画を立案し、年2回以上開催する</li> <li>■茨城県と県南教育事務所主催「生涯学習・社会教育担当者研修会」に派遣社会教育主事と担当職員が参加する</li> <li>■社会教育指導員の配置 家庭教育を充実させるため、生涯学習推進課に13名を配置</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■社会教育指導員自らによる研修企画を立案し、年2回以上開催する</li> <li>■茨城県と県南教育事務所主催「生涯学習・社会教育担当者研修会」に派遣社会教育主事と担当職員が参加する</li> <li>■社会教育指導員の配置 家庭教育を充実させるため、生涯学習推進課に11名を配置</li> </ul>	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■自主企画研修 社会教育指導員新人研修/地域と学校連携・協働における交流センター/社会教育指導員の役割についての研修/中学校家庭教育セミナー模擬学習研修/企画書、チラシの作り方についての研修</li> <li>■茨城県と県内教育事務所主催研修 県南管内社会教育担当者研修会2回/県社会教育主事研修会2回</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■自主企画研修 社会教育指導員新人研修/子供に手渡す3つの幸せ力と地域の役割についての研修/地域と学校をつなぐ社会教育指導員の役割についての研修</li> <li>■茨城県と県内教育事務所主催研修 県南管内社会教育担当者研修会2回参加/生涯学習・社会教育担当者研修会・県社会教育主事研修会3回参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■自主企画研修 社会教育指導員新人研修/つくば市の教育についての研修/つくばの子育て支援についての研修</li> <li>■茨城県と県内教育事務所主催研修 県南管内社会教育担当者研修会1回参加/生涯学習・社会教育担当者研修会・県社会教育主事研修会3回参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■自主企画研修 社会教育指導員研修/つくば市の教育についての研修/つくばの子育て支援についての研修</li> <li>■茨城県と県内教育事務所主催研修 県南管内社会教育担当者研修会1回参加/生涯学習・社会教育担当者研修会・県社会教育主事研修会3回参加</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■自主企画研修 社会教育指導員研修/いじめ問題に関する研修/人権についての研修</li> <li>■茨城県と県内教育事務所主催研修 生涯学習・社会教育担当者研修会参加</li> </ul>	
成果課題	実務的内容・職務上の役割を意識した知識を取り入れ、社会教育指導員として、適切な指導をすることが出来た		実務的内容・職務上の役割を意識した知識を取り入れ、社会教育指導員として、適切な指導をすることが出来た		実務的内容・職務上の役割を意識した知識を取り入れ、社会教育指導員として、適切な指導をすることが出来た		実務的内容・職務上の役割を意識した知識を取り入れ、社会教育指導員として、適切な指導をすることが出来た		コロナ禍における学習方法を検討し、社会教育指導員として新たな学習方法を確立することが出来た	
改善見直し	—		—		—		—		—	

施策の柱	2	生涯学習環境の整備	生涯学習により自己実現につながることを、さらに地域社会への還元・貢献ができることなど、生涯学習の意義や理念を理解し、一人でも多くの市民が生涯学習に取り組むよう啓蒙・啓発活動を行います。							
方向性	(2)	学習意欲を高めるための啓発活動								
関連課	広報戦略課	H P、広報発行				10頁				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■広報 毎月、情報コーナーに「講座」「スポーツ」欄を設け、学習情報を分類分けし掲載 地域交流センター講座の特集を前期(5月)、後期(9月)の年2回、各4ページで発行 ■ACC S/ラヂオつくば 広報紙に掲載された情報を基に放送する ACC S: 14分番組を1日5回(番組の更新は週1回) ラヂオつくば: 15分番組を1日1回(番組の更新は週1回)</p>		<p>■広報 ■ACC S/ラヂオつくば</p>		<p>■広報 ■ACC S/ラヂオつくば</p>		<p>■広報 毎月1回1日発行。 地域交流センター講座の特集を前期(5月)、後期(9月)の年2回掲載。 ■ACC S/ラヂオつくば ACC S: 14分番組を1日5回(更新は週1回)。 ラヂオつくば: 15分番組を1日1回(更新は週1回)。</p>		<p>■広報 広報つくばを毎月1日に発行する。 9月号を目途に地域交流センター講座の特集(4ページ)を掲載する。 ■ACC S 14分番組「つくば市広報タイム」を毎日5回放映する。 ■ラヂオつくば 15分番組「つくば市広報ステーション」を月曜日から金曜日まで1日1回放送する。</p>	
実績	<p>■広報 毎月、「講座」や「スポーツ」欄を設け、学習情報を発信した。また、地域交流センター講座特集を、広報つくば5月号に前期分4ページ、9月号に後期分4ページ掲載した。 ■ACC S/ラヂオつくば ACC S: 年間を通じて毎日放送 ラヂオつくば: 月～金の261日放送</p>		<p>■広報 予定通り実施 ■ACC S/ラヂオつくば ACC S: 年間を通じて毎日放送 ラヂオつくば: 月～金の260日放送</p>		<p>■広報 毎月発行。 5月及び9月号に、地域交流センター講座の特集(各4ページ)を増刷した。 ■ACC S/ラヂオつくば ACC S: 年間を通じて毎日放送。 ラヂオつくば: 月～金の260日放送。</p>		<p>■広報 広報つくば(各12～24ページ)を毎月1日に発行した。(計12回発行) 5月及び9月号に地域交流センター講座の特集(各4ページ)を掲載した。 ■ACC S 14分番組「つくば市広報タイム」を1日5回放映した。(計1,830回放映) ■ラヂオつくば 15分番組「つくば市広報ステーション」を1日1回放送した。(計261回放送)</p>		<p>■広報 広報つくばを毎月1日に発行した。(計12回発行) その他、臨時号を4月15日に発行した。(新型コロナウイルス感染症に関する情報について) ■ACC S 14分番組「つくば市広報タイム」を1日5回放映した。(計1,825回放映) ■ラヂオつくば 15分番組「つくば市広報ステーション」を1日1回(月～金)放送した。(計261回放送)</p>	
成果課題	<p>広報やACC S・ラヂオつくばを通じて、市民に学習情報を提供することができた。特にACC Sではイベントや講座などを映像で紹介でき、学習や活動に興味を持つきっかけとして効果があるものと考えられる</p>		<p>■広報 毎月、講座や講演、スポーツ、イベントなど、様々なジャンルの学習情報を市民に提供することができた ■ACC S/ラヂオつくば ACC Sやラヂオつくばを通じて、市民に学習情報を提供することができた。特にACC Sは、イベントや講座などの情報を映像で紹介できるので、興味を持つきっかけや学習を継続する励みとして効果があるものと考えられる</p>		<p>■広報 毎月発行の広報紙の中で、講座や講演、スポーツ、イベントなどの学習に必要な情報を提供することができた。 ■ACC S/ラヂオつくば ACC Sやラヂオつくばを通じて、市民に必要な学習情報を提供することができた。特にACC Sは、イベントや講座などの情報を映像で紹介することができるので、学習に興味を持つきっかけとして効果があるものと考えられる。</p>		<p>■広報 8月号から、紙面デザインを大幅に見直し、ユニバーサルデザインフォントを導入することで、紙面の視認性や可読性を高めることができた。 ■ACC S 季節や情勢に応じた放映内容とすることで、ホームページや広報紙で伝えることが難しい情報を伝達することができた。</p>		<p>■広報 毎月発行の広報紙の中で、講座や講演、スポーツ、イベントなど生涯学習に必要な情報を提供することができた。 ■ACC S 季節や情勢に応じた放映内容とすることで、ホームページや広報紙だけでなく、伝えたい情報をタイムリーに発信することができた。</p>	
改善見直し	—		—		—		—		—	

施策の柱	2	生涯学習環境の整備	市民が充実した学習や活動を行うために、その活動を様々な面から支援する豊富な知識や経験を持った人材を発掘・確保し、生涯学習の指導者として養成します。					
方向性	(3)	学習意欲を高めるための啓発活動	また、学習成果を適切に評価し、学習者の意欲を更に高めていけるよう、学習成果の発表の場の充実や地域社会へ還元するシステムを構築します。					
関連課	企画経営課	OB人材活動支援事業					11頁	
	生涯学習推進課	指導者情報提供事業						
	文化芸術課	市民文化祭の充実						
年度	28年度		29年度		30年度		元年度	2年度
計画	<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>シニア・エキスパート便覧の発行・配布。広報紙等の掲載により事業の周知</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>市民の問合せに応じて指導者を紹介</p> <p>■市民文化祭 会場：筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荳崎・中央 11/5～6（荳崎のみ11/1～11/6）体験教室や子供たちの作品展示を通し、集客につなげる。参加団体への助成金の上限引き上げを検討する</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>■市民文化祭</p> <p>会場：筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荳崎・中央</p> <p>11/4～11/5（荳崎のみ10/31～10/5）</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>■指導者情報提供事業</p> <p>■市民文化祭 11/3～4（荳崎のみ10/28～11/4）体験教室や子供たちの作品展示を通し、集客につなげる。また、参加団体への助成金割合の変更について検討する</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>シニア・エキスパート便覧の発行や配布、広報紙等の掲載により事業を周知</p> <p>■指導者情報提供事業</p> <p>市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を整理する。</p> <p>指導者情報をホームページに掲載し、市民の問合せに応じて、講師の紹介をする。</p> <p>チラシの作成、配布</p> <p>■市民文化祭</p> <p>日時：11/2～3（荳崎会場のみ10/29～11/4）（ノバホール音楽会は11/9・10）</p> <p>会場：筑波・大穂・豊里・谷田部・桜・荳崎・中央</p>	<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の収束を待ち、シニア・エキスパート便覧の発行や配布、広報紙等の掲載により事業を周知</p> <p>■指導者情報提供事業</p> <p>市の講座、家庭教育学級の講座等で活用できるよう生涯学習指導者の情報を整理する。</p> <p>指導者情報をホームページに掲載し、市民の問合せに応じて、講師の紹介をする。</p> <p>チラシの作成、配布</p> <p>■市民文化祭 11/7～8（荳崎会場は展示を1週間程度先だてて開始、ノバホール音楽会11/8、14）※上記日程にて開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止</p>
実績	<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>シニア・エキスパート便覧第13版（平成28年5月）及び第14版（平成28年11月）の発行や広報紙に掲載し、広く周知した</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数80件（うち25件開催）</p> <p>新規登録84名（総数291名）</p> <p>■市民文化祭</p> <p>参加団体数：358団体</p> <p>参加者数：4,837名</p> <p>来場者数：27,780名</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>649回（前年度比約16%増）</p> <p>シニア・エキスパート便覧第15版（平成29年7月）の発行や広報紙に掲載し、広く周知した</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数72件（うち17件開催）</p> <p>新規登録指導員36名（総数232名）</p> <p>継続の意思確認をし、講師情報を更新した</p> <p>■市民文化祭</p> <p>参加団体377団体4,961名参加</p> <p>来場者数28,084名</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>登録者活動回数：686回（前年度比約6%増）</p> <p>シニア・エキスパート便覧第16版（平成30年5月）の発行や広報紙に掲載し、広く周知した</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数 79件（うち4件開催）</p> <p>新規登録者数 32名（総数223名）</p> <p>2月に登録している指導者全員に通知を出し、登録情報の更新作業を行った。</p> <p>また、新規登録者で指導経験が少ない講師を対象に、おためし講座を実施した。</p> <p>■市民文化祭</p> <p>参加団体数：379団体</p> <p>参加者数：4,879名</p> <p>来場者数：30,458名</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>登録者活動回数：634回（前年度比約7.5%減、新型コロナウイルス感染症の影響で3月の実績が減）</p> <p>シニア・エキスパート便覧第17版（令和元年6月）の発行や広報紙に掲載し、広く周知した。</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数 64件（うち3件開催）</p> <p>新規登録者数 19名（総数 237名）</p> <p>■市民文化祭</p> <p>参加団体数：358団体</p> <p>参加者数：4,856名</p> <p>来場者数：35,505名</p>	<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>登録者活動回数：123回（前年度比80.6%減、新型コロナウイルス感染症の影響による、対面実施の停止による減少）</p> <p>シニア・エキスパート便覧第18版（令和2年11月）を発行し広く周知した。</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数 45件</p> <p>新規登録者数 9名（総数 245名）</p> <p>■市民文化祭</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となったため、代替企画として、SNSのInstagramを利用した作品発表や、ノバホール音楽界の無観客公演を行い、内容をYouTubeで公開した。</p> <p>YouTube動画再生数：32,233回</p> <p>Instagram配信団体数：41団体</p>
成果課題	<p>■OB人材活動支援事業 シニア・エキスパート登録者の活動実績が昨年より約50回増えるなど生涯学習機会の提供に寄与した</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数に対する開催件数の割合が31%だった原因を探り、開催件数を増やす</p> <p>■市民文化祭 市民が文化芸術を身近に接することにより、興味や関心を育むきっかけとなり、市全体の文化意識の高揚につながった。また、体験教室や子供たちの作品展示を行い、アンケートでも高評価を得ることができた</p>		<p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>紹介件数に対する開催件数の割合が23%だった原因を探り、開催件数を増やす</p> <p>■市民文化祭</p> <p>市民が文化芸術を身近に接することにより、興味や関心を育むきっかけとなり、市全体の文化意識の高揚につながった。また、体験教室や子供たちの作品展示を行い、アンケートでも高評価を得ることができた</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>地域交流センター講座や小学校の放課後教室等をはじめ市内外へ講師派遣をマッチングし、シニア層の活動を支援できた。</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>「生涯学習インストラクター」を新たに登録するとともに、既に登録されている講師情報を更新し、最新の情報を提供できるようにした。</p> <p>おためし講座を実施することで、登録者に講師の機会を提供するとともに、事業の利用促進を図ることができた。</p> <p>■市民文化祭</p> <p>市民が文化芸術を身近に接することにより、興味や関心を育むきっかけとなり、市全体の文化芸術に対する意識の高揚につながった。また、荳崎会場では、くまざき夢まつりとの同時開催を行い、来場者の増加につながった。</p> <p>体験教室等を行う団体への助成金割合を引き上げ、団体の負担軽減を図った。</p>		<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>地域交流センター講座や小学校の放課後教室等をはじめ市内外へ講師派遣をマッチングし、シニア層の活動を支援できた。</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>学習を希望する市民に対して、希望に沿う講師を紹介することで、市民の生涯学習の推進を図ることができた。</p> <p>■市民文化祭</p> <p>市民が文化芸術に身近に接することにより、興味や関心をはぐくむきっかけとなり、市全体の文化芸術に対する意識の高揚につながった。また、くまざき夢まつりや、谷田部のオクタムフェア、北条市など、地域イベントとの同時開催を実施することで、来場者を増加させることができた。</p>	<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、大幅な活動の縮小となったが、事業周知や、執筆活動におけるマッチングについては継続的に実施することができた。</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業</p> <p>学習を希望する市民に対して、希望に沿う講師を紹介することで、市民の生涯学習の推進を図ることができた。</p> <p>■市民文化祭</p> <p>交流センター等の会場での実施はかなわなかったものの、オンライン媒体を利用して文化芸術情報を発信する取り組みを新しく始めることができたため、今後の文化芸術活動の発展に寄与するものとなった。</p>
改善見直し	—		<p>■市民文化祭 参加者・来場者アンケートで多かった意見（谷田部会場の照明が暗い、助成金の割合を上げてほしい等）について検討し、さらなる参加者満足度の向上をめざす</p>		—		<p>■生涯学習指導者情報提供事業 情報提供の際に、連絡との取れない指導者がいたことから、登録情報の更新を図る。</p>	<p>■OB人材活動支援事業</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、登録者のオンライン対応の可否について個別に把握し、今後の事業実施に活用する。</p> <p>■生涯学習指導者情報提供事業 情報提供の際に、連絡が取れない指導者がいたことから、登録情報の更新を図る。</p>

施策の柱	3	生涯学習関連施設の充実	市民の主体的な学習を支援する身近な生涯学習施設として、地域交流センター等の整備・活用を進めます。							
方向性	(1)	市民同士が交流できる施設の充実								
関連課	文化芸術課	地域交流センターでの学級・講座の充実				12頁				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果の内容等を踏まえ、市民ニーズに対応した講座の実施する</p> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行う</p> <p>■交流センターで活動しているサークル・グループの情報を集約し、新たにサークル活動に参加したい方に提供することで、市民の絆づくり・地域づくりのための学習機会の提供を図る</p>		<p>■利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果の内容等を踏まえ、市民ニーズに対応した講座の実施する</p> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行う</p> <p>■交流センターで活動しているサークル・グループの情報を集約し、新たにサークル活動に参加したい方に提供することで、市民の絆づくり・地域づくりのための学習機会の提供を図る</p>		<p>■利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果の内容等を踏まえ、市民ニーズに対応した講座の実施する</p> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行う</p> <p>■交流センターで活動しているサークル・グループの情報を集約し、新たにサークル活動に参加したい方に提供することで、市民の絆づくり・地域づくりのための学習機会の提供を図る</p>		<p>■利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果の内容等を踏まえ、市民ニーズに対応した講座の実施する。</p> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行う。</p> <p>■交流センターで活動しているサークル・グループの情報を集約し、新たにサークル活動に参加したい方に提供することで、市民の絆づくり・地域づくりのための学習機会の提供を図る。</p>		<p>■利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果の内容等を踏まえ、市民ニーズに対応した講座の実施する。※新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため前期講座中止</p> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行う。</p> <p>■交流センターで活動しているサークル・グループの情報を集約し、新たにサークル活動に参加したい方に提供することで、市民の絆づくり・地域づくりのための学習機会の提供を図る。</p>	
実績	<p>■年間で178講座実施</p> <p>小中学生対象10講座/一般対象133講座/高齢者対象9講座/親子対象26講座</p> <p>■利用者アンケートの結果（回収数1,012）</p> <p>（1）講座の認知度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座に参加したことのある割合48%</li> <li>・参加したことがない割合51%</li> </ul> <p>（2）講座に参加したことがない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の都合が合わなかった51%</li> <li>・興味のある講座がなかった21%</li> <li>・講座があることを知らなかった19%</li> </ul> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行った。</p> <p>■サークルグループの活動内容や連絡先などの情報について、代表者の了解のもとで提供を実施</p>		<p>■年間で142講座実施</p> <p>小中学生対象3講座/一般対象116講座/高齢者対象5講座/親子対象18講座</p> <p>■利用者アンケートの結果（回収数766）</p> <p>（1）講座の認知度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座に参加したことのある割合：39%</li> <li>・参加したことがない割合：61%</li> </ul> <p>（2）講座に参加したことがない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の都合が合わなかった：46%</li> <li>・興味のある講座がなかった：31%</li> <li>・講座があることを知らなかった：19%</li> </ul> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行った。予約開始日の早朝から窓口に並ぶ団体が見受けられることから、予約方法の全体的な見直しを視野に入れたアンケートを実施した</p> <p>■サークルグループの活動内容や連絡先などの情報について、代表者の了解のもとで提供を行った</p>		<p>■年間で131講座実施</p> <p>小中学生対象3講座/一般対象107講座/高齢者対象6講座/親子、託児付き対象15講座</p> <p>■利用者アンケートの結果（回収数766）</p> <p>（1）講座の認知度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座に参加したことのある割合：40%</li> <li>・参加したことがない割合：60%</li> </ul> <p>（2）講座に参加したことがない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の都合が合わなかった：27%</li> <li>・興味のある講座がなかった：27%</li> </ul> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行った。</p> <p>■サークルグループの活動内容や連絡先などの情報について、代表者の了解のもとで提供を行った。</p>		<p>■年間で130講座実施</p> <p>小中学生対象2講座/一般対象111講座/高齢者対象5講座/親子、託児付き対象12講座</p> <p>■利用者アンケートの結果（回収数848）</p> <p>（1）講座の認知度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座に参加したことのある割合：49%</li> <li>・参加したことがない割合：51%</li> </ul> <p>（2）講座に参加したことがない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の都合が合わなかった：43%</li> <li>・興味のある講座がなかった：20%</li> </ul> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行った。</p> <p>■サークルグループの活動内容や連絡先などの情報について、代表者の了解のもとで提供を行った。</p>		<p>■年間で20講座実施</p> <p>小中学生対象2講座/一般対象15講座/高齢者対象2講座/親子、託児付き対象1講座</p> <p>■利用者アンケートの結果（回収数507）</p> <p>（1）講座の認知度</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講座に参加したことのある割合：49%</li> <li>・参加したことがない割合：51%</li> </ul> <p>（2）講座に参加したことがない理由</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・時間の都合が合わなかった：50%</li> <li>・興味のある講座がなかった：31%</li> </ul> <p>■公共施設予約システムを利用した仮予約の受付を行った。</p> <p>■サークルグループの活動内容や連絡先などの情報について、代表者の了解のもとで提供を行った。</p>	
成果課題	<p>利用者に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、講座専門部会等で講座内容の充実を図った。特に、平日昼間の講座参加が難しい方にも対応し、夜間及び土日祝日開講の講座を昨年度より多く開催したことにより、参加者に好評を得た。</p>		<p>■利用者に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、講座専門部会等で講座内容の充実を図った。特に、平日昼間の講座参加が難しい方にも対応し、夜間及び土日祝日開講の講座を昨年度より多く開催したことにより、参加者に好評を得た</p> <p>■予約方法についてのアンケート結果から、73%の利用者が現行の予約方式を継続することを希望していることが分かった</p>		<p>■利用者アンケート結果から「サークル活動場所の提供」の役割が突出して求められており、サークル（地域活動団体）にとっての活動場所としての需要の高さが読み取れた。「地域のコーディネーターとしての機能」については、割合としては低いものの68件の回答があった。</p> <p>■予約開始日の早朝から多くの団体が窓口に並ぶ状況を改善するため、最も望ましい方法を現行の「先着順により2か月分を一括して予約する方法」を含めた5種類の方法の中から選択させた。</p> <p>結果、「現行のままが良い」という意見が最も多く、404件（68%）、続いて「インターネット予約優先」が95件（16%）、「利用者間協議」が63件（10%）となり、現行以外の方法に消極的であることが分かった。</p>		<p>■予約開始日の早朝から多くの団体が窓口に並ぶ状況を改善するため、最も望ましい方法を現行の「先着順により2か月分を一括して予約する方法」を含めた5種類の方法の中から選択させた。</p> <p>結果、「現行のままが良い」という意見が最も多く、514件（71%）、続いて「インターネット予約優先」が115件（16%）、「利用者間協議」が59件（8%）となり、現行以外の方法に消極的であることが分かった。</p>		<p>■予約開始日の早朝から多くの団体が窓口に並ぶ状況を改善するため、最も望ましい方法を現行の「先着順により2か月分を一括して予約する方法」を含めた5種類の方法の中から選択させた。</p> <p>結果、「現行のままが良い」という意見が最も多く、401件（79%）、続いて「インターネット予約優先」が50件（15%）、「利用協議会での予約調整」が40件（8%）となり、現行以外の方法に消極的であることが分かった。</p>	
改善見直し	—		—		—		—		—	

施策の柱	3	生涯学習関連施設の充実	市民が知りたいことを調べ考え身につけるための身近な情報拠点として、図書館等の整備・活用を進めます。							
方向性	(2)	図書館機能の充実								
関連課	中央図書館	図書館事業とボランティアとの連携	(文化芸術課)	地域交流センター図書室との連携促進		13頁				
		図書館事業に関する広報の充実								
		既存施設における機能充実								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアとの共催事業 おはなし会/ボランティア公演（グループスイミー、パネルシアターかくれんぼ）/図書館わくわくランド</li> <li>■ボランティア主催事業 古典ブックトーク/おとなのためのブックトーク</li> <li>■公園通りの図書館通信「ヨモッカ」と「こどもヨモッカ」の発行（年2回）</li> <li>■交流センターとの連携 蔵書点検/図書資料の発注/委託要員研修を実施</li> <li>■調査・研究しやすい環境整備 料の収集により、調査・研究の援助する</li> <li>■計画的な施設の修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの募集/説明会</li> <li>■9つのボランティアグループの支援 お話し会/地域文化/地域資料/修理/配架/音訳/点訳/国際文化サービス/児童サービス</li> <li>■各ボランティアグループの見学（新規）</li> <li>■ヨモッカ：年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等 こどもヨモッカ：年2回発行・各小学校中学年に配布等</li> <li>■交流センターとの連携</li> <li>■調査・研究しやすい環境整備</li> <li>■計画的な施設の修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティア H29年度と同じ</li> <li>■ヨモッカ H29年度と同じ</li> <li>■平成31年度業務委託契約準備/委託要員研修/蔵書点検/図書資料の購入</li> <li>■調査・研究しやすい環境の整備 資料の収集により、調査・研究の援助/国立国会図書館デジタル配信サービスの利用開始</li> <li>■計画的な施設の修繕</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 前年度3月中：ボランティアの募集、ボランティア説明会、各ボランティア見学（新規）/本年度4月～：各9つのボランティアで活動開始</li> <li>■広報活動 図書館ホームページの運営管理(随時)/広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)/南1駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月)/公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)/こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)/マスコミへの情報提供</li> <li>■調査・研究の支援 資料の収集により、調査・研究の援助</li> <li>■計画的な施設の維持管理</li> <li>■地域交流センター図書室運営 委託要員研修/図書資料の発注/蔵書点検の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 前年度3月中：ボランティアの募集、ボランティア説明会、各ボランティア見学（新規）/本年度4月～：各9つのボランティアで活動開始</li> <li>■広報活動 図書館ホームページの運営管理(随時)/広報つくばへの催事案内等掲載(毎月)/南1駐車場エレベーターホールへの催事案内等掲示(毎月)/公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)/こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)/マスコミへの情報提供</li> <li>■調査・研究の支援 資料の収集により、調査・研究の援助</li> <li>■計画的な施設の維持管理</li> <li>■地域交流センター図書室運営 委託要員研修/図書資料の発注/蔵書点検の実施</li> </ul>	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアとの共催事業 おはなし会（毎週土曜日等）、ボランティア公演（6/18グループスイミー、5/28パネルシアターかくれんぼ）、5/7図書館わくわくランド</li> <li>■ボランティア主催事業 古典ブックトーク（毎月第3土曜日）/おとなのためのブックトーク（毎月第1土曜日）</li> <li>■ヨモッカ 計画通り発行。区会回覧や各小中学校に配布</li> <li>■交流センターとの連携 図書資料の発注と蔵書点検/委託要員研修2回/リーダー座談会2回</li> <li>■調査・環境整備 司書の参考図書購入163冊/調査・研究質問1,794件/研修会へ参加</li> <li>■館内の空調管理や照明管理を実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■4月から9つのグループで活動した。ボランティア会員数132名</li> <li>■ヨモッカ 計画通り発行。区会回覧のほか、夏休み・冬休み前に各小中学校に配布</li> <li>■交流センターとの連携 リーダー研修会/図書資料の発注/蔵書点検/図書館情報システムの更新</li> <li>/交流センター蔵書充実のため各図書室の図書備品費の予算を増額要求</li> <li>以下平成30年4月から実施↓</li> <li>■土・日の開館時間を午後5時までだったものを午後7時に延長</li> <li>■駐車場無料サービスをこれまでの1時間から2時間に拡充</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 4月から9つのボランティアに分かれて活動した。/ボランティア会員数142名</li> <li>■広報活動 図書館ホームページの更新/広報つくばへの催事案内等掲載（毎月）/南1駐車場エレベーターホールへの催事案内掲示(毎月)/つくばイベントカレンダーの案内掲載（毎月）/公園通りの図書館通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)/こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)/マスコミへの情報提供</li> <li>■調査・研究の支援 参考図書購入冊数：179冊/調査・研究質問件数：1,808件/研修会への参加/国立国会図書館デジタル配信サービスの利用開始（10月）</li> <li>■施設維持管理 施設維持管理業務や改修工事、その他修繕についてはほぼ計画とおりに執行することができた。</li> <li>■地域交流センター図書室運営 リーダー会議の開催/中央図書館の在架資料のWEB予約開始：9,194件/図書資料の発注 4,681冊（昨年比 1,530冊増）/蔵書点検</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 4月から9つのボランティアに分かれて活動した。/ボランティア会員数159名</li> <li>■広報活動 図書館ホームページの更新/広報つくばへの催事案内等掲載（毎月）/南1駐車場エレベーターホールへの催事案内掲示(毎月)/つくばイベントカレンダーの案内掲載（毎月）/公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)/こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)/マスコミへの情報提供</li> <li>■調査・研究の支援 参考図書購入冊数：158冊/調査・研究質問件数：1,608件/研修会への参加</li> <li>■施設維持管理 施設維持管理業務や改修工事、その他修繕についてはほぼ計画とおりに執行することができた。</li> <li>■地域交流センター図書室運営 リーダー会議の開催/中央図書館の在架資料のWEB予約：11,601件/図書資料の発注 4,546冊（昨年比 135冊減）/蔵書点検</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 4月から10のボランティアに分かれて活動した。/ボランティア会員数150名</li> <li>■広報活動 図書館ホームページの更新/広報つくばへの催事案内等掲載（毎月）/南1駐車場エレベーターホールへの催事案内掲示(毎月)/つくばイベントカレンダーの案内掲載（毎月）/公園通りの図書館通通信「ヨモッカ」(年2回発行・区会回覧・図書館窓口配布等)/こどもヨモッカ(年2回発行・各小学校中学年に配布等)/マスコミへの情報提供</li> <li>■調査・研究の支援 研究質問件数：1,389件/研修会への参加</li> <li>■施設維持管理 施設維持管理業務や改修工事、その他修繕についてはほぼ計画とおりに執行することができた。</li> <li>■地域交流センター図書室運営 リーダー会議の開催//図書資料の発注 4,874冊（昨年比 328冊増）/蔵書点検</li> </ul>	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティア事業 多くのボランティアの方にご協力いただき、事業を実施できた</li> <li>■交流センターとの連携 委託先要員の研修を実施したため、効率よく連携できた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティア 活動日重複のため会議室確保調整が課題</li> <li>■交流センターとの連携 委託業者と配送ルートの見直しや図書館情報システムを更新。中央図書館に遠い方の利便性向上のため、蔵書の少ない交流センターについて、中央図書館の在架の資料がWeb予約できるよう検討、H30年度開始</li> <li>■調査・研究しやすい環境整備 レファレンスコーナーで支援。相互貸借等を活用し利用者の要望にほぼ応えた。課題は、レファレンスコーナーの役割周知、研修時間に制約がある、司書の資格がある職員が不足している事</li> <li>■施設設備 年数が増すごとに老朽化の度合いを増してくるので、今後修繕箇所が増加してくると考えられる。優先順位をつけて計画的に適切に対応する必要がある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 市民協働により、図書館サービスを充実させることができた。/活動日の重複により、活動するための作業室の確保、調整が必要である。また、新規登録者を増やしたい。/ボランティア間の連携強化のため、ボランティア連絡会の開催の検討が必要である。</li> <li>■広報活動 様々な手段で広報し、多くの人へ情報発信できた。/広報に努めているが図書館利用者以外への周知が難しく、情報発信力の更なる強化が必要である。</li> <li>■調査・研究の支援 利用者の調査研究の支援が行えた。/利用者にレファレンスサービスを受ける職員が十分な研修を受けられない。</li> <li>■施設維持管理 各修繕についてはほぼ計画通りに執行し、市民が安全で快適に使用できるよう適切な維持管理を行うことができた。/施設設備は老朽化が進んでおり、計画的な修繕が必要。特に蔵書の半数近くが所蔵されている電動書架に不具合が発生しているため、早急な対応が必要である。</li> <li>■地域交流センター図書室運営 希望の資料を手に取りやすい環境を整備し、地域交流センター図書室の利便性が向上した。/各交流センター図書室ごとに利用者の年齢層などが異なるための、細やかな選書。また、利用が増えている図書室の事務繁忙化への対応。特に谷田部交流センター図書室の利用者が急増している。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティアの支援 市民協働により、図書館サービスを充実させることができた。/活動日の重複により、活動するための作業室の確保、調整が必要である。また、新規登録者を増やしたい。/ボランティア間の連携強化のため、ボランティア連絡会の開催の検討が必要である。</li> <li>■広報活動 様々な手段で広報し、多くの人へ情報発信できた。/広報に努めているが図書館利用者以外への周知が難しく、情報発信力の更なる強化が必要である。</li> <li>■調査・研究の支援 利用者の調査研究の支援が行った。/レファレンス対応を行うことができる職員の養成が必要。</li> <li>■施設維持管理 新型コロナウイルス対策のため予算を減額し、一部の事業について状態を確認し、翌年度に先送りすることとした。/施設・設備は老朽化が進んでおり、計画的な改修・修繕が必要。</li> <li>■地域交流センター図書室運営 交流センター図書室の資料や環境を整備し、地域交流センター図書室の利便性を向上させた。/委託業者の業務運営従事者を対象とした研修を充実させる必要がある。</li> </ul>			
改善見直し	—		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ボランティア活動を円滑に進めるため、図書館とボランティア/ボランティアグループ同士の連携を強化する</li> <li>■修繕については、費用対効果を考えて進める</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動を円滑に進めるため、図書館とボランティア・ボランティアグループ同士の連携を強化する。/図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、広報つくばをはじめとした各種媒体を通し、継続的な情報発信を行う。/資料の収集により、利用者の調査・研究の援助を行う。/利用者が安全に快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え修繕を進める。/オンラインで結ばれている4交流センター図書室の図書資料の収集に努め、蔵書増を目指す。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア活動について職員が積極的に関わり、活動を盛り上げていく。/図書館ホームページの適切な更新を行うとともに、広報つくばをはじめとした各種媒体を通し、継続的な情報発信を行う。/資料の収集により、利用者の調査研究の支援を行う。/図書館及び視聴覚センターを利用者が快適に使用できるよう維持管理し、費用対効果を考え改修・修繕を進める。/各施設において図書館サービスの内容について共通理解を図り、中央図書館、各交流センター図書室で共通したサービスを提供できるようにする。</li> </ul>			

施策の柱	3	生涯学習関連施設の充実	市民が気軽に参加でき、発表できる場として、また、優れた文化芸術に触れる鑑賞機会の場として、市民ホール等の整備・活用を進めます。							
方向性	(3)	芸術・文化にふれあう施設の充実								
関連課	文化芸術課	ノバホール、カピオの機能充実				14頁				
		市民ホールにおける公共施設予約システム導入の推進								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■ノバホール・カピオ</p> <p>施設利用者の利便性等を図るため必要な改修工事等を実施する</p> <p>■市民ホール</p> <p>予約システムの導入について検討する</p>		<p>■ノバホール・つくばカピオ</p> <p>施設利用者の利便性等を図るため必要な改修工事等を実施する</p> <p>■市民ホール</p> <p>予約システムの導入について検討する</p>		<p>■ノバホール・カピオ</p> <p>施設機能の維持向上を図るため必要な改修及び修繕を実施する</p> <p>■市民ホール</p> <p>引き続き市民ホールにおけ公共施設予約システムの導入について検討をする</p>		<p>■ノバホール・カピオ・市民ホール</p> <p>施設機能の維持向上を図るため、必要な改修及び修繕を実施する。</p>		<p>■ノバホール・カピオ・市民ホール</p> <p>施設機能の維持向上を図るため、必要な改修及び修繕を実施する。</p>	
実績	<p>■ノバホール</p> <p>9月 調光器盤内関数発生器交換修繕</p> <p>2月 舞台用内線電話修繕</p> <p>■つくばカピオ</p> <p>2月 消防設備修繕、移動式バスケットゴール修繕</p> <p>3月 冷温水ポンプ修繕</p> <p>■市民ホール</p> <p>公共施設予約システムの導入について担当者会議等で検討を実施</p>		<p>■ノバホール</p> <p>6月 トイレ改修工事（洋式化）</p> <p>2月 舞台照明設備修繕</p> <p>3月 空調機修繕</p> <p>■カピオ</p> <p>10月 ホール舞台照明音響室排煙窓装置修繕</p> <p>11月 監視カメラ及び放送設備改修</p> <p>■市民ホール</p> <p>公共施設予約システムの導入について担当者会議等で検討を実施した</p>		<p>■ノバホール</p> <p>6月 ピンスポット修繕</p> <p>1月 小ホールピアノ修繕</p> <p>3月 消防設備修繕</p> <p>■カピオ</p> <p>5月 誘導灯修繕</p> <p>7月 照明機器修繕</p> <p>1月 ホールマイク装置修繕</p> <p>■市民ホール</p> <p>公共施設予約システムの導入について、担当者会議等で検討を実施</p>		<p>■ノバホール</p> <p>7月 エアコン修繕工事</p> <p>1月 客席修繕</p> <p>3月 音響機器修繕</p> <p>■つくばカピオ</p> <p>5月 柱塗装修繕、屋根修繕工事</p> <p>9月 トイレ改修工事</p> <p>12月 蓄電池設備修繕</p> <p>■市民ホール</p> <p>10月 とよさと地下オイルタンク改修工事</p> <p>3月 つくばね消防設備修繕工事</p> <p>3月 やたベトイレ改修工事</p>		<p>■ノバホール</p> <p>12月 舞台照明設備修繕</p> <p>2月 建具修繕</p> <p>3月 スポットライト修繕</p> <p>■つくばカピオ</p> <p>9月 非常用蓄電池交換工事</p> <p>9月 給湯設備修繕</p> <p>1月 別棟屋根修繕工事</p> <p>1月 自動ドア修繕</p> <p>1月 非常用照明器具修繕工事</p> <p>■市民ホール</p> <p>1月 くまざき外構修繕工事</p> <p>2月 つくばね排煙窓修繕工事</p> <p>3月 とよさと非常用蓄電池交換工事</p> <p>3月 つくばね床修繕工事</p> <p>3月 つくばね空調設備修繕工事</p>	
成果課題	<p>■ノバホール・カピオ</p> <p>経年劣化等により不具合等が生じた箇所について修繕を実施することで、施設機能の維持を図ることができた</p> <p>■市民ホール</p> <p>公共施設予約システムの導入について検討を行ったが、現行の予約システムは市民ホールの利用者になじまないため導入にはいたらなかった</p>		<p>■ノバホール・カピオ</p> <p>経年劣化等により不具合等が生じた箇所について修繕を実施することで、施設機能の維持を図ることができた</p> <p>■市民ホール</p> <p>公共施設予約システムの導入について検討を行ったが、現行の予約システムは市民ホールの利用者になじまないため導入にはいたらなかった</p>		<p>■ノバホール・カピオ</p> <p>経年劣化等により不具合等が生じた箇所について、修繕を実施することで、施設機能の維持を図ることができた。</p> <p>■市民ホール</p> <p>公共施設予約システムの導入について検討を行ったが、現行の予約システムは、市民ホールの利用者になじまないため導入にはいたらなかった。</p>		<p>■ノバホール・カピオ・市民ホール</p> <p>経年劣化等により不具合等が生じた箇所について、修繕を実施することで、施設機能の維持を図ることができた。</p>		<p>■ノバホール・カピオ・市民ホール</p> <p>経年劣化等により不具合等が生じた箇所について、修繕を実施することで、施設機能の維持を図ることができた。</p>	
改善見直し	—		—		—					

施策の柱	4	絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供	「つくば市スポーツ推進計画」に基づき、各ライフステージに応じたスポーツプログラムの開発や情報提供を進めるとともに、市民の健康維持・増進に役立つ生涯学習機会を提供します。							
方向性	(1)	健康・スポーツ・レクリエーション活動の推進								
関連課	スポーツ振興課	スポーツ教室	教育施設課	学校開放事業						
	(国体推進課)	スポーツ教室								
	文化芸術課	ふれあいプラザ								
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■スポーツ教室 公募や国体種目等（キックボクシング5回、アフロリズムダンス4回、アーチェリー教室6回、トレイルラン4回、太極拳8回、ゴルフ8回、バレーボール8回、子どもの水泳5回、大人のラート3回、子どものラート体験1回、合気道8回、子どものスキー2泊3日）</p> <p>■ふれあいプラザの活用 フィットネスプール・軽運動室を使った健康増進講座を実施する</p> <p>■学校施設開放 学校施設を定期的・継続的に使用する団体から、学校施設使用許可申請書を受け、学校教育に支障がない範囲で学校施設使用許可書を交付する</p>		<p>■スポーツ教室 企画公募や国体種目等（トレイルラン4回、アフロリズムダンス4回、スポーツ鬼ごっこ1回、ダンス&amp;パフォーマンス4回、カポエイラ5回、体幹トレーニング4回、大友愛のバレーボール4回（小・中学生1回大人3回）、アーチェリー7回、大人のラート3回、子どものラート1回、子どものスキー 小学6年・2泊3日）</p> <p>■ふれあいプラザ</p> <p>■学校施設開放</p>		<p>■スポーツ教室 企画公募や国体種目等（トレイルラン4回/体幹トレーニング6回/ダンス&amp;パフォーマンス4回（国体）/スポーツ鬼ごっこ2回（国体）/脳と身体のトレーニング4回（公募・新規）/ウエイトトレーニング4回（国体）/子どものラート1回、アーチェリー4回（国体）/リズムに合わせて心と身体のストレッチ3回/大友愛のバレーボール4回/ランニング4回/大人のラート3回/子どものスキー2泊3日）</p> <p>■ふれあいプラザ</p> <p>■学校施設開放</p>		<p>■スポーツ教室 企画公募や国体種目等（トレイルラン4回/体幹トレーニング6回/ストリートダンス4回（国体）/スポーツ鬼ごっこ2回（国体）/リズムトレーニング3回（公募・新規）/ウエイトトレーニング4回（国体）/子どものラート1回、アーチェリー3回（国体）/バレーボール4回/ランニング4回/大人のラート3回/子どものスキー2泊3日）</p> <p>■ふれあいプラザ フィットネスプール・軽運動室を使った健康増進講座を実施する</p> <p>■学校施設開放 学校施設を定期的・継続的に使用する団体から、学校施設使用許可申請書を受け、学校教育に支障がない範囲で学校施設使用許可書を交付する。</p>		<p>■スポーツ教室 トレイルラン4回/テニス4回/ヨガ6回/バドミントン4回/ランニング4回/体幹トレーニング4回/スラックライン4回/ダンス4回/子どものスポーツ体験3回/大人のラート3回/車いすバスケ2回/子どものスキー2泊3日 (5～6月に計画していたトレイルラン、テニス、ヨガ教室は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止したが、今年度中に開催できるよう再度調整予定である。)</p> <p>■ふれあいプラザ フィットネスプール・軽運動室を使った健康増進講座を実施する。</p> <p>■学校施設開放 学校施設を定期的・継続的に使用する団体から、学校施設使用許可申請書を受け、学校教育に支障がない範囲で学校施設使用許可書を交付する。このほか、R2年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う、会議開催の中止、使用期間等の制限、対応ガイドラインの作成等、感染防止対策を実施する。</p>	
実績	<p>■スポーツ教室 事業計画通り、12種類の教室を実施。キックボクシングは好評だったことから、追加で第2回を実施</p> <p>■ふれあいプラザ 年間施設利用件数/人数 フィットネスプール13,216件/17,151名 軽運動室1,063件/7,216名</p> <p>■学校施設開放 4月代表者会議を開催（会議により調整が必要な団体との調整、申請に対し内容確認とデータ作成）、5月使用許可に併せ許可書の発行、12月本年度の追加受付終了、3月：4月に開催する代表者会議の通知発送</p>		<p>■スポーツ教室 事業計画通り、12種類の教室+ウエイトトレーニング教室とランニング教室を新たに開催。企画公募で採用した教室2つ（音楽に合わせて楽しくカポエイラ/体幹トレーニングで身体の使い方をマスターしよう）国体関係種目3つ（アーチェリー/スポーツ鬼ごっこ/ダンス&amp;パフォーマンス）ランナーに愛されるまち関係2つ（トレイルラン/ランニング）</p> <p>■ふれあいプラザ 年間施設利用件数/人数 フィットネスプール13,700件/18,009名 軽運動室1,075件/6,606名 プール講座16（3,923名参加）</p> <p>■学校施設開放 4月代表者会議（会議により調整が必要な団体との調整、申請に対し内容確認とデータ作成）5月使用許可に併せ許可書の発行、12月本年度の追加受付終了、3月：4月に開催する代表者会議の通知発送</p>		<p>■スポーツ教室 13種類の教室を開催。（トレイルラン4回/体幹トレーニング6回/ストリートダンス4回（国体）/スポーツ鬼ごっこ2回（国体）/脳と身体のトレーニング4回（公募・新規）/ウエイトトレーニング4回（国体）/バラスポーツ体験会1回/子どものラート1回/アーチェリー4回（国体）/大友愛のバレーボール4回/ランニング4回/大人のラート3回/子どものスキー（2泊3日）/車いすバスケ2回）</p> <p>■ふれあいプラザ 年間施設利用件数/人数 フィットネスプール 11,895件/16,925名 軽運動室 1,182/6,604名 プール講座 9(3,004名参加)</p> <p>■学校施設開放 4月：代表者会議を開催、会議により調整が必要な団体との調整、申請に対し内容確認とデータ作成 5月：使用許可に併せ許可書の発行 3月：4月に開催する代表者会議の通知発送</p>		<p>■スポーツ教室 10種類の教室を開催。（トレイルラン4回/体幹トレーニング6回/ストリートダンス4回（国体）/スポーツ鬼ごっこ2回（国体）/リズムトレーニング3回（公募・新規）/ウエイトトレーニング4回（国体）/子どものラート1回、アーチェリー3回（国体）/バレーボール4回/ランニング4回）新型コロナウイルスの影響により、予定していた、大人のラート教室、車いすバスケ教室、子どものスキー教室が中止となった。</p> <p>■ふれあいプラザ 年間施設利用件数/人数 フィットネスプール 10,500件/15,164名 軽運動室 1,132/6,431名 プール講座 11(2,701名参加)</p> <p>■学校施設開放 4月：代表者会議を開催、会議により調整が必要な団体との調整、申請に対し内容確認とデータ作成 5月：使用許可に併せ許可書の発行 3月：新型コロナウイルス感染対策への対応、通知の発送等</p>		<p>■スポーツ教室 5つの教室を開催。バドミントン4回/ランニング4回/体幹ムーブメント4回/スラックライン2回/車いすバスケ2回</p> <p>■ふれあいプラザ 年間施設利用件数/人数 フィットネスプール 6,865件/9,468名 軽運動室 650件/4,017名 プール講座 18講座(1,501名参加)</p> <p>■学校施設開放 4月：新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、例年開催している代表者調整会議を中止。 昨年の開放状況を継続した。 3月：新型コロナウイルス感染対策への対応。 感染対策を講じた上での代表者会議の開催に向けた準備。 通知等の発送。</p>	
成果課題	<p>■スポーツ教室 主に初心者向けの教室を実施することにより、市民にスポーツを始めるきっかけを提供できた。また、アフロリズムダンスについては、教室参加者によりクラブを作り今後も継続して続けていく動きがみられた。</p> <p>■学校施設開放 292団体登録・延活動団体数464団体</p>		<p>■スポーツ教室 当初の計画になかった、ウエイトトレーニング教室とランニング教室を新たに開催するなど、様々な種類のスポーツ教室を広く開催することにより、スポーツとふれあう機会を多く提供するとともに、スポーツをする習慣作りのきっかけとなった。教室の内容によっては、参加者数が少ない教室もある</p> <p>■ふれあいプラザ フィットネスプール時間割を利用者にとってわかりやすいものとなるよう見直したことが、前年度からの利用者の増加につながった。来年度は再度見直し、さらなる利用者増を図る</p> <p>■学校施設開放 292団体登録・延活動団体数464団体</p>		<p>■スポーツ教室 当初の計画になかった、バラスポーツ体験会や車いすバスケ教室を新たに開催し、また、好評だった体幹トレーニング教室の第2回目を開催したことで、スポーツとふれあう機会を多く提供するとともに、障害者スポーツの普及を図ることができた。一方で、申込者が少なく中止になった「リズムに合わせて心と身体のストレッチ」のように、教室によっては参加者数が少ないものもある。</p> <p>■ふれあいプラザ フィットネスプール時間割を利用者にとってわかりやすくしている。前年度と比較して利用者は減となったが例年と比較して安定している。来年度は見直しを行い、利用者増を図る。</p> <p>■学校施設開放 活動団体数：292団体（延べ464団体）</p>		<p>■スポーツ教室 体幹トレーニング教室を2回開催するなど、スポーツとふれあう機会やスポーツを始めるきっかけを提供できた。好評な教室がある一方、参加者数が少ない教室もある。</p> <p>■ふれあいプラザ フィットネスプール時間割を利用者にとってわかりやすくしている。プールを一時休止したため前年度と比較して利用者は減となったが、その期間以外の利用者数は安定している。来年度は再度見直し、利用者増を図る。</p> <p>■学校施設開放 活動団体数：282団体（延べ490団体）</p>		<p>■ふれあいプラザ 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため施設を休館した期間があり、フィットネスプールの利用者は減となった。</p> <p>■スポーツ教室 新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に臨機応変に対応することで、計画の半数以下ではあるが教室を開催できたことは大きな成果であると考えている。</p> <p>■学校施設開放 小学校34校開放、中学校11校開放、義務教育学校2校開放、延べ490団体が活動</p>	
改善見直し	—		<p>■スポーツ教室 参加者数が少ない教室もあるため、教室参加者のアンケートや他市町村・民間企業で開催している教室も参考にし、市民のニーズに合う教室を開催していく</p> <p>■ふれあいプラザ 引き続きフィットネスプール時間割の見直しを行う</p>		<p>■スポーツ教室 参加者数が少ない教室もあるため、教室参加者のアンケートや他市町村・民間企業で開催している教室も参考にし、市民のニーズに合う教室を開催していく。</p> <p>■ふれあいプラザ 引き続きフィットネスプール時間割の見直しを行う</p>		<p>■スポーツ教室 参加者数が少ない教室もあるため、教室参加者のアンケートや他市町村・民間企業で開催している教室も参考にし、市民のニーズに合う教室を開催していく。</p>		<p>■スポーツ教室 引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況に臨機応変に対応するとともに、コロナ禍でも実施可能なオンラインでの教室開催についても検討を進める。</p> <p>■学校施設開放 新型コロナウイルス感染症が拡大している状況下においても、安全かつ安定した運営を行える用意をする必要がある。</p>	

施策の柱	4	絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供		市民一人一人が身近に文化・芸術に接し、参加できる環境を整備するとともに、必要な人材の育成や情報提供の充実により文化芸術活動を推進します。						
方向性	(2)	文化芸術活動の推進								
関連課	文化芸術課	文化芸術活動の振興と鑑賞機会の充実					16頁			
年度	28年度		29年度		30年度		元年度	2年度		
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業 つくば市文化振興財団との共同主催の形式で市内の文化施設を利用し、音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルで実施する</li> <li>■国際音楽事業 芸術性の高いクラシック公演に身近に感じてもらうため、良質なプログラムを厳選して開催する</li> <li>■文化振興財団との協定締結</li> <li>■事業PR 集客のためにお互いにきめ細やかに広範に行うとともに、インターネット予約の普及を図る</li> <li>■チケット販売促進のため、特典制度等を実施する</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業 17事業（音楽4、演劇・芸能5、舞踏1、参加体験型5、美術2）</li> <li>■国際音楽祭 5事業</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業</li> <li>■国際音楽事業</li> <li>■事業PRを広範に行い、インターネット予約を普及させ、入場率の向上を図る</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■芸術文化事業 26事業</li> <li>・内訳（国際音楽祭5、音楽6、演劇・伝統芸能8、舞踊1、参加・体験型4、美術2）</li> <li>・開催時期 5月～3月</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■芸術文化事業 26事業</li> <li>・内訳（国際音楽祭5、音楽8、演劇・伝統芸能5、舞踊1、参加・体験型4、美術3）</li> <li>・開催時期 4月～3月</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため、一部公演を延期・中止している。</li> </ul>	
実績	<p>全体入場率65%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業 19事業実施（音楽5、演劇・芸能3、舞踏2、参加体験型7、美術2）14,007名来場</li> <li>■国際音楽祭 5事業2,387名入場</li> <li>■ノバホール 14事業11,308名入場</li> <li>■カピオ 7事業1,958名入場</li> <li>■その他会場 3事業3,120名入場</li> </ul>		<p>全体入場率74%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業 16事業（音楽4、演劇2、舞踏2、演芸2、伝統芸能1、参加・体験型14、美術2）</li> <li>■国際音楽祭 4事業3,000名入場</li> <li>■ノバホール 13事業11,701名入場</li> <li>■カピオ 4事業1,922名入場</li> <li>■その他会場 3事業1,212名入場</li> </ul>		<p>全体入場率 82%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■芸術文化事業 21事業（音楽5、演劇・朗読2、舞踊5、伝統芸能2、参加・体験型5、美術2）19,629名入場</li> <li>■国際音楽祭 5事業 4,188名入場</li> <li>・ノバホール開催 12事業 10,834名入場</li> <li>・カピオ開催 4事業 2,316名入場</li> <li>・その他会場開催 5事業 6,409名入場</li> </ul>		<p>全体入場率 63.8%</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■芸術文化事業（国際音楽祭含む）</li> <li>事業数…26事業 入場者合計：17,521人</li> <li>・ノバホール開催：16事業…9,082人入場</li> <li>・つくばカピオ：4事業…2,087人入場</li> <li>・その他会場開催：6事業…6,352人入場</li> <li>※新型コロナウイルス予防対策のため、3月開催の3事業が中止となった。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■芸術文化事業 14事業</li> <li>・内訳（国際音楽祭0、音楽7、演劇・伝統芸能2、舞踊0、参加・体験型2、美術1、その他2）</li> <li>・開催時期 4月～3月</li> <li>※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、当初予定していた事業の中止・延期、及び代替事業の実施をした。</li> <li>全体入場率 56.25%</li> <li>・事業数…14事業 ・入場者合計：8,083人</li> <li>・ノバホール開催：1事業…207人入場</li> <li>・つくばカピオ：2事業…114人入場</li> <li>・その他会場開催：6事業…1,996人入場</li> <li>・インターネット配信：5事業…5,766回再生</li> </ul>	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業</li> <li>国際的に著名なアーティスト等による音楽活動を行い、芸術文化と国際性の二面性を持つつくばらしさを浸透させた。チケットのインターネット販売を開始し、利便性の向上が図られた</li> </ul>		—		<p>国際的に著名なアーティスト等による音楽公演を行い、芸術文化と国際の二面性を持つ、つくばらしさを浸透させた。また、チケットのインターネット販売が認知されてきており、利便性の向上が図られた。</p>		<p>国際的に著名なアーティスト等による音楽公演をはじめ、話題の講師を招へいするなど、多様ジャンルの公演を行った。また、「つくば文化芸術推進本計画」で新たに追加された項目である「文化芸術による障害者等の生活の質の向上」を実践する取り組みとして、手話通訳等を配置したバリアフリーの演劇公演を企画した。</p>		<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多くの公演が中止となったが、代替企画としてインターネットでの配信を実施した。今後もオンラインコンテンツの充実を図っていく必要がある。</p>	
改善見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術事業 公演プログラムの選定にあたっては、限られた予算の中で多様な質の高い公演を紹介しなければならぬため、広報力を上げて情報を周知し、集客の向上を図る必要がある</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>■文化芸術活動 公演プログラムの選定にあたっては、限られた予算の中で多様な質の高い公演を紹介しなければならぬため、広報力を上げて情報を周知し、集客の向上を図る必要がある</li> </ul>		<p>多様な質の高い公演等を文化振興財団や市内の芸術文化団体等から情報を収集する。また、事業のPRを広範に行うとともに、インターネット予約を更に普及させ、入場率の向上を図る。</p>		<p>公演・プログラムの選定にあたっては、限られた予算の中で多様な質の高い公演等の紹介をしなければならぬため、広報等の周知を幅広く行い、入場率を上げる必要がある。</p>			

施策の柱	4	絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供		文化財や伝統文化を市民に身近なものとして親しんでもらい、後世に引き継いでいけるよう、地域に残る文化財の保護や情報発信、活用などに取り組みます。						
方向性	(3)	文化財の保存と活用								
関連課	文化財課	各種文化財の保護、調査研究			専任人材の配置による広報や情報提供の充実					
		文化財展示施設・各種文化財の体系化								
		各種文化財・郷土史に関する講座の開設								
							17頁			
年度	28年度		29年度		30年度		元年度	2年度		
計画	<p>■文化財の保護、調査研究 10月～2月に小田城跡発掘調査</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 小田城跡歴史ひろばの開園準備、各文化財展示施設の展示内容の更新</p> <p>■講座 小田城跡確認調査の成果を公表する現地説明会、小田城跡歴史ひろばの開園に伴う企画展とシンポジウム等の開催。古文書講座の開催。各交流センター等からの講座依頼に対応する</p> <p>■広報 刊行図書を交流センター図書室・中央図書館へ配布</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 11月～1月に小田城跡発掘調査。各種開発等に伴う試掘・確認調査や非営利目的での本発掘調査等</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 各施設の展示内容の更新や追加</p> <p>■講座の開設 小田城跡確認調査の成果を公表する現地説明会や、巡回企画展と講演会等を開催する。古文書講座の開催。各交流センター等からの講座依頼に対応する</p> <p>■広報</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 10月～1月に小田城跡で発掘調査。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示内容の更新</p> <p>■講座 小田城跡確認調査の成果を公表する現地説明会、巡回企画展と講演会等、古文書講座、各交流センター等からの講座依頼に対応する。</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 小田城跡確認調査事業では、これまでの現地調査の基礎整理を実施。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示内容の更新。</p> <p>■講座 巡回企画展と講演会、古文書講座等の開催、各交流センター等からの講座依頼に対応。</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究詳細整理を進め、報告書作成を継続。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示内容の更新。</p> <p>■講座 巡回企画展と講演会、体験学習、文化財講座等の開催、各交流センター等からの講座依頼に対応。</p>	
実績	<p>■文化財の保護、調査研究 11月～1月に史跡西側付近の曲輪V西側と周辺の堀跡を中心に228㎡で発掘調査を実施。開発に伴う調査は試掘・確認調査35件、本発掘調査が1件</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 4/1に小田城跡歴史ひろばを開園、谷田部郷土資料館で展示資料の追加・改善を実施</p> <p>■講座 小田城跡確認調査に伴う現地説明会 214名、小田城跡歴史ひろば開園に伴う企画展 1,108名・シンポジウム215名、歴史めぐりバスツアー48名。古文書講座は前・後期各8回開催し、47名が参加。公民館講座・出前講座6件</p> <p>■広報 刊行図書1冊を9館の交流センター図書室・中央図書館へ配布</p>		<p>■文化財の保護、調査研究 11月～1月に史跡西側の曲輪V中部とその周辺の292㎡で発掘調査を実施。開発に伴う調査は、試掘・確認調査が29件、本発掘調査が2件</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 小田城跡歴史ひろば案内所や、谷田部郷土資料館で展示資料の追加・改善を行った。</p> <p>■講座の開設 小田城跡確認調査に伴う現地説明会（102名）、巡回企画展「鎌倉時代の高僧忍性と三村山極楽寺」（2,358名）・講演会「小田氏と忍性」（216名）・史跡ウォーキング（13名）を開催した。古文書講座は前・後期各8回の講座を開催し、47名参加。公民館講座・出前講座17件</p> <p>■広報 刊行図書1種類13冊を中央図書館などの図書館分として配布</p>		<p>■文化財の保護、調査研究 11月～1月に史跡西側の曲輪V北西部ほかで393㎡で発掘調査を実施。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 小田城跡歴史ひろば案内所や、谷田部郷土資料館で展示資料の追加・改善を実施。</p> <p>■講座の開設 小田城跡確認調査に伴う現地説明会（161名）、巡回企画展「小田氏治と戦国時代の城館」（2,769名）・講演会（295名）・体験発掘（6名）、古文書講座（前・後期各8回、55名）を開催のほか、公民館講座・出前講座（9件）に対応。</p>		<p>■文化財の保護、調査研究 報告書刊行に向けて、26年度～30年度の現地調査基礎整理、詳細調査のほか、木製品3点の保存処理を実施。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 小田城跡歴史ひろば案内所や、谷田部郷土資料館で展示資料の追加・改善を実施。</p> <p>■講座の開設 巡回企画展「遺跡から見る万葉のころのつくば」（1,467名）・講演会（83名）・ウォーキング（14名）、古文書講座（前・後期各8回、54名）を開催のほか、交流センター講座・出前講座（17件）に対応。</p>		<p>■文化財の保護、調査研究 報告書刊行に向けて、26年度～30年度の現地調査の詳細整理のほか、木製品2点の保存処理を実施。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 小田城跡歴史ひろば案内所や、谷田部郷土資料館、桜歴史民俗資料館で展示資料の追加・改善を実施。</p> <p>■講座の開設 巡回企画展「石とともに生きる-筑波山の石材と人びととの歩み-」（1,565名）・講演会（58名）・バスツアー（18名）、古文書講座はコロナ禍により中止、交流センター講座・出前講座（2件）に対応。</p>	
成果課題	<p>■文化財の保護、調査研究 小田城跡確認調査では、曲輪V西側の堀跡の規模や構造を把握でき、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。開発等に伴う調査では、文化財の適切な保存ができ、西大橋塚山古墳の規模を把握するなど、その成果は市の歴史資料になった</p> <p>■展示 施設を更新し市民の見学環境の改善につながった。新たに開園した小田城跡歴史ひろばについて、多くの市民に認識してもらった機会となった</p> <p>■講座 市民に郷土の歴史や市内の文化財に興味・関心を持ってもらう場を提供できた</p> <p>■広報 文化財の問合せに対して、レファレンスサービスが充実している図書館や室において市の文化財関係刊行物の閲覧により情報を提供した</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 小田城跡確認調査では、16世紀後半に曲輪Vが大規模に改修された様子を確認するなど、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。開発等に伴う調査では、文化財の適切な保存ができ、上ノ室野中遺跡で方形周溝墓を確認する等、その成果は市の歴史資料になった</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示施設を更新することで、市民の見学環境の改善につながった</p> <p>■講座 忍性という人物とつくば市との関わりや、三村山極楽寺という大規模な寺院があったことを広く紹介することができた。各講座を開催・対応し、市民に郷土の歴史や市内の文化財に興味・関心を持ってもらう場を提供できたが、大幅に件数が増加し、繁忙期の説明依頼を断るケースも出るなど、本事業の対応に苦慮する場面もあった</p> <p>■出前講座について 義務的な業務である各種調査業務や施設等の維持管理業務が増加している中での、出張対応ということから、他業務の実施時期や時間配分等を見直し、効率良く実施する必要がある</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 小田城跡確認調査では、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示施設を更新することで、市民の見学環境の改善につながった。</p> <p>■講座 小田氏治と小田城跡を中心に市内の戦国時代について広く紹介することができた。各講座を開催・対応し、市民に郷土の歴史や市内の文化財に興味・関心を持ってもらう場を提供できた。</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 基礎整理を進めることで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。また木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示施設を更新することで、市民の見学環境の改善につながった。</p> <p>■講座 万葉の時代（奈良時代）のつくばについて広く紹介することができた。各講座を開催・対応し、市民に郷土の歴史や市内の文化財に興味・関心を持ってもらう場を提供できた。</p>		<p>■各種文化財の保護、調査研究 詳細整理を進めることで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。また木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。</p> <p>■文化財展示施設・各種文化財の体系化 展示施設を更新することで、市民の見学環境の改善につながった。</p> <p>■講座 地域の石材と人々の暮らしが深くかかわっていたことを広く紹介することができた。少ないながらも、各講座を開催・対応し、市民に郷土の歴史や市内の文化財に興味・関心を持ってもらう場を提供できた。</p>	
改善見直し	—		—		—		—		<p>コロナ禍で、講座については、実施の可否や参加者の減少がみられた。コロナ禍でも実施できる方法の検討が必要である。</p>	

施策の柱	4	絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供	一人一人の学習成果をお互いで共有することは、よりよい地域づくりにつながられます。また、防災にも役立つ絆づくりや地域づくりとなるよう、団体や自主サークル活動などの支援や学習・研修機会の提供を行います。							
方向性	(4)	絆づくり・地域づくりにつながる学習機会の提供								
関連課	人事課	市職員の市民参画に関する研修	都市計画課	まちづくりのアドバイザーやコンサルタントの派遣	教育総務課	人権教育				
	市民活動課	地区リーダー勉強会、市民活動団体登録	危機管理課	出前講座	学び推進課（教育指導課）	人権教育				
	文化芸術課	地域コーディネーター講習会、地域デビュー講座	防犯交通安全課	出前講座、交通安全教室	(生涯学習推進課)	出前講座、人権教育				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 主査級の職員に対して年1回</li> <li>地区会リーダー勉強会/地域コーディネーター講習会 コミュニティ・自治会に関連した専門の講師を招いてのグループワークなど実践的な研修を中心とした講習会、先進事例の学習</li> <li>市民活動団体登録 主体的な社会貢献活動を支援するため、中間支援施設の拠点となる市民活動センター（指定管理者制度）を活用して市民活動団体の登録を行う</li> <li>まちづくり専門家の派遣 まちづくり活動を行う団体に派遣</li> <li>交通安全・防犯・防災活動 出前講座実施。交通安全教室開催。防犯パトロールの実施</li> <li>人権教育 全体計画の作成、人権教育推進協議会の開催、教育講演会の開催、人権啓発ポスターの募集、講座の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 係長級及び主査級の職員に対して年1回</li> <li>地区リーダー勉強会 区長対象に行う</li> <li>地域コーディネーター講習会/地域デビュー講座</li> <li>市民活動団体登録 登録を促しその情報をもとに相談業務を行う</li> <li>まちづくり専門家の派遣</li> <li>交通安全・防犯・防災活動</li> <li>人権教育</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 主査及び主任級の職員に対して実施</li> <li>地区リーダー勉強会</li> <li>市民活動団体登録 登録を促しその情報をもとに相談業務を行う</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣 地域まちづくり団体5、地域まちづくり推進団体2</li> <li>交通安全・防犯・防災活動 出前講座の実施。交通安全教室の開催。防犯パトロールの実施。マンション連絡会と共同で防災セミナーを開催する</li> <li>人権教育 全体計画の作成、人権教育推進協議会の開催、教育講演会の開催、道徳の教科化に向け道徳研修講座を3回実施、人権啓発ポスターの募集、講座の実施</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 主査及び主任級の職員に対して基本編の研修を実施し、係長級に対し応用編の研修を行う。</li> <li>地区リーダー勉強会 テーマを決定し勉強会を開催</li> <li>地域コーディネーター講習会の開催</li> <li>地域デビュー講座の開催</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣</li> <li>防災活動 防災、減災に関する出前講座</li> <li>交通安全活動 出前講座の実施。交通安全教室の開催。</li> <li>人権教育 全体計画の作成。人権教育推進協議会の年2回開催。人権教育研修会や講演会への参加や、人権啓発ポスターの募集を通じて、人権教育の推進・啓発を図り、人権問題の正しい理解に努める。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 新型コロナウイルス対策を踏まえて、研修実施を検討する。</li> <li>地区リーダー勉強会 テーマを決定し勉強会を開催</li> <li>地域コーディネーター講習会の開催</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣</li> <li>防災活動 防災、減災に関する出前講座</li> <li>交通安全活動 交通安全及び防犯活動の実施、交通安全教室の開催、防犯パトロールの実施</li> <li>人権教育 全体計画の見直し。人権教育推進協議会の年2回開催。人権教育研修会や講演会への参加及び人権啓発ポスターの募集を通じて人権教育の推進・啓発を行う。</li> </ul>	
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 修了者30名</li> <li>地区リーダー勉強会 45名参加</li> <li>テーマ：住民に必要とされる自治会づくり</li> <li>講師：大山自治会前会長 佐藤 良子氏</li> <li>地域コーディネーター講習会 40名参加</li> <li>市民活動団体登録 個人含む145団体登録</li> <li>まちづくり専門家の派遣 アドバイザー派遣1回</li> <li>交通安全・防犯・防災活動</li> <li>出前講座19回、防災備蓄倉庫内容説明4回、自主防災組織結成説明回1回、防災啓発イベント1回、交通安全教室420回27,555名、自転車シュミレーター24回456名、車両広報26,350回、パトロール（金融機関8,479箇所/学校周辺8,260箇所/コンビニ11,983箇所/駐車場11,290箇所/その他3,190箇所）</li> <li>人権教育 市内全校に全体計画を整備・人権啓発ポスターを要請し114点応募が有り、市民文化祭で展示。協議会2回開催。講演会167名参加。家庭教育学級で78学級実施。交流センターで講座開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 修了者66名</li> <li>地区リーダー勉強会 29名参加 テーマ：地域の底力</li> <li>講師：石岡市東の辻二部町内会長 佐藤信夫氏</li> <li>地域コーディネーター講習会 59名参加</li> <li>地域デビュー講座 50名参加</li> <li>市民活動団体登録 個人を含む155団体登録。相談13件。マッチング11件</li> <li>まちづくり専門家の派遣 推進団体に3回派遣</li> <li>交通安全・防犯・防災活動 出前講座20回、防災備蓄倉庫内容等説明2回、防災啓発イベント1回、広報紙・防災マップ作成配布、シェイクアウト訓練、地区防災計画策定支援、交通安全教室400回25,787名、自転車シュミレーター60回566名、防犯についての車両広報25,723回、パトロール（金融機関7,725箇所/学校周辺9,002箇所/コンビニ12,882箇所/駐車場10,899箇所/その他3,017箇所）</li> <li>人権教育 市内全校に全体計画を整備・人権啓発ポスターを要請し130点応募が有り、市民文化祭で展示した。協議会2回開催。講演会へ参加。家庭教育学級で77学級実施。交流センターで講座開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 修了者62名</li> <li>地区リーダー勉強会 「ハートのコミュニケーション ～誰1人知り合いのいない茨城に来て～」 参加者27名</li> <li>地域活動ステップアップ講座 41名参加</li> <li>地域デビュー講座 23名参加</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣 まちづくりグループへ3回派遣。まちづくり推進団体へ6回派遣</li> <li>防災活動 出前講座28回、校防災備蓄倉庫内容等説明2回、シェイクアウト訓練44,983名参加、防災啓発イベント1回、市マンション連絡会と共同で防災セミナー1回、防災士フォーラム75名参加、自主防災組織結成説明会1回</li> <li>交通安全活動 ・交通安全教室開催363回 24,743人</li> <li>自転車シュミレーター教室開催33回 675人</li> <li>交通キャンペーン実施（つくば中央署管内・北署管内）春2回、夏2回、秋1回（合同）、年末2回</li> <li>人権教育 ・人権教育推進協議会の開催（年2回）</li> <li>人権講演会への参加（つくば市教育研究会主催）</li> <li>人権啓発ポスターの募集及び展示（総応募数114点。つくばカピオで開催された、つくば市民文化祭において全作品を展示した）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 修了者72人</li> <li>地区リーダー勉強会 11/17に、つくば役所にて、講師に水津陽子氏（行政書士、経営コンサルタント）を迎え、「今、求められる自治会運営～現代の自治会の課題とその解決策～」と題した講演会を実施。</li> <li>地域コーディネーター講習会 新型コロナウイルス感染症の拡大予防のため中止</li> <li>地域デビュー講座 開催なし</li> <li>交通安全活動 ・交通安全教室開催334回 24,814人</li> <li>自転車シュミレーター教室開催22回 596人</li> <li>交通安全キャンペーン実施（つくば中央署管内・北署管内）春2回、秋2回、年末1回（合同）</li> <li>防犯についての車両広報29,915回、パトロール（金融機関7,311箇所/学校周辺10,638箇所/コンビニ14,616箇所/駐車場10,731箇所/その他3,503箇所）</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣 まちづくりグループへ2回派遣。まちづくり推進団体へ3回派遣</li> <li>防災活動 出前講座28回、学校防災備蓄倉庫内容等説明2回、シェイクアウト訓練47,634名参加、防災啓発イベント1回</li> <li>人権教育 人権教育推進協議会の開催（年2回）、人権啓発ポスターの募集及び展示（つくばカピオで開催された、つくば市民文化祭において作品を展示した）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 新型コロナウイルス感染拡大の影響により研修実施なし。実施予定の研修がグループワークをメインとした集合型研修であったため、実施することができなかった。</li> <li>地域コーディネーター講習会 参加者14名</li> <li>地区リーダー勉強会</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、「地区リーダー勉強会」は中止になった。</li> <li>防災活動 出前講座5回、シェイクアウト訓練48,646名参加</li> <li>交通安全教室開催212回 5,469人</li> <li>防犯についての車両広報回、パトロール（金融機関6,936箇所/学校周辺10,787箇所/コンビニ14,485箇所/駐車場10,299箇所/その他3,484箇所）</li> <li>人権教育推進協議会の開催（年2回 書面審査）・人権啓発ポスターの募集（新型コロナウイルス感染症の影響で文化祭が中止となったため、展示は行わなかった。）</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣 まちづくりグループへ1回派遣。</li> </ul>	
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 理解度アンケートでは、4段階評価での平均値が3.63となり、研修の効果があったと考えられる</li> <li>地区リーダー勉強会 役員の高齢化や加入率の低下など活動が困難な自治会が増えつつある中、魅力ある自治会づくりを進める参考となった</li> <li>地域コーディネーター講習会 アンケートから講師・講演の内容とともに概ね満足という結果を得た</li> <li>まちづくり専門家の派遣 アドバイザーの助言により、活発な議論が行われ、内容が深まった</li> <li>交通安全・防犯・防災活動 意識の向上・犯罪の予防・抑止効果が図れた</li> <li>人権教育 教員に対しても適宜研修会を実施したことにより授業力の向上が見られた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 理解度アンケートでは、4段階評価での平均値が3.37となり、研修の効果があったと考えられる</li> <li>地区リーダー勉強会 役員の高齢化や加入率の低下など活動が困難な区会が増えつつある中、県内の先進事例や質疑応答にて区会の身近な課題等の解決の参考となった</li> <li>地域コーディネーター講習会・地域デビュー講座 アンケートから講師・講演の内容とともに概ね満足という結果を得た</li> <li>交通安全・防犯・防災活動 東日本震災や竜巻災害直後は防災意識が高いが年月とともに低下していく。自治会単位で防災意識や活動状況に差があり、自助・共助の市内全域的な広がりにはなっていない。防犯パトロール活動の活性化により、犯罪の予防・抑止効果が図れた</li> <li>人権教育 人権啓発ポスターを市民文化祭で展示することで、児童・生徒・来場者に対する人権の啓発、人権問題の正しい理解の浸透が図られた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 理解度アンケートでは、4段階評価での平均値が3.57となり、研修の効果があったと考えられる</li> <li>地区リーダー勉強会 ・地域のリーダーである市区会連合会役員を対象に開催し、区会の重要性を再確認できた。</li> <li>地域活動ステップアップ講座・地域デビュー講座 アンケートの結果から、講師・講演の内容について、満足という結果を得た。</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣により、勉強会の議論を深めることができた。</li> <li>防災活動 防災・減災の意識向上、防災士の養成が図られた。</li> <li>交通安全活動 各年齢層に即した教室を開催し、交通安全意識の向上が図れた。交通安全キャンペーンを通じて、市民等への交通安全の周知・啓発が行えた。</li> <li>人権教育 人権講演会への参加や、人権啓発ポスターの募集を通じて、人権教育の推進・啓発を図り、人権問題の正しい理解を深めることができた。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 理解度アンケートでは、4段階評価での平均値が3.37となり、研修の効果があったと考えられる。</li> <li>地区リーダー勉強会 地域コミュニティの活性化が図れ、人材育成ができた。</li> <li>交通安全活動 ・各年齢層に即した教室を開催し、交通安全意識の向上が図れた。</li> <li>交通安全キャンペーンを通じて、交通事故防止の周知・啓発が行えた。</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣により、勉強会の議論を深めることができた。</li> <li>防災活動 防災、減災の意識の向上、防災士の要請が図られた。</li> <li>人権教育 人権教育推進協議会を年2回開催した。また、各人権団体が主催する、人権研修会や講演会への参加及び人権啓発ポスターの募集を通じて、人権問題の正しい理解を深め、人権教育の推進・啓発を図った。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地区リーダー勉強会</li> <li>※「地区リーダー勉強会」は中止のため、成果は得られなかった。</li> <li>地域コーディネーター講習会 アンケートの結果から、具体的な事例等の紹介があり、講演の内容について、満足という結果を得た。</li> <li>地域まちづくり専門家の派遣により、勉強会の議論を深めることができた。</li> <li>防災活動 防災、減災の意識の向上が図られたが、新型コロナウイルス感染症の影響により出前講座の前年度より減少した。</li> <li>交通安全活動 各年齢層に即した教室を開催し、交通安全意識の向上が図れた。</li> <li>新型コロナウイルスの影響によりキャンペーンは中止としたが、青バトやチラシを利用して、交通安全に関する広報活動を行い、市民の意識向上を図ることができた。</li> <li>人権教育推進協議会を年2回開催した。また、各人権団体が主催する、人権研修会や講演会への参加及び人権啓発ポスターの募集を通じて、人権問題の正しい理解を深め、人権教育の推進・啓発を図った。</li> </ul>	
改善見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民活動団体登録</li> <li>市民協働の推進を図るため登録を促し、その情報をもとに相談業務を行う</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 H30は対象職員を主任級まで拡大する</li> <li>地区リーダー勉強会 役員区長が興味のある事例を検討し参加者増に努める</li> <li>市民活動団体登録 マッチングの多様化に備え相談業務の強化に努める</li> <li>まちづくりの専門家の派遣 年度当初よりも登録グループが増加し派遣回数が増えた</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 係長級を対象に、応用編の研修を行う。</li> <li>防災活動 シェイクアウト訓練について民間企業でも実施していただけるよう企業訪問などしながら周知していく。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員の研修 現年度と同様に実施</li> <li>地区リーダー勉強会 開催時期を下半期ではなく、上半期に実施できるよう調整していく。</li> <li>防災活動 更なるシェイクアウト訓練の周知、参加者増員を図る。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>地区リーダー勉強会 開催時期を下半期ではなく、上半期に実施できるよう調整していく。</li> <li>防災活動 更なるシェイクアウト訓練の周知、参加者増員を図る。</li> </ul>	

施策の柱	5	生涯学習推進体制の強化	すべての市民の学習権を保障するため、「生涯学習推進本部」を中心に、全庁的な連携・協力のもと生涯学習を推進します。							
方向性	(1)	全庁的な連携・協力体制								
関連課	生涯学習推進課 生涯学習推進本部の開催						19頁			
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	年1回、推進本部を開催し、進行管理にあたって事業の進捗を評価する。平成31年度に生涯学習に係る市民意識調査を予定		年1回、推進本部会議を開催し、第2次生涯学習推進基本計画の進捗状況の点検・評価を行い、計画に沿った事業の推進を図る		年度前半に、前年度の進捗状況の評価を行い、推進本部を開催して、計画に沿った事業が推進されているかを確認する		上半期及び下半期に、それぞれ1回、推進本部会議を開催し、計画の進捗状況の確認とともに（仮称）第3次生涯学習推進計画策定に向けて、市民意識調査や計画の骨子等について協議を行う。		上半期及び下半期に、それぞれ1回、推進本部会議を開催し、計画の進捗状況の確認とともに（仮称）第3次生涯学習推進計画策定に向けて全庁的な協力体制等について協議を行う。	
実績	第2次つくば市生涯学習推進基本計画をスタート 本部会議10/14実施		12/22に推進本部会議を開催し、計画の平成28年度の進捗状況を確認した		6/5に推進本部会議を開催し、平成29年度の進捗状況について確認した。		8月に推進本部会議を開催し、平成30年度の進捗状況について確認した。		8月、10月、2月に推進本部会議を開催し、令和元年度の進捗状況について確認した。	
成果課題	—		開催日が年度の後半になってしまった		推進本部会議での意見を受け、91事業から73事業に整理し、より社会力を高める事業に重点をおくことができた。		推進本部会議での意見を受け、91事業から73事業に整理して評価を行ったことで、社会力を高める事業により重点をおくことができた。		第2次計画を終え、これまでの取組を検証し、生涯学習推進に向けての新たな「第3次つくば市生涯学習推進基本計画」の策定をした。	
改善見直し	—		年度前半に、前年度の進捗状況の評価を行い、推進本部を開催して、計画に沿った事業が推進されているかを確認する		—		—		—	

施策の柱	5	生涯学習推進体制の強化	生涯学習は、社会教育といった教育による学習のみならず、市民一人一人の自己学習にいたるまで、生涯の各期における学習を生活全域にわたって継続して行う行為です。このことから、社会教育委員からの助言や指導はもとより、様々な組織、団体とのネットワークを構築しながら生涯学習を推進します。					
方向性	(2)	多様な主体とのネットワーク行政の推進						
関連課	生涯学習推進課	社会教育委員会議、市民の会、市子連、人間学講座	市民活動課	アイラブつくばまちづくり補助金			20頁	
	中央図書館	図書館協議会	こども政策課	市内の子育て団体・サークルの活動支援				
	スポーツ振興課	体育協会、スポーツ推進委員	文化芸術課	文化協会、文化振興財団				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度	2年度
計画	<p>■社会教育委員会議 年2回以上 ■図書館協議会 年3回</p> <p>■青少年を育てるつくば市民の会（市民の会）、つくば子ども会育成連合会（市子連） 補助金交付</p> <p>■つくば市体育協会（体協） 補助金交付、体育施設使用料の減免</p> <p>■スポーツ推進委員 市主催事業への協力</p> <p>■文化協会 H27年度に地域の支部を廃止し、活動分野ごとの組織へ改編した。指導・助言等を行い軌道に乗せる。芸術展/芸能祭の実施</p> <p>■文化振興財団 専門職員育成支援/国際音楽祭事業/芸術文化事業/美術展事業等への補助金交付</p> <p>■アイラブつくばまちづくり補助金（アイラブ） 補助金交付（申請事業を年3回審査・決定）</p> <p>■子育て団体等の支援 協働事業の実施</p> <p>■つくば人間学講座 つくば市民で構成される団体と協働で実施</p>		<p>■社会教育委員会議 年2回以上 ■図書館協議会 年3回</p> <p>■市民の会、市子連 補助金交付</p> <p>■体協 補助金交付、体育施設使用料の減免</p> <p>■スポーツ推進委員 市主催事業への協力</p> <p>■文化協会 指導や助言等で支援する。芸術展/芸能祭。入会促進のための広報</p> <p>■文化振興財団 専門職員育成支援/国際音楽祭事業/芸術文化事業/美術展事業等への補助金交付</p> <p>■アイラブ 補助金交付（申請事業を年3回審査・決定）9月下旬表彰式・フォーラム</p> <p>■市民活動団体・区会・市民活動イベント等のSNS（フェイスブック）掲載</p> <p>■市内の子育て団体・サークルの活動支援 大穂地区子育て応援「くすのき会」の活動を協働事業により支援、他地域への拡大を検討</p> <p>■人間学講座 4回開催</p>		<p>■社会教育委員会議 年2回以上。委員の改選</p> <p>■図書館協議会 年3回程度。「つくば市民参加推進に関する指針」に基づき委員を選任</p> <p>■市民の会、市子連</p> <p>■体協 ■スポーツ推進委員</p> <p>■文化協会 特に広報を強化</p> <p>■文化振興財団 専門職員育成支援</p> <p>■アイラブ 補助金交付（申請事業を年3回審査・決定）9月下旬に表彰式・フォーラム</p> <p>■SNS市民活動団体・区会・市民活動イベント等の取材、情報発信</p> <p>■市内の子育て団体・サークルの活動支援 情報提供や交流声援 地域主体で子育てしやすいまちづくりの活動をコミュニティ団体との協働事業により支援</p> <p>■人間学講座 4回開催</p>		<p>■社会教育委員会議 年2回以上 ■青少年を育てるつくば市民の会 本部、4支部（大穂・桜・豊里・荃崎）に補助金交付、6月 総会、7月 あいさつ・声かけ運動（つくば駅）、11月 「家庭の日」絵画・ポスターコンクール展示会、あいさつ・声かけ運動（つくば駅）、11月 「家庭の日」絵画・ポスターコンクール展示会、あいさつ・声かけ運動（つくば駅）、11月 「子どもを守る110番の家」推進事業</p> <p>■つくば子ども会育成連合会 本部、3支部（大穂、桜、豊里）に補助金交付</p> <p>■つくば人間学講座 つくば人間学講座実行委員会と市が協働して開催する。年4回開催予定（7月、9月、10月、1月）■図書館協議会 つくば市図書館協議会の開催(年3回程度) ■体協 補助金交付、体育施設使用料の減免■スポーツ推進委員 市主催事業への協力 ■文化協会 補助金交付。歌謡祭・芸術展・芸能祭等の実施。庁舎1階で1か月ごとに、文化団体の作品展示を実施。 ■文化振興財団 補助金交付及び市職員派遣。様々な分野の芸術文化事業を実施。 ■アイラブつくばまちづくり補助金の実施 ■SNS SNSを活用し、市民活動団体・区会・市民活動イベント等の取材、情報発信を行う。</p> <p>■子育て団体・サークルの活動支援 地域主体による子育てしやすいまちづくりの活動をコミュニティ団体との協働事業により支援。子育て関係サークルの情報提供や活動支援。</p>	<p>■社会教育委員会議 年2回以上。委員の改選 ■青少年を育てるつくば市民の会 本部、4支部（大穂・桜・豊里・荃崎）に補助金交付、6月総会、あいさつ・声かけ運動（つくば駅）、11月「家庭の日」絵画・ポスターコンクール展示会、あいさつ・声かけ運動（つくば駅）、11月「子どもを守る110番の家」推進事業 ■つくば子ども会育成連合会 本部、3支部（大穂、桜、豊里）に補助金交付 ■つくば人間学講座 つくば人間学講座実行委員会と市が協働して開催する。年4回開催予定（5月、7月、9月、1月）。1月は25周年記念講演として実施。</p> <p>■図書館協議会 つくば市図書館協議会の開催(年3回程度)/任期満了に伴い、新たな委員11名を選任する。(うち公募委員3名)</p> <p>■スポ協(旧:体協) R2年より法人化のため「一般社団法人スポーツ協会」に名称変更、補助金交付、体育施設使用料の減免 ■スポーツ推進委員 市主催事業への協力</p> <p>■文化協会 補助金交付。歌謡祭・芸術展・芸能祭等の実施。庁舎1階で1か月ごとに文化団体の作品展示を実施。 ■文化振興財団 補助金交付及び市職員派遣。様々な分野の芸術文化事業を実施。</p> <p>■市内の子育て団体・サークルの活動支援 地域主体で子育てしやすいまちづくりの活動をコミュニティ団体との協働事業により支援。子育て支援団体へ活動支援。</p>
	実績	<p>■社会教育委員会議8,11月 ■図書館協議会7,11,3月</p> <p>■市民の会 本部・豊里・大穂・谷田部・荃崎へ補助金交付</p> <p>■市子連 本部・桜・大穂・豊里支部へ補助金交付</p> <p>■体協 計画通り実施</p> <p>■スポーツ推進委員 ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、健康マラソン</p> <p>■文化協会 補助金交付。加盟者数538名。芸術展や芸能祭等の実施（5回）。庁舎1Fで1か月ごとに文化団体の作品展示</p> <p>■文化振興財団 補助金交付。市職員派遣。各種事業の実施</p> <p>■アイラブ 年3回の審査で26事業を採択</p> <p>■子育て団体等の支援 くすのき会：あいさつ・声かけ運動/くすのきより発行/フォーラム開催/小中学生交流会・絵画展開催。ほか団体とも協働事業</p> <p>■人間学講座 4回開催315名参加</p>		<p>■社会教育委員会議8,3月 ■図書館協議会7,12,3月</p> <p>■市民の会 本部・豊里・大穂・谷田部・荃崎へ補助金交付</p> <p>■市子連 本部・桜・大穂・豊里支部へ補助金交付</p> <p>■体協 計画通り実施</p> <p>■スポーツ推進委員 ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、健康マラソン</p> <p>■文化協会 補助金要綱を改正し、補助対象経費の2分の1から3分の2に変更。加盟者数562名。芸術展・芸能祭（7回）、庁舎1Fで1か月ごとに文化団体の作品展示</p> <p>■文化振興財団 補助金交付。市職員派遣</p> <p>■アイラブ 3回の審査を行い30事業を採択</p> <p>■SNS 72回の取材（団体33回/イベント27回/区会12回）、230回投稿。筑波大学との連携でSNS（フェイスブック）運営会議を4回開催</p> <p>■市内の子育て団体・サークルの活動支援 くすのき会：あいさつ・声かけ運動/くすのきより発行/フォーラム開催/小中学生交流会・絵画展開催。他団体とも協働事業</p> <p>■人間学講座 4回開催344名</p>		<p>■社会教育委員会議 8、3月開催 ■青少年を育てるつくば市民の会 本部・豊里・大穂・谷田部・荃崎へ補助金交付 ■つくば子ども会育成連合会 本部・桜・大穂・豊里支部へ補助金交付 ■人間学講座 4回開催 受講者総数298人 ■図書館協議会 任期満了に伴い、新たな委員11名を選任した。(うち公募委員3名) 8、1月開催 ■体協 計画通り実施</p> <p>■スポーツ推進委員 ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、健康マラソン</p> <p>■アイラブ 参加者数72名、実践団体証29団体交付</p> <p>庁内各課等が市民団体等と連携・協働を図りながら、事業を実施した。 ■SNS 団体取材50回、イベント取材12回、区会取材8回、計70回の取材を行い、245回の投稿を行った。・筑波大学との連携によるフェイスブックの運営会議を3回開催 ■文化協会 補助金交付。加盟団体：46団体 596名。歌謡祭・芸術展・芸能祭等（11事業）を開催。庁舎1階で1か月ごとに、文化団体の作品展示を実施。 ■文化振興財団 補助金交付及び市職員派遣。様々な分野の芸術文化事業を実施。 ■子育て支援団体・サークルの活動支援 くすのき会が実施する「あいさつ・声かけ運動、くすのきより発行、くすのきフォーラムの開催、小中学生交流会・絵画展の開催等」の地域活動を支援。他2団体の市民活動事業を支援した。子育て総合支援センターにおいて、子育て家庭に子育てサークル等の情報提供及び子育てサークルの活動に対し支援を行った。</p>		<p>■社会教育委員会議 R1.6.12)「家庭の日」絵画・ポスターコンクール展示会実施（R1.11.13～R1.11.17）460作品展示、あいさつ・声かけ運動（つくば駅）実施 7月8日参加者12人、11月5日参加者135人、「子どもを守る110番の家」配布 ■つくば子ども会育成連合会 活動支援（君たちはどう生きるか） ■人間学講座 4回開催 受講者総数 237人</p> <p>■図書館協議会 第1回図書館協議会を8月27日に開催し、平成30年度事業実績、平成30年度指標に対する評価、図書館利用者アンケートの結果などを報告し、意見を受けた。/第2回図書館協議会を3月中に開催することを計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、開催を見送った。</p> <p>■体協 計画通り実施 ■スポーツ推進委員 ウォークラリー大会、スポーツフェスティバル、つくばマラソン、健康マラソン</p> <p>■文化協会 補助金交付。加盟団体：55団体 670名。歌謡祭・芸術展・芸能祭等（11事業）を開催。庁舎1階で1か月ごとに、文化団体の作品展示を実施。 ■文化振興財団 補助金交付及び市職員派遣。様々な分野の芸術文化事業を実施。</p> <p>■子育て支援団体・サークル活動支援 地域の子育て支援団体であるくすのき会と協定を結び、「フォーラムの開催、小中学生交流会、絵画展」等の子育て地域交流会を支援した。また、子育てボランティアに活動場所の手配等の支援を行った。</p> <p>■アイラブ 2回の審査を行い24事業に交付 ■SNS 団体取材57回、イベント取材6回、区会取材 3回、計66回の取材を行い、241回の投稿を行った。</p>
成果課題		<p>■体協 連携して市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進したことにより、市民の健康の増進や活力あるまちづくりに寄与できた。</p> <p>■文化協会 文化振興財団と協力し加入者の費用負担を軽減</p> <p>■文化振興財団 自助努力が芽生え創意工夫運営されている</p> <p>■アイラブ 市民団体による公益事業を行うまちづくり活動を資金面から支援し、関係する市担当部署が協力して事業を実施することで、市民活動団体と行政との連携が深まった</p> <p>■くすのき会 あいさつ・声かけ運動や交流会等の様々な活動を通して、小学生と中学生、地域の方々、学校の枠を越えた保護者の交流、団体間の交流などが図れ「子育て支援」を核に地域をつなぐことの一助となった</p>		<p>■図書館協議会 図書館事業の報告をし意見を受け、今後の図書館運営に反映させる。H30年度委員の改選があり、市民公募等協議が必要</p> <p>■体協 連携し市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進したことにより、市民の健康の増進や活力あるまちづくりに寄与できた。自立して安定した組織運営を図るため、情報収集を行いながら方向性を検討する</p> <p>■文化協会 組織を活動分野ごとに再編し、団体間の交流が活発に行われた。主催事業が増え、市民との交流も促進された</p> <p>■SNS 市民活動イベントを中心に取材し、情報発信をすることで数多くの市民活動団体を紹介することができた。</p> <p>■子育て支援団体 市民による子育て支援を推進することができた。課題は、子育て総合支援センターを中心とした子育て支援ネットワークの構築が必要なことである</p> <p>■くすのきフォーラムでは、参加者も年々増加し地域の方が集まる場として定着し、地域主体で子育てしやすいまちづくりを推進できた。課題としては、他の地域でも同様な地域特性に応じたコミュニティ活動の普及が望まれるが、自発的な活動であることが必要である</p>		<p>■青少年を育てるつくば市民の会総会後に、PTA・子ども会育成連合会・つくば市PTA連絡協議会の三者で会議を実施したこと、連携を密にし、相互理解を深めることができた。 ■人間学講座 企画から実施まで、市民（実行委員会）が主体となって事業を実施することで、市民のニーズを反映した講座を用意することができ、市民の生涯学習の推進及び協働を図ることができた。 ■図書館協議会 報告内容について委員から、今後の図書館運営に資する意見を受けた。/交流センター図書室の現状について協議会委員の認識を新たにし、運営等に対する意見を受けた。 ■体協 連携し市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進したことにより、市民の健康の増進や活力あるまちづくりに寄与できた。自立して安定した組織運営を図るため、情報収集を行いながら方向性を検討する ■スポーツ推進委員 連携し市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進したことにより、市民の健康の増進や活力あるまちづくりに寄与できた。 ■文化協会 団体間の交流が活発に行われ、文化協会主催事業が増加し、文化活動の活性化につながった。 ■文化振興財団 自助努力で、創意工夫のもとに事業運営が図られた。 ■アイラブ 市民団体による公益事業を行うまちづくり活動を資金面から支援し、関係する市担当部署が協力して事業を実施することで、市民活動団体と行政との連携が深まった。 ■くすのきフォーラムでは、参加者も年々増加し地域の方が集まる場として定着し、地域主体で子育てしやすいまちづくりを推進できた。他の地域でも同様な活動が自然な形で普及していくことが望ましいと考えるが、行政の関わり、支援のあり方については、検討していく必要がある</p> <p>■子育てサークル等の活動内容を子育て家庭に情報提供するとともに、活動を支援することによって、市民による子育て支援を推進することができた。子育て総合支援センターが連携交流の拠点となるよう、事業内容の強化を図っていく。</p>		<p>■青少年健全育成 関係団体との連携を図り、地域全域で活動を展開し、青少年の健全育成を図っていく。 ■人間学講座 企画から実施まで、市民（実行委員会）が主体となって事業を実施することで、市民のニーズを反映した講座を用意することができ、市民の生涯学習の推進及び協働を図ることができた。</p> <p>■図書館協議会 報告内容について委員から、今後の図書館運営に資する意見を受けた。/意見の内容を検討し、サービス向上に努める。 ■体協 連携し、市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進したことにより、市民の健康の増進や活力あるまちづくりに寄与できた。自立して安定した組織運営を図るため、情報収集を行いながら方向性を検討する。 ■スポーツ推進委員 連携し、市民のスポーツ・レクリエーション活動を促進したことにより、市民の健康の増進や活力あるまちづくりに寄与できた。 ■文化協会 団体間の交流が活発に行われ、文化協会主催事業が増加し、文化活動の活性化につながった。 ■文化振興財団 自助努力で、創意工夫のもとに事業運営が図られた。 ■くすのきフォーラムでは、年々参加者も増加し、地域の方が集まる場として定着。地域主体で子育てしやすいまちづくりを推進できた。他の地域でも同様な地域特性のある活動普及が望まれるところではあるが、自発的な活動でなければ継続的な活動は難しい。 ■アイラブ 市民団体による公益事業を行うまちづくり活動を資金面から支援し、関係する市担当部署が協力して事業を実施することで、市民活動団体と行政との連携が深まった</p>
	改善見直し	<p>■文化振興財団 文化芸術の振興・文化施設の管理に特化した組織として今後は専門性を有し安定した財政運営を目指していくための強い組織力が求められてくる</p>		<p>■文化協会 来場者数の向上を目指す。H30年度より補助金の上限の増額・補助対象経費の割合の変更を行い、金銭的な負担を軽減する。会員の減少や高齢化が進んでいるため、入会促進の広報を強化する</p> <p>■アイラブ 活動間もない団体の申請が増えたことで、活動支援だけでなく事後書類作成の補助など側面的サポートをしていく必要がある</p>		<p>■青少年を育てるつくば市民の会及びつくば子ども会育成連合会 社会教育指導員やつくば市PTA連絡協議会等の関係団体と協議を更に行い、つくば子ども会育成連合会の加入促進及び支援を図る。</p>		<p>■スポーツ協会・スポーツ推進委員</p> <p>新型コロナウイルス感染状況を注視しつつ、その時々状況にあった事業展開を行う。</p>

施策の柱	5	生涯学習推進体制の強化	つくば市は、多くの研究者・学生が世界中から集まり、様々な分野の専門家が活動しています。また、世界に開かれた国際都市であるとともに、筑波山をはじめとした豊かな自然環境にも恵まれ、つくば特有のライフスタイルを守り育む活動も盛んです。市内にある研究機関、大学、外国人、専門家、豊かな自然、意識の高い市民など、つくばの持つ特色や資源を活かした生涯学習を推進します。					
方向性	(3)	つくばの特性を生かした生涯学習の推進						
関連課	広報戦略課	交流サロン	科学技術振興課	イノベーションキャンパスinつくば	科学技術振興課	つくば科学教育マイスター認定		
	生涯学習推進課（教	科学フェスティバル	科学技術振興課	イノベーションワールドフェスタ				
	科学技術振興課	G7関係、大学・研究機関紹介展示	科学技術振興課	科学の甲子園ジュニア全国大会				
			<b>21頁</b>					
年度	28年度		29年度		30年度			
計画	<p>■交流サロン 科学のまちの魅力発信につながるよう、研究機関等と協議を行い、セミナー、展示会等を開催する。市民や来訪者が気軽に集まり交流できる場所を創出する</p> <p>■G7茨城・つくば科学技術大臣会合特別展つくば国際戦略総合特区紹介ブースの設置(5/18-21)</p> <p>■イノベーションキャンパスinつくば(8/18-20)</p> <p>■庁舎での大学・研究機関紹介展示</p> <p>■科学フェスティバル 11/12～11/13の2日間開催、来場予定者数は延約17,000名</p>		<p>■交流サロン 研究機関や大学等と協力し、交流サロンで、セミナー、展示会等を開催する。市民や来訪者が気軽に集まり、交流できる場所を創出する</p> <p>■つくば国際戦略総合特区プロジェクト成果発表会 11/7</p> <p>■イノベーションワールドフェスタ2017 6/3</p> <p>■イノベーションキャンパスinつくば2017 8/9-11</p> <p>■科学の甲子園ジュニア全国大会 12/1-3</p> <p>■通年庁舎での大学・研究機関紹介展示</p> <p>■つくば科学教育マイスター認定</p> <p>■科学フェスティバル(サイエンスコラボ) 11/18～11/19の2日間開催。来場予定者数延約12,000名</p>		<p>■交流サロン 大学や研究機関と連携して、つくばの魅力をいかした、つくばらしいイベントを実施する</p> <p>■科学教育マイスター認定</p> <p>■科学フェスティバル</p> <p>11/10～11/11の2日間開催、来場予定者数延約12,000名</p>		<p>■交流サロン 体験型の催事を始め、様々な催事を数多く開催し、参加者、来館者を増加させ、センター地区の賑わい創出を図っていく。</p> <p>■科学ファスティバル 11/16～11/17の2日間開催、来場予定者数は延べ約14,000人</p> <p>■科学教育マイスターによる科学教室 11/16(土)、17(日)開催の科学フェスティバルに引き続き参加する。</p> <p>・今年度新たに1名、科学教育マイスターの認定を目標とし、「科学教育マイスター」の周知に努める。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 体験型科学教育イベントの開催・学校教育への導入に向けた事業プログラム立案、試行及びプログラム成案の作成。・科学教育リソース情報の整理、集約及びポータルサイト化を目指す。</p> <p>■サイエンスカフェの実施 農研機構との共催のサイエンスカフェを引き続き実施する。</p>	
	実績	<p>■交流サロン 来館者数29,379名(選挙除く) 催事回数182回5,383名参加、展示21回236日、つくば市及び筑波研究学園都市の情報を発信、市民や庁内各部署・大学・研究機関と連携してセミナー等を開催</p> <p>■G7ブース 延来場者数1,736名</p> <p>■イノベーションキャンパスinつくば 第1部参加者454名、第2部参加者97名</p> <p>■庁舎での大学・研究機関紹介展示 8件(物材研、高工ネ研、農研機構、理研、国土地理院、産総研、国総研、常設展紹介)</p> <p>■科学フェスティバル 53団体参加。予定通りの2日間で開催。延べ来場者数約17,000名</p>		<p>■交流サロン 来館者数39,106名(選挙除く) 催事回数199回11,275名参加、展示32回296日、つくば市及び筑波研究学園都市の様々な情報を発信、市民や庁内各部署・大学・研究機関と連携してセミナー等開催</p> <p>■つくば国際戦略総合特区プロジェクト成果発表会 142名来場</p> <p>■イノベーションワールドフェスタ2017開催 公式来場者数3,800名</p> <p>■イノベーションキャンパスinつくば2017開催 第1部参加者633名、第2部参加者156名</p> <p>■つくばサイエンスコラボにてつくば科学教育マイスターコート授与式・スタンブラリー実施</p> <p>■第5回科学の甲子園ジュニア全国大会実施</p> <p>■庁舎での大学・研究機関紹介展示 1件</p> <p>■科学教育マイスター 2名認定</p> <p>■科学フェスティバル 53団体参加。予定通りの2日間で延べ来場者数約12,000名</p>		<p>■交流サロン 来館者数41,478名(選挙除く)、催事回数201回(参加者人数12,272人)、展示22回(237日)、ちびっ子博士指定見学施設に登録(参加者4,333人) ■科学フェスティバル 53団体参加。予定どおりの2日間で延べ来場者数約14,000名 ■科学教育マイスターによる科学教室 11月10日(土)、11日(日)に開催された科学フェスティバルで、科学教育マイスター(6名)が科学教室を実施。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 青少年、親子を対象に、研究学園都市に集積する最先端の科学技術を素材に、研究者とともに体験的に学習する場を構築し、つくばでしかできない「STEAM(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)教育」を提供。</p> <p>■サイエンスカフェの実施</p> <p>1) 農研機構との共催で、平成30年10月から毎月第2土曜日10:00-11:30、市内交流センターや市役所、食と農の科学館で実施。各回約20～30名参加。</p> <p>2) 「子育て×サイエンスカフェ 人の知恵と人口知能で作る子どもの安全」・3/24(日) 10:30-12:00 36名参加。</p>		<p>■交流サロン 来館者数40,265人(選挙除く)、催事回数161回(参加者人数11,374人)、展示22回(237日)、ちびっ子博士指定見学施設に登録(参加者7,542人)。また、交流スペースのさらなる活用促進のため、イベント利用者専用のWi-Fiを整備した。 ■ちびっ子博士指定見学施設39団体に登録(参加認定者5,218人) ■科学フェスティバル 53団体参加。予定どおりの2日間で延べ来場者数約16,808名 ■科学教育マイスターによる科学教室 11月16日(土)、17日(日)に開催された科学フェスティバルで、科学教育マイスター(6名)が科学教室を実施した。 1) 一瀬俊明(国立環境研究所) (11/16 10:00-11:00) 10名参加 2) 長屋和宏(国土技術政策総合研究所) (11/16 12:30-13:30) 20名参加 3) 荏原充宏(物質・材料研究機構) (11/16 14:30-15:30) 30名参加 4) Dr.ナラレンジャー(防災科学技術研究所) (11/17 10:00-11:00) 40名参加 5) 下村正樹(産業技術総合研究所) (11/17 12:00-13:00 先着12名) 12名参加 6) 高橋将太(高エネルギー加速器研究機構) (11/17 14:00-15:00) 50名参加 ■体験型科学教育促進事業 児童生徒を対象に、研究学園都市に集積する最先端の科学技術を素材に、研究者とともに体験的に学習する場を構築し、つくばでしかできない「STEAM(Science, Technology, Engineering, Art, Mathematics)教育」を提供する。 1) 体験型科学教育事業学内イベント実施(竹園西小学校5年生と谷田部小学校5年生が授業の一環として参加) 2) 体験型科学教育事業「つくばこどもクエスト2020」開催(57名参加) 3) 教育関係者を対象とした、つくばの未来を考えるワークショップ「TSUKUBA COMPASS For The FUTURE」開催 4) 体験型科学教育事業「つくばこどもクエスト2020」開催 5) 市内研究機関等の情報一元化を目指した「つくばSTEAMコン(ポータルサイト)開設準備 ■サイエンスカフェの実施 農研機構との共催で、平成30年10月から月に1度、市役所や食と農の科学館で実施。研究者と市民が、身近な場所で、お茶を飲みながら、科学の楽しさについて気軽に語り合う場を創出している。各回約20～30名参加。2020年3月は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止。</p>
成果課題		<p>■交流サロン 他部署との連携により、夏休みに親子で参加する科学実験工作イベントの開催や、出前講座などの催事開催を充実させ、来館者を増やした・大学や研究機関と連携し魅力的な催事開催ができた</p> <p>■G7ブース 最先端の科学技術をいかした特区プロジェクトを紹介することにより、市民が最先端の科学技術を学ぶ機会を提供できた</p> <p>■科学フェスティバル 来場者が、各出展ブースの企画に触れ、体験型イベントとして科学への興味や関心を高めることができた。来場者アンケートでも96%の方が楽しかったと回答</p>		<p>■交流サロン 大学や研究機関等と連携し、夏休みに親子で参加する科学実験工作イベントの開催や、出前講座などの催事を充実させた</p> <p>■つくば市国際戦略総合特区プロジェクト成果発表会 最先端の科学技術をいかした特区プロジェクトを紹介することにより、市民が最先端の科学技術を学ぶ機会を提供することができた</p> <p>■イノベーションキャンパスinつくば 前年度よりも多くの参加者を得ることができた</p> <p>■サイエンスカフェの実施</p> <p>■つくばサイエンスコラボ内で科学教育マイスター関連事業を新規実施</p> <p>■科学フェスティバル 来場者が各出展ブースの企画に触れ、体験型イベントとして科学への興味や関心を高めることができた。来場者アンケートでも95%の方が楽しかったと回答</p>		<p>■交流サロン 多くの催事や展示を行い、科学分野だけでなく、スタートアップなど、様々な市の魅力を発信することができた。</p> <p>■科学フェスティバル 来場者が各出展ブースの企画に触れ、体験型イベントとして科学への興味や関心を高めることができた。来場者アンケートでも全体の95%の方が、楽しかったと回答。</p> <p>■科学教育マイスターによる科学教室 マスターの講座はどれも楽しく子どもたちに興味を持って貰えたと思うが、「科学教育マイスター」が普及できたいという疑問、制度の周知方法の見直しが必要。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 参加者からの評価は概ね良かったが、「STEAMのうち、A(プロトタイプ作り)は実践されていたが、STEMの要素があまりふみこめていなかった」という意見もあった。</p> <p>■サイエンスカフェの実施</p> <p>1) 農研機構のサイエンスカフェ 毎回会場を変えているため人の集まりにはばつきがある。会場を固定して開催した方が良かったら、ばつきはあっても各地域の人に参加してもらった方が良かったら、情報を集約できるようにする必要がある。</p> <p>2) 研究者を招いてのサイエンスカフェは、単発の事業となるため、次に繋がるようなイベントになるような工夫が必要。</p>		<p>■交流サロン 多くの催事や展示を行い、科学分野だけでなく、国際交流や健康に関する分野など、様々な内容で市の魅力を発信することができた。</p> <p>■ちびっ子博士 パスポート提出者数、認定者数ともに伸びた。見学者が各施設を訪れ、科学技術に関する関心を高めることができた。 ■科学フェスティバル 天候に恵まれ来場者が伸びた。来場者が各出展ブースの企画に触れ、体験型イベントとして科学への興味や関心を高めることができた。新たな出展内容を今後取り入れていく。</p> <p>■科学教育マイスターによる科学教室 ・マイスターの講座はどれも楽しく子どもたちに興味を持って貰えた。 ・科学教育マイスターオリジナル白衣を着て講座を行っているが、会場内では白衣は自立したくない(白衣の人が多い)ため、マイスターコートに代わる、身につけられる目印があるといい。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 ・令和2年度つくばスタイル科サテライト単元として位置づけられた ・持続的な学びを推進するための枠組みや支援が必要 ・組織ごとの分野横断的な連携体制が必要 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月から市内小中学校が休校となったため、急遽オンライン学習支援を実施した。今後も、オンラインで実施する学習支援が必要。</p> <p>■サイエンスカフェの実施 ・継続的な実施の甲斐もあり、毎回満員で開催することができた。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3月からイベントは中止となった。講座をオンラインで配信するなど、会場に人を集めないで実施する工夫が必要。</p>
	改善見直し	—		<p>■成果発表会 プロジェクト毎に進捗状況や効果的な開催方法が異なるため、ターゲットの要望に合わせて、講座等の実施方法を検討する必要がある</p> <p>■イノベーションワールドフェスタ 次年度は都内開催</p> <p>■イノベーションキャンパスinつくば 次年度以降の実施が見送りとされたため、新規事業の実施を準備中</p>		<p>■交流サロン 交流スペースのさらなる活用促進に向けて、Wi-Fiの利用環境を整えるなど、利用者の利便性向上に向けた検討が必要である。</p> <p>■科学教育マイスターによる科学教室・科学教育マイスター制度の周知も合わせて行う。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 ・継続的な学びに繋げるため、保護者向けガイド本を作成し、家庭でも実施ができるようにする。 ・市内研究機関・大学等と連携を密にし、ポータルサイト「つくばSTEAMコン(ポ)」のコンテンツを充実させ、オンライン上のイベントを中心に実施する。</p> <p>■サイエンスカフェの実施 市民が気軽に講座を実施する方法について、農研機構の担当者と一緒に話し合いを行う。</p>		<p>■交流サロン 新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため、運営方法の検討が必要。</p> <p>■科学教育マイスターによる科学教室 科学教育マイスターの周知も合わせて行う。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 ・継続的な学びに繋げるため、保護者向けガイド本を作成し、家庭でも実施ができるようにする。 ・市内研究機関・大学等と連携を密にし、ポータルサイト「つくばSTEAMコン(ポ)」のコンテンツを充実させ、オンライン上のイベントを中心に実施する。</p> <p>■サイエンスカフェの実施 市民が気軽に講座を実施する方法について、農研機構の担当者と一緒に話し合いを行う。</p>
		<p>■交流サロン 新型コロナウイルスの影響を踏まえつつ、状況に応じてイベントを行うなど、さらなる運営方法の検討が必要。</p> <p>■科学教育マイスター 認定要件を見直すことで関口を広げる。</p> <p>■体験型科学教育促進事業 ・つくばスタイル科単元として学校に受け入れられるような授業モデルを提案する。 ・ポータルサイトやSNSなどを利用した周知活動</p> <p>■サイエンスカフェの実施 研究機関ごと動画撮影し、市HPに掲載する。スタートアップパーク構材を活用したオンライン配信するなど現地開催以外の方法を検討する。</p>						

施策の柱	5	生涯学習推進体制の強化	つくば市は、多くの研究者・学生が世界中から集まり、様々な分野の専門家が活動しています。また、世界に開かれた国際都市であるとともに、筑波山をはじめとした豊かな自然環境にも恵まれ、つくば特有のライフスタイルを守り育む活動も盛んです。市内にある研究機関、大学、外国人、専門家、豊かな自然、意識の高い市民など、つくばの持つ特色や資源を活かした生涯学習を推進します。			
方向性	(3)	つくばの特性を生かした生涯学習の推進				
関連課	農業政策課	農業体験	環境政策課	桜川稚魚放流及び魚捕り体験事業	生涯学習推進課	サイエンスラボ
	観光推進課	フォレストアドベンチャー、筑波山ビジターセンター、梅まつり	環境政策課	筑波山自然環境教育事業		
	ジオパーク室	筑波山地域ジオパーク	環境政策課	エコ・クッキング事業		

22頁

年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度
計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 6回</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば モバイルフォレストアドベンチャーを設置し「つくばフェスティバル2016」をはじめ各種イベントでPR</li> <li>■筑波山ビジターセンター 筑波山観光案内所に開設/筑波山自然情報の提供、展示、ガイド等</li> <li>■第44回筑波山梅まつり 筑波山梅林にて開催/筑波山梅林の案内、各種周遊バス、イベント等</li> <li>■ジオパーク 市民説明会、講座、筑ジオカフェ、ジオパーク講演会、3部会（教育・学術、市民活動、地域振興）、ジオツアー</li> <li>■桜川稚魚放流及び魚捕り体験事業 茨城県水面行協同組合連合会、桜川漁業協同組合との連携事業。桜川流域9小学校で実施予定</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 参加予定100名</li> <li>■エコ・クッキング事業（調理実習） 東京ガスとの連携事業。参加予定児童900名</li> <li>■サイエンスラボ 5コース実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 6回</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば</li> <li>■筑波山ビジターセンター 筑波山ケーブルカー山頂駅にて開設/筑波山自然情報の提供、展示、ガイド等</li> <li>■第45回筑波山梅まつり</li> <li>■ジオパーク</li> <li>■桜川稚魚放流及び魚捕り体験事業</li> <li>■筑波山自然環境教育事業</li> <li>■エコ・クッキング事業（調理実習と座学）</li> <li>■サイエンスラボ 4コースで大学・自然体験や環境学習を取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 6回</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば</li> <li>■筑波山ビジターセンター</li> <li>■ジオパーク 通常事業のほか、日本ジオパーク関東大会in筑波山地域ジオパーク開催</li> <li>■桜川稚魚放流事業 桜川流域4小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 参加予定100名</li> <li>■エコ・クッキング事業（調理実習と座学15回）</li> <li>参加予定児童600名</li> <li>■サイエンスラボ つくばの特性を生かした生涯学習の推進ができるよう取り組む</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 6回</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば モバイルフォレストアドベンチャーを設置し「つくばフェスティバル2019」でPRを実施する</li> <li>■第47回筑波山梅まつり</li> <li>■筑波山ネイチャーガイドツアー 秋の行楽シーズンに筑波山ケーブルカー山頂駅で開催。</li> <li>■ジオパーク室 通常業務のほか、拠点施設及びサテライト施設整備方針検討。</li> <li>■桜川稚魚放流事業 桜川流域4小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 100名</li> <li>■エコ・クッキング事業(調理実習と座学) 450名</li> <li>■サイエンスラボ つくばの持つ特色や資源を活かした生涯学習を推進するため、科学実験教室、自然体験ができる内容を計画。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ実施を検討していきます。</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば つくば市民の日キャンペーンを実施する。</li> <li>■第48回筑波山梅まつり 2月中旬から約1か月間開催する。</li> <li>■筑波山ネイチャーガイドツアー 4月13日～4月24日実施する。（新型コロナウイルス感染拡大のため中止）</li> <li>■ジオパーク 2回目となる学術シンポジウムの開催を検討。令和元年度に引き続き、拠点整備の基本構想及び計画を策定。</li> <li>■桜川稚魚放流事業 桜川流域4小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 60名</li> <li>■エコ・クッキング事業(調理実習と座学) 560名</li> <li>■つくばサイエンスラボ 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から安全に実施できるよう運営する。また、つくば市の地域資源を活用し、豊富な自然環境を体感できる事業を計画する。</li> </ul>
実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 4回207名参加</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 年度利用者数12,676名</li> <li>■筑波山ビジターセンター 11/3（木・祝）～11/13（日）2,823名来場</li> <li>■梅まつり 2/25（土）～3/20（月・祝）150,000名来場</li> <li>■ジオパーク 市民説明会（21回）、公民館講座（23回）、筑ジオカフェ（16回）、講演会・企画展（14回）、部会（14回）、ジオツアー（34回）</li> <li>■桜川稚魚放流事業 8小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 126名</li> <li>■エコ・クッキング事業 435名</li> <li>■サイエンスラボ 合計177名参加</li> <li>A：つくばエキスポセンター36名、B：ロボットと学ぼう</li> <li>エコとエネルギー38名、C：地図と測量の科学館化学館</li> <li>見・学実験教室「昆虫の感覚と行動の不思議」34名、D：つくば宇宙センター見学34名、E：食と農の科学館、地質標本館35名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 8回285名参加</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 年度利用者数16,178名</li> <li>■筑波山ビジターセンター 4/15（土）～4/23（日）1,049名来場、野外解説参加者数1,008名</li> <li>■梅まつり 2/14（水）～3/21（水・祝）170,000名来場</li> <li>■ジオパーク 市民説明会（17回）、公民館講座（69回）、筑ジオカフェ（11回）、講演会・企画展（15回）、部会（18回）、ジオツアー（54回）、ジオガイド養成講座</li> <li>■桜川稚魚放流事業 9小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 129名</li> <li>■エコ・クッキング事業 625名</li> <li>■サイエンスラボ 合計112名参加</li> <li>Aコース：野菜収穫体験・ピザ作り、19組親子参加</li> <li>Bコース：小田城歴史広場、応募62人、参加33人</li> <li>Cコース：筑波山登山、応募84人、参加41人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 8回205名参加</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 年度利用者数14,217名</li> <li>■梅まつり 2/16（土）～3/21（祝）19万人来場</li> <li>■筑波山ビジターセンター 秋（10/6～10/14）9日間で1,380人</li> <li>■ジオパーク 市民説明会（3回）、企画展・講演会（6回）、市民向け講座・イベント（35回）、ジオカフェ（12回）、ジオガイドスキルアップ講座（4回）、部会（16回）、ジオツアー（37回）、第5回日本ジオパーク関東大会in筑波山地域の開催</li> <li>■桜川稚魚放流事業 桜川流域4小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 107名</li> <li>■エコ・クッキング事業(調理実習と座学) 446名</li> <li>■サイエンスラボ 合計78人参加</li> <li>Aコース：つくば工科高校で！楽しくロボットを学ぼう 参加40人</li> <li>Bコース：科学実験教室「昆虫の感覚と行動の不思議」参加38人</li> <li>Cコース：石窯ピザづくり・JAXA見学、応募68人（台風接近により中止）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 7回（102名）</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 年間利用者数13,279人</li> <li>■筑波山梅まつり 2/15(土)～3/22(日) 13万人来場</li> <li>■筑波山ネイチャーガイドツアー 11/11～11/21 651人</li> <li>■ジオパーク 市民説明会（1回）、企画展・講演会（6回）、市民向け講座・イベント（12回）、ジオカフェ（6回）、ジオガイドスキルアップ・フォローアップ講座（12回）、部会（10回）、ジオツアー（8回）、ジオガイド養成講座（全6回）、学術シンポジウム（1回）</li> <li>■ジオパーク拠点整備 基本構想及び基本計画策定のためアンケートやワーキンググループを開催</li> <li>■桜川稚魚放流事業 桜川流域4小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 114名</li> <li>■エコ・クッキング事業(調理実習と座学) 436名</li> <li>■2019つくばサイエンスラボ実施 Aコース：7/27・37人参加 夜の察教室 セミの羽化を監察しよう！、Bコース：7/30・72人参加（午前・午後の2班）ロボットを指令どおりに動かそう！、Cコース：8/6・28人参加 チョウザメ&amp;土器に触ろう！</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 4回（54名）</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 年間利用者数10,337人</li> <li>■筑波山梅まつり 2/13(土)～3/21(日) 7万5千人来場</li> <li>■筑波山ネイチャーガイドツアー 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</li> <li>■ジオパーク 出前授業（10授業）、市民向け講座（5講座）、ジオツアー（6回）、ジオガイド育成のための講座（16回）、部会（7回）、学術シンポジウム（1回）</li> <li>■ジオパーク拠点整備 「筑波山地域ジオパーク中核拠点整備基本構想・計画」を策定</li> <li>■桜川稚魚放流事業 桜川流域の4小学校</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 41名</li> <li>■エコ・クッキング事業(調理実習と座学) 537名</li> <li>■つくばサイエンスラボ事業を令和2年度より「青少年体験学習事業」と変更した。夏休み期間中に小中学生向け体験学習事業を実施した。（2回開催、参加者24人）</li> <li>今後も、つくばの持つ特色や資源を活かした青少年体験ができるような事業展開にしていこう。</li> </ul>
成果課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 都市住民と生産者の交流の場を創出。つくばの農業・農産物のPRや理解等を促進</li> <li>■ジオパーク ジオパーク活動やPR活動を積極的に行うことによりジオパークサポーター登録数が大幅に増加（700名⇒2,382名）。更にJGCより指摘を受けた課題を一つ一つ解決しつつジオパーク活動を進めたことにより9/9に筑波山地域が日本ジオパークに認定された</li> <li>■環境事業 子供から高齢者に至る多くの市民の参加により、環境保全や環境に関する理解・関心等の意識の高揚が図れた</li> <li>■サイエンスラボ 別のコースにも参加したいとの意見が多く、科学に対しての興味がより深められた。市HPやチラシを配布した成果もあり、定員に達した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■筑波山ビジターセンター 展示スペースとは別にカタクリの野外解説を実施し、筑波山頂の登山客、観光客に実際に植物を観察しながら学べる機会を創出することができた。</li> <li>■ジオパーク 各市毎に様々な活動を積極的に進めることにより、徐々にではあるが市民の方々のジオパークについての認識が深まっているように感じる。また認定ジオガイド養成講座を開催し、筑波山地域ジオパークで初めて42名の認定ジオガイドが誕生</li> <li>■環境事業 自然が衰退している原因への対策や環境保全の意義等について意識の高揚を図れた</li> <li>■サイエンスラボ 熱中症対策をしたものの登山・ピザ作りの時に体調不良者がでた。登山は保健師さんに介護援助をしてもらい無事登頂できたものの検討が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 都市住民と生産者の交流の場を創出。つくばの農業・農産物のPRや理解等を促進。</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 利用者数5万名を達成し、5万名達成記念を行うことができた。</li> <li>■梅まつり 前年度と比較して来場者数が20,000名増加</li> <li>■ジオパーク 構成6市毎に様々な活動を積極的に進めることで、地域住民へのジオパークへの認識をさらに深めることができた。また、様々なイベントや講座等を実施し、生涯学習の場を提供した。2月には「第5回日本ジオパーク関東大会in筑波山地域」を開催し、ジオパーク事業をさらに推進することができた。</li> <li>■環境事業 豊かな自然を保全する意義や環境に関する理解・関心等の意識高揚が図れた。</li> <li>■サイエンスラボ (成果) 今年度から市内の小学4年生から中学3年生までに変更した結果、中学生の参加を得ることができた。参加者には科学技術への興味・関心を向上させることができた。（課題）「つくばサイエンスラボ」事業名で事業を報告していたが、居場所事業の目的、概要を見直し、青少年が自主的な活動や体験ができるような事業を検討する必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 イベントの参加者を増やし、農業の理解促進を図る。</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば：新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響やパーク内コースの改修に伴い、前年度と比較して約900人の減少となった。</li> <li>■筑波山梅まつり 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、前年度と比較して6万人の減少となった。</li> <li>■筑波山ネイチャーガイドツアー 11月に実施したが気温が低い日が多く寒さ対策が課題となったため、4月実施を検討する。</li> <li>■ジオパーク 構成6市毎に様々な講座やイベントを実施し、生涯学習の場を提供することで、地域住民のジオパークへの理解をさらに深めることができた。令和元年度は2回目となるジオガイド養成講座を実施し、新たに26名を認定した（総勢57名）。また、初めて学術シンポジウムを開催し、一般参加も受け付けることで、つくばの特性を生かした生涯学習の推進を図ることができた。</li> <li>■ジオパーク拠点整備 拠点施設の検討として、基本構想及び基本計画の策定を進めた。</li> <li>■環境事業 子供から大人まで多くの市民の参加により豊かな自然を保全する意義や環境に関する理解・関心等の意識高揚が図ることができた。</li> <li>■つくばサイエンスラボ 今後も、つくばの持つ特色や資源を活かした青少年体験ができるような事業展開にしていこう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 コロナウイルス感染症拡大により、イベントが中止となった。</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば 新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により、前年度と比較して約3千人の減少となった。</li> <li>■筑波山梅まつり 新型コロナウイルス感染拡大に伴う影響により、前年度と比較して5万5千人の減少となった。</li> <li>■ジオパーク 新型コロナウイルス感染症の影響により会議やジオツアーなどの多くのイベントが実施できなかった。学術シンポジウムなど一部イベントは、オンラインで開催することができた。</li> <li>■ジオパーク拠点の整備を進めるための基本構想・計画を策定した。</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施回数及び募集人数を縮小し、親子で参加する形式で実施することにより、幅広い年齢層の参加者に、豊かな自然を保全する意義を理解していただきながら環境に関する意識の高揚を図ることができた。</li> <li>■エコ・クッキング 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実習形式に加えて講義形式を取り入れ、「カードゲーム」を利用するなど子供たちの関心を高めることができた。</li> </ul>
改善見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>■エコ・クッキング事業 連携先と調整し15クラスに縮小して実施。H29年度は、連携先の負担軽減も考慮し座学だけの講座も取り入れる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■筑波山ビジターセンター 毎年、時期・場所を変えながら実施</li> <li>■ジオパーク 日本ジオパーク委員会から示された『日本ジオパーク自己評価表（未定稿）』に基づきアクションプランの見直しを行い進めて行く</li> <li>■エコ・クッキング事業 連携先の都合で19クラスに縮小して実施</li> <li>■サイエンスラボ 定員を上回る応募があったので多くが参加できるよう内容等を見直す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 提供団体等との連携による参加者のニーズに合ったイベントを実施する。</li> <li>■フォレストアドベンチャー・つくば コースの改修を検討する。</li> <li>■エコ・クッキング事業 連携先と調整し、15クラスを対象に実施。</li> <li>■サイエンスラボ 課題を踏まえ、事業の見直しを検討し、体験学習ができる事業として展開していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 イベント内容や周知方法等の見直し。</li> <li>■観光施設維持管理事業 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、事業全体が縮小傾向にあったが、収束後は計画に基づき事業を再開する。</li> <li>■ジオパーク 再認定審査に向けた課題の整理など、アクションプランの見直しを行い、進めていく。</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 筑波山麓のみでなく、牛久沼周辺等についても事業の実施を検討し、自然環境や生物多様性を守る活動の推進につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■農業体験 参加者のニーズに合ったイベントを実施する。</li> <li>■観光施設維持管理事業 新型コロナウイルスの収束を見据え事業を展開する。</li> <li>■ジオパーク 今後、多様な生涯学習講座を実践していくために、これまでの実績を整理する必要がある。</li> <li>■筑波山自然環境教育事業 事業実施場所について、筑波山麓に限らず市内の様々な箇所での開催を検討し、自然環境や生物多様性の保全活動の推進を図っていく。</li> </ul>

施策の柱	5	生涯学習推進体制の強化	つくば市は、多くの研究者・学生が世界中から集まり、様々な分野の専門家が活動しています。また、世界に開かれた国際都市であるとともに、筑波山をはじめとした豊かな自然環境にも恵まれ、つくば特有のライフスタイルを守り育む活動も盛んです。市内にある研究機関、大学、外国人、専門家、豊かな自然、意識の高い市民など、つくばの持つ特色や資源を活かした生涯学習を推進します。							
方向性	(3)	つくばの特性を生かした生涯学習の推進								
関連課	国際交流室	外国人との交流事業、外国人向けの講座				23頁				
年度	28年度		29年度		30年度		元年度		2年度	
計画	<p>■交流事業</p> <p>①国際交流フェアの開催</p> <p>②つくばワールドフットサル2016の開催</p> <p>③米国ミルピタス市の高校生とのベンパル事業の実施</p> <p>④世界お茶のみ話（新規事業）の開催</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①日本語講座：ビギナーから初級レベルを対象に前期・後期で開催</p> <p>②日本料理講座の開催</p> <p>③外国人の子供向け日本語講座の調査</p>		<p>■交流事業</p> <p>①つくばワールドフットサル2017の開催</p> <p>②米国ミルピタス市の高校生との美術品交換</p> <p>③世界お茶のみ話</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①外国人のための日本語講座(昼と夜に分け、全20回程度開催。読み書きを中心に行うクラスや会話表現を中心に行うクラスがあり全6クラス)。</p> <p>②子ども日本語勉強会（市内の小学校の児童が学校に馴染むことを目的として実施）。</p>		<p>【交流事業】</p> <p>①つくばワールドフットサル2018を開催（10/27開催予定）</p> <p>②ミルピタス市との電子ベンパル等の交流（5月以降随時）</p> <p>③世界お茶のみ話(毎月一回)</p> <p>④韓国テジョン市との青少年交流事業（7月予定）</p> <p>【外国人向け講座】</p> <p>①外国人のための日本語講座(昨年度同様、昼と夜に分け、全20回程度開催予定。)</p> <p>②子ども日本語勉強会（本年度も長期休みに開催予定）</p>		<p>■交流事業</p> <p>①つくばワールドフットサル2019を開催（10/20開催予定）</p> <p>②ミルピタス市との電子ベンパル等の交流（秋以降随時）</p> <p>③世界お茶のみ話(毎月一回)</p> <p>④韓国テジョン市との青少年交流事業（8月予定）</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①外国人のための日本語講座(昨年度同様、昼と夜に分け、全20回程度開催予定。)</p> <p>②子ども日本語勉強会（本年度も長期休みに開催予定）</p>		<p>■交流事業</p> <p>①つくばワールドフットサル2020を開催（新型コロナウイルスの影響で中止）</p> <p>②世界お茶のみ話(毎月一回)</p> <p>③韓国テジョン市との青少年交流事業（新型コロナウイルスの影響で中止）</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①外国人のための日本語講座(昨年度同様、昼と夜に分け、全20回程度開催予定。)</p> <p>②プレスクール・プレクラス（子ども日本語勉強会・就学・進学支援）を長期休みに開催予定</p>	
実績	<p>■交流事業</p> <p>②11/26開催（443名のうち外国人86名21か国。外国人参加率19.4%）</p> <p>③9月～2月ミルピタス市の高校生と竹園高校生によるe-mail交流を実施（両市の高校生各13名計26名）。同市との交流20周年を記念して姉妹都市かるたを制作。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①受講者256名</p> <p>②2/11開催13名参加</p> <p>③外国人の子供向け日本語講座開催のための講座等に参加。</p>		<p>■交流事業</p> <p>①11/11開催(492名のうち外国人144名21か国。外国人参加率29%)。</p> <p>②竹園高校とミルピタス高校による美術品の交換を行い、市民文化祭で展示した。</p> <p>③毎月第3土曜に開催し、本年度の4月で15回目の開催となった。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①全9クラス、283名参加</p> <p>②長期休み実施し73名参加（夏29、冬27、春17）</p>		<p>■交流事業</p> <p>①10/27開催(321名のうち外国人56名21か国。外国人参加率17%)。</p> <p>②竹園高校とミルピタス高校による美術品の交換を行い、市民文化祭で展示した。</p> <p>③毎月第3土曜に開催し、年度末までに延べ26回開催した。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①全9クラス、276名参加</p> <p>②長期休み実施し47名参加（夏25名、冬18名、春4名）</p>		<p>■交流事業</p> <p>①10/20開催(315名のうち外国人61名23か国。外国人参加率19.4%)。</p> <p>②姉妹都市関係解消のため、実施せず。</p> <p>③毎月第3土曜に開催し、年度末までに延べ38回開催した。</p> <p>④日韓関係の悪化により実施できず。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①全9クラス、220名参加</p> <p>②長期休み実施し22名参加（夏17名、冬5名）</p>		<p>■交流事業</p> <p>①新型コロナウイルスの影響で中止</p> <p>②4-7月は新型コロナウイルスの影響で中止。8月からはお茶の提供は中止しながらも、オンライン(YouTubeライブ配信)での開催を開始。（6回実施、63名参加。YouTubeの再生回数971回）</p> <p>③新型コロナウイルスの影響で中止</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①外国人のための日本語講座 前期4-9月は休講、後期10-3月はオンラインで実施し79名が受講。</p> <p>②プレスクール・プレクラス 第1回=8/11,12,18,19に実施：日本語学習16名、小中ガイダンス6家庭、高校ガイダンス7家庭参加。第2回=3/6,13に実施：日本語関係5名、小中ガイダンス13家庭、高校ガイダンス4家庭参加。</p>	
成果課題	<p>■交流事業</p> <p>②過去最高の参加者で、国籍を問わない交流が図れた。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①日本語講座では、単なる語学学習ではなく、日本での日常生活や文化を交えながら教えることで、日本に対する理解を深めることができた。</p>		<p>■交流事業</p> <p>①外国人比率の目標値の30%に近づくことができたが、今後も維持または、増加させていくことが課題。</p> <p>②市内の高校生が両市について知る機会を提供できた。</p> <p>③Tsukuba International Schoolの学生が参加するなど、市民との外国人の交流の場となっている。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①人間にとって欠かすことのできない「食」に関するテーマを主として単なる語学学習ではなく、日本での日常生活や文化を交えながら教えることで、日本に対する理解を深めることができた。</p> <p>②長期休みの実施なので、より多くの参加を促したい。</p>		<p>■交流事業</p> <p>①昨年度は外国人比率の目標値の30%に近づけたが、今年度は目標から遠ざかってしまった。今後、増加を図りながら、目標値の適正化も検討する。</p> <p>②市内の高校生が両市について知る機会を提供できた。</p> <p>③Tsukuba International Schoolの学生が参加するなど、市民との外国人の交流の場となっている。</p> <p>④市内中学生8名が韓国大田広域市を訪問し、交流できた。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①単なる語学学習ではなく、日本での日常生活や文化を交えながら、生活に密着した日本語教えることで、日本に対する理解を深めることができた。</p> <p>②前年度に比べて参加者が減少しているため、開催日程や開催場所を再検討するとともに、学校長会等での周知強化を図る。</p>		<p>■交流事業</p> <p>①昨年度に比べ改善したものの、外国人比率の目標値の30%には届かなかった。今後は更なる増加を図る。</p> <p>③特別企画として、つくばフェスティバルの際に3回の講演を行い、年度内の延べ参加者は519名となり、前年度に比べ20名増加した。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①単なる語学学習ではなく、日本での日常生活や文化を交えながら、生活に密着した日本語教えることで、日本に対する理解を深めることができた。</p> <p>②前年度に比べて参加者が減少しているため、開催日程や開催場所を再検討するとともに、学校長会等での周知強化を図る。また、子どもたちの日本語支援について話し合う場である子ども日本語支援プラットフォーム会議の発足や、市役所に手続きにきた外国人児童への日本語支援であるプレスクール・プレクラスの開催を試みた。（新型コロナウイルスの影響で中止）</p>		<p>■外国人との交流事業</p> <p>②オンライン(YouTubeライブ配信)での開催にしたことで、遠方に住む人など直接会場には足を運べない人も参加できるようになった。また、アーカイブとしても残せるようになり、より多くの人が視聴可能となった。対面での開催が再開された後もオンライン配信は継続していきたい。</p> <p>■外国人向け講座</p> <p>①新型コロナウイルスの影響により前期が休講となったことで参加人数は減ったが、オンラインでかえって受講しやすくなり、後期は予約開始後すぐに定員に達するなど好評だった。</p> <p>②各学校や幼稚園でのチラシ配布等により周知強化を図ったことで、参加者数は大幅に増加した。</p>	
改善見直し	日本語カフェは27年度の参加者が少なかったことから実施しなかった。		-		-					

担当課名	施策の柱	方向性	頁	事務事業名	総合評価	総合評価が低かった理由
高齢福祉課	1 個人の自立に向けた学習機会の提供	(1) ライフステージに応じた学習機会の提供/ 高齢者のいきがい	6	高齢者生きがい活動支援事業	—	高齢者生きがい活動支援事業には以下の事業がある。 ①おひさまさんさん生き生きまつり 新型コロナウイルスの影響により中止とした。(高齢福祉課と障害福祉課の共催事業) 2課で協議し中止決定。 ②シルバークラブ大会 令和元年度は、活動功労者表彰と講演会を実施。令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、活動功労者顕彰事業として実施。(表彰はしなかったため、活動功労者へ届けに行った。)
高齢福祉課	1 個人の自立に向けた学習機会の提供	(1) ライフステージに応じた学習機会の提供/ 高齢者のいきがい	6	高齢福祉祭りいばらきねんりんスポーツ大会	—	社会福祉協議会への委託事業 新型コロナウイルスの影響により中止。社会福祉協議会と高齢福祉課で協議し中止決定。
スポーツ振興課	4 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供	(1) 健康・スポーツ・レクリエーション活動の推進	15	スポーツ教室開催事業	—	新型コロナウイルスの影響により、スポーツ教室が大きく減少した。
スポーツ振興課	5 生涯学習推進体制の強化	(2) 多様な主体とのネットワーク行政の推進	20	つくば体育協会運営補助	—	月例点検及び財政支援対策会議は実施したが、新型コロナウイルスの影響により各種事業を中止せざるを得なかった。
スポーツ振興課	5 生涯学習推進体制の強化	(2) 多様な主体とのネットワーク行政の推進	20	スポーツ推進委員協議会事業	—	新型コロナウイルスの影響により主催事業を実施できなかった。
人事課	4 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供	(4) 絆づくり・地域づくりにつながる学習機会の提供	18	市職員研修	—	新型コロナウイルスの影響により、研修を実施しなかった。
企画経営課	2 生涯学習環境の整備	(3) 学習意欲を高めるための啓発活動	11	つくば市OB人材活動支援事業	—	新型コロナウイルスの影響を大きく受け対面実施が停止にした。

担当課名	施策の柱	方向性	頁	事務事業名	総合評価	総合評価が低かった理由
観光推進課	5 生涯学習推進体制の強化	(3) つくばの特性を生かした生涯学習の推進	22	観光施設維持管理業務	—	新型コロナウイルス感染症対策を徹底してフォレストアドベンチャー、筑波山梅まつりを行ったが来場者は大きく減少した。筑波山ネイチャーガイドツアーは中止した。
ジオパーク室	5 生涯学習推進体制の強化	(3) つくばの特性を生かした生涯学習の推進	22	筑波山地域ジオパーク推進事業	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、会議やジオツアーなど多くのイベントが実施できなかった。学術シンポジウム等の一部はオンライン開催できた。
危機管理課	4 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供	(4) 絆づくり・地域づくりにつながる学習機会の提供	18	防災意識啓発事業	—	新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座等が大きく減少した。
生涯学習推進課	5 生涯学習推進体制の強化	(3) つくばの特性を生かした生涯学習の推進	21	科学フェスティバル	—	新型コロナウイルス感染症の影響でイベントは中止したが、科学フェスティバルに代わる科学動画配信を行った。

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映			
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性	
												継続	修正	中止	
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	多様な学びの実現	施設の利便性の向上	1-(1)-ア	図書館利便性向上事業	開館時間延長の継続、地域で手軽に図書館サービスを受けられる自動車図書館ステーションと返却ができるサービスポイントの増設等	中央図書館	閉館時間を午後5時から午後7時に変更し、開館時間を2時間延長するとともに、祝日の特別開館を実施し、利用者の利便性向上を図る。 市内47か所に設けたステーションに火曜日から土曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出及び返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。令和3年度には、現在の2台の移動図書館車両に加え、右左外架書架設備による最大限約600冊積載可能な移動図書館車を新たに1台導入し、サービスの拡充を図るとともに、コロナ禍における中央図書館への来館者の分散化を図る。 並木・広岡・大穂・豊里の各交流センター、市役所コミュニティ棟のブックポスト及びオンラインの4交流センターで図書資料の返却ができるようにする。また、新たに島名交流センター及び筑波大学附属中央図書館へのブックポストの設置について検討を進める。 年間開館日数291日 年間開館時間2740.5時間 自動車図書館利用人数14000人 自動車図書館貸出冊数55000冊 返却窓口への返却冊数130000冊								
			1-(1)-ア	市民交流施設利便性向上事業	誰でも気軽に利用できるような施設づくり	文化芸術課	生涯学習活動として、様々な団体(サークル)が快適に利用できるよう、地域交流センターの維持管理を行う。 また、茶道、華道、囲碁、料理、語学、ボランティア、短歌、音楽、手芸、絵画、書道、バレエ、ダンス、スポーツ、工芸等多種多様な団体(サークル)の登録を円滑に行い、誰でも気軽に利用できる施設づくりを行う。 地域交流センター利用者数200000人 地域交流センター登録団体650団体								
			1-(1)-イ	民間企業での生涯学習事業	民間企業等での生涯学習講座の実施促進	生涯学習推進課	民間企業でのニーズと必要性に沿った生涯学習の機会を提供していく。提供方法は、会場参加・オンライン・動画配信により実施し、参加機会を拡充する。また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート等の集計結果から、今後の講座内容として反映させ、生涯学習の環境や取組みを促進する。 講座開催数2回 参加者数(動画視聴含む)40人								
		参加機会の拡充	1-(1)-イ	オンラインによる生涯学習講座事業	ウェブを活用し、動画配信等による生涯学習講座の実施	生涯学習推進課	市民が希望している生涯学習に応じた生涯学習講座を把握し、気軽に参加できる生涯学習講座をオンラインや動画配信等で行う。 オンライン講座3回 動画配信3回								
	1-(1)-イ		地域交流センター活用事業	夜間・休日における学習機会の提供	文化芸術課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行ったうえで、夜間や休日に地域交流センター講座を開講することで、夜間休日における学習機会を提供する。 夜間休日の講座の開講10回									

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
														継続	修正	中止	
		生涯学習の相談・情報の提供	1-(1)-ウ	生涯学習相談事業	オンライン等でも気軽にでき、地域の実情に応じた生涯学習相談の実施	生涯学習推進課	気軽に生涯学習を相談できる機会として、生涯学習相談をオンラインで行い、情報提供体制を整える。 相談数5件										
			1-(1)-ウ	情報収集・発信事業	広報戦略課と連携し、生涯学習情報を一元的に収集し発信	生涯学習推進課	市の生涯学習に関する取組みについて、生涯学習推進課だけでなく、様々な部署で行われ全庁的な実施体制である一方、個別に周知を行っているため、開催スケジュールなど、市民のわかりづらさがあるとの声に応える。各課で行っている生涯学習について、情報収集し市民に提供できる体制を整え、情報収集した内容を広報誌やホームページ等で広く市民に周知していく。 広報誌5件 ホームページ5件										
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	誰一人取り残さない生涯学習	参加への障壁をなくす取組	1-(2)-ア	生涯学習ワンストップ対応事業	生涯学習講座における配慮事項を示した指針の作成 生涯学習情報のワンストップ提供	生涯学習推進課	誰一人取り残さない生涯学習の実現に向けて、これまで生涯学習に十分に取り組むことのできなかった方々が参加できるよう、障壁を取り除くことが必要となることから生涯学習に取り組もうと考えている人をサポートするために取組を行う。										
			1-(2)-ア	広報力向上事業	職員向け広報セミナーの実施 広報事業へのアドバイスの実施	広報戦略課	全庁的な職員の広報力向上を目的として、職員向け広報力向上セミナーを年3回程度実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、会場参加またはオンラインにより実施する。 また、年間を通じて、チラシ・ポスター等広報物のデザインチェックや、事業の動画撮影に係る相談や支援を随時行う。 セミナー参加者数150人										
			1-(2)-ア	外国人市民向け情報発信・講座事業	外国語広報誌等の外国人市民向け広報の拡充 外国人市民向け講座(日本語講座)の実施	国際交流室	・市が発行する文書や冊子等の翻訳 ・8か国語の外国語広報紙を発行 ・4言語の多言語ホームページでの情報発信 ・外国人市民に向けた日本語学習支援(大人対象:日本語講座をレベル別に昼コースと夜コースを設けて開催) (外国にルーツを持つ子どもたち対象:プレスクール・プレクラス、こども日本語勉強会、就学・進学支援を開催) 外国語広報紙発行回数4回 多言語ホームページ掲載回数16回 大人向け日本語講座の受講者数120人 こども日本語勉強会の登録人数20人										
		1-(2)-イ	障害者の生涯学習関連事業	障害者が自ら生涯学習を楽しめる講座の実施と生涯学習に取り組む障害者への支援体制の構築	生涯学習推進課	障害者のための生涯学習講座については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、会場参加・オンライン・動画配信のいずれかの方法により年4回実施する。 また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート結果や、オンライン・動画視聴回数等の集計結果から、次年度の開催形式を検討し、講座内容として反映させる。 講座開催数4回 会場参加者数24人 オンライン参加者数24人 動画視聴数(延べ)10人											

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映				
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性		
														継 続	修 正	中 止
			1-(2)-イ	男女共同参画啓発事業	男女共同参画意識の向上を図りながら、能力や行動力を高めるセミナーの開催	男女共同参画室	<p>■男女共同参画に関するセミナーの開催 仕事と家庭の両立支援をはじめ、再就職支援やキャリアアップ講座など、学習機会の充実を図る。</p> <p>男女共同参画セミナー10回</p>									
			1-(2)-イ	障害者スポーツ推進事業	障害者スポーツ人材の育成を目指し、スポーツイベントの実施、人材の育成、体制の構築	スポーツ振興課	<p>障害者スポーツ活動を推進するため、筑波大学の受託研究として委託契約を締結し、市民の障害者スポーツに対する意識や取り組みやすい活動の分析及び検討を行う。併せて障害者スポーツの体験も可能な障害者スポーツサポーター養成講座を開催する。</p> <p>講座の開催数2回 講座の参加者数(延べ人数)20人 障害者スポーツニュースのメール配信回数12回</p>									
			1-(2)-イ	生涯学習関連事業(障害のある人や支援者対象)	チャレンジアートフェスティバル、おひさまサン生き生きまつり等の開催、奉仕員養成講座の開催	障害者地域支援室	<p>チャレンジアートフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、舞台発表は中止とし、作品展示のみとする。作品展は3/8～3/13で実施する。開催前に茨城県庁及びつくば市役所庁舎内にて、令和2年度制作の作品を展示し、一般市民に向けた広報啓発を行う。令和3年度おひさまサン生き生きまつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。令和3年度の奉仕員養成講座の開催については、手話奉仕員養成講座入門コース6月9日から30回、基礎コース6月8日から30回、音訳奉仕員養成講座10月7日から10回、パソコン要約筆記養成講座10月6日から10回、点訳奉仕員養成講座10月1日から10回実施する。</p> <p>チャレンジアートフェスティバル来場者数3350人 奉仕員養成講座受講者数75人</p>									
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びがきっかけ作り	2-(1)-ア	つくば人間学講座	市民との協働講座(人間学講座)の実施	生涯学習推進課	<p>学びの成果を生かして地域社会に貢献するなど、生涯学習の成果を生かし、活躍する社会をつくるに当たっての、地域の課題や最新の情報を知る学びの場が求められる中、市民との共働事業を行う。人間学講座については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、会場参加・オンライン・動画配信のいずれかの方法により年4回実施する。</p> <p>また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート結果や、オンライン・動画視聴回数等の集計結果から、次年度の開催形式を検討し、講座内容として反映させる。</p> <p>講座開催数4回 会場参加者数300人 オンライン参加者数200人 動画視聴数(延べ)100人</p>									
			2-(1)-ア	文化財展示講座事業	文化財展示施設等での展示、各種文化財・郷土史に関する講座の開設	文化財課	<p>・11月～2月にかけて巡回企画展を、関連する催事として11月に体験講座を、12月に講演会を実施する。</p> <p>・市域の江戸時代の古文書を題材にした、古文書講座を10～11月に全7回実施する。</p> <p>・文化財保護強調週間と関連して、平沢官衙遺跡周辺を歩いて解説するウォーキングイベントを11月に実施する。</p> <p>企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催回数2回 巡回企画展参加人数1500人</p>									

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映				
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性		
														継続	修正	中止
			2-(1)-ア	調査・研究支援事業	筑波大学を始めとするつくば市域における図書館との連携、小・中・義務教育学校で実施するブックトーク等による読書促進	中央図書館	つくば市域に所在する各機関の図書館それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図るため、つくば市域図書館連携協議会において協議を行う。 学校訪問ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。 参考資料を充実させるとともに、電話やインターネットからの調査・研究の質問を受け付け、専門職員から資料情報を提供する。  つくば市域図書館連携協議会の開催2回 学校訪問ブックトーク40校 団体貸出図書冊数15000冊 ジュニア図書館員受入れ人数75人 社会科見学等の図書館見学受入回数10回 職場体験学習受入れ人数40人 学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数170人 レファレンス受付件数1800件									
			2-(1)-ア	多文化共生推進事業	外国人市民との交流事業の開催及び民間団体実施事業の周知協力	国際交流室	・国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 ・外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催支援  つくばワールドフットサルの外国人参加率0.2 世界お茶飲み話開催数12回 周知協力イベント(事業)数4 事業									
			2-(1)-ア	スポーツ教室事業	スポーツ教室の充実	スポーツ振興課	市民のスポーツ活動の促進を図るため、さまざまな種類のスポーツ教室を開催し、スポーツの楽しさや健康維持の手法等を学ぶ機会やスポーツをはじめの機会を提供する。  教室の開催数10回 教室の参加者数(延べ人数)720人									
			2-(1)-ア	地域交流センター講座等事業	地域交流センターでの学級・講座の充実	文化芸術課	新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行ったうえで、講座を開講する。利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果を踏まえ、市民ニーズに対応した講座を実施する。  年間講座数80回									
			2-(1)-ア	筑波山地域ジオパーク推進事業	筑波山地域ジオパークについての講座・体験学習の実施	ジオパーク室	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座や会議等の多くが実施できなかった。令和3年度はオンラインや動画配信等を活用し実施する。 また、令和3年度中に「筑波山地域ジオパークアクションプラン前期(2021-2024)」を策定し、生涯学習講座の現状・課題・活動内容を整理する。 市民向け講座開催数10回 部会開催数9回 ジオガイド養成講座開催数3回 学術シンポジウム開催数1回									

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
														継続	修正	中止	
			2-(1)-イ	生涯学習活動相談事業	生涯学習活動の継続支援	生涯学習推進課	市民から生涯学習に対し相談があったときに、適正に支援ができるようにする。また、生涯学習の取組を継続して行えるよう市民にサポートを行う。 支援数2件										
			2-(1)-イ	家庭教育学級支援事業	家庭教育学級への指導・助言、講演会等の開催	生涯学習推進課	家庭教育学級 幼稚園 16園、小学校 29校、中学校 12校、義務教育学校 4校 乳児 3か所、幼児2か所の開設  社会教育講演会 家庭教育学級3000人 社会教育講演会2回 家庭教育セミナー18回										
			2-(1)-イ	生涯学習指導者情報提供事業	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	生涯学習推進課	令和2年度においては、生涯学習を希望する市民に対し、希望に沿う指導者を紹介することで、市民の生涯学習の推進を図ることができた。 令和3年度においても、市民が希望する学習の指導者を紹介することに努める。  情報提供数20件 新規登録数5件 登録者総数250件										
			2-(1)-イ	学校施設開放事業	学校施設開放(体育館・グラウンドなど)の推進	教育施設課	小・中学校、義務教育学校の学校体育施設の開放を行う。 新たに、義務教育学校1校を開放する。 廃校1校について跡地利用決定のため、今年度の学校施設開放事業をもって終了する。  新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ガイドラインを作成し、感染拡大に注意を払って活動を運営する。 施設開放の制限については、国や県、学校からの制限等に準拠する。 小学校施設開放事業238団体(重複込) 中学校施設開放事業77団体(重複込) 義務教育学校施設開放事業21団体(重複込)										
			2-(1)-イ	文化財サポーター事業	文化財の解説ボランティアの育成	文化財課	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて学校等の依頼が激減したが、5名が解説ボランティアとして新規登録してもらい、ボランティア登録者数は合計で15名となった。今年度は、感染症対策を徹底しながら10～12月に全6回のボランティア養成講座を開講し、登録者を増やす。 また、コロナ禍で解説依頼が激減している中、登録者の知見向上を目指すための臨時講座を開講する。 小田城跡のボランティア団体である常陸小田城親衛隊の会についても、知見向上のための定期的に研修会を実施する。  文化財サポーター参加人数 (令和3年度末)20人										

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
														継 続	修 正	中 止	
			2-(1)-イ	つくば市OB人材活動支援事業	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	企画経営課	新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、登録者のオンライン対応の可否について個別に把握し、オンライン形式を推進することで、停止中の対面形式での活動を補完するかたちで事業継続を図る。 また、シニア・エキスパート便覧(第19版)の発行・配布などの広報活動については、対面形式の再開を見据え、継続的に実施する。 登録者の活動回数690回										
			2-(1)-イ	市民活動団体支援事業	市民活動センターでの活動相談、アイラブつくばまちづくり補助金事業等市民活動団体の活動支援	市民活動課	市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民団体の新たな活動を支援する。  アイラブつくばまちづくり寄付基金を活用し、個性豊かで活力あるまちづくりの実現を目指すため、市民主体の公益的な活動を応援する。 市民活動センター利用者数6000人 市民活動センター相談件数255件 アイラブつくばまちづくり補助金採択事業数30件										
			2-(1)-イ	文化団体等育成支援事業	文化協会の支援	文化芸術課	市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。 事業の実施の際には、新型コロナウイルス感染症対策や、会計処理について指導を行う。 主催事業の実施10回										
			2-(1)-イ	(公財)つくば文化振興財団支援事業	文化振興財団の支援	文化芸術課	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付を行う。 また、つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催により市内の文化施設等で音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの文化芸術振興事業を実施する。 文化芸術振興事業の実施23回										
			2-(1)-イ	高齢者生きがい活動支援事業	高齢者の社会活動支援	高齢福祉課	シルバークラブ大会:役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等を実施 シルバークラブ育成支援:年間を通じて、委託先の社会福祉協議会と連携し、シルバークラブ連合会の事務局として支援する。 補助金を交付し、シルバークラブ連合会と連合会に所属する単位シルバークラブの活動を支援する。補助金を交付し、公益社団法人つくば市シルバー人材センターの円滑な運営を支援する。茨城県健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会の予選会として市大会を開催する。種目:グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク、輪投げ  シルバークラブ会員数6620人 単位シルバークラブ数140団体 契約件数4400件 参加者数600人										

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価			事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
														継 続	修 正	中 止	
	「社会力」を持った人材の育成	実践できる人材の育成	2-(2)	「社会力」人材育成事業	「社会力」を持った人材を育成するために、連続講座など「社会力」を育成する講座を実施	生涯学習推進課	地域の課題解決のために、社会力を持った人材を育成するため、社会力講座を会場参加・オンライン・動画配信のいずれかの方法により年5回実施する。また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート結果や、オンライン・動画視聴回数等の集計結果から、次年度の開催形式を検討し、講座内容として反映させる。 講座開催数5回										
2-(2)			地区リーダー勉強会事業	地区リーダー勉強会の開催	市民活動課	つくば市の地域社会のリーダーである区長のスキルアップを図り、各地域のコミュニティ活動を活性化させることを目的とした、勉強会(講演会)を実施する。 人材づくりイベントの参加者数100人											
2-(2)			地域まちづくり支援事業	まちづくりに関する講座の実施・専門家の派遣	都市計画課	【まちづくりに関する講座の実施】 市民向けに、まちづくりへの関心と理解を深めることを目的として、都市計画の制度やつくば市の現状を紹介し、現地見学会を行う講座を開催する。 【専門家の派遣】 地域住民などで構成される地域まちづくりグループや地域まちづくり推進団体等が活動を行う上で、組織の運営に関すること、まちの課題や将来像に関すること等について指導や助言等を求めてきた際に、地域まちづくり専門家の派遣を行う。											

## 会 議 録

会議の名称		令和3年度第2回つくば市生涯学習審議会		
開催日時		令和4年(2022年)3月22日(火) 開会13:30 閉会15:00		
開催場所		つくばイノベーションプラザ		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	武田 直樹委員、木村 清隆委員、江原 功委員、岡田 克司委員、金川 清治委員、田中 秀夫委員、中井 聖委員、星埜 祥子委員、松村 美枝子委員、萩原 武久委員、福田 正雄委員		
	その他	森田 充教育長		
	事務局	貝塚 厚次長、大久保 文子生涯学習推進課長、色川 純子課長補佐、細田 政信係長、風巻 玲子主査、渡邊 亮太主査(社会教育主事)、大久保 竣介主事、永野 泉社会教育指導員、石塚 絵梨奈社会教育指導員		
公開・非公開の別		<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部公開	傍聴者数	1名
非公開の場合はその理由				
議題		第3次つくば市生涯学習推進基本計画について		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会 議 次 第	1 開会			
	2 挨拶			
	3 議事	第3次つくば市生涯学習推進基本計画について		
	4 その他			
	5 閉会			

<p>1 開会 事務局</p>	<p>それでは、令和3年度第2回つくば市生涯学習審議会を開催いたします。</p>
<p>2 挨拶 教育長</p>	<p>委員の皆様におかれましては御多用のところ、御出席を賜りまして誠にありがとうございます。</p> <p>皆様のお力添えのお陰で、第3次生涯学習推進基本計画が策定され、ほぼ1年ということになっておりますけれども、基本計画に基づいた個別事業を、庁内各部署で総合的に展開し、5年間で生涯学習の推進に取り組んでいるところでございます。</p> <p>新型コロナウイルス感染防止の観点から、生涯学習関係もオンラインを活用することが増えてきているわけですが、生涯学習推進課では、第3次生涯学習推進基本計画の施策の柱であります「多様な学びの実現」に向けて事業を進めております。オンライン、ハイブリット型の学習機会の提供をはじめ、環境整備を含めて生涯学習推進基本計画の具現化に向けて計画を進めております。</p> <p>本日は、第3次生涯学習推進基本計画、令和3年度の個別事業の展開について説明させていただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様には、各方面から専門的な見地で御意見を頂戴できればと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>

3 議事	
武田議長	<p>それでは、次第に従い、議事に入ります。会議録の作成のため、発言時にはマイクを回します。名前をおっしゃっていただいてから発言をお願いいたします。事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>事務局が資料を説明 (資料1-1、1-2、2、3、4)</p>
武田議長	<p>それでは、ただいまの説明につきまして、御意見のある方、御発言のある方は、お名前をおっしゃってからお願いいたします。田中委員、お願いします。</p>
田中委員	<p>田中です。前回、少し意見させていただきましたが、今回評価の欄で、「-」という形で、はっきり明確に整理いただき満足しております。いろいろありがとうございました。</p>
武田議長	<p>他に御意見ございますか。江原委員、お願いします。</p>
江原委員	<p>江原と申します。大きく分けまして、3点ほどございます。まず第1点は、配布資料の1-2について、前回の審議会で事務事業評価の中で、スポーツ協会へ名称が変わったということで、会計の処理の透明性などお聞きしましたところ、法人化となったことが大きな問題をはらんでいたことや、コロナ禍の期間にも強いス</p>

	<p>ポーツの検証の段階に入っているというような答弁がございました。スポーツ協会には、令和3年度の予算でいきますと、年間1,900万円ほどの補助金が出ていることをお聞きしておりますので、費用対効果を含め、予算、あるいは「市民のためのスポーツ」の検証について、進捗状況をお聞かせいただきたい。これがまず第1点です。</p> <p>第2点目は、このようなコロナ禍の中、これからの評価については、私も変えないといけないというふうに思っております。新たな方策が見つかったのかどうか、それを確認したいと思います。それが2点目です。</p> <p>3点目としましては、資料5の調査報告書、つくば市民意識調査意識調査についてです。</p>
<p>武田議長</p>	<p>市民意識調査についてはこの後でできますので、その時をお願いいたします。</p> <p>まず、スポーツ協会についての業務の進捗状況についてと、2点目についてはコロナの状況下の中で評価方法について新たな評価方法はあったか、ということですが、事務局から改めて説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局</p>	<p>今いただきました御意見につきましては、令和3年度の進捗状況がまとまりましたら、担当課にその点も含めて確認し、次回の8月の会議で御報告ができると思いますので、江原委員には今しばらくお待ちいただきたいと思います。</p>

武田議長	江原委員よろしいでしょうか。よろしいでしょうか。
江原委員	担当課と協議して次回の審議会にて資料を提供いただけるとのことですが、質問した内容に対する回答という形で出していただけるようお願いしたいと思います。
事務局	はい。資料3にのせた他に、別にシートとしてお渡しするという御回答をさせていただきます。
江原委員	そのような形の方がわかりやすいと思いますので、その形をお願いします。
事務局	承知いたしました。
武田議長	他に御質問、御意見ありますでしょうか。 私から一点あります。資料2の評価基準の青で表記したところについて、「評価できない」ということが新たに加わったということに加え、有効性のところの「年度当初」という部分について、新しく文言が追加されていますがこの点について改めて説明をしてもらえますか。
事務局	資料2について詳細に説明をさせていただきますと、第1回の審議会でコロナ禍で実施できないことについて当課が評価するのはいかがなものかという意見

	<p>をいただきました。</p> <p>それを受けて、資料1-2で「評価できない」ということで「-」を用いて評価したところですが、それについては、これまでは有効性、効率性は黒字で「高・中・低」ということにしていましたが、今回のコロナ禍という状況を受けて、計画していたができなかったという特別な事情があることから特別な指標としたことと、さらに第3次生涯学習推進基本計画に当たって、これまでは通年の評価と目標とを比較して、というところでありましたが、こちらも通年というのはどういうことか、どれとどれを比較してよいかわからないということで、生涯学習推進本部でも質問がありましたので、わかりやすい言葉に変更し、年度当初の目標値と比較してどうなのかという観点から有効性と効率性を各課で評価していただいた方がよりみやすく、わかりやすいということで文言を変えさせていただきました。</p> <p>はい。ありがとうございます。これまでの評価の仕方という文言がわかりにくかったというところがあったので、年度当初と比較してということに変更することで、シンプルになり、わかりやすくなったという説明だったかと思います。何か他に御意見ありますでしょうか。もし、なければ、次第4の「その他」の御説明をお願いします。</p>
武田議長	
事務局	事務局が資料を説明（資料5、6）

武田議長	御意見があればお願いいたします。
江原委員	<p>まずは、資料6、50ページの10番についてです。「交通安全環境（通学路の安全など）」に関する満足度について、研究学園地区以外すべてマイナスです。特に谷田部地区が-0.43%ということでこういう結果になったのだと思いますけども、これは多分、小野川小学校かなと感じております。というのは、議会の一般質問等にも出ておりました、イオンつくばから、小野川小学校まで通いつけている子どもたちがいるらしく、そこについては、4キロ以上の遠距離通学をして、1年生から自転車通学だそうです。さらに、道路が狭いうえに、交通量も結構あるということです。</p> <p>その前の47ページの道路の整備に関する不満割合が41%ということになっておりますけども、これはよく考えなければならぬことだと思いますので、担当課も含めて、よく協議をしなければいけないのかなというふうに感じておりますが、いかがでしょうか。</p>
武田議長	事務局お願いします。
事務局	<p>御意見ありがとうございます。意見については担当課に情報共有をさせていただきます。</p> <p>今回のアンケートについては、政策イノベーション部が作成したものでして、庁内の取り組み全体のアンケートになりますので、交通安全の件については担当</p>

<p>武田議長</p>	<p>課に情報共有をいたします。生涯学習推進課については資料6、45ページ、21番の「生涯学習の推進」について今回委員の皆様へ情報共有をさせていただきたいと思ひまして配布させていただいた資料となります。</p> <p>今回、政策イノベーション部が取りまとめをして、このアンケートを市民向けにおこない、この会議の関係するところは、21番の生涯学習の推進というところで意見してもらいたいということですね。</p> <p>22番というのは、生涯学習推進課は当てはまらないのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>22番については、第3次生涯学習推進基本計画の中に入っておりますので、そちらで評価していただければと思います。</p>
<p>武田議長</p>	<p>今回は、21番の生涯学習の推進についてということで理解しました。ありがとうございます。</p> <p>今、説明があった部分については、第3次生涯学習推進基本計画46ページの計画目標(5)において、目標値が、つくば市民意識調査において「満足」もしくは「どちらかというと満足」が40%という目標設定をしていますが、現時点では、32.2%という数値にとどまっているというような状況ですね。これに関しましては御意見等いただければと思っております。現在、40%に8%ほど達していない。このことに関する現状分析は</p>

事務局	<p>できていますでしょうか。新型コロナウイルス感染症が大きな影響かなと思いますが、一方で、オンライン等の活用もしておりますので事務局から説明願います。</p> <p>今回は分析を用意しておりません。このことについても数値の上昇に向けたアドバイスを皆さまからいただきたいということで資料を提出しております。</p>
武田議長	<p>目標としては次回のこの評価で 40%になればいいということですね。現時点で 32.2%であるのが残念ということで、これからどれだけ充実することができるかということですが、皆さんから御意見をいただければと思います。</p>
田中委員	<p>ちょっと教えていただきたいのは、いわゆる目標値が 40%ということですが、結局、あとの 60%は何でしょう。わからないということでしょうか。そこがちょっとわからないのです。わからないっていうのはさっぱりとしていて、そういうような比率が多いですね。</p> <p>私が前回、質問したのは、目標値というのは、80%とか 90%だろうというふうに話をしましたが、よく考えて見てみますと、わからない人を結局、説得することしかない。そのような考えかたでよろしいでしょうか。わからないという人を含めれば 60%という数字はあるものではないかと思いますが、そういうことを関係なしに見たときに、目標値 40%というのは低いと</p>

事務局	<p>思いました。</p> <p>わからない人たちが入ってくるのであれば、それは仕方ない、こういうこともあるのではないかと思いました。</p> <p>ただ、今、武田議長が言われましたように、目標値が40%ということの説得力がどこにあるのかなというところもあります。</p> <p>御意見ありがとうございます。前回の審議会を受けて資料を提出いたしました。字が小さくて大変申し訳ありませんが、満足が現段階では5.0%、どちらかといえば満足が27.2%、どちらかといえば不満が8.7%、不満が3.2%、それ以外がわからないということになります。</p> <p>今、田中委員様より意見がありましたとおり、これから第3次生涯学習推進基本計画をこれから5年間進めていく中で、視点を含めまして、どのようにして生涯学習に対する社会の関心を高めていかなければならないとか、どういった問題意識を持って、どういうふうに生涯学習を高めていくかを御提案いただければと思います。</p>
武田議長	<p>ありがとうございます。</p>
福田委員	<p>福田と言います。私もわからないところがあります。</p> <p>57 ページの生涯学習の推進に対する不満理由について</p>

	<p>て、1位が講座の充実となっておりますが、情報提供が不十分だというのがありますね。私が去年調べましたが、紙の広報物が市役所本庁舎にはありましたが、分庁舎には紙で置いてありませんでした。多分本当に興味がある人は読むと思います。ですが、関心のない人から参加者を増やさないと、いつまでたっても増えていかないような気がします。</p> <p>ですから、前にもお話ししましたが、コンビニ等に丁寧に置いてもらう。雑ではなく。そういうものを、ちょっと買い物に行ったときに読んでもらうことから広げたらどうかと思います。</p> <p>やはり、皆がどんどん参加できるような雰囲気とか、「それ、行こう！」となって、そこで会話になったりすると思います。そういう雰囲気がとても大事です。今は皆が忙しく、講座にはなかなか行きませんが、人が行くとなんとなく連れ立っていくこともあります。もっと、ふんわりとやれるような、今もお金がかかっているなかで、このことにもお金はかかりますが、どうでしょうか。</p> <p>武田議長 今の、広報の仕方について、事務局いかがでしょうか</p> <p>事務局 御意見ありがとうございます。委員のおっしゃるとおりで、周知の仕方が1番職員からもあがってきたことです。HPもあるけれども、紙での周知もとても大事だという話がでておりますので、令和4年度は課題と</p>
--	---

<p>福田委員</p>	<p>して考えているところです。</p> <p>可愛らしい絵等を入れてください。魅力的になると 思います。</p>
<p>武田議長</p>	<p>ありがとうございました。他にありますか</p>
<p>松村委員</p>	<p>ただいま、広報の仕方について話がありましたが、市民が生涯学習をする際の地域交流センター等の利用の仕方、予約の仕方などもう少し工夫していただけたらよりよく利用できるのではないかと思います。</p> <p>以前は、インターネットで、会の代表がインターネットで予約すれば予約を取れたのですが、早く行って並ばないと取れないと聞いています。私自身が現在地域交流センターを利用していないのでわからないのですが、市民が高齢化している中で、並ぶということをしている以上は、満足度は上がらないのではないかなと思います。そういった部分を考慮していただきたいなと思います。</p>
<p>武田議長</p>	<p>今、御意見がありました、地域交流センターの予約の仕方ですけれども、現状も含めて事務局お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>これから資料3に基づきまして、各課で事業報告させていただきますが、今の松村委員様の御意見を交えながら、担当課である文化芸術課に、今の質問を情報提供</p>

武田議長	<p>して次回会議で報告できればと思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>松村委員、いかがですか。よろしいですか。</p>
松村委員	<p>資料の1-1-(3)にあるとおり、生涯学習関連施設の充実や利便性の向上に基づいていただきたいと思っています。</p>
武田議長	<p>今の意見は、交流センターの予約の取りやすさを向上させなければならないということによろしいでしょうか。文化芸術課が担当なので、聞いてみないとわからないということかと思います。</p>
事務局	<p>地域交流センターの利用人数について持っている情報がありますので提供いたします。令和元年度で目標値が470,000人であったところ、実績が511,039人となっております。令和2年度は、目標値470,000人に対して274,245人ということで報告をもらっています。</p> <p>令和2年度に人数が半減したということがありますが、こちらは前回の第2次生涯学習推進基本計画でも触れているとおり、新型コロナウイルス感染症拡大により、事業ができなかったり、交流センターが閉館になったりした部分もありますので、人数が減っているものと思われます。</p> <p>予約の仕方についても、次回の審議会で情報提供を</p>

<p>福田委員</p>	<p>させていただきます。</p> <p>交流センターに行って予約が取りたい時には、時間は決まっているのでしょうか。午後に年休を取って、予約をしたことがありますのでちょっと気になりました。</p>
<p>事務局</p>	<p>17時15分であるかと思います。交流センターによっては柔軟に対応しているところもありますので、御相談を共有させていただきます。</p>
<p>福田委員</p>	<p>休みをとらずにいけるようになるのもっとわかりやすい。すごい倍率のところもあるみたいですが、そんなに並ばなくても、と思うところもありますので、改善していただければと思います。</p>
<p>武田議長</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>星埜委員</p>	<p>今の交流センターの予約についてですが、新型コロナウイルスの関係でいろいろ変わってきたと思いますが、今までは、申し込み2か月分の開始日の翌日から、登録団体はインターネットで予約ができることになっているので、そういった周知も、もう少し、日頃利用していない方たちに対してしていただけると、今のような御意見が出ないと思います。</p> <p>登録団体については、主に活動する交流センターに</p>

	<p>登録するものですが、その場合に、1週間の間に確か5時間以上使えない、2回以上使えない等、制約がありますが、自分たちが主に活動している交流センター以外のところで利用を申し込むこともたしかできたと思います。</p> <p>また、生涯学習の推進について、市民の満足度が現在低いのですが、不満にはどのようなものがあるのか教えていただけると具体的な議論ができると思います。</p>
武田議長	<p>資料6、57ページには、不満理由の1番目と2番目、1番目が生涯学習講座・場所の充実、続いて、情報提供・周知不足となっています。以下、回答数が1つであるため、記載省略となっています。少数意見について、このあたりを踏まえて事務局は説明ください。</p>
事務局	<p>議長がおっしゃられたとおり、生涯学習講座・場所の充実ということと、情報提供・周知不足が挙がっております。こちらの対応として、生涯学習に関する講座については、今年度から会場開催に加えてオンライン配信も実施しており、SNSによる情報配信も行っています。これらの配信方法は、今年度から開始したばかりですので、認知度が低いことも考えられます。今後も継続して配信することにより、市民の皆様から認知度を上げていきたいと思っております。</p>

武田議長	この SNS というのは、こういったサイトになるのでしょうか。サイトの例を教えてください。
事務局	つくば市のホームページや Twitter です。
武田議長	Twitter ですね。Twitter であれば、フォローすれば情報が入ってきますね。この少数意見というのは、こういったものがあるのでしょうか。
事務局	今は手元に情報がありません。
事務局	担当からもお話しさせていただきます。不満度につきましては、高い地区が谷田部地区で 15.3%あります。低いところは TX 沿線沿いで 9.3%です。その他年代別ですと、不満が割合の高いのが 65 歳から 69 歳で 17.6%。逆に低いところは 30 代で、8.4%となっています。
武田議長	地区別や年代別のデータということですね。他にいかがでしょうか。
松村委員	地域でなく具体的な御意見を知りたいです。今でなくてよいので、この次の会議までに私たちに送付してください。資料の中にそれを入れていただけるとありがたいです。

事務局	<p>今後準備できるところまでで対応させていただきたい。</p>
武田議長	<p>中井委員が手をあげていましたので、どうぞ。</p>
中井委員	<p>今、交流センターの使い方に課題が挙げられましたが、文化芸術課が担当ということでこの場では返事がないかと思いますが、地域交流センターについてお話させていただきます。</p> <p>先ほどコロナ禍でのオンライン活用という話がありましたが、現在、地域交流センターにはWi-Fi環境が整っていないと思います。</p> <p>先日、大穂交流センターでオンラインの講座を開催しようとしたところ、Wi-Fiがないことに気づきました。他の交流センターがどうかはわかりませんが、その辺りの整備状況もお聞きしたい。現在は、ギガスクールで小中高の子供たちにWi-Fi環境が整ったということで学習を進めている中で、その子供たちが大人になった時に、じゃあ学びをもっと進めたい時に地域交流センターにWi-Fiがないというのもどうかと思ったところがありますので今から御準備いただきたいです。</p> <p>それから、地域交流センターの話ばかりで恐縮ですが、生涯学習推進課がこの会議の事務局でいらっしゃるのによくわかりますが、地域交流センターは、非常に生涯学習と関連が深いものであることから、地域交流センターの担当者がひとりぐらいいらして説明いただ</p>

	<p>けると、よりスピーディーに改善を進められるのかなと思いますので検討いただきたいと思います。</p> <p>さらに、地域交流センターの施設について、色々細かなことを言ってしまうて申し訳ありませんが、階段の段差等、結構気になるところがありまして、私自身が少し視覚障害もあるので、階段のふちにテープを貼っていただく等、工夫されてはいるのですけれども、ちょっと行き届いてないところもあって、以前転げ落ちたりしたこともありました。そういった点について、年末におそらく登録団体向けのアンケートが実施されています。予約の使い勝手のよさとか、そういった意見も含めて結構ボリュームのあるアンケートで、その結果は審議会でも公表していただけますでしょうか。実施からまだ3カ月もたっていないので、今回は難しいかもしれませんが、今後はシェアしていただきたいと思います。</p>
<p>武田議長</p>	<p>ありがとうございます中井委員から Wi-Fi 環境あるとか、地域交流センターの生涯学習との結びつきの強さから担当者の方に出席いただけるとよりよいのではないかという御意見がありました。</p> <p>また登録団体向けのアンケートがあるということでその公表はどうなるのかといった趣旨であったと思います。事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>Wi-Fi 環境については、他の部署からも問い合わせが</p>

	<p>ある点だと思imasuので、今回の会議の内容を文化芸術課と共有し、今後の計画等聞き取れる範囲で聞き取りたいと思imasu。</p> <p>生涯学習審議会に関係性の深い部署の担当者の同席については、考えてみたいと思imasu。事業の項目が34に及び、重複もありますので検討させてください。</p>
武田議長	<p>登録団体のアンケートの公表についてはどうか</p>
事務局	<p>地域交流センターのアンケートについては、本日確認し、アンケートがとりまとめられたという情報をいただきました。今後まとめてつくば市ホームページにアップするという事です。掲出期間は半年で、4月初旬アップ予定との事です。そちらをご覧ください、次回こちらでお示しできることがあれば行いたいと思imasu。</p> <p>また、文化芸術課に限らずオンラインの活用を第3次生涯学習推進基本計画の中では推進していきたいと考えており、他事業の担当課とも連携して情報を共有していきたいと考えています。</p>
武田議長	<p>文化芸術課ですが、アンケートのとりまとめがされて、まもなく公表されるということによろしいでしょうか。</p> <p>福田委員先に手をあげていらしたのでどうぞ。</p>

<p>福田委員</p>	<p>講座に関するお願いですが、生涯学習推進課が実施している障害者のための生涯学習関連事業の中で、障害者のための、障害者の方が参加できる体制を整えているとのことですが、障害者を理解するための講座というのはどこで実施しているのでしょうか。</p>
<p>武田議長</p>	<p>障害のある方を理解するための講座について事務局 お願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>昨年12月にシャンティつくばの先生をお招きし、オンラインで障害者のための生涯学習について講演をしていただいた経緯があります。</p>
<p>福田委員</p>	<p>計画に位置付けて計画的に実施していくものもあるかもしれませんが、普段生活する中でも職場の方でも障害を持つ方はいらっしゃいますよね。障害について理解していれば、もっと人間関係がスムーズになりますし、そういうことこそが「社会力」であると思います。理解し合う、そういうことをやっていくことで、居場所づくりにもなります。</p> <p>そういうことを是非、講座として、それも1回だけではなく継続的に実施してもらいたい。生涯学習の計画に位置付けられた目標に向けてアンケートをするだけでなく、こちらから主体的に障害者を理解するための講座のようなものをしていただくといいかなと思います。</p>

事務局	<p>障害者のための生涯学習については、イベントを年間4回ほどの計画を立てて昨年度も実施しており、今年度は2年度目になります、来年度はより充実したものを計画したいと思っております。</p>
武田議長	<p>萩原委員、お願いします。どうぞ。</p>
萩原委員	<p>つくば市スポーツ協会の会長という立場で、つくば市のスポーツ振興に携わっております。</p> <p>スポーツにかかわる現場に直結しているところがあり、本日の御意見を、大変複雑な思いで拝聴しておりました。</p> <p>なぜかと申しますと、このコロナ禍の時期のイベントの評価についてです。私も2年、スポーツ協会の会長をしております。この3月1日に2年間で初めて講演会を実施いたしました。皆さんご存知の、ダイエーホークスの元監督の工藤公康さんと呼んで、約300名集めて、盛大に開催をしました。そのあと新型コロナウイルス感染症が発生することなく無事に終了することができました。</p> <p>それでは、その前の2年間、スポーツ協会としても何もしなかったのでしょうか。それは違います。全部準備をして、開催判断のデッドラインを決めて、最終的にみんなが準備に準備を重ねたものを、中止するしか仕方がない、ということはこの2年間、ずっと繰り返してきました。</p>

	<p>つくば市のスポーツ振興課も同様です。計画に位置付けられた事業について実施できなかったものをどう評価してくださいというのでしょうか。何もやらないでそこまで来たわけではありません。土壇場まで全ての事業を何とかやりたい、参加してもらいたいと思って、ぎりぎりまで努力して事業を中止しているんです。そこに、どれだけの労力、費用を投入したか、具体的な数字はわかりませんが、人的な労力は大量に投入されて、現在に至っています。</p> <p>だから、それを単に実施しなかったから低い評価をするということには反対です。この生涯学習審議会の事務局や委員の皆さんの努力が無になってしまっただけは、駄目だと思います。</p> <p>どう評価するかについては議論いただければいいのですが、少なくとも、完全に何も無いゼロに持っていくことには、私は反対です。生涯学習に関わる事業のすべてがそのパターンで進んできています。</p> <p>まつりつくばやつくばマラソンにも実行委員会があります。2年間コロナウイルスの関係で実行されていません。何とかやろうという方向で今進めていますが、基本的には、デッドラインを6月末までに決めようということにしています。新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、それで判断しようというものです。その判断基準は、まず、参加者に余計な金銭的、経済的な負担をかけさせない。そして、事務局の皆さんが、限りなく余計な労力をかけないでいいような時期を見計ら</p>
--	---

	<p>って、6月というデッドラインを設けています。</p> <p>おそらく、ここに書かれた生涯学習、すべての事業がそのパターンだと思います。指針を決めたところで、事業を行うときにコロナウイルスに関する状況が必ず改善されている訳ではありません。例えば、この社会状況で募集人員300人としたときに、300人ぱっと来るかどうか。賢い市民の皆さんは、自分で判断をして多分多くは参加をしてこない。それで、参加者数が少ないからといって、評価も低くなるのでしょうか。でも、それはあってはならないと私は思います。</p> <p>そういったことを含めて、大変難しい時期です。それをいとも簡単に指標、目標設定、評価と、一律に結びつけられないように、これは現場からの切なるお願いです。そこをご理解いただいて、評価も、指標も議論をしていただくことだろうと考えます。以上は、現場からの声だというふうに受け取っていただければありがたいと思います。</p>
武田議長	<p>今の意見について、事務局お願いします。</p>
事務局	<p>そのようなことを令和3年度分の進捗状況調査票には盛り込んだうえで、評価を行いたいと思います。年度当初の目標値と比較して、有効性と効率性の評価をお願いいたします。少し補足になりますが、特別な事情により、「—」という表記がありますが、事業内容を工夫して実施できた場合は評価を「中」とする表記を付け加</p>

<p>武田議長</p>	<p>えております。以上補足でございました。</p> <p>萩原委員のおっしゃるとおりだと思います。やっぱり皆さん、いろいろなことで考えながら、実施ができないかっていう判断されている時期ですので、それに対して、低いというだけでマイナス評価をするというものどうなのかと思います。その背景を踏まえての事務局の評価ということになる、と個人的には思っています。</p>
<p>松村委員</p>	<p>今、萩原委員から評価の仕方についてでたとと思いますが、やはり評価については、有効性と効率性を基準にやっていらっしゃると思いますが、市で行われる事業は、市民の税金で実施しているところが多いと思います。費用対効果も大事ですが、赤字でも行うべき事業はあるのではないかなといつも思います。</p> <p>先ほども障害者のための生涯学習講座の話ができましたが、障害者というものは範囲が広いので、聴覚障害者とか、車椅子を利用している方のための、そういう障害に特化した講座を開いていただけたらと思います。</p> <p>同じ障害者同士が集まって、生涯学習の場が持てることが大事です。</p> <p>それについては、やはり、要約筆記や手話通訳が大事です。耳が聞こえない、聞こえにくい方等に配慮した講座ということで進めてもらえたらと思います。多分、少数の参加になると思うので、費用対効果が望めないか</p>

武田議長	<p>と思いますが、そちらについても行わなければならない理由があると思います。</p> <p>ありがとうございました。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>手話通訳に関しましては、人間学講座や社会力講座などに、手話通訳者をつけて対応しておりますので、そちらも予算をとって、来年度も対応します。</p>
松村委員	<p>あと手話通訳の養成講座とか要約筆記パソコンの養成講座などがありますけれども、技術の習得もとても大事だと思います。ですが、障害者の理解、その方たちがどんなことで困っているのか、どういう接し方がいいのか、一般市民がどういうふうに対応したらいいのか、といった内容もたくさん盛り込んでいただけたらなと思います。</p> <p>日本語の文章の理解が難しいという聴覚障害者がいるということも踏まえた上での接し方なども講座の中でやっていただいたら、すごく理解がふかまっていくのではないかと思います。</p> <p>障害を持っている方は、それぞれ立場が違いますので、分野に特化した講座をやっていただけたら、生の声を聞けるようになるのではないかと思います。御検討ください。</p>
事務局	<p>障害福祉課等とも情報共有して参考とさせていただきます。</p>

<p>武田議長</p>	<p>きます。</p> <p>次の方どうぞ。</p>
<p>金川委員</p>	<p>私は、青少年の団体の代表として委員になっていま す。資料6、56 ページの「交通安全環境（通学路の安 全）」についてお話しします。この点についてはだいぶ多 くの意見が寄せられており、一言意見を申し上げる必 要があると考えています。</p> <p>私は学園の森の近くの遠東新田という集落で、農家 集落ですから、30 ヘクタールほどの畑を走路整備しま した。当然畑の整備ですから、トラクターを優先した道 路で、幅員5メートル道路ですけれども、道路は雨が降 ると泥だらけです。トラクターは通らないようにして いますが、舗装道路をトラクターで走ると泥だらけの 道路になります。そこを子どもたちが新しくできた学 校の通学路として、ほかに選択肢がないため使用して いております。これについて我々地元としては思いが けないことがたくさん起きている訳です。まず、当然、 通学路になり、その他に地域の車の通行量や、商業施設 が多くなっています。そのことから新設道路の依頼を 道路課にお願いをしており、話は通っています。</p> <p>残念だったことに、だんだんその意見がさびれてき て寂しい思いです。道路課へ再確認をとってもらいた いというお願いです。</p> <p>あと一つは、この1ヶ月間で、思いもよらないことが</p>

	<p>また起こっております。先ほどの30ヘクタールの農地の排水を、1kmほど先の排水所、幅員1メートルの側溝に、排水路という形でおこなっております。</p> <p>工事の施工は、道路課関係が行ってくれましたが、そこは通学路で子どもたちが近くに住んでいて、通ったりしています。部活の朝早く、夜遅くという生徒たちが通るのは構いませんが、ここ1ヶ月くらいの間で、そこにセグウェイのようなものを、それも子供たち乗って通行しています。私はどういうことなのかがわかりません。1回蹴るとスーッと走っていくので、危険だと感じており、看板等を設置する必要があるのではないのかとつくば市にお願いしたばかりですけれども、これも再確認してもらって、検証する必要があるのではないかと考えています。</p> <p>ありがとうございます。事務局いかがでしょうか。</p> <p>交通安全関係ということで、通学路の安全ということも含めて情報共有させていただきます。</p> <p>つくば市議会の立場で、出席させていただいております、木村でございます。よろしく申し上げます。何点か手短にお話します。先ほど質問があつて答弁がありました。地域交流センターの受付時間が5時15分と早めに終わって、できれば延長をとということがありましたが、場所によって、もしくは館長・担当者によって</p>
武田議長	
事務局	
木村副議長	

は、柔軟に対応されている方もいらっしゃるようですが、親切心でありがたい話ではありますけれども、市の行政の窓口でございますので、例えば豊里は遅くでやっている、どこは早い、もしくは館長が変わったからできなくなった、というようなことはあってはいけませんので、ぜひ、統一した対応をして、それぞれの方々にわかりやすいようにやり方をさせていただきたいというふうに思っています。

それから、先ほど萩原委員からお話がありましたけれども、本当にまさしくその通りでございます。私も大きく聞きながら拝聴しておりましたけれども、前回の会議のときにも、文化協会の田中会長からも同じ観点でお話がありましたが、やはり、スタッフの方や職員の方のそういった準備への尽力について気になるのは、人事評価、人事配置、適材適所、ちょうど職員の人事異動の時期でございますけれども、いろんな形での評価の仕方、やりがい、達成感、職員それぞれの満足度ということもあろうかと思っておりますけれども、ぜひそういったところを、評価者の方々もいらっしゃると思っておりますので、是非ともヒアリングしながら、励まし含めて、適切な評価をしていただきたいと思います。

それを委員の皆さまにもお知らせし、評価を点数だけでなく、中身の評価もしていただいて、コロナ禍でも次はこんなことをやろうという形で、多くの皆様と、より活発なつくば市を作っていければと考えています。

あと2つ質問があります。資料6のアンケートの中

	<p>の47ページでございますけれども、余りにも「わからない」という回答が多すぎます。これは最初のアンケートの設計に課題があります。「わからない」が、つくば市の制度などを理解しているけれども、それが満足なのか不満なのか絶対評価もしくは相対評価ができないから「わからない」のか、もしくは、一般的なつくば市の日常生活の社会制度について本当に知らないのかがわかりません。</p> <p>私は、後者なのではないかと感じており、せっかく色々なことをやっているつくば市なのですから、それをもっと周知したうえでアンケートを行わないと、ほぼ50%以上がわからないということは、回答率は49.4%ですが、中身的には、さらに半分くらいの回収率しかないという数字の扱いになってしまいます。</p> <p>ぜひ、アンケートの取り方を分析しやすい形でのアンケートになるよう工夫してほしいです。</p> <p>それから、幾つかの質問あった中で、これは文化芸術課、これはどこ課というふうに多岐に渡っておりますので、生涯学習推進課での説明というのはかなり難しいところがあるかと思えます。その点は理解しますので、事前資料を送っていただいたものに対して、事前質問を受け付けていただきたいと思えます。担当者の部長さんとか課長さんが会議の場で一堂に会することは難しいと思えますので、事前に質問シートを送付していただいて、回答を用意した資料を準備していただけるようお願いいたします。</p>
--	--

武田議長	<p>ありがとうございます。アンケートについては、確かに「わからない」は多いと感じます。また、会議の進め方について事前質問をつくば市に受け付けていただく形は、効率的でよいと思います。御提案をいただきまして、ありがとうございます。ほかに御意見、御質問等ございますか。</p>
中井委員	<p>質問ではなくコメントですが、コロナ禍にあって、乳幼児家庭教育学級関係のイベントについて、年間5～6回計画されたものが、オンラインに切り替わる中で1回だけ対面で学級生同士が交流できる場を設けて下さり、やはり地域で子育てをする仲間ができてありがたかったというお話がありました。</p> <p>今のオンライン化をどんどん進めていくということも大事なことです。やはり人と人が出会う場を作ることを進めていくことも、生涯学習の中では本当に重要な要素になっていくと思いますので、柔軟に対応をしていただけたらなと思います。</p>
武田議長	<p>貴重な意見ありがとうございます。他にございますか。</p>
江原委員	<p>江原です。先ほど木村副議長の事前質問を出ささせていただく。これは非常に良いと思います。ですので、資料を早めに作っていただいて、事前に全部出していきたい。</p>

	<p>2点目の確認ですけれども、資料3の6ページで、生涯学習指導者の方の情報提供の推進について生涯学習の推進を図ることができたとなっています。令和3年度の数字は直近と比較して、どのようになっているか御説明をいただければありがたいと思います。2-(1)-イの生涯指導者に関する情報提供事業について、令和3年度事業計画の中で、情報提供件数20件、新規登録5件、登録者総数250件、この直近の数字を次回の会議までに報告していただければと思います。</p>
事務局	<p>令和4年度4月に各課に調査票を入れますので、その回答を含めて全体の実績を報告させていただきます。</p>
木村副議長	<p>細かな数字の話で恐縮ですが、この審議会は年に数回計画されていると思いますけれども、任期の関係がございまして、今質問で出たことについては、今の委員の任期中に開催されて説明されるのか、それとも改選によってその方が再任されるかどうかわかりませんので、委員にならなかったとしても別の形で説明していただければよいのかもしれませんが、御検討いただきたいということと、時間が少ない中ですが、資料4をいただきましたけれどもあまりにも文字が小さい、できればフォントサイズを11か12、少なくとも新聞よりは大きくしてほしい。</p>

事務局	<p>今の委員の任期が7月 31 日までとなっており、次回につきましては、改めて8月以降の審議会で委員の改選を予定していますが、今審議した内容については、今の委員の皆様へ回答としてお答えすることが筋かと思っておりますので、こちらは回答がまとまり次第、また、令和3年度の実績が出た場合は、情報共有は可能かと思っておりますので丁寧に対応させていただければと思います。</p>
武田議長	<p>事業評価一覧の文字の大きさですが、文字は年々見えなくなってきますので、配慮いただければと思います。</p>
事務局	<p>一枚のペーパーにまとめるためにこのような形式になりましたが、文字を大きくしてA3 横長等にすれば見やすくなると思います。</p>
武田議長	<p>他にコメントございましたらお願いします。無いようですので、これで議事進行を事務局にお返しします。</p>
事務局	<p>丁寧な議論をいただきありがとうございました。先ほどお話しさせていただきましたが、委員の任期は7月31日で満了いたします。8月に本年度第1回の審議会と委員の改選を予定しております。よろしく願いいたします。以上をもちまして閉会いたします。</p>

# 令和3年度第2回つくば市生涯学習審議会

日 時:令和4年(2022年)3月22日(火)

午後1時30分～午後3時

会 場:つくばイノベーションプラザ

1 開 会

2 挨 拶

3 議 事

第3次生涯学習推進基本計画について

4 そ の 他

5 閉 会

## 【配布資料】

1 資料1-1 「成果指標と目標の設定について」

資料1-2 「事務事業進捗状況まとめ」

2 資料2 「評価基準」

3 資料3 「第3次生涯学習推進基本計画事務事業進捗状況調査票」

4 資料4 「令和3年度(2021年度)事務事業評価一覧」

5 資料5 「令和3年(2021年)度つくば市民意識調査 III調査票」(参考資料)

6 資料6 「令和3年(2021年)度つくば市民意識調査報告書」(生涯学習の推進データ)

## 第 2 次生涯学習推進基本計画 成果指標と目標の設定について

● 第 2 次計画では、施策の柱ごとの成果指標と目標は以下のとおり設定してあります。

目指す姿	成果指標	計画時の現況 (平成 28 年度)	目標 (令和元年度)	実績 1 (令和元年度)
<b>(1) 個人の自立に向けた学習機会の提供</b>				
個人の自立に向けた学習機会の提供により、生涯学習へ関心をもつ市民を増やす	生涯学習に取り組んでみたい人の割合	78.3%	80%	78.1%
<b>(2) 生涯学習環境の整備</b>				
情報提供や相談など生涯学習環境整備により、生涯学習に取り組む市民を増やす	実際に学習活動に取り組んだ人の割合	52.6%	60%	57.9%
<b>(3) 生涯学習関連施設の充実</b>				
生涯学習施設の充実や利便性の向上により、施設を利用して生涯学習に取り組む市民を増やす	地域交流センターの利用者数	483,885 人	500,000 人	506,845 人
<b>(4) 絆づくりと地域づくりに向けた学習機会の提供</b>				
人との絆や地域との結びつきを深める学習機会の提供により、その成果を社会に還元する市民を増やす	自分の学習成果で社会に貢献したい人の割合	54.7%	60%	49.6%
<b>(5) 生涯学習推進体制の強化</b>				
全市的な生涯学習推進体制の強化により、生涯学習の取組への市民評価を高める	市の施策のうち、生涯学習に満足/どちらかといえば満足な人の割合	32.9%	40%	32.8%

実績 1：(1)(2)(4)は生涯学習に関する市民意識調査※。(3)は市民部文化芸術課提供資料。(5)はつくば市民意識調査(令和元年(2019年)事業)を参照。

※市民意識調査 1回目：H24(第1次計画 H18～H27) 2回目：H31(R 元年度)(第2次計画 H28～R2) 3回目：R6(第3次計画 R3～R7)

生涯学習は、個々人の自己実現を図る学習活動であるとともに、地域社会の様々な課題に対応し解決していく役割も求められていることから、生涯学習の推進に当たっては、生涯学習・社会教育関係部局だけでなく、総合行政として市の全部局で取り組んできました。

また、市民一人一人が健康で楽しく生きがいを持って暮らせるよう、生涯学習関連事業を体系的かつ効率よく推進するため、生涯学習推進基本計画を策定し、市民の生涯学習活動を進め、それぞれは目標に向け、実行できたと評価されます。しかし、成果指標の実績では、市民意識と事業成果が一致していない状況がみられます。今後、それぞれの事業が市民ニーズと一致しているのかを探るとともに各事業が生涯学習の一つとして実施されているとのことの周知を図る必要があると考えています。

第3次計画は、個別の事業は内容を個々に見直し、教育大綱における2つの方向性に対応する内容、かつ、生涯学習に関する市民意識調査の結果を踏まえた市民ニーズの高い分野を優先に取り組むこととします。

## 第 2 次生涯学習推進基本計画 事務事業進捗評価まとめ

● 事務事業評価は、担当課で事業ごとに有効性と効率性を評価して算出しました。

年度	評価 事業 数	有効性/効率性 総合評価									その他 ※ 新型コロナ ウイルス感 染症感染 拡大の影 響により
		高 / 高 S 成果・費用対 効果を維持 して継続実 施	高 / 中 A 成果を維持 して継続実 施	中 / 高 A 費用対効果 を維持して 継続実施	中 / 中 B 成果・費用対 効果の向上 に努めつつ 継続実施	高 / 低 C 成果を維持 し費用対効 果を向上さ せる必要有 り	低 / 高 C 費用対効果を 維持し成果を 向上させる必 要有り	中 / 低 D 費用対効果を 向上させる 必要有り	低 / 中 D 成果を向上 させる必要 有り	低 / 低 E 事業の抜本 的な見直し の必要有り	
28	77	2	0	1	74	0	0	0	0	0	
29	73	0	1	0	71	0	0	0	1	0	
30	73	0	2	0	71	0	0	0	0	0	
R1	73	0	0	5	68	0	0	0	0	0	
R2	73	0	1	0	59	0	2	0	—	0	11

第2次計画では、個別事業について各担当課による評価を毎年行い、その評価の妥当性を生涯学習推進本部及び生涯学習審議会において、審議しています。個別事業は、市で行う事務事業の計画・実施・評価・改善のマネジメントサイクルを運用し、継続的改善に取り組み、効率的かつ効果的で質の高い行政サービスの提供に資するために実施している事務事業評価をもとに評価を行っています。評価は、事業の達成度合いをはかる有効性と、得られた成果に対して費用対効果が高かったかをはかる効率性の2つの観点から行い、その評価の組み合わせにより、総合評価を行っています。平成29年度分以降は事業内容を見直し・統合を進め、全体で73事業に絞り込み評価を実施しています。その結果、令和元年度までの評価は、多くの事業は総合評価Bとなり、生涯学習の取組を全庁的に着実に実施できました。また、総合評価がA以上の事業についても、年を追うごとにその比率は増加し、令和元年度には5事業が該当し、高い成果を上げる事業もありました。令和2年度の総合評価については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、対面や多くの人が参集する事業が実施できませんでした。そのような中、リモートでの実施、SNSでの作品発表、動画共有サイトでの公開、また、周知方法の工夫など行うことで実施できたものもあります。

令和2年度のその他※については、新型コロナウイルス感染症が感染拡大していた状況の中であり、事業の中身、過程を大事に評価してほしい、評価することが困難であるとの意見を生涯学習審議会にいただいたことから、計画を工夫しながら方法を考え試行錯誤しても、実施することができなかった事業については、「—」で表記しました。

## 第3次つくば市生涯学習推進基本計画の評価基準

### ①方向性ごとの達成状況と課題

評価者：生涯学習推進課

方法：方向性ごとに、達成状況と課題を抽出

評価：A 計画以上に進んでいる

B 計画どおり進んでいる

C 計画より遅れている

— 評価することができない

### ②事務事業評価

事務事業評価は、つくば市役所の全課が自分の課で行っているすべての事務事業を評価しているものです。

有効性と効率性を評価した後、その組み合わせで総合評価（SからEまでの9段階）で評価します。

なお、特別な事情（新型コロナウイルス感染症・自然災害等）により、総合評価を行わない場合は、「—」で表記します。

#### ■有効性

事業を実施した結果、成果の達成度合いを年度当初と比較するもの

高…年度当初の目標値と比較し、成果が大きく向上、又は高水準を維持

中…年度当初の目標値と比較し、同程度の成果

低…年度当初の目標値と比較し、成果が大きく低下、又は低水準を維持

—…特別な事情（新型コロナウイルス感染症・自然災害等）が生じたため、年度当初の目標値と比較することができない

※特別な事情により、事業が実施できなかった場合は、「—」と表記してください。  
事業内容を工夫して実施できた場合は、「中」と表記してください。

#### ■効率性

得られた成果に対して、費やした事業費や人件費（＝費用対効果）を評価するもの

高…年度当初の目標値と比較し、費用対効果が大きく向上、又は高水準を維持

中…年度当初の目標値と比較し、同程度の費用対効果

低…年度当初の目標値と比較し、費用対効果が大きく低下、又は低水準を維持

—…特別な事情（新型コロナウイルス感染症・自然災害等）が生じたため、年度当初の目標値と評価することができない

※特別な事情により、事業が実施できなかった場合は、「—」と表記してください。  
事業内容を工夫して費用対効果を評価できた場合は、「中」と表記してください。

#### ■総合評価

有効性/効率性

高/高 S成果・費用対効果を維持して継続実施

高/中 A成果を維持して継続実施

中/高 A費用対効果を維持して継続実施

中/中 B成果・費用対効果の向上に努めつつ継続実施

高/低 C成果を維持し費用対効果を向上させる必要有り

低/高 C費用対効果を維持し成果を向上させる必要有り

中/低 D費用対効果を向上させる必要有り

低/中 D成果を向上させる必要有り

低/低 E事業の抜本的な見直しの必要有り

—/— —総合評価は行わない

※有効性及び効率性の両方又はいずれかに「—」がある場合は、特別な事情（新型コロナウイルス感染症・自然災害等）を考慮して総合評価は行いません。

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映				
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性		
															継続	修正	中止
誰もが自分らしく生きるための生涯学習の推進	多様な学びの実現	施設の利便性の向上	1-(1)-ア	図書館利便性向上事業	開館時間延長の継続、地域で手軽に図書館サービスを受けられる自動車図書館ステーションと返却ができるサービスポイントの増設等	中央図書館	閉館時間を午後5時から午後7時に変更し、開館時間を2時間延長するとともに、祝日の特別開館を実施し、利用者の利便性向上を図る。 市内47か所に設けたステーションに火曜日から土曜日に自動車図書館車2台を使って巡回し、貸出及び返却等のサービスを行う。各ステーションには2週間に1回の頻度で巡回する。令和3年度には、現在の2台の移動図書館車両に加え、右左外架書架設備による最大限約600冊積載可能な移動図書館車を新たに1台導入し、サービスの拡充を図るとともに、コロナ禍における中央図書館への来館者の分散化を図る。 並木・広岡・大穂・豊里の各交流センター、市役所コミュニティ棟のブックポスト及びオンラインの4交流センターで図書資料の返却ができるようにする。また、新たに島名交流センター及び筑波大学附属中央図書館へのブックポストの設置について検討を進める。  年間開館日数291日 年間開館時間2740.5時間 自動車図書館利用人数14000人 自動車図書館貸出冊数55000冊 返却窓口への返却冊数130000冊										
			1-(1)-ア	市民交流施設利便性向上事業	誰でも気軽に利用できるような施設づくり	文化芸術課	生涯学習活動として、様々な団体(サークル)が快適に利用できるよう、地域交流センターの維持管理を行う。 また、茶道、華道、囲碁、料理、語学、ボランティア、短歌、音楽、手芸、絵画、書道、バレエ、ダンス、スポーツ、工芸等多様な団体(サークル)の登録を円滑に行い、誰でも気軽に利用できる施設づくりを行う。  地域交流センター利用者数200000人 地域交流センター登録団体650団体										
			1-(1)-イ	民間企業での生涯学習事業	民間企業等での生涯学習講座の実施促進	生涯学習推進課	民間企業でのニーズと必要性に沿った生涯学習の機会を提供していく。提供方法は、会場参加・オンライン・動画配信により実施し、参加機会を拡充する。 また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート等の集計結果から、今後の講座内容として反映させ、生涯学習の環境や取組みを促進する。  講座開催数2回 参加者数(動画視聴含む)40人										

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点  令和3年度 事業計画	年度内の実績  令和3年度 事業の成果・ 達成状況	進捗状況の点検・評価				評価の理由	事業の見直し・取組への反映  問題・課題の改善	今後の方向性			
			No.	事業名	事業概要	担当課			有効性	効率性	総合評価	特別な事情			継続	修正	中止	
																		継続
	生涯学習の相談・情報の提供	1-(1)-イ	オンラインによる生涯学習講座事業	ウェブを活用し、動画配信等による生涯学習講座の実施	生涯学習推進課	市民が希望している生涯学習に応じた生涯学習講座を把握し、気軽に参加できる生涯学習講座をオンラインや動画配信等で行う。 オンライン講座3回 動画配信3回												
		1-(1)-イ	地域交流センター活用事業	夜間・休日における学習機会の提供	文化芸術課	新型コロナウイルス感染拡大防止のため対策を行ったうえで、夜間や休日に地域交流センター講座を開講することで、夜間休日における学習機会を提供する。 夜間休日の講座の開講10回												
		1-(1)-ウ	生涯学習相談事業	オンライン等でも気軽にでき、地域の実情に応じた生涯学習相談の実施	生涯学習推進課	気軽に生涯学習を相談できる機会として、生涯学習相談をオンラインで行い、情報提供体制を整える。 相談数5件												
		1-(1)-ウ	情報収集・発信事業	広報戦略課と連携し、生涯学習情報を一元的に収集し発信	生涯学習推進課	市の生涯学習に関する取組みについて、生涯学習推進課だけでなく、様々な部署で行われ全庁的な実施体制である一方、個別に周知を行っているため、開催スケジュールなど、市民のわかりづらさがあるとの声に応える。各課で行っている生涯学習について、情報収集し市民に提供できる体制を整え、情報収集した内容を広報誌やホームページ等で広く市民に周知していく。 広報誌5件 ホームページ5件												
	誰一人取り残さない生涯学習	参加への障壁をなくす取組	1-(2)-ア	生涯学習ワンストップ対応事業	生涯学習講座における配慮事項を示した指針の作成 生涯学習情報のワンストップ提供	生涯学習推進課	誰一人取り残さない生涯学習の実現に向けて、これまで生涯学習に十分に取組むことができなかった方々が参加できるよう、障壁を取り除くことが必要となることから生涯学習に取り組もうと考えている人をサポートするために取組を行う。 ホームページ1件											
			1-(2)-ア	広報力向上事業	職員向け広報セミナーの実施 広報事業へのアドバイスの実施	広報戦略課	全庁的な職員の広報力向上を目的として、職員向け広報力向上セミナーを年3回程度実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を考慮し、会場参加またはオンラインにより実施する。 また、年間を通じて、チラシ・ポスター等広報物のデザインチェックや、事業の動画撮影に係る相談や支援を随時行う。 セミナー参加者数150人											

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映				
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性		
															継 続	修 正	中 止
			1-(2)-ア	外国人市民向け情報発信・講座事業	外国語広報誌等の外国人市民向け広報の拡充 外国人市民向け講座(日本語講座)の実施	国際交流室	市が発行する文書や冊子等の翻訳 8か国語の外国語広報紙を発行 4言語の多言語ホームページでの情報発信 外国人市民に向けた日本語学習支援 (大人対象:日本語講座をレベル別に昼コースと夜コースを設けて開催) (外国にルーツを持つ子どもたち対象:プレスクール・プレクラス、こども日本語勉強会、就学・進学支援を開催)  外国語広報紙発行回数4回 多言語ホームページ掲載回数16回 大人向け日本語講座の受講者数120人 こども日本語勉強会の登録人数20人										
		主体的に活動に参加できる取組	1-(2)-イ	障害者の生涯学習関連事業	障害者が自ら生涯学習を楽しめる講座の実施と生涯学習に取り組む障害者への支援体制の構築	生涯学習推進課	障害者のための生涯学習講座については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、会場参加・オンライン・動画配信のいずれかの方法により年4回実施する。 また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート結果や、オンライン・動画視聴回数等の集計結果から、次年度の開催形式を検討し、講座内容として反映させる。  講座開催数4回 会場参加者数24人 オンライン参加者数24人 動画視聴数(延べ)10人										
	1-(2)-イ		男女共同参画啓発事業	男女共同参画意識の向上を図りながら、能力や行動力を高めるセミナーの開催	男女共同参画室	男女共同参画に関するセミナーの開催 仕事と家庭の両立支援をはじめ、再就職支援やキャリアアップ講座など、学習機会の充実を図る。  男女共同参画セミナー10回											
	1-(2)-イ		障害者スポーツ推進事業	障害者スポーツ人材の育成を目指し、スポーツイベントの実施、人材の育成、体制の構築	スポーツ振興課	障害者スポーツ活動を推進するため、筑波大学の受託研究として委託契約を締結し、市民の障害者スポーツに対する意識や取り組みやすい活動の分析及び検討を行う。併せて障害者スポーツの体験も可能な障害者スポーツサポーター養成講座を開催する。  講座の開催数2回 講座の参加者数(延べ人数)20人 障害者スポーツニュースのメール配信回数12回											

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
															継続	修正	中止	
			1-(2)-イ	生涯学習関連事業(障害のある人や支援者対象)	チャレンジアートフェスティバル、おひさまサンサン生き生きまつり等の開催、奉仕員養成講座の開催	障害者地域支援室	<p>チャレンジアートフェスティバルについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、舞台発表は中止とし、作品展示のみとする。作品展は3/8～3/13で実施する。開催前に茨城県庁及びつくば市役所庁舎にて、令和2年度制作の作品を展示し、一般市民に向けた広報啓発を行う。令和3年度おひさまサンサン生き生きまつりについては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。令和3年度の奉仕員養成講座の開催については、手話奉仕員養成講座入門コース6月9日から30回、基礎コース6月8日から30回、音訳奉仕員養成講座10月7日から10回、パソコン要約筆記養成講座10月6日から10回、点訳奉仕員養成講座10月1日から10回実施する。</p> <p>チャレンジアートフェスティバル来場者数3350人 奉仕員養成講座受講者数75人</p>											
学びの力をいかすことができる生涯学習の推進	地域で学び合う生涯学習	地域で学びきりかけ作り	2-(1)-ア	つくば人間学講座	市民との協働講座(人間学講座)の実施	生涯学習推進課	<p>学びの成果を生かして地域社会に貢献するなど、生涯学習の成果を生かし、活躍する社会をつくるに当たっての地域の課題や最新の情報を知る学びの場が求められる中、市民との共働事業を行う。人間学講座については、新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、会場参加・オンライン・動画配信のいずれかの方法により年4回実施する。また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート結果や、オンライン・動画視聴回数等の集計結果から、次年度の開催形式を検討し、講座内容として反映させる。</p> <p>講座開催数4回 会場参加者数300人 オンライン参加者数200人 動画視聴数(延べ)100人</p>											
			2-(1)-ア	文化財展示講座事業	文化財展示施設等での展示、各種文化財・郷土史に関する講座の開設	文化財課	<p>・11月～2月にかけて巡回企画展を、関連する催事として11月に体験講座を、12月に講演会を実施する。 ・市域の江戸時代の古文書を題材にした、古文書講座を10～11月に全7回実施する。 ・文化財保護強調週間と関連して、平沢官衙遺跡周辺を歩いて解説するウォーキングイベントを11月に実施する。</p> <p>企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催日数2回 巡回企画展参加人数1500人</p>											

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
															継続	修正	中止	
			2-(1)-ア	調査・研究支援事業	筑波大学を始めとするつくば市域における図書館との連携、小・中・義務教育学校で実施するブックトーク等による読書促進	中央図書館	つくば市域に所在する各機関の図書館それぞれの情報、資源及び活動成果等の交流を促進し、かつ、連携してその活用を図るため、つくば市域図書館連携協議会において協議を行う。 学校訪問ブックトーク、団体貸出し(調べ学習の支援・学級文庫支援)、ジュニア図書館員受入れ、社会科見学・職場体験学習受入れ、司書教諭及び司書教諭補助員等の研修実施といった学校図書館支援や、ファーストブック講座、ワークショップなど、各種イベントを行う。 参考資料を充実させるとともに、電話やインターネットからの調査・研究の質問を受け付け、専門職員から資料情報を提供する。  つくば市域図書館連携協議会の開催2回 学校訪問ブックトーク40校 団体貸出図書冊数15000冊 ジュニア図書館員受入人数75人 社会科見学等の図書館見学受入回数10回 職場体験学習受入人数40人 学校図書館司書教諭補助員等の研修参加人数170人 レファレンス受付件数1800件											
			2-(1)-ア	多文化共生推進事業	外国人市民との交流事業の開催及び民間団体実施事業の周知協力	国際交流室	国籍を越えた市民交流を推進するためのイベント等の開催 外国人住民が日本語を話したり、日本文化に触れることができるイベントの開催支援  つくばワールドフットサルの外国人参加率0.2 世界お茶飲み話開催数12回 周知協力イベント(事業)数4事業											
			2-(1)-ア	スポーツ教室事業	スポーツ教室の充実	スポーツ振興課	市民のスポーツ活動の促進を図るため、さまざまな種類のスポーツ教室を開催し、スポーツの楽しさや健康維持の手法等を学ぶ機会やスポーツをはじめる機会を提供する。  教室の開催数10回 教室の参加者数(延べ人数)720人											
			2-(1)-ア	地域交流センター講座等事業	地域交流センターでの学級・講座の充実	文化芸術課	新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策を行ったうえで、講座を開講する。利用者アンケートや講座受講者に対するアンケート結果を踏まえ、市民ニーズに対応した講座を実施する。  年間講座数80回											

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映				
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性		
															継続	修正	中止
			2-(1)-ア	筑波山地域ジオパーク推進事業	筑波山地域ジオパークについての講座・体験学習の実施	ジオパーク室	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、講座や会議等の多くが実施できなかった。令和3年度はオンラインや動画配信等を活用し実施する。 また、令和3年度中に「筑波山地域ジオパークアクションプラン前期(2021-2024)」を策定し、生涯学習講座の現状・課題・活動内容を整理する。  市民向け講座開催数10回 部会開催数9回 ジオガイド養成講座開催数3回 学術シンポジウム開催数1回										
			2-(1)-イ	生涯学習活動相談事業	生涯学習活動の継続支援	生涯学習推進課	市民から生涯学習に対し相談があったときに、適正に支援ができるようにする。また、生涯学習の取組を継続して行えるよう市民にサポートを行う。  支援数2件										
			2-(1)-イ	家庭教育学級支援事業	家庭教育学級への指導・助言、講演会等の開催	生涯学習推進課	家庭教育学級・家庭教育セミナーを開催する。 学級の運営にあたり社会教育指導員が指導・助言を行い、講演会や学習会を開催する。  家庭教育学級 幼稚園 16園、小学校 29校、中学校 12校、義務教育学校 4校 乳児 3か所、幼児2か所の開設  社会教育講演会 年2回開催 家庭教育学級3000人 社会教育講演会2回 家庭教育セミナー18回										
			2-(1)-イ	生涯学習指導者情報提供事業	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	生涯学習推進課	令和2年度においては、生涯学習を希望する市民に対し、希望に沿う指導者を紹介することで、市民の生涯学習の推進を図ることができた。 令和3年度においても、市民が希望する学習の指導者を紹介することに努める。  情報提供数20件 新規登録数5件 登録者総数250件										

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
															継続	修正	中止	
			2-(1)-イ	学校施設開放事業	学校施設開放(体育館・グラウンドなど)の推進	教育施設課	小・中学校、義務教育学校の学校体育施設の開放を行う。 新たに、義務教育学校1校を開放する。 廃校1校について跡地利用決定のため、今年度の学校施設開放事業をもって終了する。 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、ガイドラインを作成し、感染拡大に注意を払って活動を運営する。 施設開放の制限については、国や県、学校からの制限等に準拠する。 小学校施設開放事業238団体(重複込) 中学校施設開放事業77団体(重複込) 義務教育学校施設開放事業21団体(重複込)											
			2-(1)-イ	文化財サポーター事業	文化財の解説ボランティアの育成	文化財課	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けて学校等の依頼が激減したが、5名が解説ボランティアとして新規登録してもらい、ボランティア登録者数は合計で15名となった。今年度は、感染症対策を徹底しながら10～12月に全6回のボランティア養成講座を開講し、登録者を増やす。 また、コロナ禍で解説依頼が激減している中、登録者の知見向上を目指すための臨時講座を開講する。 小田城跡のボランティア団体である常陸小田城親衛隊の会についても、知見向上のための定期的に研修会を実施する。 文化財サポーター参加人数 (令和3年度末)20人											
			2-(1)-イ	つくば市OB人材活動支援事業	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	企画経営課	新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み、登録者のオンライン対応の可否について個別に把握し、オンライン形式を推進することで、停止中の対面形式での活動を補完するかたちで事業継続を図る。 また、シニア・エキスパート便覧(第19版)の発行・配布などの広報活動については、対面形式の再開を見据え、継続的に実施する。 登録者の活動回数690回											
			2-(1)-イ	市民活動団体支援事業	市民活動センターでの活動相談、アイラブつくばまちづくり補助金事業等市民活動団体の活動支援	市民活動課	市民活動団体等の取組を応援し、相談を受けるとともに、市民団体の新たな活動を支援する。 アイラブつくばまちづくり寄付基金を活用し、個性豊かで活力あるまちづくりの実現を目指すため、市民主体の公益的な活動を応援する。											

基本方針	施策の柱	施策の方向性	生涯学習基本計画の展開(個別事業内容)				評価の観点	年度内の実績	進捗状況の点検・評価				事業の見直し・取組への反映					
			No.	事業名	事業概要	担当課	令和3年度 事業計画	令和3年度 事業の成果・ 達成状況	有効性	効率性	総合評価	特別な事情	評価の理由	問題・課題の改善	今後の方向性			
													継続	修正	中止			
							市民活動センター利用者数6000人 市民活動センター相談件数255件 アイラブつくばまちづくり補助金採択事業数30件											
			2-(1)-イ	文化団体等育成支援事業	文化協会の支援	文化芸術課	市民の文化活動の活性化を目指し、つくば市文化協会に対する事業費補助として補助金を交付し、主体的な活動を促進するよう支援する。 事業の実施の際には、新型コロナウイルス感染症対策や、会計処理について指導を行う。 主催事業の実施10回											
			2-(1)-イ	(公財)つくば文化振興財団支援事業	文化振興財団の支援	文化芸術課	公益財団法人つくば文化振興財団への指導・助言のほか、財政的支援として行政補完型運営補助金の交付を行う。 また、つくば文化振興財団と協定を締結し、共同主催により市内の文化施設等で音楽・演劇・芸能・美術等の幅広いジャンルの文化芸術振興事業を実施する。 文化芸術振興事業の実施23回											
			2-(1)-イ	高齢者生きがい活動支援事業	高齢者の社会活動支援	高齢福祉課	シルバークラブ大会:役員功労者表彰、感謝状贈呈、講演会等を実施 シルバークラブ育成支援:年間を通じて、委託先の社会福祉協議会と連携し、シルバークラブ連合会の事務局として支援する。 補助金を交付し、シルバークラブ連合会と連合会に所属する単位シルバークラブの活動を支援する。補助金を交付し、公益社団法人つくば市シルバー人材センターの円滑な運営を支援する。茨城県健康福祉祭いばらきねりんスポーツ大会の予選会として市大会を開催する。種目:グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、バタンク、輪投げ  シルバークラブ会員数6620人 単位シルバークラブ数140団体 契約件数4400件 参加者数600人											
「社会力」を持った人材の育成	実践できる人材の育成		2-(2)	「社会力」人材育成事業	「社会力」を持った人材を育成するために、連続講座など「社会力」を育成する講座を実施	生涯学習推進課	地域の課題解決のために、社会力を持った人材を育成するため、社会力講座を会場参加・オンライン・動画配信のいずれかの方法により年5回実施する。 また、講座終了後にアンケートを実施し、アンケート結果や、オンライン・動画視聴回数等の集計結果から、次年度の開催形式を検討し、講座内容として反映させる。 講座開催数5回											
			2-(2)	地区リーダー勉強会事業	地区リーダー勉強会の開催	市民活動課	つくば市の地域社会のリーダーである区長のスキルアップを図り、各地域のコミュニティ活動を活性化させることを目的とした、勉強会(講演会)を実施する。 人材づくりイベントの参加者数100人											
			2-(2)	地域まちづくり支援事業	まちづくりに関する講座の実施・専門家の派遣	都市計画課	【まちづくりに関する講座の実施】 市民向けに、まちづくりへの関心と理解を深めることを目的として、都市計画の制度やつくば市の現状を紹介し、現地見学会を行う講座を開催する。 【専門家の派遣】 地域住民などで構成される地域まちづくりグループや地域まちづくり推進団体等が活動を行う上で、組織の運営に関すること、まちの課題や将来像に関すること等について指導や助言等を求めてきた際に、地域まちづくり専門家の派遣を行う。 講座開催数1回 申請に応じた専門家の派遣8回											

令和3年度(2021年度)事務事業評価一覧

No.	施策の柱 施策の方向性	① 方向性ごとの達成状況と課題 評価者：生涯学習推進課 評価：A(計画以上に進んでいる)B(計画どおり進んでいる) C(計画より遅れている)ー(評価することができない)	施策 評価	頁	事業概要	担当課	事務事業名	資料4			
								② R3年度 事務事業評価			
								有効性	効率性	総合評価	(参考) 事業 番号
多様な学びの実現											
1-(1)-ア	施設の利便性の向上			1	開館時間延長の継続、地域で手軽に図書館サービスを受けられる自動車図書館ステーションと返却ができるサービスポイントの増設等	中央図書館	図書館利便性向上事業				1
1-(1)-ア				1	誰でも気軽に利用できるような施設づくり	文化芸術課	市民交流施設利便性向上事業				2
1-(1)-イ	参加機会の拡充			1	民間企業等での生涯学習講座の実施促進	生涯学習推進課	民間企業での生涯学習事業				3
1-(1)-イ				1	ウェブを活用し、動画配信等による生涯学習講座の実施	生涯学習推進課	オンラインによる生涯学習講座事業				3
1-(1)-イ				1	夜間・休日における学習機会の提供	文化芸術課	地域交流センター活用事業				2
1-(1)-ウ	生涯学習の相談・情報の提供			1	オンライン等でも気軽にでき、地域の実情に応じた生涯学習相談の実施	生涯学習推進課	生涯学習相談事業				3
1-(1)-ウ				2	広報戦略課と連携し、生涯学習情報を一元的に収集し発信	生涯学習推進課	情報収集・発信事業				3
誰一人取り残さない生涯学習											
1-(2)-ア	参加への障壁をなくす取組			2	生涯学習講座における配慮事項を示した指針の作成 生涯学習情報のワンストップ提供	生涯学習推進課	生涯学習ワンストップ対応事業				3
1-(2)-ア				2	職員向け広報セミナーの実施 広報事業へのアドバイスの実施	広報戦略課	広報力向上事業				4
1-(2)-ア				2	外国語広報誌等の外国人市民向け広報の拡充 外国人市民向け講座(日本語講座)の実施	国際交流室	外国人市民向け情報発信・講座事業				5
1-(2)-イ	主体的に活動に参加できる取組			2	障害者が自ら生涯学習を楽しめる講座の実施と 生涯学習に取り組む障害者への支援体制の構築	生涯学習推進課	障害者の生涯学習関連事業				3
1-(2)-イ				2	男女共同参画意識の向上を図りながら、 能力や行動力を高めるセミナーの開催	男女共同参画室	男女共同参画啓発事業				6
1-(2)-イ				2	障害者スポーツ人材の育成を目指し、 スポーツイベントの実施、人材の育成、体制の構築	スポーツ振興課	障害者スポーツ推進事業				7
1-(2)-イ				2	チャレンジアートフェスティバル、おひさまサン サン生き生きまつり等の開催、奉仕員養成講座 の開催	障害福祉課	生涯学習関連事業 (障害のある人や支援者 対象)				8
地域で学び合う生涯学習											
2-(1)-ア	地域で学びきっかけ作り			3	市民との協働講座 (人間学講座)の実施	生涯学習推進課	つくば人間学講座				3
2-(1)-ア				3	文化財展示施設等での 展示、各種文化財・郷土史に関する講座の開設	文化財課	文化財展示講座事業				9
2-(1)-ア				3	筑波大学を始めとするつくば市域における 図書館との連携、小・中・義務教育学校で実施 するブックトーク等による読書促進	中央図書館	調査・研究支援事業				1
2-(1)-ア				3	外国人市民との交流事業の開催及び民間団体 実施事業の周知協力	国際交流室	多文化共生推進事業				5
2-(1)-ア				3	スポーツ教室の充実	スポーツ振興課	スポーツ教室事業				7
2-(1)-ア				3	地域交流センターでの学級・講座の充実	文化芸術課	地域交流センター 講座等事業				2
2-(1)-ア				3	筑波山地域ジオパークについての講座・ 体験学習の実施	ジオパーク室	筑波山地域 ジオパーク推進事業				10
2-(1)-イ				地域で学びつづける仕組み作り			4	生涯学習活動の継続支援	生涯学習推進課	生涯学習活動相談事業	
2-(1)-イ	4	家庭教育学級への指導・助言、講演会等の開催	生涯学習推進課				家庭教育学級支援事業				3
2-(1)-イ	4	生涯学習情報(OB人材、指導者情報) の整備・活用	生涯学習推進課				生涯学習 指導者情報提供事業				3
2-(1)-イ	4	学校施設開放(体育館・グラウンドなど)の推進	教育施設課				学校施設開放事業				11

No.	施策の柱 施策の方向性	① 方向性ごとの達成状況と課題 評価者：生涯学習推進課 評価：A(計画以上に進んでいる)B(計画どおり進んでいる) C(計画より遅れている)ー(評価することができない)	施策 評価	頁	事業概要	担当課	事務事業名	② R3年度 事務事業評価			(参考) 事業 番号
								有効性	効率性	総合評価	
2-(1)-イ	地域で学びつづける仕組み作り			4	文化財の解説ボランティアの育成	文化財課	文化財サポーター事業				9
2-(1)-イ				4	生涯学習情報(OB人材、指導者情報)の整備・活用	企画経営課	つくば市OB人材活動支援事業				12
2-(1)-イ				4	市民活動センターでの活動相談、アイラブつくばまちづくり補助金事業等市民活動団体の活動支援	市民活動課	市民活動団体支援事業				13
2-(1)-イ				4	文化協会の支援	文化芸術課	文化団体等育成支援事業				2
2-(1)-イ				5	文化振興財団の支援	文化芸術課	(公財)つくば文化振興財団支援事業				2
2-(1)-イ				5	高齢者の社会活動支援	高齢福祉課	高齢者生きがい活動支援事業				14
「社会力」を持った人材の育成											
2-(2)	実践できる人材の育成			5	「社会力」を持った人材を育成するために、連続講座など「社会力」を育成する講座を実施	生涯学習推進課	「社会力」人材育成事業				3
2-(2)				5	地区リーダー勉強会の開催	市民活動課	地区リーダー勉強会事業				13
2-(2)				5	まちづくりに関する講座の実施・専門家の派遣	都市計画課	地域まちづくり支援事業				15

令和3年(2021年)度つくば市民意識調査

## Ⅲ 調査票

# 令和3年（2021年）度つくば市民意識調査

## 《アンケートご協力をお願い》

皆様には、つくば市政に対して日頃から深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

つくば市では市民の皆様、市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対するご意見をお伺いするために、市民意識調査を実施いたします。

調査票は、住民基本台帳に記載された18歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただき、郵送させていただきました。

お忙しいところお手数をおかけしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本調査にご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和3年（2021年）8月

つくば市長 五十嵐立青

### 【ご回答に当たってのお願い】

- 1 調査の回答は、あて名のご本人が行ってください。（どなたかに代筆いただいても結構です。）それが無理な場合は、ご家族の方がお答えいただいても結構です。
  - 2 設問には、「1つ」または「複数」選んで当てはまる番号もしくは当てはまる欄に○印をつけるもの、また、当てはまる番号を「3つ」まで選んで記入するものがありますので、案内に従い回答してください。
  - 3 ご記入後は、同封の返信用封筒に入れて、8月31日（火）までに、切手を貼らずに郵便ポストに投かんしてください。
  - 4 ウェブ回答をご希望の方は、以下の専用ウェブサイトからID・パスワードをご入力の上ご回答いただけます。（詳細は別紙参照）  
 <専用ウェブサイト URL>  
<https://rdc.dstyleweb.com/a8wx/kyymft/>
- 
- 5 その他
    - ・お名前やご連絡先をご記入いただく必要はございません。すべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。また、他の目的には利用いたしません。
    - ・ウェブ回答との重複を防ぐため、調査票ごとにIDを設定しておりますが、ランダムに付与しており回答者個人を特定できないようにしています。
    - ・調査結果は、広報つくば、市ホームページで公表いたします。

〈お問合せ先〉 つくば市政策イノベーション部  
 統計・データ利活用推進室  
 TEL 029-883-1111（代表）内線 6281  
 FAX 029-828-4708

※返信用封筒の受取人あて先の下にある「バーコード」は、料金受取人払のため郵便局が使用するものです。個人を特定するためのものではありません。

ID : a10001

## あなたご自身のことについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

- 1 あなたの性別を教えてください。いずれにもあてはまらないと考える場合は○印をつけなくても差し支えありません。 <○は1つ>

1 男性	2 女性
------	------

- 2 あなたの年齢を教えてください。 <○は1つ>

1 10歳代	4 40歳代	7 65～69歳
2 20歳代	5 50歳代	8 70～74歳
3 30歳代	6 60～64歳	9 75歳以上

- 3 あなたの世帯構成を教えてください。 <○は1つ>

1 ひとり暮らし	4 三世帯同居
2 夫婦のみ	5 その他
3 親子	

- 4 あなたの世帯（あなた自身も含めて）には、次に当てはまる方はいますか。 <○は当てはまるものすべて>

1 6歳未満の乳幼児	3 65～74歳の方
2 小中学生	4 75歳以上の方

- 5 あなたの職業（兼業の方は主たる職業）を教えてください。 <○は1つ>

1 会社員・公務員	5 専業主婦（主夫）
2 自営業	6 学生
3 農林業	7 無職
4 パート・アルバイトなど	8 その他（具体的に：_____）

- 6 あなたの現在のお住まいを教えてください。 <○は1つ>

1 一戸建（持ち家）	5 公営住宅（公社・県営・市営）
2 一戸建（借家）	6 社宅・官舎
3 集合住宅（分譲）	7 その他
4 集合住宅（賃貸）	

## 現在の住環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問1 あなたは、つくば市にお住まいになって何年ぐらいになりますか。  
※合併前の旧市町村も含めてお答えください。

<○は1つ>

- 1 1年未満
- 2 1年以上5年未満
- 3 5年以上10年未満
- 4 10年以上20年未満
- 5 20年以上30年未満
- 6 30年以上

問2 あなたは、つくば市以外に住んでいたことがありますか。

<○は1つ>

- 1 ある
- 2 ない

問3 あなたは、これからもつくば市に住み続けたいと思いますか。

<○は1つ>

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| 1 住み続けたい         | 3 どちらかといえば住み続けたくない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 4 住み続けたくない         |
|                  | 5 どちらともいえない        |

問4 あなたは、つくば市の「住み心地」についてどう感じていますか。

<○は1つ>

- |                 |                 |
|-----------------|-----------------|
| 1 住みやすい         | 3 どちらかといえば住みにくい |
| 2 どちらかといえば住みやすい | 4 住みにくい         |
|                 | 5 どちらともいえない     |

▶【問4で「1 住みやすい」「2 どちらかといえば住みやすい」とお答えの方にお聞きします】

問5 住みやすいと感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |                    |
|--------------------|
| 1 豊かな自然            |
| 2 日常生活が便利          |
| 3 通勤・通学先が近い        |
| 4 交通の便が良い          |
| 5 教育・文化環境が良い       |
| 6 居住環境が良い          |
| 7 充実した医療機関・福祉サービス  |
| 8 充実した公共施設         |
| 9 暮らしていて安全         |
| 10 家族が近くにいる        |
| 11 住み慣れている         |
| 12 その他（具体的に：_____） |

▶【問4で「3 どちらかといえば住みにくい」「4 住みにくい」とお答えの方にお聞きします】

問6 住みにくいとを感じる主な理由は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |                    |
|--------------------|
| 1 自然が少ない           |
| 2 日常生活が不便          |
| 3 通勤・通学先が遠い        |
| 4 交通の便が悪い          |
| 5 教育・文化環境が悪い       |
| 6 居住環境が悪い          |
| 7 医療機関・福祉サービスが不足   |
| 8 公共施設が不足          |
| 9 暮らしていて不安         |
| 10 家族が遠くにいる        |
| 11 住み慣れていない        |
| 12 その他（具体的に：_____） |

Ⅲ 調査票

問7 あなたは、つくば市の景観をどう思いますか。

<○は1つ>

1 優れている	3 どちらかといえば優れていない
2 どちらかといえば優れている	4 優れていない
	5 わからない

問8 つくば市の景観として、次の項目について、どう思いますか。

<1~5のいずれか1つに○>

項目	優れている	どちらかといえば優れている	どちらかといえば優れていない	優れていない	わからない
1 筑波山・宝篋山	1	2	3	4	5
2 牛久沼	1	2	3	4	5
3 田園風景	1	2	3	4	5
4 里山・平地林	1	2	3	4	5
5 研究学園都市の街並み	1	2	3	4	5
6 つくばエクスプレス駅周辺の街並み	1	2	3	4	5
7 農村集落の街並み	1	2	3	4	5
8 筑波山麓の街並み	1	2	3	4	5
9 西部・北部工業団地の街並み	1	2	3	4	5
10 ペDESTリアンデッキ (歩行者・自転車専用道路)	1	2	3	4	5
11 公園	1	2	3	4	5
12 街路樹	1	2	3	4	5
13 電線・電柱が地中化されている風景	1	2	3	4	5
14 その他(具体的に: _____)	1	2	3	4	5

問9 あなたは、つくば市に愛着を持っていますか。

<○は1つ>

1 愛着がある	3 どちらかといえば愛着がない
2 どちらかといえば愛着がある	4 愛着がない
	5 どちらともいえない

## つくば市の現状やまちづくりへの取組について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問 10 あなたは、ふだんの生活の中で、次の 1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。

<○は1つずつ>

項目		満足度				
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	わからない
健康・福祉	1) 高齢者の福祉	1	2	3	4	5
	2) 子育て環境	1	2	3	4	5
	3) 障害者の福祉	1	2	3	4	5
	4) 生活困窮者の福祉	1	2	3	4	5
	5) 健康づくりの支援	1	2	3	4	5
	6) 病院・診療所などの医療機関	1	2	3	4	5
生活環境・防犯・防災	7) 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	1	2	3	4	5
	8) 防犯対策	1	2	3	4	5
	9) 防災対策	1	2	3	4	5
	10) 交通安全環境（通学路の安全など）	1	2	3	4	5
	11) 住宅環境	1	2	3	4	5
教育・スポーツ・文化	12) 小中一貫教育の充実	1	2	3	4	5
	13) ICT教育や科学教育の充実	1	2	3	4	5
	14) 教育環境の整備（施設の老朽化対策、設備の充実など）	1	2	3	4	5
	15) 児童生徒の支援体制整備	1	2	3	4	5
	16) スポーツ・レクリエーション	1	2	3	4	5
	17) 文化・芸術の振興	1	2	3	4	5
	18) 文化財の保護	1	2	3	4	5
	19) 男女共同参画	1	2	3	4	5
	20) 国際化の推進	1	2	3	4	5
	21) 生涯学習の推進	1	2	3	4	5
	22) 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	1	2	3	4	5

### Ⅲ 調査票

項目		満足度				
		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	わからない
まちづくり	23) つくば駅周辺のにぎわい	1	2	3	4	5
	24) 低炭素社会の推進（温室効果ガスの削減など）	1	2	3	4	5
	25) 環境意識の啓発	1	2	3	4	5
	26) 自然環境や資源の保全・活用	1	2	3	4	5
	27) 公園・広場・遊び場の数	1	2	3	4	5
	28) 公共交通	1	2	3	4	5
	29) 道路整備	1	2	3	4	5
	30) 上水道整備	1	2	3	4	5
	31) 下水道整備	1	2	3	4	5
産業・観光	32) 農業の振興	1	2	3	4	5
	33) 商工業の振興	1	2	3	4	5
	34) 観光の振興	1	2	3	4	5
	35) 筑波山地域ジオパークの取組	1	2	3	4	5
地域・行政	36) 広報紙（かわら版含む）による情報発信	1	2	3	4	5
	37) ホームページ・SNS 等による情報発信	1	2	3	4	5
	38) 行政改革	1	2	3	4	5
	39) 区会・ボランティアなどの地域活動	1	2	3	4	5
	40) 科学技術の振興（研究開発支援、成果普及など）	1	2	3	4	5
	41) ロボットの街つくばの取組 （生活支援ロボット実用化促進など）	1	2	3	4	5
	42) 情報通信技術（ICT）を活用した行政サービス	1	2	3	4	5

▶【問 10 で「3 どちらかといえは不満」または「4 不満」とお答えの方にお聞きします】

問 11 特に不満と感じる項目番号 1)～42)と、その理由を教えてください。

<3 つまで>

	項目番号	理 由
1		
2		
3		

問12 あなたは、つくば市は自分らしく、自分のやりたいことができるまちであると思いますか。

<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

問13 あなたが、市外の友人に紹介したい（自慢したい）と思うつくば市の魅力は何ですか。

<1~5のいずれか1つに○>

項目	自慢である 紹介したい、 自慢である	え ど ち ら か と い え ば 、 紹 介 し た い	ど ち ら か と い え ば 、 紹 介 し た い な い	あ ま り 紹 介 し た い と は 思 わ な い	紹 介 し た い と 思 わ な い	知 ら な い
1 自然（筑波山、宝篋山、牛久沼など）	1	2	3	4	5	
2 科学（研究学園都市、研究機関の見学施設など）	1	2	3	4	5	
3 自然体験施設 （豊里ゆかりの森、筑波ふれあいの里、こもれび六斗の森、 フォレストアドベンチャー・つくばなど）	1	2	3	4	5	
4 筑波山地域ジオパーク	1	2	3	4	5	
5 史跡（平沢官衙遺跡、小田城跡など）	1	2	3	4	5	
6 学校教育（小中一貫校、ICT教育など）	1	2	3	4	5	
7 子育て環境	1	2	3	4	5	
8 公園	1	2	3	4	5	
9 農産物	1	2	3	4	5	
10 特産品（北条米、ブルーベリー、福来みかんなど）	1	2	3	4	5	
11 物産品 （つくば産品を使った菓子や酒などの加工食品）	1	2	3	4	5	
12 まつり（まつりつくば、筑波山梅まつり、 つくばフェスティバルなど）	1	2	3	4	5	
13 自転車の街（つくば霞ヶ浦りんりんロードなど）	1	2	3	4	5	
14 ロボットの街	1	2	3	4	5	
15 つくばエクスプレス	1	2	3	4	5	
16 その他 （具体的に：_____）						

### Ⅲ 調査票

問 14 あなたは、つくば市には、市政に市民が参加できる環境が整っていると思いますか。  
<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

問 15 あなたは、市政に対する自分の意見等を、以下の方法で市に伝えたことがありますか。  
<○は当てはまるものすべて>

- |  |
|--|
| 1 「市長へのたより」等の手紙                              |
| 2 「市長へのメール」等の電子メール                           |
| 3 要望書や意見書等                                   |
| 4 電話   |
| 5 窓口での会話・筆談等                                 |
| 6 市が実施したアンケートの回答                             |
| 7 「タウンミーティング」や「意見交換会」、「ワークショップ」等市が主催する会合での発言 |
| 8 PTA を経由した意見表明                              |
| 9 区会・自治会を經由した意見表明                            |
| 10 市が開催する委員会・審議会などでの市民委員としての発言               |
| 11 パブリックコメント                                 |
| 12 その他（具体的に：_____）                           |
| 13 市に伝えたい意見がない                               |

問 16 あなたは、つくば市の市政には、市民の声が活かされていると思いますか。  
<○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

## 少子高齢化への取組について

お答えは、当てはまる番号や欄に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問 17 あなたは、つくば市には安心して子どもを産み育てられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

- |   |              |   |                |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | そう思う         | 3 | どちらかといえばそう思わない |
| 2 | どちらかといえばそう思う | 4 | そう思わない         |
|   |              | 5 | わからない          |

問 18 安心して子どもを産み育てられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	子育て世帯への経済的支援（予防接種への支援、医療福祉費支給制度等）			
2)	保育施設			
3)	一時預かり・夜間・休日・病児の保育			
4)	子育て支援施設			
5)	放課後児童クラブ			
6)	産婦人科・小児科医・子ども医療電話相談#8000			
7)	子育てに関する相談体制（保健師訪問、メール案内、チャットボット等）			
8)	地域で子育てを支える仕組み			
9) その他	充実	（具体的に：_____）		
	不足	（具体的に：_____）		

Ⅲ 調査票

問 19 あなたは、つくば市には高齢者が安心して住み続けられる環境が整っていると思いますか。

<○は1つ>

1 そう思う	3 どちらかといえばそう思わない
2 どちらかといえばそう思う	4 そう思わない
	5 わからない

問 20 高齢者が安心して住み続けられる環境として、つくば市で充実していると思うものと不足していると思うものは何ですか。

<○は当てはまる欄すべて>

項目		充実している	不足している	わからない
1)	健康づくりや介護予防事業			
2)	高齢者の生きがいづくり支援（通いの場づくり等）			
3)	日常生活支援（移動・送迎、買い物等）			
4)	地域で高齢者を支える仕組み（シルバークラブや民生委員等）			
5)	利用できる介護保険サービス			
6)	在宅で介護する家族への支援			
7)	クリニック・かかりつけ医・救急安心センター事業 #7119			
8)	緊急時や災害時の対策（認知症見守り訓練等を通じた見守り支援等）			
9)	情報提供（チャットボットによるよくある質問への回答等）			
10) その他	充実	（具体的に： _____）		
	不足	（具体的に： _____）		

**問 21** あなたは、豊かな高齢期を過ごすために、どのようなことが重要だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |    |                        |
|----|------------------------|
| 1  | 健康の維持・増進を心がける          |
| 2  | 貯蓄・住宅など、経済的基盤をつくる      |
| 3  | 外出を主とする趣味活動（旅行やイベントなど） |
| 4  | 自宅で取り組む趣味活動（読書、手芸など）   |
| 5  | 退職後も活かせる専門的技術を身につける    |
| 6  | 夫婦・家族の関係を大切にする         |
| 7  | 友人や仲間との交流を深める          |
| 8  | 近隣や地域の人との交流を深める        |
| 9  | 職場以外の活動の場をつくっておく       |
| 10 | インターネットなどの情報機器や端末の利活用  |
| 11 | その他（具体的に_____）         |

**問 22** あなたは、次に掲げる社会参加活動について、高齢者になっても生涯を通じて参加してみたいと思う活動はありますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |    |                                |
|----|--------------------------------|
| 1  | 高齢者の見守りや介護支援等の活動               |
| 2  | 保育の手伝い等の子育て支援活動                |
| 3  | 障害者の社会参加支援等の活動                 |
| 4  | 自治会や民生委員等の地域を支える活動             |
| 5  | スポーツクラブや体操教室等、身体を動かす活動         |
| 6  | サークルや交流サロン等、グループで行う趣味活動        |
| 7  | 環境美化や交通安全、防犯、防災等のまちづくり活動       |
| 8  | 共同農園等での農作業活動                   |
| 9  | 市や大学等が実施する公開講座の受講等の学習・教養を深める活動 |
| 10 | パソコン・スマホ教室等の新しい技術を学ぶ活動         |
| 11 | 自身の経験や技術を活かして収入が得られる活動         |
| 12 | その他（具体的に_____）                 |

## 防災対策・防犯活動について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

**問 23** あなたが、防災対策として実践しているものはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 防災用品や食料・水の備蓄
- 2 タンスやテレビ、電子レンジの転倒（落下）防止措置
- 3 住まいの耐震（免震）構造
- 4 その他（具体的に：\_\_\_\_\_）
- 5 何もしていない

**問 24** あなたは、地域の住民が協力して行う防犯活動（防犯ボランティアなど）に参加していますか。

<○は1つ>

- 1 いつも参加
- 2 ときどき参加
- 3 参加していない

...▶【問 24 で「3 参加していない」とお答えの方にお聞きします】

**問 25** 防犯活動に参加しない理由は何ですか。

<○は1つ>

- 1 時間がない
- 2 活動がわずらわしい
- 3 人間関係がわずらわしい
- 4 組織がない
- 5 組織があるかわからない
- 6 必要だと思わない
- 7 わからない
- 8 その他（具体的に：\_\_\_\_\_）

## 交通環境について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問26 あなたが、日常利用する交通手段は何ですか。

<○は当てはまるものすべて>

- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 1 鉄道   | 6 自家用車            |
| 2 路線バス | 7 オートバイ           |
| 3 つくバス | 8 自転車             |
| 4 つくタク | 9 その他（具体的に：_____） |
| 5 タクシー |                   |

問27 あなたは、現在のつくば市において、歩行者と自転車と自動車と共に安全で快適に通行できていると思いますか。

<○は1つ>

- |                 |                  |
|-----------------|------------------|
| 1 できている         | 3 どちらかといえばできていない |
| 2 どちらかといえばできている | 4 できていない         |
|                 | 5 わからない          |

問28 つくば市の交通環境がどのようになっていることが望ましいですか。

<○は1つ>

- |                            |
|----------------------------|
| 1 公共交通が便利で、自動車がなくても生活できるまち |
| 2 自動車がスムーズに走行できるまち         |
| 3 自転車を安心・便利に利用できるまち        |
| 4 安心・便利に歩くことができるまち         |

## 運動習慣について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問29 あなたは、この一年間に運動やスポーツをどのくらいしましたか。なお、運動やスポーツには、散歩や軽い体操なども含みます。

<○は1つ>

- |            |
|------------|
| 1 週に3日以上   |
| 2 週に1～2日   |
| 3 月に1～3日   |
| 4 3か月に1～2日 |
| 5 年に1～3日   |
| 6 しなかった    |

## つくば駅周辺地区の活性化について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

問30 あなたは、どれぐらい、つくばセンター地区（つくば駅周辺）を訪れますか。

<○は1つ>

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1 ほぼ毎日    | 4 月1、2回程度  |
| 2 週2、3回程度 | 5 年数回程度    |
| 3 週1回程度   | 6 まったく訪れない |

▶【問30で1～5を選択した方にお聞きします】

問31 主にどのような目的でつくばセンター地区を訪れますか。

<○は1つ>

- |                   |
|-------------------|
| 1 娯楽              |
| 2 趣味              |
| 3 日常の用事           |
| 4 仕事              |
| 5 移動・乗り換え         |
| 6 その他（具体的に：_____） |

問32 あなたは、にぎわいのあるつくばセンター地区（つくば駅周辺）にするためには、どのような取組が必要だと思いますか。

当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |   |
|---|
| 1 ペDESTリアンデッキ（歩行者・自転車専用道路）を活用した歩きやすい空間づくり |
| 2 商業施設や公共施設を周遊するバスの運行                     |
| 3 子どもが遊べる広場の設置                            |
| 4 オープンカフェや朝市の設置                           |
| 5 路上パフォーマンスやイベントなど広場等でのエンターテインメントの提供      |
| 6 科学技術を展示・体験できる場の提供                       |
| 7 商業施設の誘致                                 |
| 8 駐車場の拡充                                  |
| 9 公共交通でのアクセスの向上                           |
| 10 バーベキューなどが楽しめる広場                        |
| 11 その他（具体的に：_____）                        |
| 12 特に必要ない（今のままで十分）                        |

## 科学のまちについて

お答えは、当てはまる番号に○印をつけてください。

問33 あなたは、つくばが「科学のまち」であることの恩恵を感じることがありますか。  
 <○は1つ>

- |              |         |
|--------------|---------|
| 1 ある         | 3 あまりない |
| 2 どちらかといえばある | 4 ない    |
|              | 5 わからない |

問34 あなたは、つくば市は科学のまちならではの先端的な製品・サービスが、いち早く暮らしの中に活かされていると思いますか。  
 <○は1つ>

- |                |                  |
|----------------|------------------|
| 1 そう思う         | 3 どちらかといえばそう思わない |
| 2 どちらかといえばそう思う | 4 そう思わない         |
|                | 5 わからない          |

## 国際都市つくばについて

お答えは、当てはまる番号をお選びください。

問35 あなたは、「国際都市」として、つくば市が今後、強化すべき取り組みは何だと思えますか。当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- |                              |
|------------------------------|
| 1 相談・交流拠点整備等による外国人市民への生活支援   |
| 2 外国人市民への日本語学習支援             |
| 3 留学生への支援                    |
| 4 案内表示・施設窓口での多言語対応           |
| 5 学校での国際理解教育                 |
| 6 外国人と交流・協働する機会の提供           |
| 7 世界に向けたつくば市の魅力の発信           |
| 8 海外の芸術・文化・芸能公演              |
| 9 国際関係機関・団体との連携による国際化推進体制の充実 |
| 10 その他（具体的に：_____）           |
| 11 特に必要ない（今のままで十分）           |

## SDGs（持続可能な開発目標）について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または番号をお選びください。

**問36** あなたのSDGs（※1）に関する認知度について、以下の選択肢の中から最も近いものを選んでください。

<○は1つ>

- 1 よく知っている
- 2 少し知っている
- 3 名前だけは知っている
- 4 まったく知らない（今回の調査で初めて知った）

**※1** SDGsとは

Sustainable Development Goalsの略。2015年の国連サミットで採択された2030年までに達成するための「持続可能な開発目標」です。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。つくば市は、SDGsの理念を「持続可能都市ヴィジョン」として反映し、取組を進めています。

**問37** SDGsや持続可能都市に関することで、関心が高いものを選び、番号を以下の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

- 1 子どもを中心とした貧困の解消
- 2 全世代の健康寿命の延伸
- 3 生涯学習や科学教育など、全世代への質の高い教育の実施
- 4 女性活躍のための仕事と子育ての両立の支援
- 5 脱プラスチックの推進による海洋汚染等の防止
- 6 食品ロスの削減による資源の有効活用や環境負荷の低減
- 7 地産地消の推進による地元農業の推進と環境負荷の低減
- 8 市民、議会、団体、企業等のパートナーシップを生かした施策の実施
- 9 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

## 幸福度について

お答えは、当てはまる番号に○印をつけるか、または当てはまる番号をお選びください。

**問38** あなたは、「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、現在どの程度幸せだと思いますか。当てはまる数字（点数）を選んでください。

<○は1つ>

とても 幸せ	←									とても 不幸
10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0

**問39** あなたが、自分の幸福感を判断する際に特に重視することは何ですか。当てはまる番号を、右の回答欄に3つまで記入してください。

--	--	--

1	健康状況
2	就業状況
3	家計の状況
4	自由な時間
5	精神的ゆとり
6	生きがい
7	余暇
8	家族関係
9	友人関係
10	職場の人間関係
11	仕事の充実感
12	地域コミュニティ
13	その他（具体的に： _____）

問 40 あなたは、心配ごとや困っていることはありますか。

<○は当てはまるものすべて>

- 1 健康のこと
- 2 老後のこと
- 3 仕事や職場のこと
- 4 結婚のこと
- 5 お金のこと
- 6 子どもの保育や教育のこと
- 7 近所づきあいのこと
- 8 住宅のこと
- 9 交通手段が不便なこと
- 10 災害や犯罪のこと
- 11 その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
- 12 特にない



---

---

令和3年（2021年）度つくば市民意識調査報告書

令和3年（2021年）年12月

発行 つくば市

調査・編集 つくば市 政策イノベーション部

統計・データ利活用推進室

〒305-8555 茨城県つくば市研究学園一丁目1番地1

電話 029-883-1111（代表）

---

---

# 令和3年(2021年)度つくば市民意識調査 報告書

令和3年12月  
つくば市

# 目 次

## I 調査の概要

1	調査の目的	2
2	調査期間	2
3	調査対象	2
4	調査方法	2
5	回収状況	2
6	年齢別・地区別回収状況	2

## II 集計結果

	集計結果の概要	4
1	あなたご自身のことについて（回答者の属性）	9
	（1）性別	9
	（2）年齢	10
	（3）世帯構成	11
	（4）世帯に含む人	12
	（5）職業	13
	（6）住まいの状況	14
	（7）居住地区	15
2	現在の住環境について	16
	（1）問1 居住年数	16
	（2）問2 つくば市以外の居住経験	19
	（3）問3 定住意向	22
	（4）問4 住み心地	25
	（5）問5 住みやすいと感じる理由	28
	（6）問6 住みにくいと感じる理由	32
	（7）問7 景観	36
	（8）問8 景観の評価	39
	（9）問9 つくば市への愛着	41
3	つくば市の現状やまちづくりへの取組について	44
	（1）問10 日常生活の満足度	44
	（2）問11 不満と感じる項目とその理由	54
	（3）問12 自分らしく、自分のやりたいことができるまちか	59
	（4）問13 市外の友人に紹介したい（自慢したい）つくば市の魅力	61
	（5）問14 市政に市民の声が活かされているか	68
	（6）問15 市政に対する意見を市に伝える方法	71
	（7）問16 市政に市民の声が活かされているか	74
4	少子高齢化への取組について	77
	（1）問17 子育て環境	77
	（2）問18 子育て環境として充実・不足しているもの	80
	（3）問19 高齢者の生活環境	87

(4) 問 20	高齢者の生活環境として充実・不足しているもの	90
(5) 問 21	豊かな高齢期を過ごすために必要なこと	97
(6) 問 22	障害を通じて参加してみたい社会参加活動	100
5	防災対策・防犯活動について	103
(1) 問 23	防災対策	103
(2) 問 24	防犯活動への参加	106
(3) 問 25	防犯活動に参加しない理由	109
6	交通環境について	112
(1) 問 26	日常利用する交通手段	112
(2) 問 27	歩行者と自転車と自動車の共生	115
(3) 問 28	交通環境に望むこと	117
7	運動習慣について	120
(1) 問 29	運動やスポーツする頻度	120
8	つくば駅周辺地区の活性化について	123
(1) 問 30	つくばセンター地区を訪れる頻度	123
(2) 問 31	つくばセンター地区を訪れる目的	126
(3) 問 32	つくばセンター地区の活性化に必要な取組	129
9	科学のまちについて	132
(1) 問 33	「科学のまち」であることの恩恵	132
(2) 問 34	最先端な製品・サービスが暮らしの中で活かされているか	135
10	国際都市つくばについて	138
(1) 問 35	国際都市として取り組むべきこと	138
11	SDGs（持続可能な開発目標）について	141
(1) 問 36	SDGs の認知度	141
(2) 問 37	SDGs や持続可能都市に関することで関心が高いもの	143
12	幸福度について	145
(1) 問 38	幸福度	145
(2) 問 39	幸福感を判断する際に重視すること	148
(3) 問 40	心配ごとや困っていること	151
13	自由意見	154
<b>III</b>	<b>調査票</b>	<b>157</b>

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、つくば市の現状やまちづくりの取組に対する満足度、及び市が進める主要な施策に対する市民の意見などを把握することを目的として実施した。

本調査の結果は、今後の施策形成と市政運営の基礎資料として活用する。

## 2 調査期間

令和3年（2021年）8月13日～令和3年（2021年）8月31日

## 3 調査対象

住民基本台帳に記載された18歳以上の男女3,000人を、層化無作為抽出法により抽出。

## 4 調査方法

郵送配布・回収（※希望者はweb回答も可）

## 5 回収状況

発送数：3,000通（3,000通）

回収数：1,751通（1,481通）

回収率：58.4%（49.4%）

※（ ）内は令和元年（2019年）度の回収状況

## 6 年齢別・地区別回収状況

地区	地区別 回答数	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64 歳	65～69 歳	70～74 歳	75歳 以上	無回答
年齢別回答数	1,751	27	189	284	419	289	134	147	158	100	4
筑波地区	121	3	14	13	17	16	13	16	17	12	0
大穂地区	104	1	8	11	29	20	8	10	11	5	1
豊里地区	118	2	7	14	20	23	13	14	14	11	0
谷田部地区	242	3	15	27	52	41	29	22	31	22	0
桜地区	164	5	15	24	32	24	13	26	17	8	0
荃崎地区	174	3	8	17	30	25	11	20	39	19	2
研究学園地区	507	8	73	76	141	100	40	28	24	17	0
TX沿線地区	321	2	49	102	98	40	7	11	5	6	1

## II 集計結果

### 報告書の見方(凡例)

- (1) 集計結果の%は、小数点第2位を四捨五入し、第1位までの表記としている。したがって、合計が100%に満たないまたは100%を超える場合がある。
- (2) 回答者数は、回答者全員が答えるべき設問については有効回答数となり、条件付き設問(例:「問1で1に○をした方のみお聞きします」という設問)については、その設問に答えるべき該当者の数となっている。
- (3) 複数回答の設問は、集計結果の合計が100%を超えることがある。
- (4) 無回答には、無効回答(選んだ選択肢の判別が困難なもの、択一回答の設問で複数の選択肢を選んでいるものなど)が含まれる。
- (5) nは、各設間における回答者数である。

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

問10 あなたは、普段の生活の中で、次の1)~42)の項目について、どの程度満足していますか。〈○は1つずつ〉

#### ① 全体集計の結果

●「病院・診療所などの医療機関」への『満足/どちらかといえば満足』は7割半ば、「つくば駅周辺のにぎわい」「公共交通」への『不満/どちらかといえば不満』は4割半ば

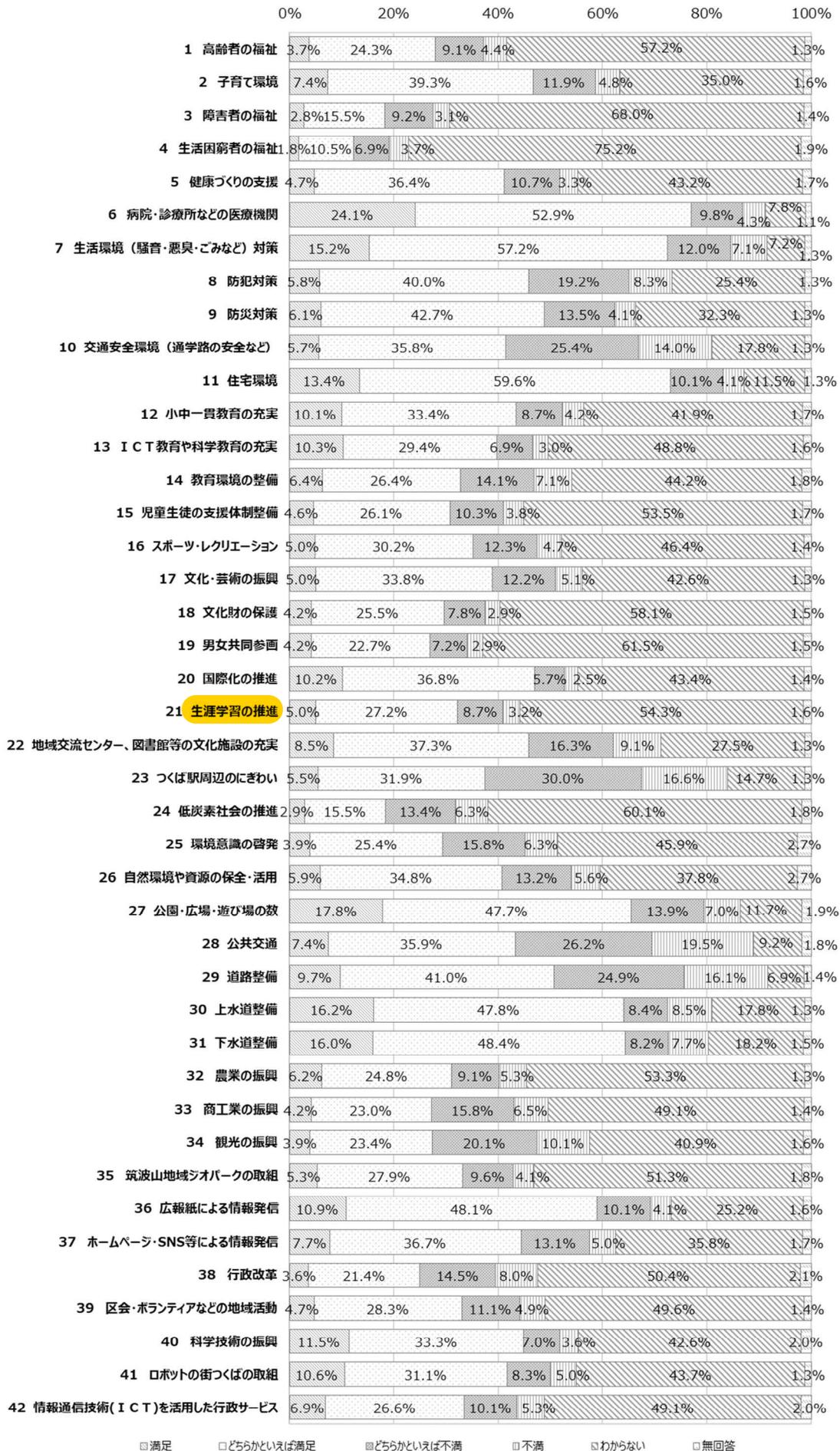
項目	選択肢	1 満足	2 どちらか といえば 満足	3 どちらか といえば 不満	4 不満	5 わからない	無回答	合計
1 高齢者の福祉	回答数(人)	65	425	160	77	1,001	23	1,751
	構成比	3.7%	24.3%	9.1%	4.4%	57.2%	1.3%	100.0%
2 子育て環境	回答数(人)	129	688	209	84	613	28	1,751
	構成比	7.4%	39.3%	11.9%	4.8%	35.0%	1.6%	100.0%
3 障害者の福祉	回答数(人)	49	272	161	55	1,189	25	1,751
	構成比	2.8%	15.5%	9.2%	3.1%	68.0%	1.4%	100.0%
4 生活困窮者の福祉	回答数(人)	32	183	121	64	1,317	34	1,751
	構成比	1.8%	10.5%	6.9%	3.7%	75.2%	1.9%	100.0%
5 健康づくりの支援	回答数(人)	83	638	187	58	756	29	1,751
	構成比	4.7%	36.4%	10.7%	3.3%	43.2%	1.7%	100.0%
6 病院・診療所などの医療機関	回答数(人)	422	926	172	76	136	19	1,751
	構成比	24.1%	52.9%	9.8%	4.3%	7.8%	1.1%	100.0%
7 生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策	回答数(人)	267	1,002	210	124	126	22	1,751
	構成比	15.2%	57.2%	12.0%	7.1%	7.2%	1.3%	100.0%
8 防犯対策	回答数(人)	102	699	337	146	444	23	1,751
	構成比	5.8%	40.0%	19.2%	8.3%	25.4%	1.3%	100.0%
9 防災対策	回答数(人)	107	747	237	71	566	23	1,751
	構成比	6.1%	42.7%	13.5%	4.1%	32.3%	1.3%	100.0%
10 交通安全環境(通学路の安全など)	回答数(人)	99	628	444	246	311	23	1,751
	構成比	5.7%	35.8%	25.4%	14.0%	17.8%	1.3%	100.0%
11 住宅環境	回答数(人)	235	1,043	176	72	202	23	1,751
	構成比	13.4%	59.6%	10.1%	4.1%	11.5%	1.3%	100.0%
12 小中一貫教育の充実	回答数(人)	176	584	153	74	735	29	1,751
	構成比	10.1%	33.4%	8.7%	4.2%	41.9%	1.7%	100.0%
13 ICT教育や科学教育の充実	回答数(人)	181	514	121	52	855	28	1,751
	構成比	10.3%	29.4%	6.9%	3.0%	48.8%	1.6%	100.0%
14 教育環境の整備 (施設の老朽化対策、施設の充実など)	回答数(人)	112	462	247	125	774	31	1,751
	構成比	6.4%	26.4%	14.1%	7.1%	44.2%	1.8%	100.0%
15 児童生徒の支援体制整備	回答数(人)	81	457	181	66	937	29	1,751
	構成比	4.6%	26.1%	10.3%	3.8%	53.5%	1.7%	100.0%
16 スポーツ・レクリエーション	回答数(人)	87	529	215	82	813	25	1,751
	構成比	5.0%	30.2%	12.3%	4.7%	46.4%	1.4%	100.0%
17 文化・芸術の振興	回答数(人)	88	592	214	89	745	23	1,751
	構成比	5.0%	33.8%	12.2%	5.1%	42.6%	1.3%	100.0%
18 文化財の保護	回答数(人)	73	446	136	51	1,019	26	1,751
	構成比	4.2%	25.5%	7.8%	2.9%	58.1%	1.5%	100.0%
19 男女共同参画	回答数(人)	73	397	126	51	1,078	26	1,751
	構成比	4.2%	22.7%	7.2%	2.9%	61.5%	1.5%	100.0%
20 国際化の推進	回答数(人)	179	644	100	44	760	24	1,751
	構成比	10.2%	36.8%	5.7%	2.5%	43.4%	1.4%	100.0%

問10 あなたは、普段の生活の中で、次の1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。〈〇は1つつつ〉

項目	選択肢	1 満足	2 どちらか といえば 満足	3 どちらか といえば 不満	4 不満	5 わからない	無回答	合計
21 生涯学習の推進	回答数(人)	87	477	152	56	951	28	1,751
	構成比	5.0%	27.2%	8.7%	3.2%	54.3%	1.6%	100.0%
22 地域交流センター、 図書館等の文化施設の充実	回答数(人)	149	655	285	159	481	22	1,751
	構成比	8.5%	37.3%	16.3%	9.1%	27.5%	1.3%	100.0%
23 つくば駅周辺のにぎわい	回答数(人)	97	558	526	290	257	23	1,751
	構成比	5.5%	31.9%	30.0%	16.6%	14.7%	1.3%	100.0%
24 低炭素社会の推進 (温室効果ガスの大幅削減など)	回答数(人)	51	271	235	110	1,052	32	1,751
	構成比	2.9%	15.5%	13.4%	6.3%	60.1%	1.8%	100.0%
25 環境意識の啓発	回答数(人)	68	445	276	110	805	47	1,751
	構成比	3.9%	25.4%	15.8%	6.3%	45.9%	2.7%	100.0%
26 自然環境や資源の保全・活用	回答数(人)	103	610	232	98	661	47	1,751
	構成比	5.9%	34.8%	13.2%	5.6%	37.8%	2.7%	100.0%
27 公園・広場・遊び場の数	回答数(人)	312	834	244	123	204	34	1,751
	構成比	17.8%	47.7%	13.9%	7.0%	11.7%	1.9%	100.0%
28 公共交通	回答数(人)	130	628	459	342	161	31	1,751
	構成比	7.4%	35.9%	26.2%	19.5%	9.2%	1.8%	100.0%
29 道路整備	回答数(人)	169	719	436	282	120	25	1,751
	構成比	9.7%	41.0%	24.9%	16.1%	6.9%	1.4%	100.0%
30 上水道整備	回答数(人)	284	838	147	148	311	23	1,751
	構成比	16.2%	47.8%	8.4%	8.5%	17.8%	1.3%	100.0%
31 下水道整備	回答数(人)	281	846	144	135	318	27	1,751
	構成比	16.0%	48.4%	8.2%	7.7%	18.2%	1.5%	100.0%
32 農業の振興	回答数(人)	109	434	159	93	934	22	1,751
	構成比	6.2%	24.8%	9.1%	5.3%	53.3%	1.3%	100.0%
33 商工業の振興	回答数(人)	74	402	276	113	862	24	1,751
	構成比	4.2%	23.0%	15.8%	6.5%	49.1%	1.4%	100.0%
34 観光の振興	回答数(人)	69	409	352	176	717	28	1,751
	構成比	3.9%	23.4%	20.1%	10.1%	40.9%	1.6%	100.0%
35 筑波山地域ジオパークの取組	回答数(人)	92	488	168	71	900	32	1,751
	構成比	5.3%	27.9%	9.6%	4.1%	51.3%	1.8%	100.0%
36 広報紙による情報発信	回答数(人)	190	843	177	71	442	28	1,751
	構成比	10.9%	48.1%	10.1%	4.1%	25.2%	1.6%	100.0%
37 ホームページ・SNS等による情報発信	回答数(人)	135	641	230	88	627	30	1,751
	構成比	7.7%	36.7%	13.1%	5.0%	35.8%	1.7%	100.0%
38 行政改革	回答数(人)	63	374	254	140	884	36	1,751
	構成比	3.6%	21.4%	14.5%	8.0%	50.4%	2.1%	100.0%
39 区会・ボランティアなどの地域活動	回答数(人)	82	495	195	85	869	25	1,751
	構成比	4.7%	28.3%	11.1%	4.9%	49.6%	1.4%	100.0%
40 科学技術の振興 (研究発展の支援、成果の普及など)	回答数(人)	202	583	123	63	745	35	1,751
	構成比	11.5%	33.3%	7.0%	3.6%	42.6%	2.0%	100.0%
41 ロボットの街つくばの取組 (ロボットを活用したまちづくりや、	回答数(人)	185	544	145	87	767	23	1,751
	構成比	10.6%	31.1%	8.3%	5.0%	43.7%	1.3%	100.0%
42 情報通信技術(ICT)を活用した行政サー ビス	回答数(人)	121	465	176	93	861	35	1,751
	構成比	6.9%	26.6%	10.1%	5.3%	49.1%	2.0%	100.0%

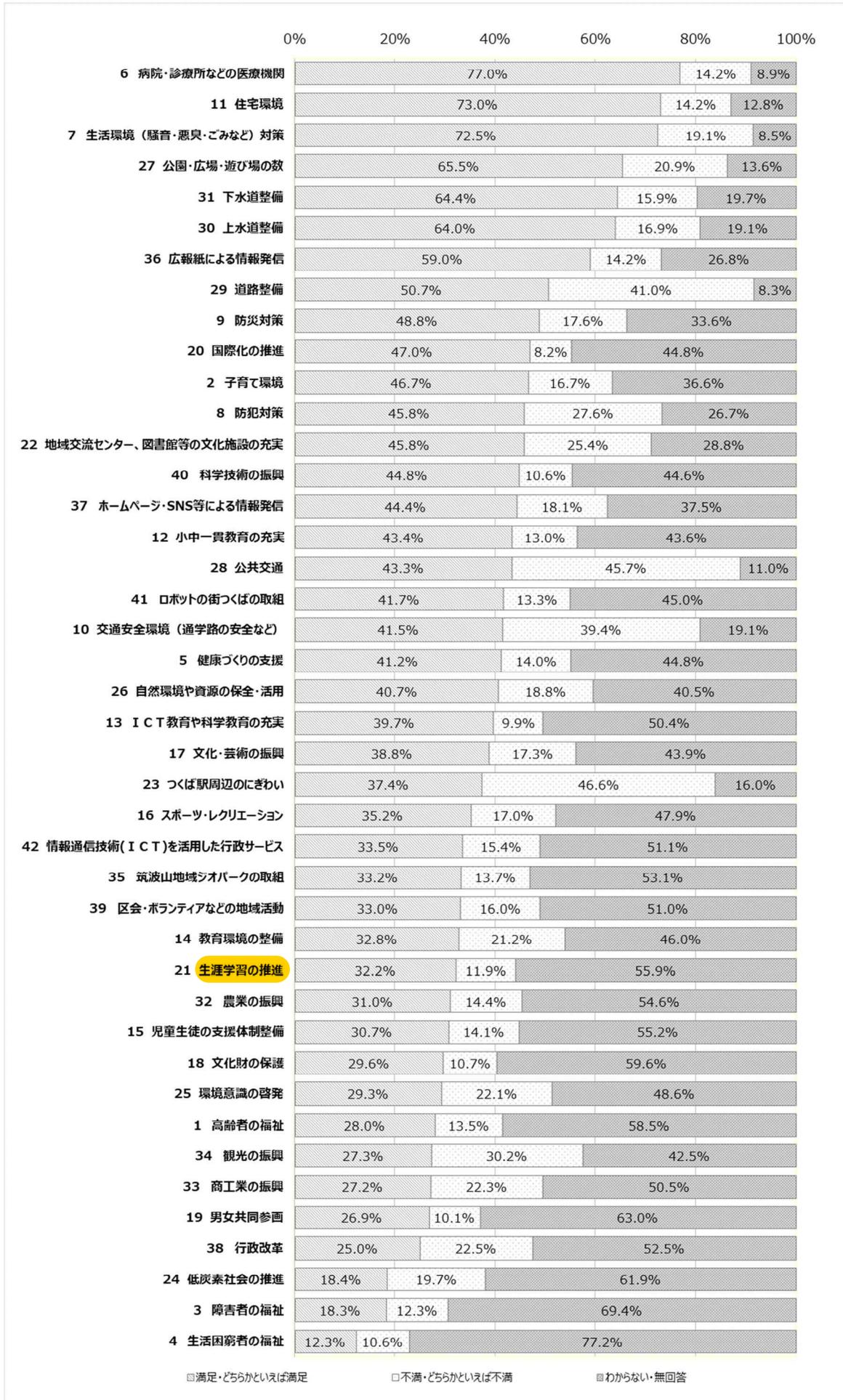
問10 あなたは、普段の生活の中で、次の1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。〈〇は1つつつ〉

〈全体集計グラフ（項目順）〉



問10 あなたは、普段の生活の中で、次の1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。〈〇は1ずつ〉

〈全体集計グラフ（満足の割合が多い順）〉



### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

**問 10** あなたは、普段の生活の中で、次の 1)～42)の項目について、どの程度満足していますか。〈○は1つずつ〉

#### ② 満足度

次のような基準で点数化し、「満足度」を算出した。

#### 《満足度の算出方法》

以下の方法で回答数に点数をつけ、「わからない」「無回答」を除く回答者数で割って算出

	満足している	どちらかといえば満足している	どちらかといえば不満である	不満である	わからない・無回答
各回答の点数	2点	1点	-1点	-2点	対象外

## ＜満足度の計算結果（全体集計）＞

「満足度」の算出方法に従い、点数化した結果を「満足度の高い順」に表示した。

- ・満足度が高い項目として、「病院・診療所などの医療機関」が最も高く、次いで「国際化の推進」「住宅環境」となっている。
- ・満足度が低い項目として、「つくば駅周辺のにぎわい」「公共交通」「観光の振興」となっている。

順位	項目	本調査(R3)	前回(R1)	前々回(H29)
1	6 病院・診療所などの医療機関	0.91	0.88	0.90
2	20 国際化の推進	0.84	0.84	0.8
3	11 住宅環境	0.78	0.65	0.66
4	40 科学技術の振興（研究発展の支援、成果の普及など）	0.76	0.87	0.79
5	13 ICT教育や科学教育の充実	0.75	0.83	0.68
6	31 下水道整備	0.71	0.63	0.54
7	36 広報紙による情報発信	0.71	0.65	-
8	30 上水道整備	0.68	0.61	0.59
9	7 生活環境（騒音・悪臭・ごみなど）対策	0.67	0.61	0.65
10	12 小中一貫教育の充実	0.64	0.53	0.5
11	27 公園・広場・遊び場の数	0.64	0.52	-
12	41 ロボットの街つくばの取組(ロボットを活用したまちづくりや、生活支援ロボットの実用化の促進など)	0.62	0.74	0.65
13	5 健康づくりの支援	0.52	0.47	0.46
14	2 子育て環境	0.51	0.38	0.46
15	18 文化財の保護	0.50	0.51	0.44
16	21 生涯学習の推進	0.50	0.47	0.44
17	9 防災対策	0.50	0.41	0.32
18	19 男女共同参画	0.49	0.40	0.43
19	37 ホームページ・SNS等による情報発信	0.46	0.47	-
20	35 筑波山地域ジオパークの取組	0.44	0.27	0.4
21	42 情報通信技術（ICT）を活用した行政サービス（電子申請・届出サービスなど）	0.40	0.63	0.47
22	15 児童生徒の支援体制整備	0.39	0.20	0.08
23	32 農業の振興	0.39	0.22	0.13
24	17 文化・芸術の振興	0.38	0.42	0.38
25	26 自然環境や資源の保全・活用	0.37	0.34	0.23
26	16 スポーツ・レクリエーション	0.35	0.38	0.29
27	39 区会・ボランティアなどの地域活動	0.34	0.28	0.29
28	1 高齢者の福祉	0.33	0.20	0.03
29	22 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	0.28	0.23	0.17
30	8 防犯対策	0.21	0.09	0.19
31	14 教育環境の整備（施設の老朽化対策、施設の充実など）	0.20	0.10	-0.13
32	3 障害者の福祉	0.18	0.07	0.06
33	25 環境意識の啓発	0.09	0.13	0.09
34	33 商工業の振興	0.06	-0.17	-0.15
35	29 道路整備	0.04	0.00	-0.02
36	4 生活困窮者の福祉	-0.01	-0.22	-0.19
37	38 行政改革	-0.04	-0.14	-0.07
38	10 交通安全環境（通学路の安全など）	-0.08	-0.10	-0.20
39	24 低炭素社会の推進(温室効果ガスの大幅削減など)	-0.12	-0.03	0.03
40	34 観光の振興	-0.16	-0.32	-0.25
41	28 公共交通	-0.16	-0.39	-0.52
42	23 つくば駅周辺のにぎわい	-0.24	-0.63	-0.13

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

#### ③ 満足度の計算結果

##### 【地区別クロス集計】

項目ごとの満足割合、不満割合、満足度の地域別クロス集計を行った。  
満足度割合、不満割合の考え方は以下に示す。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合  
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い地区： 満足度が最も低い地区：

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	茎崎地区	研究学園地区	TX沿線地区	
健康・福祉	1 高齢者の福祉	満足割合(%)	28.0	43.7	41.4	39.8	39.3	34.2	31.6	18.2	15.3
		不満割合(%)	13.5	21.5	14.4	12.7	20.6	11.0	17.8	10.7	8.7
	満足度		0.33	0.35	0.47	0.52	0.28	0.51	0.23	0.23	0.27
	2 子育て環境	満足割合(%)	46.7	51.3	50.1	48.3	42.6	54.9	32.8	48.5	46.7
		不満割合(%)	16.7	20.6	16.3	12.7	19.8	12.8	20.7	13.2	20.0
	満足度		0.51	0.53	0.43	0.63	0.33	0.68	0.16	0.70	0.41
	3 障害者の福祉	満足割合(%)	18.3	24.8	29.8	25.4	24.4	22.5	17.3	14.8	9.1
		不満割合(%)	12.3	17.4	12.5	14.4	19.4	10.9	14.4	11.1	5.9
	満足度		0.18	0.18	0.41	0.36	0.08	0.29	0.02	0.15	0.23
	4 生活困窮者の福祉	満足割合(%)	12.3	15.7	16.4	21.1	16.5	17.0	12.0	8.5	6.9
		不満割合(%)	10.6	14.1	11.5	16.9	14.5	8.0	14.9	9.5	4.4
	満足度		-0.01	-0.08	0.14	0.02	0.00	0.27	-0.30	-0.10	0.22
5 健康づくりの支援	満足割合(%)	41.1	43.0	51.9	44.9	40.5	43.9	32.7	44.3	34.2	
	不満割合(%)	14.0	20.6	11.6	13.5	17.7	12.8	18.4	11.9	11.2	
満足度		0.52	0.35	0.68	0.61	0.39	0.60	0.21	0.63	0.53	
6 病院・診療所などの医療機関	満足割合(%)	77.0	80.9	79.8	83.1	76.5	78.1	68.5	79.1	73.5	
	不満割合(%)	14.1	12.4	13.5	9.3	16.9	10.3	21.8	11.6	16.5	
満足度		0.91	0.99	0.96	1.10	0.87	1.03	0.60	0.95	0.84	
生活環境・防犯・防災	7 生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策	満足割合(%)	72.4	72.8	62.5	73.8	71.4	71.4	70.8	76.7	70.7
		不満割合(%)	19.1	20.6	27.0	16.1	21.9	20.1	21.2	15.6	18.7
	満足度		0.67	0.62	0.45	0.73	0.60	0.63	0.61	0.79	0.67
	8 防犯対策	満足割合(%)	45.8	43.7	49.0	45.0	41.3	48.8	47.2	47.3	44.2
		不満割合(%)	27.5	33.1	28.8	27.9	33.9	19.5	24.7	26.6	27.5
	満足度		0.21	0.09	0.16	0.21	0.04	0.49	0.26	0.26	0.19
	9 防災対策	満足割合(%)	48.8	50.3	51.0	50.0	46.3	51.9	47.2	49.9	46.4
		不満割合(%)	17.6	27.3	19.2	14.4	20.6	16.4	22.4	15.4	13.7
	満足度		0.50	0.30	0.49	0.61	0.41	0.60	0.33	0.56	0.58
	10 交通安全環境(通学路の安全など)	満足割合(%)	41.5	39.6	36.6	44.1	31.8	43.3	35.6	48.2	42.1
		不満割合(%)	39.4	43.8	46.1	40.7	50.0	39.6	41.4	31.9	37.7
	満足度		-0.08	-0.08	-0.35	-0.06	-0.43	-0.01	-0.19	0.13	-0.03
11 住宅環境	満足割合(%)	73.0	64.4	71.1	72.9	64.4	74.5	66.2	76.8	80.1	
	不満割合(%)	14.2	19.0	13.5	17.8	18.6	10.3	18.3	12.9	9.7	
満足度		0.78	0.62	0.68	0.68	0.59	0.90	0.65	0.85	0.93	
教育・スポーツ・文化	12 小中一貫教育の充実	満足割合(%)	43.5	58.6	43.3	39.0	40.1	40.9	32.2	43.6	48.9
		不満割合(%)	12.9	15.7	14.4	15.3	18.2	13.4	15.5	8.7	11.8
	満足度		0.64	0.73	0.47	0.55	0.43	0.60	0.33	0.82	0.76
	13 ICT教育や科学教育の充実	満足割合(%)	39.7	44.6	38.5	39.0	34.7	37.8	25.8	42.8	45.8
		不満割合(%)	9.9	8.2	9.6	8.5	13.2	9.1	15.5	9.3	6.9
	満足度		0.75	0.86	0.60	0.75	0.52	0.77	0.26	0.83	0.99
	14 教育環境の整備(施設の老朽化対策、施設の充実など)	満足割合(%)	32.8	46.3	33.6	34.7	26.5	30.5	18.9	32.1	41.2
		不満割合(%)	21.2	17.3	19.2	18.6	26.9	23.8	25.9	21.7	15.5
	満足度		0.20	0.53	0.25	0.27	-0.09	0.09	-0.23	0.16	0.51
	15 児童生徒の支援体制整備	満足割合(%)	30.7	42.9	35.5	32.2	28.1	31.7	18.4	30.3	32.7
		不満割合(%)	14.1	13.3	14.5	9.3	17.0	13.4	18.4	12.7	14.3
	満足度		0.39	0.63	0.38	0.57	0.26	0.38	-0.06	0.46	0.41
16 スポーツ・レクリエーション	満足割合(%)	35.2	37.2	36.6	42.4	30.2	42.7	26.4	39.4	29.3	
	不満割合(%)	17.0	17.3	13.5	14.4	21.5	12.8	19.5	16.4	17.1	
満足度		0.35	0.32	0.48	0.54	0.14	0.57	0.06	0.47	0.22	
17 文化・芸術の振興	満足割合(%)	38.8	42.9	36.6	41.5	31.4	40.9	33.9	43.8	36.5	
	不満割合(%)	17.3	15.7	12.5	13.5	21.1	15.9	17.8	19.5	15.0	
満足度		0.38	0.46	0.51	0.52	0.17	0.45	0.32	0.39	0.41	
18 文化財の保護	満足割合(%)	29.7	42.1	27.9	34.7	27.2	33.0	26.4	28.4	27.4	
	不満割合(%)	10.7	14.1	11.6	9.3	15.7	8.5	11.4	11.1	5.9	
満足度		0.50	0.51	0.49	0.58	0.31	0.65	0.45	0.47	0.64	
19 男女共同参画	満足割合(%)	26.9	33.9	34.6	28.8	24.0	29.2	17.8	27.8	25.2	
	不満割合(%)	10.1	14.9	7.7	11.8	12.8	7.9	13.2	9.9	6.2	
満足度		0.49	0.46	0.73	0.38	0.37	0.52	0.15	0.53	0.62	
20 国際化の推進	満足割合(%)	47.0	46.3	48.1	46.6	38.8	48.1	33.9	55.2	46.7	
	不満割合(%)	8.2	9.1	6.7	11.0	10.7	4.9	12.1	7.5	6.2	
満足度		0.84	0.82	0.88	0.71	0.65	0.97	0.53	0.94	0.93	
21 生涯学習の推進	満足割合(%)	32.2	38.9	36.6	36.5	27.2	32.4	30.5	33.9	28.7	
	不満割合(%)	11.9	14.0	14.4	10.2	15.3	12.8	10.9	11.3	9.3	
満足度		0.50	0.52	0.47	0.60	0.30	0.43	0.51	0.55	0.57	
22 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	満足割合(%)	45.8	52.1	45.2	45.9	43.3	47.1	41.4	50.2	40.9	
	不満割合(%)	25.4	24.0	25.0	22.8	24.8	23.1	24.7	26.1	27.7	
満足度		0.28	0.40	0.26	0.38	0.24	0.31	0.30	0.33	0.12	

3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

満足度が最も高い地区:   満足度が最も低い地区:  

		全体	筑波地区	大穂地区	豊里地区	谷田部地区	桜地区	荻崎地区	研究学園地区	TX沿線地区	
まちづくり	23 つくば駅周辺のにぎわい	満足割合(%)	37.4	49.7	30.8	44.1	35.1	34.8	42.5	34.9	36.7
		不満割合(%)	46.6	33.0	54.8	41.5	46.3	51.8	26.4	54.2	47.4
		満足度	-0.24	0.17	-0.42	-0.07	-0.26	-0.36	0.26	-0.40	-0.28
	24 低炭素社会の推進 (温室効果ガスの大幅削減など)	満足割合(%)	18.4	22.3	23.0	25.4	17.0	14.0	17.8	17.2	18.4
		不満割合(%)	19.7	27.3	24.1	16.1	22.3	23.2	16.7	19.1	15.6
		満足度	-0.12	-0.22	-0.06	0.16	-0.27	-0.38	0.00	-0.14	0.00
	25 環境意識の啓発	満足割合(%)	29.3	37.2	32.7	33.1	23.1	28.0	25.3	30.9	28.7
		不満割合(%)	22.1	26.5	26.9	18.6	26.4	23.2	15.5	22.1	19.6
		満足度	0.09	0.10	0.00	0.20	-0.14	0.05	0.28	0.13	0.15
	26 自然環境や資源の保全・活用	満足割合(%)	40.7	39.7	34.6	39.8	31.0	40.3	34.4	48.2	42.7
		不満割合(%)	18.8	24.8	26.9	17.0	24.8	18.9	17.8	15.7	15.6
		満足度	0.37	0.22	0.08	0.40	0.04	0.37	0.33	0.54	0.50
27 公園・広場・遊び場の数	満足割合(%)	65.5	52.1	46.2	57.6	61.2	66.5	51.8	79.1	68.3	
	不満割合(%)	20.9	25.6	34.6	25.4	24.0	18.3	27.0	12.0	23.0	
	満足度	0.64	0.33	0.12	0.46	0.51	0.67	0.34	0.98	0.63	
28 公共交通	満足割合(%)	43.3	41.3	33.7	40.7	39.3	39.0	36.9	49.2	47.4	
	不満割合(%)	45.7	48.8	56.7	47.5	45.0	50.6	50.5	42.5	41.1	
	満足度	-0.16	-0.22	-0.44	-0.24	-0.25	-0.31	-0.36	-0.03	0.01	
29 道路整備	満足割合(%)	50.7	42.1	48.0	50.9	40.6	49.4	44.3	55.8	58.6	
	不満割合(%)	41.0	49.6	46.2	39.8	49.1	42.7	45.4	37.3	33.0	
	満足度	0.04	-0.21	-0.03	-0.03	-0.24	-0.04	-0.12	0.17	0.28	
30 上水道整備	満足割合(%)	64.0	56.2	50.9	57.6	50.5	65.3	63.3	72.1	71.1	
	不満割合(%)	16.9	28.1	32.7	25.5	29.3	14.0	21.2	9.3	5.9	
	満足度	0.68	0.28	0.21	0.34	0.21	0.74	0.54	0.98	1.07	
31 下水道整備	満足割合(%)	64.4	54.5	57.8	62.7	49.2	64.7	65.5	70.9	71.0	
	不満割合(%)	15.9	30.6	24.0	20.4	30.2	14.6	19.0	9.1	5.3	
	満足度	0.71	0.17	0.46	0.55	0.19	0.72	0.61	0.97	1.10	
産業・観光	32 農業の振興	満足割合(%)	31.0	36.4	24.0	33.0	24.3	28.6	23.0	35.3	34.3
		不満割合(%)	14.4	23.1	31.8	16.1	21.9	18.3	13.2	8.5	7.2
		満足度	0.39	0.19	-0.26	0.31	-0.07	0.25	0.25	0.74	0.74
	33 商工業の振興	満足割合(%)	27.2	29.8	26.9	34.7	22.3	22.5	21.9	28.6	30.2
		不満割合(%)	22.3	30.6	30.8	17.8	26.0	23.2	16.7	22.3	17.4
		満足度	0.06	-0.11	-0.17	0.26	-0.20	-0.07	0.13	0.09	0.29
	34 観光の振興	満足割合(%)	27.3	29.7	24.0	28.8	23.1	25.0	20.6	30.1	30.2
		不満割合(%)	30.2	41.3	41.3	28.8	31.8	28.7	27.6	29.2	25.2
		満足度	-0.16	-0.28	-0.38	-0.12	-0.34	-0.20	-0.23	-0.06	0.01
	35 筑波山地域ジオパークの取組	満足割合(%)	33.2	35.5	31.7	37.3	26.4	32.3	29.9	36.7	32.7
		不満割合(%)	13.7	19.9	24.0	10.2	17.3	14.0	9.7	12.7	10.0
		満足度	0.44	0.25	0.16	0.57	0.14	0.42	0.55	0.54	0.61
地域・行政	36 広報紙(かわら版含む)による情報発信	満足割合(%)	59.0	64.4	53.9	59.4	52.4	56.1	57.5	61.3	62.1
		不満割合(%)	14.2	14.9	17.3	16.9	17.8	17.1	10.9	12.2	12.4
		満足度	0.71	0.69	0.51	0.63	0.55	0.63	0.76	0.77	0.83
	37 ホームページ・SNS等による情報発信	満足割合(%)	44.4	50.3	42.3	44.1	36.0	41.4	38.5	49.7	45.1
		不満割合(%)	18.1	13.3	21.1	17.8	22.3	19.5	13.2	16.7	20.3
		満足度	0.46	0.66	0.30	0.49	0.23	0.39	0.48	0.55	0.47
	38 行政改革	満足割合(%)	25.0	28.1	24.1	31.3	23.1	23.8	21.8	24.4	26.1
		不満割合(%)	22.5	27.3	21.2	18.7	25.6	21.4	21.8	23.7	19.3
		満足度	-0.04	-0.10	-0.09	0.20	-0.19	0.01	-0.09	-0.07	0.07
	39 区会・ボランティアなどの地域活動	満足割合(%)	33.0	33.9	40.4	38.2	31.0	34.8	36.2	29.9	31.8
		不満割合(%)	16.0	23.9	13.5	15.2	19.8	17.7	14.9	13.4	15.0
		満足度	0.34	0.16	0.52	0.44	0.19	0.31	0.45	0.37	0.36
40 科学技術の振興 (研究開発支援、成果普及など)	満足割合(%)	44.8	37.2	45.2	45.8	36.0	40.9	31.6	53.0	50.2	
	不満割合(%)	10.6	9.9	9.6	8.4	14.9	10.4	8.6	10.3	10.5	
	満足度	0.76	0.67	0.70	0.83	0.51	0.68	0.79	0.86	0.81	
41 ロボットの街つくばの取組 (生活支援ロボット実用化促進など)	満足割合(%)	41.7	39.7	45.2	43.2	35.2	39.6	33.9	46.5	43.0	
	不満割合(%)	13.3	9.9	12.5	11.0	19.0	11.0	10.9	13.8	12.8	
	満足度	0.62	0.68	0.58	0.70	0.31	0.67	0.67	0.67	0.66	
42 情報通信技術(ICT)を活用した行政サービス	満足割合(%)	33.5	36.4	42.3	40.7	27.3	28.0	20.1	36.1	37.4	
	不満割合(%)	15.4	11.6	12.5	12.7	19.0	15.8	13.2	17.5	13.4	
	満足度	0.40	0.52	0.56	0.60	0.16	0.28	0.29	0.37	0.55	

II  
3

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

#### 【年齢別クロス集計】

項目ごとの満足割合、不満割合、満足度の年齢別クロス集計を行った。  
満足度割合、不満割合の考え方は以下に示す。

満足割合：「満足」の回答割合＋「どちらかといえば満足」の回答割合  
不満割合：「どちらかといえば不満」の回答割合＋「不満」の回答割合

満足度が最も高い年齢：

満足度が最も低い年齢：

			全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上	
健康・福祉	1 高齢者の福祉	満足割合(%)	28.0	22.2	18.5	14.1	23.1	22.5	41.8	43.6	43.7	56.0	
		不満割合(%)	13.5	7.4	8.9	8.1	10.5	17.3	17.9	19.7	23.4	9.0	
			満足度	0.33	0.63	0.44	0.21	0.35	0.09	0.36	0.31	0.26	0.86
	2 子育て環境	満足割合(%)	46.7	29.6	36.5	47.8	55.4	45.6	48.5	42.9	43.6	41.0	
		不満割合(%)	16.7	7.4	13.8	21.5	21.0	18.7	11.2	15.6	10.7	6.0	
			満足度	0.51	0.60	0.56	0.36	0.48	0.49	0.75	0.48	0.67	0.81
3 障害者の福祉	満足割合(%)	18.3	14.8	19.6	9.5	18.1	12.8	22.4	25.1	25.3	32.0		
	不満割合(%)	12.3	14.8	11.6	9.1	10.5	15.6	15.6	15.6	13.3	9.0		
		満足度	0.18	0.50	0.34	-0.02	0.24	-0.18	0.12	0.23	0.28	0.63	
4 生活困窮者の福祉	満足割合(%)	12.3	11.1	14.8	7.4	10.5	7.6	16.4	18.4	13.9	25.0		
	不満割合(%)	10.6	3.7	6.9	8.5	8.6	12.8	14.2	15.6	13.9	9.0		
		満足度	-0.01	1.00	0.46	-0.27	0.01	-0.36	-0.10	0.02	-0.14	0.50	
5 健康づくりの支援	満足割合(%)	41.1	37.0	39.2	31.7	42.0	39.1	45.6	44.9	45.6	57.0		
	不満割合(%)	14.0	0.0	10.0	11.6	14.3	15.9	17.1	17.0	18.4	8.0		
		満足度	0.52	1.40	0.71	0.49	0.51	0.43	0.40	0.46	0.41	0.88	
6 病院・診療所などの医療機関	満足割合(%)	77.0	55.5	71.4	70.8	77.3	81.4	79.9	85.0	76.6	82.0		
	不満割合(%)	14.1	7.4	13.8	17.2	15.8	12.8	14.9	10.2	15.2	8.0		
		満足度	0.91	1.18	0.94	0.81	0.83	0.94	0.90	0.99	0.89	1.18	
生活環境・防犯・防災	7 生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策	満足割合(%)	72.4	51.9	68.7	71.8	71.4	72.7	73.9	76.2	77.8	75.0	
		不満割合(%)	19.1	25.9	20.2	19.0	20.5	18.3	22.4	17.0	15.8	15.0	
			満足度	0.67	0.43	0.67	0.67	0.64	0.68	0.57	0.67	0.76	0.89
	8 防犯対策	満足割合(%)	45.8	59.3	53.4	41.1	46.2	40.5	40.3	46.3	54.4	46.0	
		不満割合(%)	27.5	14.8	24.9	30.3	29.9	28.0	32.1	27.9	20.9	22.0	
			満足度	0.21	0.70	0.36	0.05	0.20	0.16	0.01	0.24	0.44	0.31
	9 防災対策	満足割合(%)	48.8	63.0	59.3	47.2	52.0	43.2	36.6	46.9	53.2	44.0	
		不満割合(%)	17.6	11.1	12.7	16.2	16.5	16.3	29.8	23.2	15.2	20.0	
			満足度	0.50	0.90	0.74	0.52	0.58	0.45	0.03	0.34	0.58	0.39
	10 交通安全環境(通学路の安全など)	満足割合(%)	41.5	51.9	46.0	42.9	45.5	36.3	36.6	39.5	39.2	38.0	
		不満割合(%)	39.4	33.3	31.2	40.5	41.6	43.6	47.0	41.5	33.6	28.0	
		満足度	-0.08	0.26	0.20	-0.13	-0.07	-0.23	-0.22	-0.10	-0.03	0.08	
11 住宅環境	満足割合(%)	73.0	70.4	73.6	77.4	75.2	70.0	67.2	72.2	74.0	67.0		
	不満割合(%)	14.2	3.7	10.0	12.3	13.6	19.0	23.1	12.2	11.4	13.0		
		満足度	0.78	1.25	0.97	0.84	0.82	0.65	0.45	0.78	0.86	0.74	
教育・スポーツ・文化	12 小中一貫教育の充実	満足割合(%)	43.5	55.6	44.4	45.8	49.9	40.8	34.3	36.1	38.6	43.0	
		不満割合(%)	12.9	14.8	5.8	13.8	18.6	12.1	10.5	13.6	8.2	12.0	
			満足度	0.64	0.68	1.13	0.64	0.54	0.63	0.55	0.45	0.69	0.75
	13 ICT教育や科学教育の充実	満足割合(%)	39.7	48.1	40.7	41.9	49.4	37.4	35.1	31.9	27.8	32.0	
		不満割合(%)	9.9	18.5	4.7	11.3	15.1	9.0	5.2	10.2	5.1	7.0	
			満足度	0.75	0.72	1.15	0.74	0.66	0.75	0.81	0.56	0.69	0.87
	14 教育環境の整備(施設の老朽化対策、施設の充実など)	満足割合(%)	32.8	40.8	38.6	36.3	39.4	29.1	25.4	24.5	27.9	23.0	
		不満割合(%)	21.2	33.3	15.9	22.2	27.2	22.9	17.2	21.1	10.8	17.0	
			満足度	0.20	0.20	0.56	0.18	0.14	0.05	0.16	0.10	0.49	0.20
	15 児童生徒の支援体制整備	満足割合(%)	30.7	40.7	33.3	29.6	38.2	29.1	20.2	26.5	24.1	31.0	
		不満割合(%)	14.1	18.5	6.9	15.2	21.5	14.6	14.2	12.2	4.4	9.0	
			満足度	0.39	0.50	0.84	0.28	0.28	0.32	0.13	0.37	0.80	0.65
	16 スポーツ・レクリエーション	満足割合(%)	35.2	48.2	38.1	29.2	36.7	35.6	37.3	34.7	32.3	38.0	
		不満割合(%)	17.0	22.2	11.7	13.4	17.6	17.0	17.1	21.8	22.8	16.0	
			満足度	0.35	0.42	0.63	0.38	0.35	0.35	0.36	0.22	0.09	0.50
	17 文化・芸術の振興	満足割合(%)	38.8	59.3	43.9	31.0	41.6	39.8	39.5	41.6	31.6	39.0	
		不満割合(%)	17.3	14.8	14.3	15.1	17.5	17.6	23.1	19.0	18.3	16.0	
			満足度	0.38	0.65	0.59	0.33	0.42	0.34	0.20	0.38	0.25	0.44
	18 文化財の保護	満足割合(%)	29.7	48.1	36.5	24.3	32.2	26.3	26.1	36.7	24.1	29.0	
		不満割合(%)	10.7	11.1	9.6	8.8	8.8	10.1	20.2	10.9	10.7	14.0	
		満足度	0.50	0.88	0.67	0.50	0.59	0.43	0.05	0.59	0.47	0.44	
19 男女共同参画	満足割合(%)	26.9	51.9	34.9	24.6	28.1	22.8	23.1	26.5	24.7	26.0		
	不満割合(%)	10.1	14.8	8.4	8.4	10.3	8.3	14.2	13.6	8.2	12.0		
		満足度	0.49	0.78	0.77	0.49	0.50	0.49	0.14	0.37	0.48	0.39	
20 国際化の推進	満足割合(%)	47.0	70.4	56.6	46.5	49.9	48.1	43.3	46.3	31.0	41.0		
	不満割合(%)	8.2	11.1	7.4	7.4	8.3	7.6	12.7	7.4	6.3	9.0		
		満足度	0.84	0.86	1.08	0.84	0.86	0.86	0.57	0.81	0.71	0.80	
21 生涯学習の推進	満足割合(%)	32.2	37.0	35.5	28.1	33.6	30.5	32.8	32.7	31.0	35.0		
	不満割合(%)	11.9	14.8	8.5	8.4	11.4	12.2	14.9	17.6	13.3	13.0		
		満足度	0.50	0.50	0.76	0.58	0.56	0.43	0.31	0.35	0.37	0.54	
22 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	満足割合(%)	45.8	48.2	42.8	42.9	48.0	44.6	47.0	49.6	43.0	52.0		
	不満割合(%)	25.4	33.3	21.1	22.9	29.1	28.4	26.9	24.5	24.1	15.0		
		満足度	0.28	0.32	0.48	0.28	0.22	0.14	0.25	0.38	0.24	0.61	

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

満足度が最も高い年齢:

満足度が最も低い年齢:

			全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75歳以上
まちづくり	23 つくば駅周辺のにぎわい	満足割合(%)	37.4	63.0	55.0	41.1	36.3	28.4	32.1	34.0	31.0	40.0
		不満足割合(%)	46.6	33.3	35.5	49.0	49.4	52.9	52.3	47.7	43.7	31.0
		満足度	-0.24	0.23	0.16	-0.23	-0.31	-0.51	-0.40	-0.23	-0.28	0.11
	24 低炭素社会の推進 (温室効果ガスの大幅削減など)	満足割合(%)	18.4	40.7	26.4	15.5	18.9	13.9	17.9	15.0	15.2	26.0
		不満足割合(%)	19.7	7.4	15.3	15.5	20.5	21.4	26.8	27.8	20.3	12.0
		満足度	-0.12	0.69	0.27	-0.09	-0.09	-0.39	-0.42	-0.40	-0.23	0.37
	25 環境意識の啓発	満足割合(%)	29.3	55.6	40.7	30.7	30.6	23.5	25.4	24.5	22.2	32.0
		不満足割合(%)	22.1	7.4	16.9	16.6	23.1	27.0	28.3	28.6	24.0	11.0
		満足度	0.09	0.94	0.48	0.28	0.09	-0.19	-0.15	-0.15	-0.14	0.49
	26 自然環境や資源の保全・活用	満足割合(%)	40.7	66.7	48.2	40.2	43.7	41.2	34.3	32.7	31.6	43.0
		不満足割合(%)	18.8	11.1	14.3	16.9	20.8	21.1	23.9	21.1	17.7	11.0
		満足度	0.37	0.86	0.68	0.48	0.32	0.27	0.09	0.24	0.26	0.61
27 公園・広場・遊び場の数	満足割合(%)	65.5	85.2	71.3	69.4	64.4	66.8	72.5	61.9	54.4	53.0	
	不満足割合(%)	20.9	7.4	15.4	22.5	26.7	18.3	16.4	24.5	19.6	16.0	
	満足度	0.64	1.16	0.94	0.67	0.52	0.67	0.72	0.45	0.51	0.65	
28 公共交通	満足割合(%)	43.3	59.3	52.4	52.0	44.6	37.0	38.1	37.4	37.4	34.0	
	不満足割合(%)	45.7	37.0	38.6	38.4	46.8	52.3	53.0	46.3	48.7	44.0	
	満足度	-0.16	0.15	0.13	0.16	-0.14	-0.42	-0.43	-0.30	-0.31	-0.36	
29 道路整備	満足割合(%)	50.7	55.6	53.5	55.6	50.9	45.4	56.1	44.2	46.2	54.0	
	不満足割合(%)	41.0	40.7	35.9	37.3	43.4	46.3	39.5	46.3	38.6	34.0	
	満足度	0.04	0.04	0.20	0.19	0.03	-0.15	0.05	-0.13	-0.02	0.17	
30 上水道整備	満足割合(%)	64.0	51.9	65.2	63.3	67.3	62.2	68.0	56.6	64.0	65.0	
	不満足割合(%)	16.9	11.1	10.5	13.4	15.3	19.1	23.1	25.1	17.7	18.0	
	満足度	0.68	0.76	0.97	0.77	0.79	0.57	0.50	0.31	0.64	0.65	
31 下水道整備	満足割合(%)	64.4	55.6	65.7	64.4	68.0	61.6	68.0	58.6	63.2	62.0	
	不満足割合(%)	15.9	7.4	8.9	12.3	13.6	19.0	22.3	22.4	19.7	18.0	
	満足度	0.71	1.00	1.02	0.82	0.86	0.53	0.51	0.43	0.56	0.63	
産業・観光	32 農業の振興	満足割合(%)	31.0	51.9	41.3	34.9	37.3	27.7	20.9	23.8	17.1	25.0
		不満足割合(%)	14.4	11.1	10.6	8.1	11.7	19.0	22.4	23.1	16.5	11.0
		満足度	0.39	0.76	0.78	0.79	0.58	0.07	-0.14	-0.07	-0.15	0.42
	33 商工業の振興	満足割合(%)	27.2	40.7	35.4	30.2	32.2	23.9	23.1	19.8	17.7	19.0
不満足割合(%)		22.3	14.8	16.4	18.0	21.7	26.9	28.3	28.6	20.3	21.0	
満足度		0.06	0.73	0.42	0.25	0.19	-0.20	-0.26	-0.25	-0.13	-0.15	
34 観光の振興	満足割合(%)	27.3	33.3	36.0	31.0	33.7	22.5	22.3	17.7	17.1	23.0	
	不満足割合(%)	30.2	33.3	29.1	28.5	28.8	34.2	35.8	34.7	27.2	20.0	
	満足度	-0.16	-0.17	0.02	-0.03	0.00	-0.37	-0.44	-0.43	-0.34	0.05	
35 筑波山地域ジオパークの取組	満足割合(%)	33.2	29.6	32.8	29.9	37.0	32.9	35.0	35.4	27.2	32.0	
	不満足割合(%)	13.7	11.1	11.6	10.9	13.6	16.2	15.7	15.6	15.2	11.0	
	満足度	0.44	0.55	0.58	0.53	0.51	0.30	0.34	0.41	0.27	0.51	
地域・行政	36 広報紙(かわら版含む)による情報発信	満足割合(%)	59.0	44.4	46.0	54.9	61.3	58.5	67.9	56.5	66.4	71.0
		不満足割合(%)	14.2	7.4	10.5	12.0	16.0	16.9	15.7	19.7	11.4	8.0
		満足度	0.71	0.86	0.85	0.81	0.67	0.56	0.69	0.60	0.76	0.89
	37 ホームページ・SNS等による情報発信	満足割合(%)	44.4	44.4	45.0	46.8	50.3	45.3	46.3	34.0	33.5	38.0
		不満足割合(%)	18.1	11.1	21.2	17.6	19.8	18.7	17.9	22.4	14.0	8.0
		満足度	0.46	0.73	0.47	0.55	0.47	0.39	0.47	0.22	0.44	0.72
	38 行政改革	満足割合(%)	25.0	29.6	30.7	24.3	27.7	22.1	26.1	19.0	23.4	21.0
		不満足割合(%)	22.5	14.8	18.0	21.1	23.6	23.2	24.6	32.0	17.8	20.0
		満足度	-0.04	0.33	0.30	-0.09	0.03	-0.19	-0.06	-0.37	0.03	-0.07
	39 区会・ボランティアなどの地域活動	満足割合(%)	33.0	48.1	34.9	27.5	34.4	29.8	35.0	36.7	35.4	32.0
		不満足割合(%)	16.0	11.1	11.1	13.4	16.7	18.0	19.4	17.0	18.3	16.0
		満足度	0.34	0.81	0.59	0.38	0.35	0.17	0.19	0.37	0.31	0.38
40 科学技術の振興 (研究開発支援、成果普及など)	満足割合(%)	44.8	59.3	55.1	43.6	54.8	42.9	39.6	39.5	29.7	28.0	
	不満足割合(%)	10.6	7.4	9.0	11.3	10.8	11.7	12.7	8.9	10.2	9.0	
	満足度	0.76	1.17	1.02	0.78	0.81	0.66	0.53	0.72	0.57	0.59	
41 ロボットの街つくばの取組 (生活支援ロボット実用化促進など)	満足割合(%)	41.7	55.5	57.7	44.4	43.9	36.0	38.0	38.1	29.8	36.0	
	不満足割合(%)	13.3	7.4	7.9	14.4	17.0	14.2	15.0	12.9	8.9	8.0	
	満足度	0.62	1.29	1.04	0.61	0.51	0.46	0.42	0.56	0.64	0.77	
42 情報通信技術(ICT)を活用した行政サービス	満足割合(%)	33.5	48.1	44.5	37.7	38.7	31.5	32.1	21.7	20.3	21.0	
	不満足割合(%)	15.4	11.1	11.1	15.1	17.2	16.6	17.2	17.0	13.3	12.0	
	満足度	0.40	1.06	0.83	0.48	0.41	0.27	0.21	0.11	0.15	0.27	

### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

【問10で「どちらかといえば不満」または「不満」とお答えの方にお聞きします】

問11 特に不満と感ずる項目番号1)～42)と、その理由を教えてください。

<3つまで>

#### ① 回答者の結果

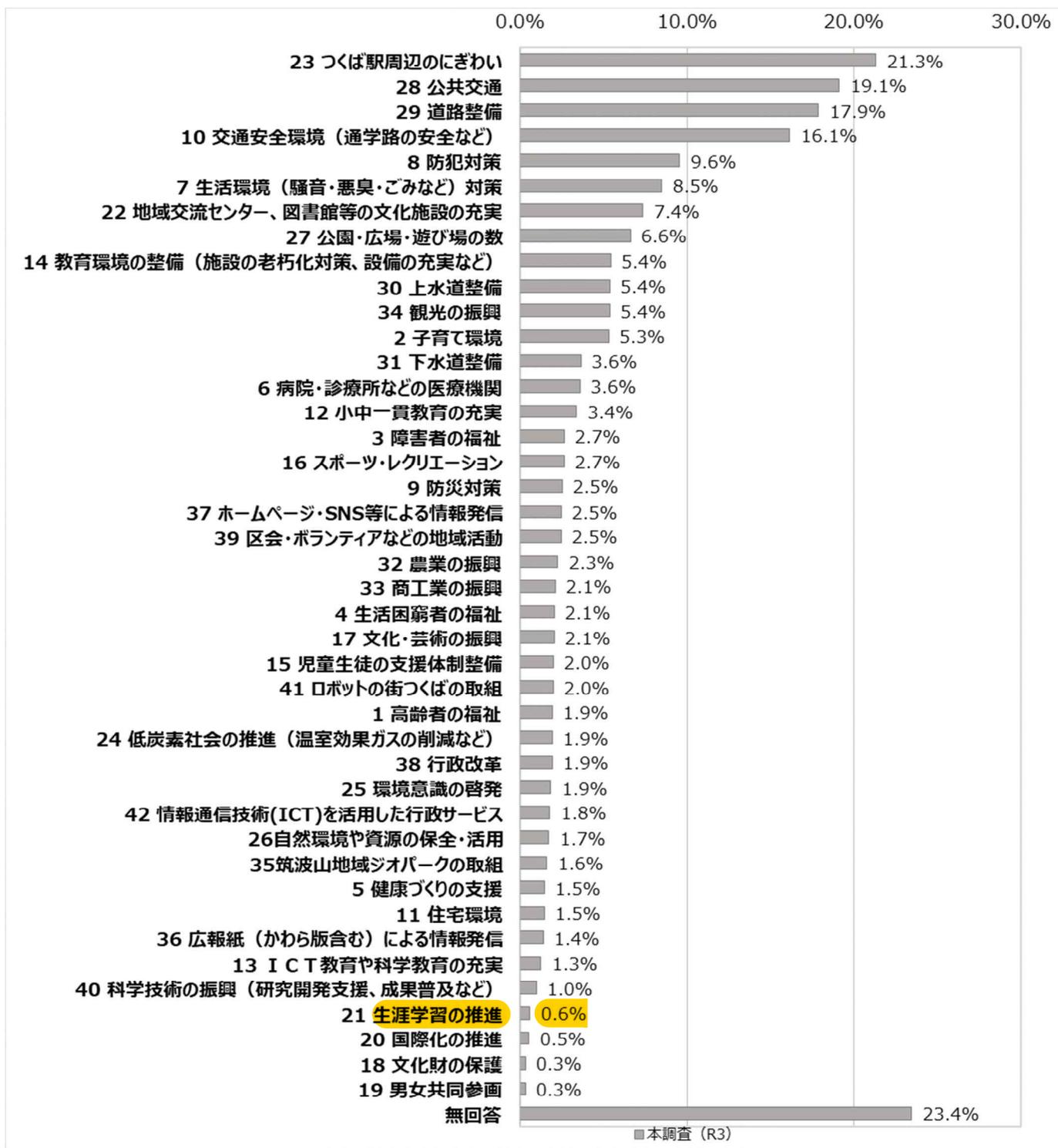
#### ● 「つくば駅周辺のにぎわい」「公共交通」「道路整備」への不満が多い

順位	項目	回答数	構成比
1	23 つくば駅周辺のにぎわい	321	21.3%
2	28 公共交通	288	19.1%
3	29 道路整備	269	17.9%
4	10 交通安全環境(通学路の安全など)	243	16.1%
5	8 防犯対策	144	9.6%
6	7 生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策	128	8.5%
7	22 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	111	7.4%
8	27 公園・広場・遊び場の数	100	6.6%
9	14 教育環境の整備(施設の老朽化対策、設備の充実など)	82	5.4%
10	30 上水道整備	81	5.4%
11	34 観光の振興	81	5.4%
12	2 子育て環境	80	5.3%
13	31 下水道整備	55	3.6%
14	6 病院・診療所などの医療機関	54	3.6%
15	12 小中一貫教育の充実	51	3.4%
16	3 障害者の福祉	40	2.7%
17	16 スポーツ・レクリエーション	40	2.7%
18	9 防災対策	38	2.5%
19	37 ホームページ・SNS等による情報発信	37	2.5%
20	39 区会・ボランティアなどの地域活動	37	2.5%
21	32 農業の振興	34	2.3%
22	33 商工業の振興	32	2.1%
23	4 生活困窮者の福祉	31	2.1%
24	17 文化・芸術の振興	31	2.1%
25	15 児童生徒の支援体制整備	30	2.0%
26	41 ロボットの街つくばの取組	30	2.0%
27	1 高齢者の福祉	29	1.9%
28	24 低炭素社会の推進(温室効果ガスの削減など)	29	1.9%
29	38 行政改革	29	1.9%
30	25 環境意識の啓発	28	1.9%
31	42 情報通信技術(ICT)を活用した行政サービス	27	1.8%
32	26 自然環境や資源の保全・活用	26	1.7%
33	35 筑波山地域ジオパークの取組	24	1.6%
34	5 健康づくりの支援	22	1.5%
35	11 住宅環境	22	1.5%
36	36 広報紙(かわら版含む)による情報発信	21	1.4%
37	13 ICT教育や科学教育の充実	19	1.3%
38	40 科学技術の振興(研究開発支援、成果普及など)	15	1.0%
39	21 生涯学習の推進	9	0.6%
40	20 国際化の推進	8	0.5%
41	18 文化財の保護	5	0.3%
42	19 男女共同参画	5	0.3%
	無回答	353	23.4%

【問10で「どちらかといえば不満」または「不満」とお答えの方にお聞きします】

問11 特に不満と感ずる項目番号1)～42)と、その理由を教えてください。

<3つまで>



### 3 つくば市の現状やまちづくりへの取組について

#### ② 不満理由

不満理由を設問項目ごとにまとめた。不満理由の上位3位までを記載した。

不満項目		回答数	不満理由 順位	不満理由	回答数
健康・福祉	1 高齢者の福祉	29	1位	支援やサービスの不足	10
			2位	公共交通機関が不便	4
			3位	施設の不足	3
	2 子育て環境	80	1位	保育施設・人材の不足	23
			2位	支援やサービスの不足	16
			3位	教育環境不足	10
	3 障害者の福祉	40	1位	支援やサービスの不足	8
			2位	障害者の福祉の情報・理解不足	6
			3位	歩道が危険	3
	4 生活困窮者の福祉	31	1位	支援やサービスの不足	9
			2位	道路環境が悪い	6
			3位	支援情報及び環境や施設の不足	3
	5 健康づくりの支援	22	1位	支援やサービスの不足	5
			2位	健康づくり支援の情報提供不足	4
			2位	検診、ワクチン等の予約ができない・分かりにくい	4
			3位	健康づくりのための講座等の年齢層を広げてほしい	2
	6 病院・診療所などの医療機関	54	1位	医療機関が少ない	25
			2位	産婦人科が少ない	12
3位			診察時間(待ち時間)が長い	6	
生活環境・防犯・防災	7 生活環境(騒音・悪臭・ごみなど)対策	128	1位	車やバイク、暴走族等の騒音	44
			2位	野焼き等悪臭	22
			3位	ごみ収集環境が悪い	17
	8 防犯対策	144	1位	車や自転車等の盗難が多い	48
			2位	街灯が少ない	46
			3位	空き巣が多い	17
	9 防災対策	38	1位	防災情報不足	11
			2位	防災対策の不備	10
			3位	防災無線等情報伝達手段がない・聞こえづらい	3
	10 交通安全環境(通学路の安全など)	243	1位	通学路等の子どもの安全対策	95
			2位	自転車専用道路や歩道の整備	82
			3位	自動車や自転車の運転マナーが悪い	33
	11 住宅環境	22	1位	公務員宿舍跡地等無人の家屋等が多い	4
			2位	マンション建設等によるつくば駅前周辺の魅力低下	3
			2位	家賃が高い	3
※回答数が1つであるため、記載を省略					-

不満項目		回答数	不満理由 順位	不満理由	
教育・スポーツ・文化	12 小中一貫教育の充実	51	1位	小中一貫のメリットがない	22
			2位	学校ごとに格差が生じている	8
			3位	生徒数が大規模になっていること	7
	13 ICT教育や科学教育の充実	19	1位	科学の町とは名ばかりの教育内容	5
			2位	学校ごとの格差が大きい	3
			3位	紙媒体など従来型の教育も重要	2
	14 教育環境の整備(施設の老朽化対策、施設の充実など)	82	1位	施設の老朽化、整備が不十分	54
			2位	学校・地域格差があること	18
			3位	高校が少ない	5
教育・スポーツ・文化	15 児童生徒の支援体制整備	30	1位	支援が不足している	6
			2位	学校・地域での格差を感じる	5
			3位	教員の人数が不足している	4
	16 スポーツ・レクリエーション	40	1位	運動施設の不足	18
			2位	運動施設まで遠い	5
			3位	情報提供不足	3
	17 文化・芸術の振興	31	1位	芸術・文化イベントが不足	10
			2位	美術館、文化施設が不足している	7
			3位	情報提供・周知不足	6
	18 文化財の保護	5	※回答数が1つであるため、記載を省略		-
	19 男女共同参画	5	※回答数が1つであるため、記載を省略		-
	20 国際化の推進	8	1位	情報提供不足	3
			※以下、回答数が1つであるため、記載を省略		-
	21 生涯学習の推進	9	1位	生涯学習講座・場所の充実	3
			2位	情報提供・周知不足	2
※以下、回答数が1つであるため、記載を省略			-		
22 地域交流センター、図書館等の文化施設の充実	111	1位	図書館が小さい、充実していない	47	
		2位	地域交流センターや図書館が少ない	22	
		3位	文化施設が遠い	13	
まちづくり	23 つくば駅周辺のにぎわい	321	1位	活気がない	99
			2位	商業施設が少ない	65
			3位	商業施設の撤退	40
	24 低炭素社会の推進(温室効果ガスの大幅削減など)	29	1位	市の具体的な取組が分からず、低炭素社会の推進を感じられない	13
			2位	車社会であること	8
			3位	市の政策等が脱炭素化とは正反対	2
	25 環境意識の啓発	28	1位	環境問題・保全への意識の薄さ	8
			2位	ゴミのポイ捨てや山道等での不法投棄	6
			3位	取組み等に対する情報提供不足	5
	26 自然環境や資源の保全・活用	26	1位	開発等により自然が失われている	9
			2位	自然環境が保全されていない	5
	27 公園・広場・遊び場の数	100	2位	街路樹等整備が不十分	3
1位			公園・広場・遊び場が少ない	31	
2位			遊具が少ない	26	
28 公共交通	288	3位	公園等設備・整備が不十分	25	
		1位	バスが不便、路線や便数を増やして欲しい	150	
		2位	車社会で公共交通機関が不便	85	
			3位	交通料金が高い	18